

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期	頁
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		1	前	—
	データサイエンス基礎	講義	1		1	前	—
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1	前	—
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1	後	—
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2	前	—
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2	後	—
	地域と人々	実習	1		1	通	—
	地域と職業	講義	1		1	後	—
	基礎化学	講義		2	1	前	—
	基礎化学実習	実習		1	1	前	—
	心理学	講義		2	1	前	—
	ビジネスマナー	演習		1	1	前	—
	福祉文化	演習		1	2	後	—
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	1	前	—
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1	1	後	—
	Office総合演習	演習		1	2	後	—
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	1	前	—
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	1	後	—
	フランス語Ⅰ	演習		1	1	前	—
	フランス語Ⅱ	演習		1	1	後	—
	日本語Ⅰ	演習		1	1	前	—
	日本語Ⅱ	演習		1	1	後	—
	実践文書作成	演習		1	1	前	—
スポーツ実習	実習		1	1	後	—	
スポーツ科学	講義		2	2	後	—	
専門 教育 科目 (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)	英会話Ⅰ	演習		2	1	1・2	304
	英会話Ⅱ	演習		1	1	4	306
	英会話Ⅲ	演習		1	2	5	308
	英会話Ⅳ	演習		1	2	6	310
	英会話Ⅴ	演習		1	2	7	312
	英会話Ⅵ	演習		1	2	8	314
	英語検定Ⅰ	講義		2	1	1	316
	英語検定Ⅱ	講義		2	1	2	321
	英語検定Ⅲ	講義		2	2	5	326
	英語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	1	3	333
	英語ライティング&文法Ⅱ	講義		2	2	7・8	339
	英語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6	341
	英語演習Ⅱ	演習		2	2	7・8	350
	英語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—	—
	英語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—	—
	中国語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2	357
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2	362
	中国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2	367
	中国語会話Ⅰ	演習		1	1	3	372
	中国語会話Ⅱ	演習		1	2	7・8	377
	中国語検定Ⅰ	講義		2	2	5・6	383
	中国語検定Ⅱ	講義		2	2	5・6	387
	中国語検定Ⅲ	講義		2	2	5・6	392
	中国語ライティング&文法Ⅰ	講義		2	1	4	397
	中国語ライティング&文法Ⅱ	講義		2	2	7・8	403
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—	—
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—	—
韓国語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2	408	
韓国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2	414	
韓国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2	420	

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期	頁	
専門教育科目	コミュニケーション(言語・多文化)	韓国語会話Ⅰ		1	1	3	426	
		韓国語会話Ⅱ		1	2	7・8	432	
		韓国語検定Ⅰ		2	2	5・6	438	
		韓国語検定Ⅱ		2	2	5・6	444	
		韓国語検定Ⅲ		2	2	5・6	450	
		韓国語ライティング&グラマーⅠ		2	1	3	456	
		韓国語ライティング&グラマーⅡ		2	2	7・8	462	
		中国語特別演習Ⅰ		1	—	—	—	
		中国語特別演習Ⅱ		1	—	—	—	
		基礎日本語Ⅰ		2	1	1・2	468	
		基礎日本語Ⅱ		2	2	3・4	476	
		日本語会話Ⅰ		2	1	1	485	
		日本語会話Ⅱ		2	1	2	497	
		日本語会話Ⅲ		2	1	3	509	
		日本語会話Ⅳ		2	1	4	522	
		日本語会話Ⅴ		2	2	5	536	
		日本語会話Ⅵ		2	2	6	548	
		日本語検定Ⅰ		2	1	1	560	
		日本語検定Ⅱ		2	1	3	572	
		日本語検定Ⅲ		2	2	5	584	
		日本語ライティング&グラマーⅠ		2	1	4	596	
		日本語ライティング&グラマーⅡ		2	2	6	604	
		日本語演習Ⅰ		2	2	5・6	610	
		日本語演習Ⅱ		2	2	7	614	
		応用日本語		2	2	7	627	
		総合日本語		2	2	7	640	
		比較文化研究		2	2	7	648	
		異文化理解演習		2	1	1・2	652	
		国際・時事研究		2	2	日6/留5	655	
		キャリアデザイン	キャリアガイダンス		2	1	日1・2/留5	658
			ビジネス文書		2	1	日1・2/留3・4	661
			実践ビジネスマナー		1	1	日1・2/留8	671
			ホテル業論		2	1	2	673
	ホスピタリティビジネス			2	2	7・8	675	
	実践グローバル・リーダーシップⅠ			2	1	4	677	
	実践グローバル・リーダーシップⅡ			2	1	4	680	
	実践グローバル・リーダーシップⅢ			2	1	4	683	
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ		1	2	6	686	
		Awesome Sasebo!Ⅱ		1	2	7	692	
		Awesome Sasebo!Ⅲ		1	2	8	697	
	ギャップイヤー	学外学修事前指導		2	1	日1・3/留1・2	702	
		海外文化事情(留学)Ⅰ		2	1	3	708	
		海外文化事情(留学)Ⅱ		2	1	3	711	
		海外文化事情(留学)Ⅲ		6	1	3	714	
		インターンシップⅠ		2	1	3	717	
		インターンシップⅡ		2	1	3	719	
		インターンシップⅢ		2	1	3	721	
インターンシップⅣ			2	1	3	723		
実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅰ			2	1	3	725		
実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅱ			2	1	3	728		
実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅲ			2	1	3	731		
実践Awesome Sasebo!(サービスマーケティング)Ⅳ			2	1	3	738		
学外学修事後指導			2	1	日5/留4	739		
卒業研究			2	2	7・8	744		

英会話Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:22

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC101
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、教科書『Encounters』を用いて、英語でのコミュニケーションに必要な重要表現や文法を学びます。さらに、ペアワーク、スキット、英語でのプレゼンテーションなどの活動を通して、学んだ内容を実際に使いながら、英語のアウトプット力を高めます。また、発音練習を取り入れ、英語を正しく伝える力も養います。加えて、4th of July や Cinco de Mayo などの英語圏の文化的行事について学び、文化理解を深めながら実践的な英会話力を身につけます。

授業における到達目標

1	1. 教科書『Encounters』を通して、英語でのコミュニケーションに必要な重要表現や文法を身につける。
2	2. ペアワークやスキット、プレゼンテーションを通して、英語で自分の考えや情報を伝える力を養う。
3	3. 発音練習を通して、相手に伝わりやすい英語を話す力を高める
4	4. 英語圏の文化的行事や背景への理解を深め、言語と文化の両面から英語コミュニケーションを学ぶ。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加・ペアワーク・スキット・プレゼンテーション	20%
確かな専門的知識や技能	3	クイズ・テスト	25%
異文化知識・対応能力	2	プロジェクト・授業活動（文化イベント）	15%
課題解決能力	4	宿題・スキット準備・課題提出	25%
キャリアデザイン力	5	プレゼンテーション・コミュニケーション活動	100%
合計			100
補足事項			
授業参加・積極性、クイズ、宿題、テスト・プロジェクトを総合的に評価する。特に、英語でのコミュニケーション能力や積極的な授業参加を重視する。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス、授業説明、自己紹介	対面授業・ペアワーク	シラバス確認（30分）
2	2回目	Unit 1（基本表現①）	対面授業・ペアワーク	教科書予習・復習（60分）
3	3回目	Unit 1（基本表現②）	対面授業・ペアワーク	復習・宿題（60分）
4	4回目	Unit 1（会話練習）	対面授業・スピーキング活動	表現練習（60分）
5	5回目	Unit 1（応用練習）	対面授業・ペアワーク	宿題・復習（60分）
6	6回目	Unit 1 復習・スキット説明	対面授業・グループ活動	スキット準備（60分）
7	7回目	Unit 1 テスト・文化活動準備	テスト・アクティビティ	テスト勉強（60分）
8	8回目	文化活動（Cinco de Mayo）	アクティビティ・グループ活動	文化内容の確認（30分）
9	9回目	Unit 2（基本表現①）	対面授業・ペアワーク	教科書予習・復習（60分）
10	10回目	Unit 2（スキット練習①）	グループ活動・スピーキング	スキット練習（60分）
11	11回目	Unit 2（スキット練習②）	グループ活動	スキット準備（60分）
12	12回目	Unit 2（スキット練習③）	グループ活動	スキット仕上げ（60分）
13	13回目	Unit 2 復習・スキット発表	発表・グループ活動	発表準備（60分）

14	14回目	Unit 2 テスト・総復習	テスト・復習	テスト勉強 (60分)
15	15回目	期末試験	試験	総復習 (90分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目 (教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	Encounters: A New Approach to English Communication		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	By Maria Shiguemi Ichiyama and Micheal P. Critchley		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	Monday & Friday (10:50-12:20)		
備考・メッセージ			

英会話Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:23

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC301
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、教科書『Encounters Book 2』を用いて、英語でのコミュニケーションに必要な重要表現や文法を学ぶ。ペアワーク、スキット、プレゼンテーションなどの活動を通して、学んだ内容を実際に使用しながら、英語のアウトプット力を高める。また、発音練習を取り入れ、相手に正確に伝える力を養う。さらに、Cinco de Mayo や 4th of July などの英語圏の文化的行事を扱い、異文化理解を深めながら実践的な英会話力の向上を目指す。

授業における到達目標

1	英語でのコミュニケーションに必要な基本的な表現や文法を理解し、使用できる。
2	ペアワークや発表活動を通して、自分の考えや情報を英語で伝えることができる。
3	発音練習を通して、聞き手に伝わりやすい英語を話すことができる。
4	英語圏の文化や行事について理解を深め、異文化に対する関心を高める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2,4	授業参加・発言	20%
確かな専門的知識や技能	1	クイズ	25%
異文化知識・対応能力	4	プロジェクト・発表	15%
課題解決能力	2,3	宿題・課題提出	25%
キャリアデザイン力	2	プレゼンテーション	15%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題は原則として授業内または Google Classroom を通して提出すること。 ・期限内に提出できない場合は、事前に担当教員へ連絡すること。 ・遅刻・欠席については学校の規定に従う。 ・授業への積極的な参加（発言、ペアワークへの取り組み等）を重視する。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		ガイダンス、コース概要説明	講義・ペア活動	シラバス確認（30分）
2		Unit 1 (p.8-12)、スキット導入	ペア・グループ	単語・表現予習（30分）
3		Unit 1 (p.12-16)、スキット練習	ペア活動	スクリプト作成（60分）
4		Unit 1 (p.16-20)、スクリプト提出	演習・発表	発音練習（30分）
5		Unit 1 (p.20-24)、リハーサル①	グループ活動	セリフ暗記（45分）
6		Unit 1 (p.24-28)、スキット発表	発表・フィードバック	復習（30分）
7		Unit 1 (p.28-33)、Cinco de Mayo準備	グループ活動	Unit1復習（60分）
8		Cinco de Mayo イベント活動	グループ活動・発表	振り返り（30分）
9		Unit 1 復習、Project 2説明	講義・ペア活動	語彙復習（30分）
10		Unit 1 テスト、プレゼン準備	テスト・演習	テスト復習（30分）
11		Unit 2 (p.34-38)、資料作成	ペア・PC活動	スライド作成（60分）
12		Unit 2 (p.38-42)、発表練習	ペア活動	発表練習（45分）
13		Unit 2 (p.42-46)、資料改善	グループ活動	Unit2復習（60分）

14	Unit 2 復習、プレゼン発表	発表・評価	最終準備 (45分)
15	期末試験 (Unit1・2	試験	総復習 (90分)
16			授業外学修 11時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	Encounters Book 2: A New Approach to English Communication	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	By Maria Shiguemi Ichiyama and Micheal P. Critchley	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	Monday (1-3pm),	
備考・メッセージ		

英会話Ⅲ

更新日：2026/05/26 20:59:24

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC501
担当教員	COMIA EVANGELINE GUINTO				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.

1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。
2	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。
3	仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	2,3	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・課題は原則として授業内または Google Classroom を通して提出すること。
- ・期限内に提出できない場合は、事前に担当教員へ連絡すること。
- ・遅刻・欠席については学校の規定に従う。
- ・授業への積極的な参加（発言、ペアワークへの取り組み等）を重視する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション：シラバス説明、課題説明、2年生の英語目標を書く、5Qのプロジェクト（ツアーガイド）を説明する	面接授業	予習：シラバス確認（30分） 復習：佐世保の観光情報を調べる（30分）
2	2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例①を見て勉強する 留学生にアンケートを出す	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
3	3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例②を見て勉強する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
4	4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例③を見て勉強する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
5	5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
6	6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）

7	7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※ルートを提出する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
8	8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー-英語文書を準備する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
9	9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー-英語文書を準備する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
10	10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー-英語文書を準備する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
11	11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※SASEBOツアー-英語文書提出	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
12	12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
13	13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
14	14回目	SASEBOツアー (グループプロジェクト)	面接授業	予習：SASEBOツアーの練習をする(1時間)
15	15回目	SASEBOツアー (グループプロジェクト)	面接授業	予習：SASEBOツアーの練習をする(1時間)
16				授業外学修 15時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	特になし (プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う)	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	SASEBOツアーの日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。	
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。	
備考・メッセージ		

英会話Ⅳ

更新日：2026/05/26 20:59:25

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC601
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.

1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	他者に対する理解と共感性を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。
2	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。
3	仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	2,3	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・課題は原則として授業内または Google Classroom を通して提出すること。
- ・期限内に提出できない場合は、事前に担当教員へ連絡すること。
- ・遅刻・欠席については学校の規定に従う。
- ・授業への積極的な参加（発言、ペアワークへの取り組み等）を重視する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション：シラバス説明、課題説明、6Qのプロジェクト（英語を教える）を説明する	面接授業	予習： 復習：九州文化学園小・中学校の情報を調べる（1時間）
2	2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 児童英語教授法の基礎 授業の例①	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
3	3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 授業の例②	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
4	4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け&ブレインストーミング	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
5	5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：授業計画	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
6	6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：授業計画	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）

7	7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：資料の準備	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
8	8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：資料の準備	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
9	9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：English Festival リハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
10	10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：English Festival リハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
11	11回目	English Festival (グループプロジェクト)	面接授業	予習：資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
12	12回目	English Festival (グループプロジェクト)	面接授業	予習：資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
13	13回目	English Festival (グループプロジェクト)	面接授業	予習：資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
14	14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：English Festivalの振り返り	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
15	15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※レポート提出：English Festival振り返り	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 特になし（プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う）	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	SASEBOツアーの日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。	
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。	
備考・メッセージ		

英会話 V

更新日：2026/05/26 20:59:26

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC701
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.

1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。
2	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。
3	仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	2,3	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・課題は原則として授業内または Google Classroom を通して提出すること。
- ・期限内に提出できない場合は、事前に担当教員へ連絡すること。
- ・遅刻・欠席については学校の規定に従う。
- ・授業への積極的な参加（発言、ペアワークへの取り組み等）を重視する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション：シラバス説明、課題説明、7Qのプロジェクト（Interview Project）を説明する	面接授業	予習： 復習：英会話アプリ課題（1時間）
2	2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け、インタビュー対象者を調べる インタビューの例①	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
3	3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者を調べる インタビューの例②	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
4	4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例③	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
5	5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例④	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）

6	6回目 ～10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備：情報収集、質問の準備、練習 6回目～10回目の間：インタビューを行う	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
7	11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例① インタビュー後：トランスクリプトと翻訳を作成する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
8	12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例② インタビュー後：トランスクリプトと翻訳を作成する	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
9	13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
10	14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
11	15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：結果発表	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
12				授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	特になし（プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う）	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。	
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。	
備考・メッセージ		

英会話VI

更新日：2026/05/26 20:59:27

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC801
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills.

1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。
2	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。
3	仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	2,3	プロジェクト・発表 課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・課題は原則として授業内または Google Classroom を通して提出すること。
- ・期限内に提出できない場合は、事前に担当教員へ連絡すること。
- ・遅刻・欠席については学校の規定に従う。
- ・授業への積極的な参加（発言、ペアワークへの取り組み等）を重視する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション：シラバス説明、課題説明、8Qのプロジェクト（料理教室通訳）を説明する	面接授業	予習： 復習：料理教室の情報を見る（1時間）
2	2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の基礎、料理語彙	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
3	3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の基礎、料理語彙	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
4	4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
5	5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）
6	6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する（30分）

7	7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
8	8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
9	9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
10	10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：料理教室 リハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
11	11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：料理教室 リハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
12	12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：料理教室 リハーサル	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
13	13回目	料理教室（グループプロジェクト）	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
14	14回目	料理教室（グループプロジェクト）	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
15	15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク：料理教室の振り返り ※レポート提出：料理教室振り返り	面接授業	予習：英会話アプリ課題(30分) 復習：課題で間違えたところを復習する (30分)
16				授業外学修 15時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 特になし（プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う）
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	
履修上の注意	料理教室の日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

英語検定 I

更新日：2026/05/26 21:00:08

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC102
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

「英語ライティング&グラマーI」で学修した基礎を踏まえ、不定詞・動名詞・受動態・現在完了・関係詞・間接疑問・分詞・条件文などを扱い、文の拡張性とまとまりのある発信を強化します。パターンドリルで形を固め、書く→話すへの移行を促進。後半は統合タスク（ロールプレイ/要約・説明）で運用を磨きます。

授業における到達目標

1	不定詞・動名詞・受動態・現在完了・関係代名詞・間接疑問・分詞の基本用法を理解し、ミスなく産出できる。
2	既習パターンを連結し、80～120語程度の段落を論理的接続で作成できる。
3	既知話題について30～60秒の口頭説明を準備時間最小で行える。
4	小テスト・課題で合計60%以上を達成する。
5	自己学習(音読・瞬間英作文)を継続運用できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1, 2, 3, 4, 5	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト(毎回): 30% 授業内活動・参加(音読、ライティング・ロールプレイ): 20% 課題・宿題(ドリル・録音・短文作成): 20% 期末試験(筆記+口頭): 30% 	100%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 辞書(紙/アプリ)使用可。授業冒頭に5～10分の小テストを行います。
- 1回あたり予習2時間・復習2時間を標準
- 欠席時はLMSで配布するハンドアウト・答案例・音源を確認し学習
- AI・翻訳ツールの使用は指示範囲のみ

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	前期総復習+不定詞 to V (名・形・副)	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 /用法マップ 復習 (2時間): B 問題/10 文暗唱/エ ラーノート
2	2回目	動名詞/不定詞との使い分け	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 復習 (2時間): B 問題/最小ペア作文 10 題
3	3回目	O+不定詞/使役・知覚 (let/make/have/see)	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 /文型カード 復習 (2時間): B 問題/ロールプレイ 台本-録音
4	4回目	受動態(現在・過去・未来)	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 /変換練習復習 (2時間): B 問題/説明 30 秒×3
5	5回目	現在完了(経験・継続・完了・結果)	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 /タイムライン 復習 (2時間): B 問題/ Q&A10 組/ 録音
6	6回目	現在完了進行形+総復習	対面授業	予習 (2時間): 例文 20 回 /A 問題 /区別練習復習 (2時間): B 問題/ミ ニ模試→直し

7	7回目	関係代名詞 that/which/who (主・目)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回/A 問題 /合成練習 復習 (2時間) : B 問題/20 文合成
8	8回目	関係代名詞の省略/所有格/ 関係副詞 when/where/why	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /表作成 復習 (2時間) : B 問題/写 真描写+関係詞
9	9回目	間接疑問/that 節(I think that...)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回/A 問題 /変換練習 復習 (2時間) : B 問題/質 問作成→回答
10	10回目	比較の発展(強調/less/more /倍数表現)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 復習 (2時間) : B 問題/比 較説明文 80 語
11	11回目	五文型(SV～SVOC)での語 順確認	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /並べ替え 復習 (2時間) : B 問題/誤 りパターン 整理
12	12回目	分詞(現在分詞・過去分詞の 形容詞用法)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /置換 復習 (2時間) : B 問題/描 写文 10 本
13	13回目	条件文 if(中学範囲)/命令 +if	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /条件作り 復習 (2時間) : B 問題/ロ ールプレイ 録音
14	14回目	統合タスク:説明・要約・依 頼	対面授業	予習 (2時間) : 例文通し /弱点補強 復習 (2時間) : 100~120 語 段落→口頭化
15	15回目	総合演習	対面授業	予習 (2時間) : 模試形式 予習 復習 (2時間) : 模試直し/ 総復習
16	16回目	期末試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：英文法パターンドリル 杉山一志 文英堂
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：授業中に指示する。
履修条件	
履修上の注意	履修上の注意 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限(その他、研究室にいる時間は、対応可能)
備考・メッセージ	

英語検定 I

更新日：2026/05/26 21:00:09

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC102
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本講義は、「TOEIC Listening & Reading Test」の受験に向けて、問題演習及び解説をメインに実施される。受講生は、講義に際し毎回360分の事前・事後学習を要する。さらに、期末試験の結果(80%)及び毎回の出欠状況(20%)が最終評価のために考慮される。また本講義は、「中級」レベルの受講生を対象として実施される。

授業における到達目標

1	TOEIC L&R Test で400点前後を取ることができるように、毎回の講義に積極的に参加することができる。
2	TOEIC L&R Test ならではの語彙や読解の演習に取り組むことができる。
3	グローバルビジネスにおいて使われる語彙やメールの内容及び会話を理解することができる。
4	難易度の高い語彙や文法に積極的にチャレンジし、定着させることができる。
5	互いに教え合いながら、一緒に課題解決に取り組むことを自主的に行うことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	提示された課題への取り組み / 毎回の出欠確認	10%
確かな専門的知識や技能	2	講義内での問題演習への取り組み / 講義内での解答解説への参加態度	10%
異文化知識・対応能力	3	期末試験の結果	30%
課題解決能力	4	提示された課題への取り組み / 講義内での文法解説への参加態度 / 期末試験の結果	40%
キャリアデザイン力	5	毎回の講義における参加意欲	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験を実施する他、授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス: 講義の目的・進め方の説明 Unit 1: Dining Out	対面授業 (またはオンライン)	シラバスを読んでおく。1時間 残りの問題を解き終える。3時間
2	2回目	Unit 1: Dining Out (前回の残り) Unit 2: General Business	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
3	3回目	Unit 3: Manufacturing	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
4	4回目	Unit 4: Finance and Budgeting	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
5	5回目	Unit 5: Communication	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
6	6回目	Unit 6: Health	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間

7	7回目	Unit 7: Purchasing	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
8	8回目	Unit 8: Personnel	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
9	9回目	Unit 9: Corporative Development	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
10	10回目	Unit 10: Entertainment	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
11	11回目	Unit 11: Technical Areas	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
12	12回目	Unit 12: Offices	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
13	13回目	Unit 13: Travel	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
14	14回目	Unit 14: Housing / Corporate Property	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
15	15回目	全体の復習 試験の説明	対面授業 (またはオンライン)	試験に向けて勉強する。4時間
16	16回目	期末試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST Pre-Intermediate, 吉塚 弘・Graham Ske ritt, 成美堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	特になし	
履修条件	本講義の受講を希望するも場合は、記載のテキストを必ず購入する必要がある。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回とみなす。 毎回テキストを持参して出席すること。 	
オフィスアワー	金戸: 月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ	本講義は、英語検定Ⅰ(中級)として実施される。	

英語検定 I

更新日：2026/01/13 13:43:14

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC102
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

英語検定Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:00:11

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC201
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、TOEIC L&R テストで600点レベルの到達を目標とし、英語の基礎力を実践的な運用力へと高めることを目的とする。授業では、全14ユニットから構成される教材を用い、各ユニット内で TOEIC Part 1～Part 7 の全パートを網羅的に学習する。

各ユニットの学習においては、リスニング・リーディングの演習に入る前後で、頻出語彙や重要表現の確認を行い、TOEICで求められる語彙力・文法力・読解力・聴解力を段階的に養成する。

短時間でTOEIC形式の問題に繰り返し触れることで、問題形式に慣れるとともに、解答のストラテジー（解き方のコツ）を理解し、実践問題に対応できる力を身につける。

また、各ユニットの最後には、英語表現や学習法に関する読み物を取り入れ、TOEIC対策にとどまらず、継続的な英語学習への意欲を高めることを目指す。

授業における到達目標

1	TOEIC L&R テストの各パート（Part 1～7）の出題形式を理解し、基本的な解答ストラテジーを用いて問題に取り組むことができる。
2	TOEIC 600点レベルに必要な基礎語彙・頻出表現を理解し、リスニングおよびリーディング問題の中で適切に判断できる。
3	写真描写問題、応答問題、会話・説明文、短文・長文読解など、主要な問題タイプに対して、時間配分を意識しながら解答できる。
4	語彙の言い換えや表現のパターンに気づき、文脈から意味を推測する力を身につける。
5	TOEIC 600点突破を目標として、自身の弱点を把握し、今後の英語学習に主体的に取り組む姿勢を養う。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1, 2, 3, 4	定期試験（TOEIC形式問題） 小テスト・ユニット確認テスト 授業内演習・提出課題	90%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	5	学習態度・振り返り	10%
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス+Unit 1 Entertainment OEIC L&R構成・学習法/Unit1演習（Part1-2中心）	対面授業	予習（2h）：Unit1語彙リスト確認・音読/Part1-2を解く 復習（2h）：誤答分析（根拠箇所・言い換え）/音声シャドーイング
2	2回目	Unit 2 Eating out 外食語彙/Listening Part3の先読み・要点把握	対面授業	予習：語彙暗記+会話問題を通して解く 復習：設問タイプ別に誤答分類/会話要約
3	3回目	Unit 3 Office Supplies 授業内容：オフィス語彙/Reading Part5（品詞・語法）	対面授業	予習：語彙+Part5を時間無制限で解く 復習：誤答の「理由」を言語化/類題を時間制限で再演習

4	4回目	第4回：Unit 4 Hospital 授業内容：医療・健康語彙／Listening Part2 応答パターン	対面授業	予習：語彙＋Part2を解き、応答タイプ分類 復習：ひっかけ表現整理／音声精聴→シャドーイング
5	5回目	第5回：Unit 5 Transportation 授業内容：交通・時刻表現／Part3（会話）情報整理	対面授業	予習：語彙＋設問先読みで演習 復習：会話の流れを図式化／聞き逃し箇所を音声で再確認
6	6回目	第6回：Unit 6 Technology 授業内容：IT語彙／Part4（説明文）構成把握	対面授業	予習：語彙＋Part4をスクリプト確認 復習：ディクテーション（短文）／要点メモ訓練
7	7回目	第7回：Unit 7 Personnel 授業内容：人事・社内制度／Part6（文章穴埋め）	対面授業	予習：語彙＋Part6を解く（接続語に注目） 復習：論理関係（因果・対比）整理／誤答の根拠説明
8	8回目	第8回：Unit 8 Purchases 授業内容：購入・返品・支払い／Part7（単一文書）	対面授業	予習：語彙＋Part7を根拠線引きしながら演習 復習：設問別（目的・詳細・推論）に解法整理／再演習
9	9回目	第9回：Unit 9 Architecture 授業内容：建築・施設／図表・案内文の読み取り	対面授業	予習：語彙＋図表付き問題の手順確認 復習：図表→本文→設問の順で再演習／語彙をイメージ化
10	10回目	第10回：Unit 10 Service 授業内容：サービス・クレーム対応／話者の意図問題	対面授業	予習：語彙＋Part3/4の意図問題に挑戦 復習：丁寧表現・婉曲表現整理／誤答の原因分析
11	11回目	第11回：Unit 11 Travel 授業内容：旅行・出張／Part7（複数文書）統合	対面授業	予習：語彙＋複数文書を時間無制限で演習 復習：文書間の対応関係を整理／時間短縮の再演習
12	12回目	第12回：Unit 12 Climate 授業内容：天候・環境／因果関係の聞き取り・読み取り	対面授業	予習：語彙＋説明文（Part4/Reading）を確認 復習：因果表現まとめ／要約（50語程度）練習
13	13回目	第13回：Unit 13 Employment 授業内容：雇用・求人／求人広告・条件読み取り	対面授業	予習：語彙＋求人系Part7を演習 復習：条件・資格表現整理／根拠箇所の特定練習
14	14回目	第14回：Unit 14 Sports・Art 授業内容：スポーツ・芸術／総合演習（弱点補強）	対面授業	予習：語彙＋弱点Part重点演習 復習：全ユニット語彙総点検／ミニ模試（短縮時間）
15	15回目	第15回：総合復習・模擬演習 授業内容：模擬問題（Listening/Reading）＋解法戦略	対面授業	予習：模試（時間通り）実施／弱点をメモ 復習：Part別正答率分析／改善計画（次回テスト対策）
16	16回目	第16回：期末試験（TOEIC形式）＋講評 授業内容：到達度確認テスト／全体講評・学習継続の指針 ※授業内容はテキストの全14ユニット（Unit 1～14）を扱い、最終回を試験とする。	対面授業	予習：頻出語彙・言い換え最終確認／弱点のみ短時間復習 復習：自己分析（弱点・時間配分）／今後の学習計画作成
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	Getting the edge for the TOEIC L&R test, Emiko Matsumoto, その他、2026、成美堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	授業中に紹介	
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ		

英語検定Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:00:12

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC201
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本講義は、「TOEIC Listening & Reading Test」の受験に向けて、問題演習及び解説をメインに実施される。受講生は、講義に際し毎回360分の事前・事後学習を要する。さらに、期末試験の結果(80%)及び毎回の出欠状況(20%)が最終評価のために考慮される。また本講義は、「初級」レベルの受講生を対象として実施される。

授業における到達目標

1	TOEIC L&R Test で350点以上を取ることができるように、毎回の講義に積極的に参加することができる。
2	TOEIC L&R Test ならではの語彙や読解の演習に取り組むことができる。
3	グローバルビジネスにおいて使われる語彙やメールの内容及び会話を理解することができる。
4	難易度の高い語彙や文法に積極的にチャレンジし、定着させることができる。
5	互いに教え合いながら、一緒に課題解決に取り組むことを自主的に行うことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	提示された課題への取り組み / 毎回の出欠確認	10%
確かな専門的知識や技能	2	講義内での問題演習への取り組み / 講義内での解答解説への参加態度	10%
異文化知識・対応能力	3	期末試験の結果	30%
課題解決能力	4	提示された課題への取り組み / 講義内での文法解説への参加態度 / 期末試験の結果	40%
キャリアデザイン力	5	毎回の講義における参加意欲	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験を実施する他、授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス: 講義の目的・進め方の説明 Unit 1: Restaurants (人称代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	シラバスを読んでおく。1時間 残りの問題を解き終える。3時間
2	2回目	Unit 1: Restaurants (人称代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
3	3回目	Unit 2: Entertainment (不定代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
4	4回目	Unit 2: Entertainment (不定代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
5	5回目	Unit 3: Business (再帰代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
6	6回目	Unit 3: Business (再帰代名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間

7	7回目	Unit 4: Office (現在完了形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
8	8回目	Unit 4: Office (現在完了形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
9	9回目	Unit 5: Telephone (動詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
10	10回目	Unit 5: Telephone (動詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
11	11回目	Unit 6: Letters & E-mails (形容詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
12	12回目	Unit 6: Letters & E-mails (形容詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
13	13回目	Unit 7: Health (前置詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
14	14回目	Unit 7: Health (前置詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
15	15回目	全体の復習 試験の説明	対面授業 (またはオンライン)	試験に向けて勉強する。4時間
16	16回目	期末試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST Basic, 吉塚 弘・Graham Skerritt, 成美堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	特になし	
履修条件	本講義の受講を希望するも場合は、記載のテキストを必ず購入する必要がある。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回とみなす。 毎回テキストを持参して出席すること。 	
オフィスアワー	金戸: 月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ	本講義は、英語検定Ⅱ (初級) として実施される。	

英語検定Ⅱ

更新日：2026/01/13 13:43:15

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC201
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

英語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:13

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC502
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、TOEIC® Listening & Reading Test 中級レベルを想定した教材『Positive Steps to the TOEIC® L&R Test』（金星堂）を用い、英語の基礎運用能力の向上と英語検定試験への対応力の養成を目的とする。
リスニングおよびリーディングの各パートの出題形式や戦略について理解を深めるとともに、語彙力・文法力・読解力の強化を段階的に行う。授業では、演習を中心に問題解決型の学習を行い、英文を正確かつ効率的に処理する力を養う。
また、単なるテスト対策にとどまらず、TOEIC®で扱われる実用的な英語表現やビジネス・日常場面に即した英語に触れることで、大学生として必要な英語運用能力を総合的に高めることを目指す。授業を通して、自律的に英語学習に取り組む姿勢を身につけることも重視する。

授業における到達目標

1	TOEIC® Listening & Reading Test の出題形式および各パートの特徴を理解し、中級レベル（400～600点程度）に必要な基本的解答戦略を用いて問題に取り組むことができる。
2	TOEIC®で頻出する基礎～中級レベルの語彙・文法を習得し、リスニングおよびリーディング問題の内容を正確に把握することができる。
3	日常生活や身近なビジネス場面に関する短い会話・説明文を聞き、要点や必要な情報を理解することができる。
4	比較的平易な英文を制限時間を意識しながら読み、文脈に基づいて内容を理解することができる。
5	身の英語力をTOEIC®スコアを指標として客観的に把握し、英語検定試験や今後の英語学習に主体的に取り組む姿勢を身につけることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・学習振り返りレポート（自己分析・学習計画） ・授業内での学習態度・継続的取り組み	10%
確かな専門的知識や技能	2	・定期試験（TOEIC形式のListening & Readingテスト） ・小テスト（語彙・文法・パート別演習）	40%
異文化知識・対応能力	3	・リスニング演習（会話・アナウンス・ビジネス場面） ・読解問題における状況理解（文化・慣習の把握）	15%
課題解決能力	4	・制限時間付き演習 ・問題解決型課題（設問分析・正答根拠の説明）	20%
キャリアデザイン力	5	・学期末レポート（TOEICスコア目標設定・将来との関連づけ） ・学習ポートフォリオ（任意）	15%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第1回 Unit 1：Travel（名詞） 旅行をテーマとした語彙を通して、TOEIC® L&R Test における名詞の役割を理解し、Listening / Reading の基礎演習を行う。	対面授業	予習（2時間） Unit 1 の語彙（名詞）を確認し、テーマ内容を把握する。 復習（2時間） 授業で扱った問題の復習と名詞の用法整理。
2	2回目	第2回 Unit 2：Meeting（形容詞） 会議を題材に、形容詞の意味・用法を理解し、文脈判断力を養う。	対面授業	予習（2時間） Unit 2 の形容詞を中心に語彙確認。 復習（2時間） 形容詞が意味理解に与える影響を整理。

3	3回目	第3回 Unit 3 : Personnel (副詞・接続副詞) 人事関連の場面を通して、副詞・接続副詞の働きを理解し、文の流れを把握する練習を行う。	対面授業	予習 (2時間) 副詞・接続副詞の基本用法を整理。 復習 (2時間) 文構造と意味の関係を復習。
4	4回目	第4回 Unit 4 : Office (代名詞) オフィス場면을題材に、代名詞が指す内容を正確に読み取る訓練を行う。	対面授業	予習 (2時間) Unit 4 の代名詞用法確認。 復習 (2時間) 指示語の照応関係を中心に復習。
5	5回目	第5回 Unit 5 : Eating Out (時制) 外食場面を通して、時制の違いによる意味変化を理解する。	対面授業	予習 (2時間) 基本時制 (現在・過去・完了) の確認。 復習 (2時間) 時制ミスの原因分析。
6	6回目	第6回 Unit 6 : Advertisement (態) 広告文を題材に、能動態・受動態の使い分けを学ぶ。	対面授業	予習 (2時間) 受動態の基本構文確認。 復習 (2時間) 文の焦点に着目した復習。
7	7回目	第7回 Unit 7 : Review Test 1 Unit 1~6 の内容を確認するレビュー演習。	対面授業	予習 (2時間) Unit 1~6 の語彙・文法総復習。 復習 (2時間) 弱点分野の整理。
8	8回目	第8回 Unit 8 : Event & Workshop (接続詞) イベント・研修場面を通して、接続詞による論理関係を理解する。	対面授業	予習 (2時間) 接続詞の意味と用法確認。 復習 (2時間) 文と文の関係性整理。
9	9回目	第9回 Unit 9 : Daily Life (前置詞) 日常生活を題材に、前置詞の意味の違いを理解する。	対面授業	予習 (2時間) 基本前置詞の整理。 復習 (2時間) 用法の使い分け復習。
10	10回目	第10回 Unit 10 : Shopping (前置詞・接続詞・接続副詞) 買い物場面を通して、複合的な文法要素を統合的に理解する。	対面授業	予習 (2時間) Unit 10 の重要語句整理。 復習 (2時間) 文全体の構造分析。
11	11回目	第11回 Unit 11 : Entertainment & Going Out (分詞) 娯楽・外出場面を通して、分詞構文の基本を学ぶ。	対面授業	予習 (2時間) 現在分詞・過去分詞の確認。 復習 (2時間) 分詞の修飾関係整理。
12	12回目	第12回 Unit 12 : Recruiting (不定詞) 採用場면을題材に、不定詞の用法を理解する。	対面授業	予習 (2時間) to不定詞の基本整理。 復習 (2時間) 用法別整理。
13	13回目	第13回 Unit 13 : Media (動名詞) メディアを題材に、動名詞と不定詞の違いを理解する。	対面授業	予習 (2時間) 動名詞の用法確認。 復習 (2時間) 動詞の後続形式整理。
14	14回目	第14回 Unit 14 : Finance (関係代名詞) 財務関連文書を通して、関係代名詞を用いた情報整理力を養う。	対面授業	予習 (2時間) 関係代名詞の基本構文確認。 復習 (2時間) 修飾関係の再確認。
15	15回目	第15回 Unit 15 : Review Test 2 Unit 8~14 の総まとめと試験対策。	対面授業	予習 (2時間) 後半ユニット総復習。 復習 (2時間) 試験に向けた最終確認。
16	16回目	第16回 期末試験 授業内容 TOEIC® L&R Test 形式による期末試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「Positive Steps To The ToEIC L&R Test」 Mihori Honda, Akiko Komai, 2025, Kinseido	

参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	授業中に指示する。	
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限(その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ		

英語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:14

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC502
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本講義は、「TOEIC Listening & Reading Test」の受験に向けて、問題演習及び解説をメインに実施される。受講生は、講義に際し毎回360分の事前・事後学習を要する。さらに、期末試験の結果(80%)及び毎回の出欠状況(20%)が最終評価のために考慮される。また本講義は、「上級」レベルの受講生を対象として実施される。

授業における到達目標

1	TOEIC L&R Test で600点～730点以上を取ることができるように、毎回の講義に積極的に参加することができる。
2	TOEIC L&R Test ならではの語彙や読解の演習に取り組むことができる。
3	グローバルビジネスにおいて使われる語彙やメールの内容及び会話を理解することができる。
4	難易度の高い語彙や文法に積極的にチャレンジし、定着させることができる。
5	互いに教え合いながら、一緒に課題解決に取り組むことを自主的に行うことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	提示された課題への取り組み / 毎回の出欠確認	10%
確かな専門的知識や技能	2	講義内での問題演習への取り組み / 講義内での解答解説への参加態度	10%
異文化知識・対応能力	3	期末試験の結果	30%
課題解決能力	4	提示された課題への取り組み / 講義内での文法解説への参加態度 / 期末試験の結果	40%
キャリアデザイン力	5	毎回の講義における参加意欲	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験を実施する他、授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス: 講義の目的・進め方の説明 Unit 1: Dining Out	対面授業 (またはオンライン)	シラバスを読んでおく。1時間 残りの問題を解き終える。3時間
2	2回目	Unit 1: Dining Out (前回の残り) Unit 2: Offices	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
3	3回目	Unit 3: General Business	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
4	4回目	Unit 4: Manufacturing	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
5	5回目	Unit 5: Communication	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
6	6回目	Unit 6: Health	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間

7	7回目	Unit 7: Finance and Budgeting	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
8	8回目	Unit 8: Entertainment	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
9	9回目	Unit 9: Purchasing	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
10	10回目	Unit 10: Corporate Development	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
11	11回目	Unit 11: Technical Areas	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
12	12回目	Unit 12: Travel	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
13	13回目	Unit 13: Housing / Corporate Property	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
14	14回目	Unit 14: Personnel	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
15	15回目	全体の復習 試験の説明	対面授業 (またはオンライン)	試験に向けて勉強する。4時間
16	16回目	期末試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST Advanced, 吉塚 弘・Graham Skerritt, 成美堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	特になし	
履修条件	本講義の受講を希望するも場合は、記載のテキストを必ず購入する必要がある。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回とみなす。 毎回テキストを持参して出席すること。 	
オフィスアワー	金戸: 月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ	本講義は、英語検定Ⅱ (上級) として実施される。	

英語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:15

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC502
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、『First Try for the TOEIC L&R Test』および『書いて覚える英語ノート』を使用し、TOEIC 試験対策に必要な基礎的な英語力の習得を目的とする。語彙や文法の基礎を学ぶとともに、書く活動を通して知識の定着を図る。また、TOEIC に頻出する問題形式や出題パターンを理解し、効率的に解答するための基本的なストラテジーを身につけることで、実践的な試験対応力の向上を目指す。

授業における到達目標

1	TOEIC 対策に必要な基本語彙・文法を理解し、運用できる。
2	書く活動を通して、重要表現や文法事項を定着させる。
3	TOEIC の問題形式および頻出パターンを理解する。
4	TOEIC に対応する基本的な解答ストラテジーを習得する。
5	英語力の向上とともに、試験に対する自信を高める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	4,5	授業参加・発言	20%
確かな専門的知識や技能	1,3	クイズ	25%
異文化知識・対応能力	3	リーディング理解	10%
課題解決能力	2,4	宿題・演習	25%
キャリアデザイン力	5	テスト・総合評価	20%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題は授業内または Google Classroom を通して提出すること。 ・提出期限を厳守し、遅れる場合は事前に連絡すること。 ・授業内での演習および積極的な参加を重視する。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス、Unit1-4復習、語彙導入	講義・演習	語彙確認（30分）
2	2回目	Unit 5 Part1、語彙学習	講義・演習	単語復習（30分）
3	3回目	Unit 5 Part2、演習	演習	問題復習（45分）
4	4回目	Unit 5クイズ、Unit6 Part1	テスト・講義	復習（30分）
5	5回目	Unit 6 Part2、演習	演習	単語学習（30分）
6	6回目	Unit 6、クイズ、Unit7 Part1	テスト・講義	復習（45分）
7	7回目	Unit 7 Part2、語彙強化	演習	語彙復習（30分）
8	8回目	Unit7クイズ、Unit8 Part1	テスト・講義	復習（30分）
9	9回目	Unit8 Part2、演習	演習	問題復習（45分）
10	10回目	Unit8クイズ、Unit9 Part1	テスト・講義	復習（30分）
11	11回目	Unit9 Part2、語彙強化	演習	単語復習（45分）
12	12回目	Unit9クイズ、Unit10 Part1	テスト・講義	復習（30分）
13	13回目	Unit10 Part2、演習	演習	問題復習（45分）

14	14回目	Unit10クイズ、総復習 (Unit5-10)	演習	試験対策 (60分)
15	15回目	期末試験	試験	総復習 (90分)
16				授業外学修 9.5時間

その他

科目 (教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	First Try for the TOEIC L&R Test		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	By Robert Hickling		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	Monday (1-3pm)		
備考・メッセージ			

英語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:46

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC302
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

初級担当：中学英語の基礎～標準文法(時制の基礎、be 動詞/一般動詞、疑問詞、進行形、過去・未来、助動詞、There 構文、名詞・代名詞、形容詞・副詞、比較、前置詞、基本接続詞)を、パターンドリルを中心に「理解→反復→運用」のサイクルで定着させます。

授業では、瞬間英作文・音読/シャドーイング・小テスト・短い運用 タスク(ペア/グループ)を組み合わせ、正確さとスピードの両立を目指します。

授業における到達目標

1	中学基礎文法(上記範囲)の要点を理解し、代表パターンで正確な文を自力生成できる。
2	be動詞/一般動詞/進行形/過去・未来/助動詞/比較の基本文型について、肯定・否定・疑問・応答を即時に運用できる。
3	疑問詞・前置詞・接続詞を用いて5～8語程度の簡潔な文を連続して口頭発信できる。
4	音読・シャドーイングを通じて基本的な英語のリズムと発音を改善できる。
5	小テスト・課題で合計60%以上の到達度を示す。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1, 2, 3, 4, 5	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト(毎回):30% 授業内活動・参加(音読、ペア演習、発言):20% 課題・宿題(ドリル指定範囲、録音・自己採点含む):20% 期末試験(筆記+口頭):30% 	100%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 辞書(紙/アプリ)使用可。授業冒頭に5～10分の小テストを行います。
- 1回あたり予習2時間・復習2時間を標準
- 欠席時は、配布するハンドアウト・答案例・音源を確認し、自主学習を行う。
- AI・翻訳ツールの使用は指示範囲のみ

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		オリエンテーション/文の骨格 S/M/O/C/be 動詞 vs. 一般動詞	対面授業	予習 (2時間)：ガイドン ス読了/ 該当ユニット例文各 10 回音読/A 問題半分 復習 (2時間)：A 問題残り +B 問題★/エラーノート開始/ 自己小テスト 10 分
2		be 動詞(肯定・否定・疑問)/人 称・単複	対面授業	予習 (2時間)：例文音読×20 回/ A 問題通し/弱点×モ 復習 (2時間)：B 問題通し/録音→自己採点/10 文暗唱
3		一般動詞現在/三単現 s/頻度副詞	対面授業	予習 (2時間)：例文 20 回 /A 問題 +単語カード 20 枚 復習 (2時間)：B 問題/誤り分析/瞬間英作文 1 分×5 本

4	疑問詞 what/when/where/who/which/how/ 命令文	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /Q 作成 5 題 復習 (2時間) : B 問題/ Q → A 応答 練習/録音 提出
5	現在進行形	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /写真描写準備 復習 (2時間) : B 問題/描写 30 秒×4 本/自己評価
6	過去形(be/一般動詞)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /不規則 10 語暗記 復習 (2時間) : B 問題/1 分スピーチ (昨日の出来事)
7	未来表現(will / be going to)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回/A 問題 /予定表 作成 復習 (2時間) : B 問題/ロールプレイ(予定)/ 録音
8	助動詞 can / must / have to / may(基礎)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /役割語 彙 復習 (2時間) : B 問題/ロールプレイ 台本 → 実演
9	There is/are/some/any/量	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /図解準備 復習 (2時間) : B 問題/描写×4/数・量言い換え
10	名詞・代名詞・所有格/指示代名詞	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /置換表 作成 復習 (2時間) : B 問題/置換トレ/誤り傾向整理
11	形容詞・副詞/語順・修飾	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /並べ替え練習 復習 (2時間) : B 問題/説明文 3 文作成
12	比較級・最上級/as ... as	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /比較表 現収集 復習 (2時間) : B 問題/比較で 30 秒スピーチ ×3
13	前置詞(時間・場所・移動)	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /地図作成 復習 (2時間) : B 問題/案内ロールプレイ録音
14	接続詞 and / but / or / because / so	対面授業	予習 (2時間) : 例文 20 回 /A 問題 /接続練習 復習 (2時間) : B 問題/80 ~100 語パラグラフ草案
15	総合演習(I)	対面授業	予習 (2時間) : 例文通読 /弱点総点検 復習 (2時間) : 模試直し/ エラーノート提出
16	期末試験(I)	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書：英文法パターンドリル 杉山一志 文英堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書：授業中に指示する。	
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限(その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ		

英語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:47

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC302
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義では、英語での読解力を鍛えることに加え、中学・高校時代に学習した文法事項の復習及び活用を目指した内容で展開される。国際時事に関する長文を読み、英語力の向上を図ると同時に、現代社会について考える力を養うことを目指す。毎回の講義の出席に際し、事前・事後学習に360分要する。また本講義は、英語「中級」レベルの受講生を対象として実施される。

授業における到達目標

1	国際時事に関する英語長文を正確に読解し、現代社会の課題について多角的に理解・考察する力を身につける。
2	英語の基礎的かつ重要な文法事項を体系的に理解し、読解およびライティングにおいて正確に運用できる技能を習得する。
3	国際的な時事問題や異文化に関する英文を通して、多様な価値観や文化的背景を理解し、異文化に配慮した視点を持つことができる。
4	英文読解を通じて提示される社会的課題に対し、自らの考えを論理的に整理し、英語で表現する力を養う。
5	グローバル社会において求められる英語運用能力と論理的思考力の重要性を理解し、自身の将来設計と結びつけて主体的に学習に取り組む姿勢を身につける。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	提示された課題への取り組み / 毎回の出欠確認	10%
確かな専門的知識や技能	2	講義内での問題演習への取り組み / 講義内での解答解説への参加態度	10%
異文化知識・対応能力	3	期末試験の結果	30%
課題解決能力	4	提示された課題への取り組み / 講義内での文法解説への参加態度 / 期末試験の結果	40%
キャリアデザイン力	5	毎回の講義における参加意欲	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験を実施する他、授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス: 講義の目的・進め方の説明 Chapter 1: Smokey Bear: A Mascot with a Message (接続詞)	対面授業 (またはオンライン)	シラバスを読んでおく。1時間 残りの問題を解き終える。3時間
2	2回目	Chapter 2: Overtourism is a Problem! (現在形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
3	3回目	Chapter 3: Gender Equality in the Workplace (助動詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
4	4回目	Chapter 4: Changing Definitions of Beauty (進行形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
5	5回目	Chapter 5: Romeo and Juliet: A Tragic Story about Intolerance (過去形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
6	6回目	Chapter 6: Nature and Health (動名詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間

7	7回目	Chapter 7: Golden Years and Silver Divorces (否定文)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
8	8回目	Chapter 8: Trees: A Gift from Nature (不定詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
9	9回目	Chapter 9: Tattoos (前置詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
10	10回目	Chapter 10: Redefining Gender and Marriage (現在完了形)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
11	11回目	Chapter 11: All the Lonely People (使役動詞など)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
12	12回目	Chapter 12: Think Before You Talk, Text, or Tweet (受動態)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
13	13回目	Chapter 13: Jeans Go Global! (関係代名詞・関係副詞)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
14	14回目	Chapter 14: Helping People with Disabilities (比較)	対面授業 (またはオンライン)	残りの問題を解き終える。4時間
15	15回目	全体の復習 試験の説明	対面授業 (またはオンライン)	試験に向けて勉強する。4時間
16	16回目	期末試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	Changing Times, Changing Worlds, Joan McConnell & 山内 圭, 2020年, 成美堂	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	特になし	
履修条件	本講義の受講を希望するも場合は、記載のテキストを必ず購入する必要がある。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回とみなす。 毎回テキストを持参して出席すること。講義の受講を希望するも場合は、記載のテキストを必ず購入する必要がある。 	
オフィスアワー	金戸: 月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ	本講義は、英語 Writing & Grammar I (中級) として実施される。	

英語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:48

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC302
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、語彙力の向上、文法の定着、および英語ライティング力の育成を目的とする。教材として『Score 500』および『金のフレーズ』を使用し、TOEICに必要な語彙や文法表現を学習する。さらに、エッセイやライティング課題に取り組み、自分の考えを英語で正確に表現する力を養う。また、多読活動を通して読解力を高め、総合的な英語運用能力の向上を目指す

授業における到達目標

1	TOEICに必要な基本語彙・表現を理解し、使用できる。
2	英語の基本的な文法を理解し、正確に運用できる。
3	エッセイや課題を通して、自分の考えを英語で論理的に表現できる。
4	英語の文章を読み、内容を理解する力を身につける
5	英語で書くことに対する自信と積極性を高める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	3,5	授業参加・発言	20%
確かな専門的知識や技能	1,2	クイズ	25%
異文化知識・対応能力	4	リーディング課題	10%
課題解決能力	2,3	宿題・ライティング課題	25%
キャリアデザイン力	3	エッセイ・プロジェクト	20%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・課題は授業内または Google Classroom を通して提出すること。 ・提出期限を厳守し、遅れる場合は事前に連絡すること。 ・授業では積極的な参加（発言・活動への参加）を評価対象とする 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス、コース説明、Essay課題説明	講義	シラバス確認（30分）
2	2回目	語彙（1-50）、文法演習	講義・演習	単語学習（30分）
3	3回目	語彙クイズ①、Essay練習	演習	ライティング練習（45分）
4	4回目	語彙（51-100）、文法演習	講義・演習	復習（30分）
5	5回目	語彙クイズ②、演習	演習	単語復習（30分）
6	6回目	語彙（101-150）、Essay添削	演習・ペア活動	下書き作成（60分）
7	7回目	語彙クイズ③、復習、Essay提出	演習	見直し（30分）
8	8回目	語彙（151-200）、Essay2導入	講義・演習	読解（30分）
9	9回目	中間テスト、映像教材	テスト	テスト復習（30分）
10	10回目	語彙総復習（1-200）、演習	演習	単語復習（45分）
11	11回目	語彙（201-250）、Essay例分析	講義・演習	下書き（60分）
12	12回目	語彙クイズ⑤、演習	演習	復習（30分）
13	13回目	語彙（251-300）、Essay添削	演習・ペア活動	修正（45分）

14	14回目	語彙クイズ⑥、総復習	演習	試験対策 (60分)
15	15回目	期末試験	試験	総復習 (90分)
16				授業外学修 10時間

その他

科目 (教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	1. [Score 500] Fill in the Blanks Writing Exercises for the TOEIC L&R Test 2. TOEIC L&R TEST 単特急 金のフレーズ		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	1. By Hayakawa Koji 2. By TEX加藤		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	Monday (1-3pm),		
備考・メッセージ			

英語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/01/13 13:43:08

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC702
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

英語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/01/13 13:43:08

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC702
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

英語演習Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:28

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC602
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、学習、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

① 語学学習パターン

TOEIC や英検などの資格試験対策、苦手な文法事項、発音の改善など、各自の課題や目標に基づいて学習計画および到達目標を設定する。教員の指導のもと、計画に沿って自主的に学習を進め、毎回の授業で進捗状況を教員と確認する。ターム終了時には、設定した目標に対する最終的な達成度についてプレゼンテーションを行う。

② 語学・異文化研究パターン

英語の文法・発音などの言語的テーマ、あるいは英語と他言語との比較、異文化的側面に関するテーマなど、受講者自身の興味・関心に基づいて研究テーマを設定する。教員と相談しながら研究企画書を作成し、調査・研究を行う。ターム終了時には、研究成果をプレゼンテーションとして発表する。

英語演習Ⅱでは、英語演習Ⅰでの研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	自身の英語力や関心に基づいて学習・研究目標を設定し、計画的に取り組むことができる
2	教員の助言を踏まえながら、自主的に学習・研究を継続し、進捗を適切に管理できる
3	英語の文法・発音・言語特徴、または異文化・言語比較に関する専門的知識を深めることができる
4	学習・研究成果を論理的に整理し、わかりやすく口頭発表できる
5	他者の発表を尊重し、質疑応答や意見交換を通して学びを深める姿勢を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性 授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	10%
確かな専門的知識や技能	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
異文化知識・対応能力	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
課題解決能力	2,5	授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	20%
キャリアデザイン力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 			

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	ガイダンス：授業の目的・進め方の説明／ゼミナル形式の理解	対面授業	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナル形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ例の紹介／関心分野の洗い出し／先行研究・調査方法の説明	対面授業	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。
3	3回目	テーマ仮決定／研究計画の立案（目的・方法・資料）	対面授業	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	担当教員への振り分け／個別指導①（テーマ精緻化）	対面授業	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	学習方法、資料収集方法の指導（文献・インターネット・インタビュー等）	対面授業	予習：学習方法や指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えるような情報を整理する。
6	6回目	個別指導②：学習方法、調査内容の整理と方向性確認	対面授業	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	英語表現指導①（テーマに応じた語彙・表現）	対面授業	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	中間まとめ／発表構成の検討	対面授業	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間プレゼンテーション準備	対面授業	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	中間プレゼンテーション（16回中の節目発表）	対面授業	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	フィードバック共有／課題点の整理	対面授業	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	研究の深化／比較・考察の強化	対面授業	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	表現指導②（発表用表現・説明表現）	対面授業	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の原稿を修正する。
14	14回目	最終プレゼンテーション構成作成	対面授業	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	リハーサル・相互評価	対面授業	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	中間プレゼンテーション（英語演習Ⅰの成果発表）	対面授業	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：特になし	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸：月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ		

英語演習Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:29

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC602
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、学習、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

① 語学学習パターン

TOEIC や英検などの資格試験対策、苦手な文法事項、発音の改善など、各自の課題や目標に基づいて学習計画および到達目標を設定する。教員の指導のもと、計画に沿って自主的に学習を進め、毎回の授業で進捗状況を教員と確認する。ターム終了時には、設定した目標に対する最終的な達成度についてプレゼンテーションを行う。

② 語学・異文化研究パターン

英語の文法・発音などの言語的テーマ、あるいは英語と他言語との比較、異文化的側面に関するテーマなど、受講者自身の興味・関心に基づいて研究テーマを設定する。教員と相談しながら研究企画書を作成し、調査・研究を行う。ターム終了時には、研究成果をプレゼンテーションとして発表する。

英語演習Ⅱでは、英語演習Ⅰでの研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	自身の英語力や関心に基づいて学習・研究目標を設定し、計画的に取り組むことができる
2	教員の助言を踏まえながら、自主的に学習・研究を継続し、進捗を適切に管理できる
3	英語の文法・発音・言語特徴、または異文化・言語比較に関する専門的知識を深めることができる
4	学習・研究成果を論理的に整理し、わかりやすく口頭発表できる
5	他者の発表を尊重し、質疑応答や意見交換を通して学びを深める姿勢を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性 授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	10%
確かな専門的知識や技能	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
異文化知識・対応能力	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
課題解決能力	2,5	授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	20%
キャリアデザイン力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	ガイダンス：授業の目的・進め方の説明／ゼミナル形式の理解	対面授業	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナル形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ例の紹介／関心分野の洗い出し／先行研究・調査方法の説明	対面授業	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。
3	3回目	テーマ仮決定／研究計画の立案（目的・方法・資料）	対面授業	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	担当教員への振り分け／個別指導①（テーマ精緻化）	対面授業	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	学習方法、資料収集方法の指導（文献・インターネット・インタビュー等）	対面授業	予習：学習方法や指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えるような情報を整理する。
6	6回目	個別指導②：学習方法、調査内容の整理と方向性確認	対面授業	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	英語表現指導①（テーマに応じた語彙・表現）	対面授業	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	中間まとめ／発表構成の検討	対面授業	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間プレゼンテーション準備	対面授業	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	中間プレゼンテーション（16回中の節目発表）	対面授業	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	フィードバック共有／課題点の整理	対面授業	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	研究の深化／比較・考察の強化	対面授業	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	表現指導②（発表用表現・説明表現）	対面授業	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の原稿を修正する。
14	14回目	最終プレゼンテーション構成作成	対面授業	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	リハーサル・相互評価	対面授業	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	中間プレゼンテーション（英語演習Ⅰの成果発表）	対面授業	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：特になし	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸：月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ		

英語演習Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:30

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC602
担当教員	Trininio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、学習、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

① 語学学習パターン

TOEIC や英検などの資格試験対策、苦手な文法事項、発音の改善など、各自の課題や目標に基づいて学習計画および到達目標を設定する。教員の指導のもと、計画に沿って自主的に学習を進め、毎回の授業で進捗状況を教員と確認する。ターム終了時には、設定した目標に対する最終的な達成度についてプレゼンテーションを行う。

② 語学・異文化研究パターン

英語の文法・発音などの言語的テーマ、あるいは英語と他言語との比較、異文化的側面に関するテーマなど、受講者自身の興味・関心に基づいて研究テーマを設定する。教員と相談しながら研究企画書を作成し、調査・研究を行う。ターム終了時には、研究成果をプレゼンテーションとして発表する。

英語演習Ⅱでは、英語演習Ⅰでの研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	自身の英語力や関心に基づいて学習・研究目標を設定し、計画的に取り組むことができる
2	教員の助言を踏まえながら、自主的に学習・研究を継続し、進捗を適切に管理できる
3	英語の文法・発音・言語特徴、または異文化・言語比較に関する専門的知識を深めることができる
4	学習・研究成果を論理的に整理し、わかりやすく口頭発表できる
5	他者の発表を尊重し、質疑応答や意見交換を通して学びを深める姿勢を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性 授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	10%
確かな専門的知識や技能	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
異文化知識・対応能力	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
課題解決能力	2,5	授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	20%
キャリアデザイン力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	ガイダンス：授業の目的・進め方の説明／ゼミナル形式の理解	対面授業	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナル形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ例の紹介／関心分野の洗い出し／先行研究・調査方法の説明	対面授業	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。
3	3回目	テーマ仮決定／研究計画の立案（目的・方法・資料）	対面授業	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	担当教員への振り分け／個別指導①（テーマ精緻化）	対面授業	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	学習方法、資料収集方法の指導（文献・インターネット・インタビュー等）	対面授業	予習：学習方法や指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えるような情報を整理する。
6	6回目	個別指導②：学習方法、調査内容の整理と方向性確認	対面授業	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	英語表現指導①（テーマに応じた語彙・表現）	対面授業	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	中間まとめ／発表構成の検討	対面授業	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間プレゼンテーション準備	対面授業	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	中間プレゼンテーション（16回中の節目発表）	対面授業	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	フィードバック共有／課題点の整理	対面授業	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	研究の深化／比較・考察の強化	対面授業	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	表現指導②（発表用表現・説明表現）	対面授業	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の原稿を修正する。
14	14回目	最終プレゼンテーション構成作成	対面授業	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	リハーサル・相互評価	対面授業	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	中間プレゼンテーション（英語演習Ⅰの成果発表）	対面授業	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：特になし	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸：月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ		

英語演習Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:31

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC802
担当教員	金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

英語演習Ⅱでは、英語演習Ⅰでの研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	英語に関するテーマを自ら設定し、調査・考察できる
2	英語および関連する他言語・文化への理解を深める
3	調査結果を論理的に整理し、英語（または日本語を補助的に用いて）発表できる
4	プレゼンテーション能力・質疑応答能力を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1, 4	授業・ゼミ活動への参加度 ディスカッション・発表準備への主体的関与 プレゼンテーション時の態度、協働姿勢	30%
確かな専門的知識や技能	2, 3	英語・関連言語および文化に関する理解度 調査内容の論理構成、英語運用力 発表資料（スライド・原稿等）の完成度	30%
異文化知識・対応能力	2	英語・関連言語および文化に関する理解度 調査内容の論理構成、英語運用力 発表資料（スライド・原稿等）の完成度	15%
課題解決能力	1, 3	言語と文化を関連づけた調査・考察 異文化的視点を踏まえた発表内容	15%
キャリアデザイン力	4	発表・質疑応答における説明力・対話力 他者の意見を踏まえた応答姿勢	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス：英語演習Ⅰからの継続・新規テーマ確認	対面	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナール形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ再設定・研究計画の再構築	対面	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。

3	3回目	担当教員決定／個別指導①	対面	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	調査方法の再確認／高度化（比較・分析）	対面	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	個別指導②：資料分析	対面	予習：指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えそうな情報を整理する。
6	6回目	英語表現指導①（専門的・説明的表現）	対面	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	研究途中報告／ディスカッション	対面	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	プレゼン構成案作成	対面	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間チェック（非公式発表）	対面	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	個別指導③：論理構成の強化	対面	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	英語表現指導②（質疑応答対策）	対面	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	最終プレゼンテーション資料作成	対面	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	リハーサル①	対面	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の英語原稿を修正する。
14	14回目	リハーサル②／相互評価	対面	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	最終調整	対面	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	最終プレゼンテーション（英語演習Ⅱの成果発表）	対面	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸： 口ニー：
備考・メッセージ	

英語演習Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:32

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC802
担当教員	Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

英語演習Ⅱでは、英語演習Ⅰでの研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	英語に関するテーマを自ら設定し、調査・考察できる
2	英語および関連する他言語・文化への理解を深める
3	調査結果を論理的に整理し、英語（または日本語を補助的に用いて）発表できる
4	プレゼンテーション能力・質疑応答能力を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1, 4	授業・ゼミ活動への参加度 ディスカッション・発表準備への主体的関与 プレゼンテーション時の態度、協働姿勢	30%
確かな専門的知識や技能	2, 3	英語・関連言語および文化に関する理解度 調査内容の論理構成、英語運用力 発表資料（スライド・原稿等）の完成度	30%
異文化知識・対応能力	2	英語・関連言語および文化に関する理解度 調査内容の論理構成、英語運用力 発表資料（スライド・原稿等）の完成度	15%
課題解決能力	1, 3	言語と文化を関連づけた調査・考察 異文化的視点を踏まえた発表内容	15%
キャリアデザイン力	4	発表・質疑応答における説明力・対話力 他者の意見を踏まえた応答姿勢	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス：英語演習Ⅰからの継続・新規テーマ確認	対面	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナール形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ再設定・研究計画の再構築	対面	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。

3	3回目	担当教員決定／個別指導①	対面	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	調査方法の再確認／高度化（比較・分析）	対面	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	個別指導②：資料分析	対面	予習：指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えそうな情報を整理する。
6	6回目	英語表現指導①（専門的・説明的表現）	対面	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	研究途中報告／ディスカッション	対面	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	プレゼン構成案作成	対面	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間チェック（非公式発表）	対面	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	個別指導③：論理構成の強化	対面	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	英語表現指導②（質疑応答対策）	対面	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	最終プレゼンテーション資料作成	対面	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	リハーサル①	対面	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の英語原稿を修正する。
14	14回目	リハーサル②／相互評価	対面	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	最終調整	対面	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	最終プレゼンテーション（英語演習Ⅱの成果発表）	対面	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書：特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸： 口ニー：	
備考・メッセージ		

英語演習 II

更新日：2026/05/26 20:59:33

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC802
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、従来の講義型授業から転換し、学生主体のゼミナール形式で行う英語演習である。学生は、英語に関連する自らの関心・課題に基づいてテーマを設定し、学習、調査・考察を行う。教員はファシリテーターとして助言・指導を行い、学生の主体的学習と発信力の育成を目指す。最終的には、プレゼンテーションを通して研究成果を共有する。

① 語学学習パターン

TOEIC や英検などの資格試験対策、苦手な文法事項、発音の改善など、各自の課題や目標に基づいて学習計画および到達目標を設定する。教員の指導のもと、計画に沿って自主的に学習を進め、毎回の授業で進捗状況を教員と確認する。ターム終了時には、設定した目標に対する最終的な達成度についてプレゼンテーションを行う。

② 語学・異文化研究パターン

英語の文法・発音などの言語的テーマ、あるいは英語と他言語との比較、異文化的側面に関するテーマなど、受講者自身の興味・関心に基づいて研究テーマを設定する。教員と相談しながら研究企画書を作成し、調査・研究を行う。ターム終了時には、研究成果をプレゼンテーションとして発表する。

英語演習 II では、英語演習 I での研究を発展・継続することも、新たなテーマに挑戦することも可能とする。

授業における到達目標

1	自身の英語力や関心に基づいて学習・研究目標を設定し、計画的に取り組むことができる
2	教員の助言を踏まえながら、自主的に学習・研究を継続し、進捗を適切に管理できる
3	英語の文法・発音・言語特徴、または異文化・言語比較に関する専門的知識を深めることができる
4	学習・研究成果を論理的に整理し、わかりやすく口頭発表できる
5	他者の発表を尊重し、質疑応答や意見交換を通して学びを深める姿勢を身につける

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性 授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	10%
確かな専門的知識や技能	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
異文化知識・対応能力	3,4	調査内容・学習成果の質、資料の適切性 期末プレゼンテーション（構成、内容、表現）	30%
課題解決能力	2, 5	授業内での進捗報告、学習記録、取り組み姿勢 授業内での発言、質問、ディスカッションへの貢献	20%
キャリアデザイン力	1	学習計画書／研究企画書の内容と妥当性	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 			

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	ガイダンス：英語演習Ⅰからの継続・新規テーマ確認	対面	予習（2時間）：シラバスを事前に読み、授業の目的・評価方法を確認する。自身の関心のある英語・国際分野について簡単に書き出す。復習（2時間）：授業内容を振り返り、ゼミナール形式で求められる学習姿勢について整理する。
2	2回目	テーマ再設定・学習計画/研究計画の再構築	対面	予習：提示されたテーマ例に関連する簡単な情報を英語・日本語で調べる。復習：関心分野を整理し、候補となるテーマを2～3案まとめる。
3	3回目	担当教員決定/個別指導①	対面	予習：テーマ候補について背景や先行事例を調べる。復習：研究目的・方法・使用資料を文章化し、研究計画案を完成させる。
4	4回目	学習計画、調査方法の再確認/高度化（比較・分析）	対面	予習：研究計画案を読み返し、質問点を整理する。復習：指導内容を踏まえ、テーマや計画を修正する。
5	5回目	個別指導②：学習内容、資料分析	対面	予習：指定された文献・ウェブ資料に目を通す。復習：実際に文献・資料を収集し、使えそうな情報を整理する。
6	6回目	表現指導①（専門的・説明的表現）	対面	予習：収集した資料を要約して持参する。復習：調査内容を整理し、研究の方向性を明確にする。
7	7回目	学習・研究途中報告/ディスカッション	対面	予習：自分のテーマに関連する英語表現を調べる。復習：学んだ表現を用いて短い説明文を作成する。
8	8回目	プレゼン構成案作成	対面	予習：これまでの調査内容を整理する。復習：中間発表用の構成案を作成する。
9	9回目	中間チェック（非公式発表）	対面	予習：発表原稿・スライド案を作成する。復習：発表練習を行い、改善点を洗い出す。
10	10回目	個別指導③：学習進捗、論理構成の強化	対面	予習：最終確認と発表練習を行う。復習：フィードバックを整理し、課題点を明確にする。
11	11回目	表現指導②（質疑応答対策）	対面	予習：自身の課題点を再確認する。復習：研究内容を修正・補強する。
12	12回目	最終プレゼンテーション資料作成	対面	予習：比較対象や追加資料を調べる。復習：考察部分を文章化する。
13	13回目	リハーサル①	対面	予習：発表で使う表現を調べる。復習：最終発表用の英語原稿を修正する。
14	14回目	リハーサル②/相互評価	対面	予習：発表構成を再確認する。復習：スライド・原稿を完成させる。
15	15回目	最終調整	対面	予習：通し練習を行う。復習：相互評価を踏まえ修正する。
16	16回目	最終プレゼンテーション（英語演習Ⅱの成果発表）	対面	予習：最終確認。復習：学習成果を振り返り、レポートをまとめる。
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書：特になし	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書：学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸：月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 口ニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ		

中国語基礎Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:40

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC104
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	☑
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	☑
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	☑
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	☑
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	☑
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	☑

授業概要

本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。HSK3級における文や単語を正確に聞き取り、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

授業における到達目標

1	・中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。
2	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。・日常会話で使う漢字を書くことができる。
3	・中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。・中国語の検定、HSK1級に合格ができる。
4	・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。・自分の意思を相手に伝えることができる。・中国語で自己紹介ができる。
5	・中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。・中国の流行について理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・授業態度・授業や演習への参加度	5%
確かな専門的知識や技能	2	・定期試験	30%
異文化知識・対応能力	3	・課題レポート	5%
課題解決能力	4	・発表 ・小テスト	20% 20%
キャリアデザイン力	5	・中間試験	20%
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・授業の流れと中国語について簡単な説明 1.HSKについて紹介 2.語学力の確認 3.基礎な知識復習	対面授業	予習：教科書の構成を把握する。(1.5時間) 復習：高校で学んだ文法を復習する。(2.5時間)
2	2回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3	3回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

4	4回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
5	5回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (4時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	中国語基礎Ⅱ・Ⅲを履修したこと
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。

備考・メッセージ

1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう!また、また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう!

中国語基礎Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:41

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC104
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は中国語初級者を対象としている。中国語の基礎である声調やピンインを学んだ上、日常会話や基礎文法を習得し、中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことが身につく、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、前期終了時には中国語の検定であるHSK（漢語水平考試）1級に合格ができる。

授業における到達目標

1	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。
2	ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。
3	簡単な日常会話を聞く、話すことができる。
4	日常会話で使う漢字を書くことができる。
5	中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。
6	中国語の検定、HSK1級に合格できる。
7	自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。
8	自分の意思を相手に伝えることができる。
9	中国語で自己紹介ができる。
10	中国の文化や歴史、習慣などを習得することができる。
11	中国の流行について理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度・授業や演習への参加度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験	30
異文化知識・対応能力	5,6	課題レポート	5
課題解決能力	7,8,9	発表・小テスト	20
			20
キャリアデザイン力	10,11	中間試験	20
合計			100

補足事項

小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第9回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験（30%）は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート（5%）授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表（20%）は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度（5%）は、出席回数や授業中の私語などで評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・授業の流れと中国語について簡単な説明 ・声調、ピンインについての説明および発音のコツ	対面授業	予習：教科書の構成を把握する（2h） 復習：声調（2h）
2	2回目	ピンイン①・単母音、子音	対面授業	予習：母音（単母音）、子音（2h） 復習：単母音、子音（2h）
3	3回目	ピンイン②複母音、声調	対面授業	予習：母音（2h） 復習：母音、軽声（2h）

4	4回目	知って便利な呼び方・挨拶	対面授業	予習：P10～11 (2h) 復習：挨拶 (P11) (2h)
5	5回目	第1課 自己紹介① ・文法 (人称代名詞、是、呢、也、请)	対面授業	予習：文法 (P13) (2h) 復習：文法 (P13) (2h)
6	6回目	第1課 自己紹介② ・会話、リスニング1	対面授業	予習：会話、リスニング1 (2h) 復習：会話 (2h)
7	7回目	第2課 これは何ですか① ・文法 (指示代名詞、疑問詞を表す吗、否定を表す不、疑問詞什么、的)	対面授業	予習：文法 (P17) 復習：文法 (P17)
8	8回目	第2課 これは何ですか② ・会話、リスニング2	対面授業	予習：会話、リスニング (2h) 復習：会話 (2h)
9	9回目	第1～8回目のまとめ	対面授業	予習：第1～8回目の内容 (2h) 復習：中間テストで間違ったところ (2h)
10	10回目	第3課 これはいかがですか① ・文法 (指示代名詞2、形容詞述語文、疑問詞怎么样)	対面授業	予習：文法 (p21) (2h) 復習：文法 (p21) (2h)
11	11回目	第3課 これはいかがですか② ・会話、リスニング3	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
12	12回目	第4課 買い物① ・数詞 ・文法 (助詞吧、数量を表すい語)	対面授業	予習：数詞、文法 (P25) (2h) 復習：数詞、文法 (2h)
13	13回目	第4課 買い物② ・会話、リスニング4	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
14	14回目	第5課 どこにありますか① ・文法 (場所指示代名詞、動詞在、助動詞想)	対面授業	予習：文法 (P29) (2h) 復習：文法 (2h)
15	15回目	第5課 どこにありますか② ・会話、リスニング4 ・総まとめ	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：今までのノートやプリントを見直す (2h)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』 白水社	9.78456E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	郭春貴・郭久美子 『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙 1～4級』 白帝社	978-4-86398-070-9
履修条件	初級者であること	
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、一回の欠席と見做す。	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
備考・メッセージ	継続は力なり	

中国語基礎Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:42

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC105
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は中国語基礎Ⅰの続きであるため、中国語基礎Ⅰを履修したことを条件とする。

授業では、中国語の中下級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK3級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回口頭試験を行う。また、後期終了時には中国語の検定であるHSKK（中国語口頭試験）初級に合格ができる。

授業における到達目標

1	・様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。・自分の意思を相手に伝えることができる。
2	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りが確実に身につくことができる。・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。・日常会話で使う漢字を書くことができる。
3	・中国の文化や歴史、習慣などを習得することができる。・中国の流行について理解することができる。
4	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・発表 ・会話テスト	20% 20%
確かな専門的知識や技能	2	・定期試験	40%
異文化知識・対応能力	3	・課題レポート	10%
課題解決能力	4	・中間試験	10%
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・オリエンテーション 1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習（HSKK初級） 4.口頭試験	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2	2回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習（HSKK初級） 4.口頭試験	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

3	3回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
4	4回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
5	5回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
16		定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。 ★HSKKに関する参考書 中国教育部中外語言交流合作中心『中国語検定公式過去問集口試2021年 度』株式会社スプリックス	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	中国語基礎Ⅰ・Ⅲを履修したこと	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！	
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。	
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK 4級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう！	

中国語基礎Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:43

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC105
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は中国語基礎Ⅰの続きであるため、中国語基礎Ⅰを履修したことを条件とする。中国語の基礎である声調やピンインを確実に身につけた上、さらなる難易度が高い単語、会話、文法を習得する。中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことがさらに上達し、様々な場面において、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、後期終了時には中国語の検定であるHSK（漢語水平考試）2級に合格ができる。

授業における到達目標

1	様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。
2	自分の意思を相手に伝えることができる。
3	ピンインや声調の読み、書き、聞き取りが確実に身につくことができる。
4	簡単な日常会話を聞く、話すことができる。
5	日常会話で使う漢字を書くことができる。
6	中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。
7	中国の流行について理解することができる。
8	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1,2	発表 小テスト	20 20
確かな専門的知識や技能	3,4,5	定期試験	40
異文化知識・対応能力	6,7	課題レポート	10
課題解決能力	8	中間試験	10
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(10%)は、第8回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(10%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認をする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 中国語基礎Ⅱの学習内容	対面授業	予習：中国語基礎Ⅰで学習した文法(2h) 復習：確認テストで間違ったところ(2h)
2	2回目	第6課 何がありますか①	対面授業	予習：文法(P33)(2h) 復習：文法(2h)
3	3回目	第6課 何がありますか②	対面授業	予習：会話(2h) 復習：会話(2h)
4	4回目	第7課 ホテルにチェックイン①	対面授業	予習：文法(P37)(2h) 復習：文法(2h)
5	5回目	第7課 ホテルにチェックイン②	対面授業	予習：会話(2h) 復習：会話(2h)

6	6回目	第8課 何時に行きますか①	対面授業	予習：文法 (P41) (2h) 復習：文法 (2h)
7	7回目	第8課 何時に行きますか②	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
8	8回目	第6課から第8課のまとめ	対面授業	予習：第6～8課の文法、会話 (2h) 復習：中間テストの再確認 (2h)
9	9回目	第9課 タクシーに乗る①	対面授業	予習：文法 (P45) (2h) 復習：文法 (2h)
10	10回目	第9課 タクシーに乗る②	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
11	11回目	第10課 試着と支払い①	対面授業	予習：文法 (P49) (2h) 復習：文法 (2h)
12	12回目	第10課 試着と支払い②	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
13	13回目	第11課 苦情を訴える	対面授業	予習：文法 (P53) (2h) 復習：文法、会話 (2h)
14	14回目	第12課 紛失届を出す	対面授業	予習：文法 (P57) (2h) 復習：文法、会話 (2h)
15	15回目	総まとめ	対面授業	予習：今までのノートやプリントに目を通す (2h) 復習：試験に備え勉強する (2h)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』白水社	9.78456E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	郭春貴・郭久美子 『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙 1～4級』白帝社	978-4-86398-070-9
履修条件	中国語基礎Ⅰを履修していること	
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、1回の欠席と見做す。 質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
オフィスアワー	授業の前後で対応します	
備考・メッセージ	継続は力なり	

中国語基礎Ⅲ

更新日：2026/05/26 20:59:44

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC106
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語基礎Ⅰ・Ⅱの学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単に直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第6回まではHSK3級の聞き取りを中心に行い、第7回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。

授業における到達目標

1	・様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。・自分の意思を相手に伝えることができる。
2	・ピンインを正確に発音できる。・一つの文を一息で発音できる。・HSK3級の聞き取り問題に合格（正答率6割）できる。・HSK3級の読解問題に合格（正答率6割）できる。
3	・中国百科検定の問題に合格できる
4	・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。・自分の意思を相手に伝えることができる。・中国語で自己紹介ができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・発表 ・小テスト	20% 20%
確かな専門的知識や技能	2	・発音練習 ・定期試験	10% 30%
異文化知識・対応能力	3	・百科問題理解度	10%
課題解決能力	4	・課題提出	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
2	2回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)

3	3回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
4	4回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
5	5回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
6	6回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課～第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
7	7回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
8	8回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
9	9回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
10	10回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
11	11回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
12	12回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
13	13回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
14	14回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
15	15回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
教科書	教員が作成したものを配布します。(主に以下の教科書を参考) ★教科書：HSK 3級 ①相原茂著 『Whyに答えるはじめての中国語の文法書』 同学社 ②劉穎・喜多山幸子・松田かの子 『1冊目の中国語 会話クラス』 白水社 ③宮岸雄介 『中国語検定HSK公認テキスト3級』 株式会社スプリックス ④郭春貴・郭久美子 『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙1～4級』 白帝社 ★参考書：中国百科検定 ①日中中国友好協会 『中国百科検定問題集』 めこん社 ②日中中国友好協会 『中国百科－未来の為に中国を知る』 めこん社	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	中国語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したこと	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！	
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。	
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK 4級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう！	

中国語基礎Ⅲ

更新日：2026/05/26 20:59:45

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC106
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は中国語初級者を対象としている。中国語の基礎である声調やピンインを学んだ上、日常会話や基礎文法を習得し、中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことが身につく、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、前期終了時には中国語の検定であるHSK（漢語水平考試）1級に合格ができる。

授業における到達目標

1	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。
2	ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。
3	簡単な日常会話を聞く、話すことができる。
4	日常会話で使う漢字を書くことができる。
5	中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。
6	中国語の検定、HSK1級に合格できる。
7	自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。
8	自分の意思を相手に伝えることができる。
9	中国語で自己紹介ができる。
10	中国の文化や歴史、習慣などを習得することができる。
11	中国の流行について理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度・授業や演習への参加度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験	30
異文化知識・対応能力	5,6	課題レポート	5
課題解決能力	7,8,9	発表・小テスト	20 20
キャリアデザイン力	10,11	中間試験	20
合計			100

補足事項

小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第9回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験（30%）は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート（5%）授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表（20%）は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度（5%）は、出席回数や授業中の私語などで評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・授業の流れと中国語について簡単な説明 ・声調、ピンインについての説明および発音のコツ	対面授業	予習：教科書の構成を把握する（2h） 復習：声調（2h）
2	2回目	ピンイン①・単母音、子音	対面授業	予習：母音（単母音）、子音（2h） 復習：単母音、子音（2h）
3	3回目	ピンイン②複母音、声調	対面授業	予習：母音（2h） 復習：母音、轻声（2h）

4	4回目	知って便利な呼び方・挨拶	対面授業	予習：P10～11 (2h) 復習：挨拶 (P11) (2h)
5	5回目	第1課 自己紹介① ・文法 (人称代名詞、是、呢、也、请)	対面授業	予習：文法 (P13) (2h) 復習：文法 (P13) (2h)
6	6回目	第1課 自己紹介② ・会話、リスニング1	対面授業	予習：会話、リスニング1 (2h) 復習：会話 (2h)
7	7回目	第2課 これは何ですか① ・文法 (指示代名詞、疑問詞を表す吗、否定を表す不、疑問詞什么、的)	対面授業	予習：文法 (P17) 復習：文法 (P17)
8	8回目	第2課 これは何ですか② ・会話、リスニング2	対面授業	予習：会話、リスニング (2h) 復習：会話 (2h)
9	9回目	第1～8回目のまとめ	対面授業	予習：第1～8回目の内容 (2h) 復習：中間テストで間違ったところ (2h)
10	10回目	第3課 これはいかがですか① ・文法 (指示代名詞2、形容詞述語文、疑問詞怎么样)	対面授業	予習：文法 (p21) (2h) 復習：文法 (p21) (2h)
11	11回目	第3課 これはいかがですか② ・会話、リスニング3	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
12	12回目	第4課 買い物① ・数詞 ・文法 (助詞吧、数量を表すい語)	対面授業	予習：数詞、文法 (P25) (2h) 復習：数詞、文法 (2h)
13	13回目	第4課 買い物② ・会話、リスニング4	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：会話 (2h)
14	14回目	第5課 どこにありますか① ・文法 (場所指示代名詞、動詞在、助動詞想)	対面授業	予習：文法 (P29) (2h) 復習：文法 (2h)
15	15回目	第5課 どこにありますか② ・会話、リスニング4 ・総まとめ	対面授業	予習：会話 (2h) 復習：今までのノートやプリントを見直す (2h)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』 白水社	9.78456E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	郭春貴・郭久美子 『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙 1～4級』 白帝社	978-4-86398-070-9
履修条件	初級者であること	
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、一回の欠席と見做す。	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
備考・メッセージ	継続は力なり	

中国語会話Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:02:13

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC303
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主にHSK3級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。

また、日常的な話題について流暢にコミュニケーションが行なえるようになるため、HSKK「汉语水平口语考试 Hànyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の初級・中級に挑戦する。なお、毎回グループ発表を行う。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.4.HSKK初級の問題に対応できる
---	---

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	10% 10% 60% 20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2	2回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3	3回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

4	4回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
5	5回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16	16回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	対面授業	授業外学修 15時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。	【参考書】ISBN
履修条件		

履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時 受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!また、また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう!

中国語会話Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:02:14

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC303
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

中国語の基本である発声（ピンインを習得した上で、講義では文法と会話を交互に学習し、中国語の日常会話に必要な単語や基本文法を学ぶ。本講義終了時、中国語で、自己紹介や日常会話ができる。また、中国語検定1級に合格することができる。

授業における到達目標

1	中国語を学ぶと同時に、中国の文化を理解することができる。
2	中国語の発音を正確にできる。
3	文法を使って簡単な文が書ける。
4	簡単な日常会話ができる。
5	簡単な自己紹介を書いたり、発表したりすることができる。
6	中国の方と交流ができることを理解し、積極的に学習することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 小テスト	60 5
異文化知識・対応能力	4	積極的に中国語で発話する	10
課題解決能力	5	グループディスカッション	10
キャリアデザイン力	6	出席率及び授業態度	10
合計			100

補足事項

- ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。
- ・毎回予習、復習を必ずする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業の進め方、中国語についての簡単な説明	対面授業	予習：シラバスを確認する（0.5時間） 復習：日常生活の中で、知っている中国語をまとめる（0.5時間）
2	2回目	声調と単母音を学習する	対面授業	予習：中国語の発音のイメージについて考えてみる（0.5時間） 復習：声調と単母音の発音を練習する（0.5時間）
3	3回目	複母音と子音について学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：複母音と子音の発音を練習する（0.5時間）
4	4回目	そり舌音と鼻音を伴う母音を学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：そり舌音と鼻音を伴う母音の発音を練習する（0.5時間）

5	5回目	軽声、R化、声調変化、数字を学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：・軽声、R化、声調変化を理解し、数字の発音を練習する（0.5時間）
6	6回目	1) 人称代名詞 2) 名詞述語文 3) 動詞述語文 4) “吗”の疑問文 5) 副詞“也”“都” 名詞の修飾語①	対面授業	予習：人称代名詞や品詞についてまとめる（0.5時間） 復習：人称名詞を暗記する、学習した文法を使って簡単な文を書く練習する（0.5時間）
7	7回目	簡単な単語を使い、挨拶する文を学習する	対面授業	予習：第一課で学んだ単語を暗記する、挨拶で何を伝えたいのかを考える（0.5時間） 復習：授業中に指定した文を暗唱する（0.5時間）
8	8回目	1) 形容詞述語文 2) 指示詞“这”“那” 3) 疑問詞“谁”“什么”“哪个” 4) “吧”の用法 “的”の省略	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く（0.5時間）
9	9回目	前回学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に指定した文を暗唱する（0.5時間）
10	10回目	1) 所有を表す“有” 2) 反復疑問文 3) 量詞 年月日・曜日・時刻の表し方	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く（0.5時間）
11	11回目	前回学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に指定した文を暗唱する（0.5時間）
12	12回目	1) 場所指示名詞“这儿”“那儿”“哪儿” 2) 方位詞 3) 存在を表す“有”“在” 4) 疑問詞“怎么” 連動文	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く（0.5時間）
13	13回目	前回学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に指定した文を暗唱する（0.5時間）
14	14回目	1) 疑問詞“几”“多少” 2) 程度を訪ねる“多” 3) 時間の表し方 4) 前置詞“在” 5) 前置詞“从”“到”“离”“往” “呢”の疑問詞	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：授業中に学んだ文法を使って、単語5つ以上を使って、文を書く（0.5時間）
15	15回目	今まで学んだ文法や会話を総まとめする	対面授業	予習：事前に配布したプリントを確認する（0.5時間） 復習：今まで学んだことを整理する（0.5時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 15時間

その他

科目（教職課程用）					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等					
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項					
教科書	<table border="1"> <tr> <td>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</td> <td>【教科書】ISBN</td> </tr> <tr> <td>八木章好・鄭麗媚著（2014）『おぼえチャイナ1』朝日出版社</td> <td>978425545239-5</td> </tr> </table>	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	八木章好・鄭麗媚著（2014）『おぼえチャイナ1』朝日出版社	978425545239-5
【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN				
八木章好・鄭麗媚著（2014）『おぼえチャイナ1』朝日出版社	978425545239-5				
参考書	<table border="1"> <tr> <td>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</td> <td>【参考書】ISBN</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN		
【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN				
履修条件					
履修上の注意	グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。				
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。				
備考・メッセージ	毎回出席する。授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。積極的に留学生と会話する。				

中国語会話Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:02:15

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC704
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を觀賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。

また、自分の考えを中国語で表現できるようになり、中国語で中国語を母国語とする者と流暢にコミュニケーションがとれるようになるため、HSKK「汉语水平口语考试Hanyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の中級・高級に挑戦する。なお、グループ発表等も行なう。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK 4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.HSKK中級・高級の問題をリスニングし・正確に復唱や回答ができるようになる。
---	---

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 課題提出 定期試験 グループ発表 	10% 10% 50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第二課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
2	2回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第三課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
3	3回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第四課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）

4	4回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第五課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
5	5回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第六課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
6	6回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第七課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
7	7回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：中間テストの勉強をすること（2時間）
8	8回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：テストで分からないところを再復習する（2時間） 予習：第八課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
9	9回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第九課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
10	10回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十課の会話を熟読しておくこと（2時間）
11	11回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十一課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
12	12回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十二課の会話を熟読しておくこと（2時間）
13	13回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十三課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
14	14回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十四課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
15	15回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習：今までの配布資料やノートを見直すこと（4時間）
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと 	
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。	

備考・メッセージ

2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう

中国語会話Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:02:16

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC704
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は、中国語会話Ⅰで学習した内容を基礎とし、さらなるレベルアップすることを目的とする。講義では、授業内容に合わせて、中国の文化や習慣などを紹介し、より一層、中国について理解することができる。

授業における到達目標

1	日常会話を中国語で聞く、伝えるようになる。
2	正確な発音ができる。
3	学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。
4	様々な場面において、相手と中国語で、簡単なコミュニケーションができる。
5	簡単な文を書くことができる。
6	課題に取り組むことができる。
7	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加 授業態度	5 5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期テスト	60
異文化知識・対応能力	4	グループディスカッションへの参加	10
課題解決能力	5,6	小テスト	10
キャリアデザイン力	7	課題や宿題	10
合計			100

補足事項

- ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。
- ・予習、復習を必ずする

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第一課 中国人の主食—北方和南方 本文 文法 中国の料理の種類と各地料理の特徴 若者の飲食について	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第二課の文型や分からない単語などを調べておくこと（2時間）
2	2回目	第二課 中国人的饮食习惯 会話 文法 中国人の飲食習慣の昔と現在の違いについて	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第三課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
3	3回目	第三課 送禮的讲究 本文 文法 中国人の付き合い方について	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第四課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）

4	4回目	第四課 大学生心目中的理想职业 本文 文法 若者の就職事情	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第五課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
5	5回目	第五課 “中国式”結婚 本文 文法 中国人の恋愛と婚姻	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第六課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
6	6回目	第六課 対双职工家庭 本文 文法	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第七課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
7	7回目	第七課 中国人的称呼---辈分和面子 本文 文法 中国人の上下関係と呼称	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：中間テストの勉強をすること（2時間）
8	8回目	中間テスト	対面授業	復習：テストで分からないところを再復習する（2時間） 予習：第八課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
9	9回目	第八課 我会唱中文歌 本文 文法	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第九課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
10	10回目	第九課 中国概况 会話 本文 文法 中国の名称、国歌、民族について	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十課の会話を熟読しておくこと（2時間）
11	11回目	第十課 中国的节日 会話 本文 文法 中国の祝祭日について	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十一課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
12	12回目	第十一課 中国人一生中经历的几种仪式 会話 本文 文法	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十二課の会話を熟読しておくこと（2時間）
13	13回目	第十二課 80后和90后 会話 本文 文法	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十三課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
14	14回目	第十三課 电影<<少林寺>> 会話 本文 文法 中国の武術について	対面授業	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと（2時間） 予習：第十四課の分からない単語などを調べておくこと（2時間）
15	15回目	第十四課 看京剧 会話 本文 文法 総まとめ	対面授業	復習：今までの配布資料やノートを見直すこと（4時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	授業内容に合わせて、プリントを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN

履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと
履修上の注意	
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

中国語検定Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:00:16

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC504
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主にHSK4級の作文問題における問題についての確に解答し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の作文問題に合格(正答率6割)できる。
---	---

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	10% 20% 10% 50% 10%
確かな専門的知識や技能			100%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす） 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2	2回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3	3回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4	4回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

5	5回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	対面授業	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の 復習。(4 時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！	
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。	
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！	

中国語検定Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:00:17

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC504
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業は中国語検定Ⅰ、Ⅱに必要単語、文法を模擬問題を通して、繰り返し練習し、説明を行う。検定の過去問題の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応ができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを説明、練習を行う。

授業における到達目標

1	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定Ⅰ級に合格ができる。
2	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。
3	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。
4	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習したりすることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	授業参加 授業態度	5 5
異文化知識・対応能力	2	グループディスカッション	10
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力	4	定期テスト	60
合計			100
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習：中国語Ⅰで学習した基本的な挨拶用語（2時間） 復習：新しい挨拶用語を暗記する（2時間）
2	2回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
3	3回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
4	4回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
5	5回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）

6	6回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
7	7回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
8	8回目	検定テストと同様に記入シートを使い、時間通りにテストを行う。その後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
9	9回目	テストを解説し、間違った問題を反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
10	10回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
11	11回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
12	12回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
13	13回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
14	14回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
15	15回目	模擬問題の解説を行い、総まとめをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『中国語検定HSK 公式過去問題集1級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定HSK 公式過去問題集2級』2018 出版社：スプリックス	978-4906725342 978-4906725359
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙1～4級』白帝社	978-4863980709
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。 	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
備考・メッセージ	授業後、学習したことを復習する。	

中国語検定 II

更新日：2026/05/26 21:00:18

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC505
担当教員	松浦 百恵				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	相当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSKKの中級過去問題・発音練習 4.HSK4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。
---	--

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 課題提出 定期試験 グループ発表 	10% 10% 50% 30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2	2回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3	3回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4	4回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

5	5回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.HSK4級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教員が作成したものを配布します。 ★HSKKに関する参考書 中国教育部中外語言交流合作中心『中国語検定公式過去問集口試2021年度』株式会社スプリックス 【参考書】ISBN
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

中国語検定Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:00:19

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC505
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義はHSK 3、4級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返して練習し、解説を行う。また、学生のレベルに合わせ、3級の復習をしながら、4級の検定対策をする。今まで、検定の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応することができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違っていたところや分からないところを解説し、練習を重ねる。

授業における到達目標

1	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定1級に合格ができる。
2	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。
3	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。
4	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習する。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	授業参加	5
異文化知識・対応能力	2	グループディスカッション	20
課題解決能力	3	課題 小テスト	10 5
キャリアデザイン力	4	定期テスト	60
合計			100
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業の進め方、履修にあたり、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（2時間） 復習：確実に合格するためのプランを立てる（2時間）
2	2回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
3	3回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
4	4回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
5	5回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）

6	6回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
7	7回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
8	8回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
9	9回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
10	10回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
11	11回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
12	12回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
13	13回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
14	14回目	模擬問題1～4までの聴解を総まとめする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
15	15回目	模擬問題1～4までの文法、新出単語や文法を総まとめする。	対面授業	予習：単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習・テスト勉強（2時間） 復習：新出単語や文法の再確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『中国語検定HSK 公式過去問題集3級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定HSK 公式過去問題集4級』2018 出版社：スプリックス	978-4906725366 978-4906725373
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	『中国語検定HSK公認 テキスト3級』2018 出版社：スプリックス 『中国語検定HSK公認 テキスト4級』2018 出版社：スプリックス 郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙1～4級』白帝社	978-4906725328 978-4906725298 978-4863980709
履修条件		
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根気よく、継続して学習してください。	

中国語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:20

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC506
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主にHSK4級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 4.中国百科検定の問題に合格できる。
---	--

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 小テスト 課題提出 定期試験 百科問題理解度 	10% 20% 10% 50% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2	2回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3	3回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

4	4回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
5	5回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【参考書】ISBN 教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。

備考・メッセージ

2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

中国語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:21

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC506
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業は中国語検定1、2級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返し練習し、説明を行う。検定の過去問題の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応ができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを説明、練習を行う。

授業における到達目標

1	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定1級に合格ができる。
2	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。
3	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。
4	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習したりすることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	授業参加 授業態度	5 5
異文化知識・対応能力	2	グループディスカッション	10
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力	4	定期テスト	60
合計			100
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習：中国語Ⅰで学習した基本的な挨拶用語（2時間） 復習：新しい挨拶用語を暗記する（2時間）
2	2回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
3	3回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
4	4回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）
5	5回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習（2時間） 復習：新しい単語・文法、間違った問題の再確認（2時間）

中国語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:50

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC304
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からは HSK3 級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

授業における到達目標

1	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。
---	---

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	10% 20% 10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす)
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
2	2回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
3	3回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)

4	4回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
5	5回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
6	6回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
7	7回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
8	8回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
9	9回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
10	10回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
11	11回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
12	12回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
13	13回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
14	14回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。 (2.5時間)
15	15回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 【参考書】ISBN 教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。

備考・メッセージ

1年間で最低 HSK2級、できれば HSK3 級、4 級の合格を目指して頑張りましょう！また、中国百科検定の初級、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

中国語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:50

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC304
担当教員	井上 麗奈				

担当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義では、使う頻度が多い文法や、語彙を用いて、会話と購読を中心に進める。今まで学んだ文法や語彙を復習しながら、新しい語彙、文法を学ぶ。文を使ってグループディスカッションをする。その後、短文を書き、発表を行う。

授業における到達目標

1	中国の文化を理解することができる。
2	文法や語彙を使って、柔軟に会話や作文を書き、発表することができる。
3	さまざまな場面において、コミュニケーションができる。
4	課題に取り組むことができる。
5	積極的に予習、復習をする習慣を身につくことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加	5
確かな専門的知識や技能	2	授業態度 定期テスト	5 60
異文化知識・対応能力	3	グループディスカッション	10
課題解決能力	4	小テスト	10
キャリアデザイン力	5	課題レポート	10
合計			
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業内容や進め方を説明する。	対面授業	予習：シラバスの確認（2h） 復習：ピンインを再確認する（2h）
2	2回目	第1課 会話：你好 購読：自我介绍 ・自分や他人について紹介する内容を学ぶ。	対面授業	予習：人称代名詞をまとめる（2h） 復習：新出単語や文を朗読する（2h）
3	3回目	第2課 会話：这是什么？ 購読：大山的房间 ・指示名詞を学び、紹介したい場所について学ぶ。	対面授業	予習：指示代名詞をまとめる（2h） 復習：新出単語や文を朗読する（2h）
4	4回目	第3課 会話：你去哪儿？ 購読：便利店・さまざまな店の言い方や行きたい場所の言い方について学ぶ。	対面授業	予習：動詞述語文を確認する（2h） 復習：新出単語や文を朗読する（2h）

5	5回目	第4課 会話：你要几个？ 購読：全家照 ・買い物の際、いくつ、いくらなどについて学ぶ。 ・家族構成について学ぶ。	対面授業	予習：数字や量詞言い方をまとめる (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
6	6回目	第5課 会話：你星期几打工？ 購読：踢足球 ・アルバイトをする曜日について学ぶ。 ・サッカーなどのスポーツの言い方、それらを使う助詞について学ぶ。	対面授業	予習：曜日、時刻の言い方をまとめる (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
7	7回目	会話：今天的课都完了吗？ 購読：唱卡拉OK ・今日のスケジュールの言い方について学ぶ。	対面授業	予習：完了形を確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
8	8回目	第7課 会話：你吃饭了吗？ 購読：去海边儿 ・どこへ行ったのか、何をしたのかの言い方について学ぶ。	対面授業	予習：連動文を確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
9	9回目	第9課 会話：你在干什么呢？ 購読：学开车 ・好きな場所について、どのように相手に伝えるかを学ぶ。	対面授業	予習：位置を表す語を確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
10	10回目	第10課 会話：你有什么爱好？ 購読：联谊会 ・今何をしているのかの伝え方を学ぶ。	対面授業	予習：主述述語文を確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
11	11回目	第11課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・趣味や興味について学ぶ。	対面授業	予習：状態補語を確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
12	12回目	第11課 会話：这双鞋怎么样？ 購読：动漫 ・「この靴はどうですか」の文のように、自分のものを他人に意見を求める際の言い方について学ぶ。	対面授業	予習：相手に何を紹介するかを考える (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
13	13回目	第12課 会話：生日快乐！ 購読：买衣服 ・誕生日の方に、お祝いの言葉をどのように伝えるかを学ぶ。	対面授業	予習：年、月、日の言い方をまとめる (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
14	14回目	会話の総まとめ ・今まで学んだ会話文を総まとめする。	対面授業	予習：会話のプリントを確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
15	15回目	購読の総まとめ ・今まで学んだ購読文を総まとめする。	対面授業	予習：朗読のプリントを確認する (2h) 復習：新出単語や文を朗読する (2h)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 竹島 毅 趙昕 (2007) 『さあ、中国語を学ぼう！』—会話・購読— 株式会社 白水社 9.78456E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 林 松濤 (2020) 『大人なら使いたい中国語表現』 三修社 978-4-384-05972-4
履修条件	
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べるがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合は、教員ボックスに質問用紙を入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、毎回学習したことを復習する。

中国語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/05/26 20:59:51

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC705
担当教員	松浦 百恵				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

授業における到達目標

1	中国の文化をより一層、理解することができる。
2	HSK5級の読解問題に合格(正答率6割)できる。
3	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。一つの文を一息で発音できる。
4	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。
5	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加、授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期テスト	60%
異文化知識・対応能力	3	発表	10%
課題解決能力	4	レポート	10%
キャリアデザイン力	5	課題提出	10%
合計			100%

補足事項

- 1.課題提出を必ず行ってください。
- 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。
遅刻3回を欠席1回でカウントします。（※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす）
早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。
- 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。 HSK5級の読解1 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて 第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
2	2回目	HSK5級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
3	3回目	HSK5級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)

4	4回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
5	5回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
6	6回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
7	7回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
8	8回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
9	9回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
10	10回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
11	11回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
12	12回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
13	13回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
14	14回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
15	15回目	HSK5 級の読解 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。(4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	★教科書：HSK5級 ①相原茂著『Whyに答えるはじめての中国語の文法書』同学社 ②楊達『新HSK5級必ず★でる単スピードマスタ』Jリサーチ出版 ③李貞愛『HSK5級トレーニングブック読解・作文題編』アスク ④『中国語検定HSK公認長文テキスト5級改訂版』株式会社スプリックス	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		

履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

中国語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/05/26 20:59:52

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC705
担当教員	井上 麗奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この講義では、中国語検定HSK 4級以上、中上級に必要とする難易度の高い語彙、文法、発音を総合的に学習する。中国の文化について、さまざまなテーマを用いて、講義を行う。また、自分が興味のあることをはじめ、他の学生の前で発表する。更に、他人の発表を聞いたあと、質問をする。

授業における到達目標

1	中国の文化をより一層、理解することができる。
2	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。
3	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。
4	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。
5	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加、授業態度	10
確かな専門的知識や技能	2	定期テスト	60
異文化知識・対応能力	3	発表	10
課題解決能力	4	レポート	10
キャリアデザイン力	5	課題提出	10
合計			100
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習：検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて（2時間）
2	2回目	第1課 大学生の週末 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“是”“了”“不”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
3	3回目	第2課 北京的交通 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“吗”、“也”、“什么”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
4	4回目	第3課 中国人的主食----北方和南方 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“吧”、“在”、“想”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
5	5回目	第4課 对数字的喜好 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“有”、“过”、“从～到”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
6	6回目	第5課 大学生的“打工”现状 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“可以”、“能”、“会”の使い方をまとめる（2時間） 復習：・新出単語と文法を再確認する（2時間） ・中間テストの勉強（1.5時間）

7	7回目	第1課から第5課までの内容をテスト、答え合わせ、解説を行う。	対面授業	予習：文法“給”、“去”、“来”の使い方をまとめる（2時間） 復習：間違った問題を再確認する（1時間）
8	8回目	第6課 集体生活的好处 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“地”、“得”、“着”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
9	9回目	第7課 在北京购物 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“怎么”、“怎么样”、“呢”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
10	10回目	第8課 送礼的讲究 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“量詞”、“方位詞”、“指示詞”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
11	11回目	第9課 “中国式”的结婚 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“从”、“到”、“离”、“往”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
12	12回目	第10課 双职工家庭 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“反復疑問文”、“連動文”、“疑問詞”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
13	13回目	第11課 中国人的称呼-----辈分和面子 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“量詞”、“方位詞”、“指示詞”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
14	14回目	第12課 大学生心目中的理想职业 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習：文法“都”、“的省略”の使い方をまとめる（2時間） 復習：新出単語と文法を再確認する（2時間）
15	15回目	総まとめ ・すべての内容をまとめる	対面授業	予習：プリントやノートを整理、確認する（2時間） 復習：テスト勉強する（4時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60.5時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	吉田泰謙・相原里美・葛婧著（2013）『知っておきたい中国語事情』白水社	9.78456E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	張乃方（2006）『中国語実習コース』白水社	9.78456E+12
履修条件		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・授業後、毎回学習したことを復習する。 	
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。	
備考・メッセージ		

韓国語基礎Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:34

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC107
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。
3	韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験・単語小テスト	80
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	韓国語の複合母音、韓国語のバッチム 韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/습니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저 일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】 書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】 ISBN
	おはよう韓国語 1	
参考書	【参考書】 書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】 ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語基礎Ⅰ

更新日：2026/05/26 20:59:35

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC107
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。
3	韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験・単語小テスト	80
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	韓国語の複合母音、韓国語のバッチム 韓国語の複合母音、韓国語のバッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저 일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	おはよう韓国語 1	978-4-255-55716-8
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語基礎Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:36

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC108
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 1級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。
3	韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験・単語小テスト	80
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK1級問題分析最後 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK1模擬テスト(リスニング) TOPIK1の模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK1模擬テスト(リーディング) TOPIK1の模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIK I 1冊でOK」日本語版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。 は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語基礎Ⅱ

更新日：2026/05/26 20:59:37

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC108
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 1級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。
3	韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験・単語小テスト	80
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 1級問題分析 1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 1級問題分析 2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK1級問題分析最後 TOPIK1の1級問題の種類を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK1模擬テスト(リスニング) TOPIK1の模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK1模擬テスト(リーディング) TOPIK1の模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIK I 1冊でOK」日本語版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。 は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語基礎Ⅲ

更新日：2026/05/26 20:59:38

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC109
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で書かれた、日常的話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。
3	韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

3	3回目	TOPIK 2級問題分析2 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4	4回目	TOPIK 2級問題分析3 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 2級問題分析4 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 2級問題分析5 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 2級問題分析6 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 2級問題分析7 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 2級問題分析8 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 2級問題分析9 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 2級問題分析10 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIK1冊でOK」日本語版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語基礎Ⅲ

更新日：2026/05/26 20:59:39

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC109
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え行動をすることを意識することができる。
2	韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。
3	韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。
4	同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。
5	限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

3	3回目	TOPIK 2級問題分析2 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4	4回目	TOPIK 2級問題分析3 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 2級問題分析4 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 2級問題分析5 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 2級問題分析6 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 2級問題分析7 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 2級問題分析8 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 2級問題分析9 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 2級問題分析10 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIK1冊でOK」日本語版	ASIN : B0BYSQ3KTL
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語会話Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:02:09

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC305
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。
3	韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
2	2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면 動詞・存在詞+고 싶다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
3	3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）

4	4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(죠) 用言+는/은/ㄴ데요 ㄹ변則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5	5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㄴ변則 用言+아서/어서 動詞+을래요/르래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6	6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/르거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7	7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ변則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8	8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/르수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/르게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9	9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/르 ㄹ변則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10	10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㄹ변則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/르것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
11	11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄴ変則 ㄹ+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다 動詞+아/어 보다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
12	12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13	13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
14	14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、 定期試験を準備する(1時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「おはよう韓国語2」	978-4255556383
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語会話Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:02:10

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC305
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。
3	韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
2	2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면 動詞・存在詞+고 싶다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）
3	3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（1時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（1時間）

4	4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(죠) 用言+는/은/ㄴ데요 으変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5	5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㅂ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/르래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6	6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/르거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7	7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8	8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/르수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/르게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9	9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/르 ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10	10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㅁ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/르것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
11	11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄷ変則 ㅂ+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다 動詞+아/어 보다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
12	12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13	13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
14	14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座 テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、 定期試験を準備する(1時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「おはよう韓国語2」	978-4255556383
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語会話Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:02:11

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC707
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる。
3	TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる。
4	相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	課題	60
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	35
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的課題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的課題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	各授業で提示	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ		

韓国語会話Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:02:12

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC707
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる。
3	TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる。
4	相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	課題	60
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	35
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的課題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的課題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	各授業で提示	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ		

韓国語検定 I

更新日：2026/05/26 21:00:22

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC112
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。
3	TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。
------	---

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKⅡ1冊でOK」日本語版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語検定 I

更新日：2026/05/26 21:00:23

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC112
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。
3	TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。
------	---

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKⅡ1冊でOK」日本語版	ASIN B08T6N98LY
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語検定 II

更新日：2026/05/26 21:00:24

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC308
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。
3	TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKⅡ1冊でOK」日本語版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語検定Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:00:25

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC308
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。
3	TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKⅡ1冊でOK」日本語版	ASIN B08T6N98LY
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:26

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC511
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 4級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。
3	TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOP I KIIライティング問題分析3 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOP I KIIライティング問題分析4 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOP I KIIライティング問題分析5 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOP I KIIライティング問題分析6 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOP I KIIライティング問題分析7 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOP I KIIライティング問題分析8 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOP I KIIライティング問題分析9 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOP I KIIライティング問題分析10 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOP I KIIライティング問題分析11 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOP I KIIライティング問題分析12 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOP I KIIライティング問題分析13 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語検定Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:27

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC511
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 4級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。
3	TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOP I KIIライティング問題分析3 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOP I KIIライティング問題分析4 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOP I KIIライティング問題分析5 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOP I KIIライティング問題分析6 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOP I KIIライティング問題分析7 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOP I KIIライティング問題分析8 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOP I KIIライティング問題分析9 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOP I KIIライティング問題分析10 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOP I KIIライティング問題分析11 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOP I KIIライティング問題分析12 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOP I KIIライティング問題分析13 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	ASIN B08T6N98LY
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:53

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC306
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。
3	韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。
4	TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。
5	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK IIライティング問題の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK IIライティング問題分析1 TOPIK IIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK IIライティング問題分析2 TOPIK IIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語ライティング&グラマーⅠ

更新日：2026/05/26 20:59:54

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC306
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動する。
2	韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。
3	韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。
4	TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。
5	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3,4	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	5	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIK IIライティング問題の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIK IIライティング問題分析1 TOPIK IIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIK IIライティング問題分析2 TOPIK IIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	ASIN B08T6N98LY
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/05/26 20:59:55

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC708
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 5級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。
3	TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOP I KIIライティング問題分析3 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOP I KIIライティング問題分析4 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOP I KIIライティング問題分析5 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOP I KIIライティング問題分析6 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOP I KIIライティング問題分析7 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOP I KIIライティング問題分析8 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOP I KIIライティング問題分析9 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOP I KIIライティング問題分析10 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOP I KIIライティング問題分析11 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOP I KIIライティング問題分析12 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOP I KIIライティング問題分析13 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

韓国語ライティング&グラマーⅡ

更新日：2026/05/26 20:59:56

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC708
担当教員	朴 基延				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府（教育省）が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK 5級以上合格を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。
2	韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。
3	TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。
4	仕事、学校、娯楽などたいていな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5
確かな専門的知識や技能	2,3	定期試験 単語小テスト	60 20
異文化知識・対応能力	4	グループワーク	15
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
2	2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）
3	3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する（2時間） 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する（2時間）

4	4回目	TOP I KIIライティング問題分析3 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5	5回目	TOP I KIIライティング問題分析4 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6	6回目	TOP I KIIライティング問題分析5 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7	7回目	TOP I KIIライティング問題分析6 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8	8回目	TOP I KIIライティング問題分析7 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9	9回目	TOP I KIIライティング問題分析8 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10	10回目	TOP I KIIライティング問題分析9 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11	11回目	TOP I KIIライティング問題分析10 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12	12回目	TOP I KIIライティング問題分析11 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13	13回目	TOP I KIIライティング問題分析12 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14	14回目	TOP I KIIライティング問題分析13 TOP I KIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15	15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「TOPIKII 1冊でOK」日本語版	ASIN B08T6N98LY
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。	
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト（単語）があります。	

基礎日本語Ⅰ N3

更新日：2026/05/26 21:01:52

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC110
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N3の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・ 日常的話題について書かれた具体的な内容を表あらす文章を、読んで理解かいることができるようになる。
- ・ 新聞の見出などから情報の概要をつかむことができるようになる。
- ・ 日常の場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができるようになる。
- ・ 日常の場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話しの具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて基本的な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をする際、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意見を理解することができる。
5	自ら考え、適切に判断し、継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100

補足事項

- ・ 講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・ 遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第1章文型 1－5	面接授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2回目	第1章文型 6－10	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3回目	第1章文型 11－15	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4回目	第1章文型 16－20	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5回目	第1章文型 21－25	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6回目	第2章文型 26－30	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

7	7回目	第2章文型 3 1 - 3 5	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
8	8回目	第2章文型 3 6 - 4 0	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
9	9回目	第2章文型 4 1 - 4 5	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10回目	第2章文型 4 6 - 4 9	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11回目	第3章文型 1 - 5	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12回目	第3章文型 6 - 1 0	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13回目	第3章文型 1 1 - 1 5	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14回目	第3章文型 1 6 - 2 0	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15回目	第3章文型 2 1 - 2 4	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16回目	定期試験	対面	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	マンガでマスター日本語文型70 アルク	9.78476E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	必要に応じて適宜紹介する。	
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

基礎日本語Ⅰ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:53

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC110
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

この授業では、初級で頻出する文型を学ぶと同時に、自分自身や身の回りのことについて話したり書いたりできるようになることを目標とする。特に、学んだ文型を話して身につけることを中心に行う。対象はN4上レベルの学生である。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	自分自身や身の回りのことについて話したり書いたりすることができる。
3	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 課題・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験50%、課題・ミニテスト20%、授業態度30%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 第1章 1～2	対面授業	予習：教科書を準備する。教科書pp. 4-5を読んでくる。シラバスを読んでくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2	2回目	第1章 3～6	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
3	3回目	第1章 7～10	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

4	4回目	第1章 11～14	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5	5回目	第1章 15～18	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6	6回目	第1章 19～22 ミニテスト①	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7	7回目	第1章 23～25	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8	8回目	中間まとめ	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9	9回目	第2章 26～29	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10	10回目	第2章 30～33 ミニテスト②	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11	11回目	第2章 34～37	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12	12回目	第3章 38～41	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13	13回目	第2章 42～45	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
14	14回目	第2章 46～49	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15	15回目	総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『マンガでマスター 日本語文型70』倉川ざんぎ(著)・西隈俊哉(監)、2025、アルク	978-4-7574-4030-2
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	--

基礎日本語Ⅰ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:55

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CC110
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

ストーリーマンガを通して初級から中級への架け橋となる重要文型を70項目学ぶ。ストーリーの中で文法が使われる具体的な場面を理解し、様々なタスクを通じて「実際に使える日本語」を習得する。文脈を会話で確認しながら、発信力を高めることを、目指す。

授業における到達目標

1	自己実現のタスクを通じ、誠実に自分を伝え他者を尊重することができる。
2	文脈に即した正確な運用力を身に付けることができる。
3	言葉の背景にある「日本的な考え方」や「行動様式」を学ぶことができる。
4	場面に応じた適切な言葉選びと自らの意見を論理的に述べる表現ができる。
5	自己実現タスクを通じて自らのキャリアを構想し発信する力を身に付けることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	4	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	5	授業への参加態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題10%、定期試験60%、グループ・ペアワーク10%、ミニテスト10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：語彙・文型の確認 1章のストーリーを読む (2時間) 復習：文法の確認 (2時間)
2	2回目	1章文型①1～5	対面授業	予習：語彙・文型の確認 1章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
3	3回目	1章文型②6～10	対面授業	予習：語彙・文型の確認 1章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)

4	4回目	1章文型③11～15	対面授業	予習：語彙・文型の確認 1章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
5	5回目	1章文型④16～20	対面授業	予習：語彙・文型の確認 1章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
6	6回目	1章文型⑤21～25	対面授業	予習：語彙・文型の確認 2章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
7	7回目	2章文型⑥26～30	対面授業	予習：語彙・文型の確認 2章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
8	8回目	2章文型⑦31～35	対面授業	予習：語彙・文型の確認 2章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
9	9回目	2章文型⑧36～40	対面授業	予習：語彙・文型の確認 2章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
10	10回目	2章文型⑨41～45	対面授業	予習：語彙・文型の確認 2章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
11	11回目	2章文型⑩46～49	対面授業	予習：語彙・文型の確認 3章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
12	12回目	3章文型⑪50～54	対面授業	予習：語彙・文型の確認 3章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
13	13回目	3章文型⑫55～59	対面授業	予習：語彙・文型の確認 3章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
14	14回目	3章文型⑬60～64	対面授業	予習：語彙・文型の確認 3章のストーリーを読む (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
15	15回目	3章文型⑭65～70	対面授業	予習：定期試験の準備、語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	マンガでマスター日本語文型70	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Google classroom）。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）</p>	

基礎日本語 II N1N2

更新日：2026/05/26 21:01:56

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC603
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

初中級から中級・中上級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを目標とする。後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級・中上級レベルの学習をする。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語力向上を目標とする。

授業における到達目標

1	自分の意見や感想が表現でき、初中級から中上級レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。
2	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	実社会でのコミュニケーションや自己実現につなげる態度を養うことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー 読解をはじめのあなたへ 1	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。読解2.3（4時間）
2	2回目	読解をはじめのあなたへ 2.3	対面授業	予習：読解4.5の語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	読解をはじめのあなたへ 4.5	対面授業	予習：読解6.7語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	読解をはじめのあなたへ 6.7	対面授業	予習：読解8.9語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	読解をはじめのあなたへ 8.9	対面授業	予習：読解10.11語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	読解をはじめのあなたへ 10.11	対面授業	予習：読解12.13語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	読解をはじめのあなたへ 12.13	対面授業	予習：読解14.15語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	読解をはじめのあなたへ 14.15	対面授業	予習：読解16.17語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	読解をはじめのあなたへ 16.17	対面授業	予習：読解18.19語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	読解をはじめのあなたへ 18.19	対面授業	予習：読解20.21語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	読解をはじめのあなたへ 20.21	対面授業	予習：読解22.23語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	読解をはじめのあなたへ 22.23	対面授業	予習：読解まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	読解をはじめのあなたへ 復習①	対面授業	予習：読解まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	読解をはじめのあなたへ 復習②	対面授業	予習：読解まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	読解をはじめのあなたへ 総まとめ	対面授業	予習：語彙・文型の確認 （2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 読解をはじめのあなたへ	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Googleclassroom）</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）</p>	

基礎日本語Ⅱ N3

更新日：2026/05/26 21:01:57

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC603
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

初中級から中級・中上級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを目標とする。後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級・中上級レベルの学習をする。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語力向上を目標とする。

授業における到達目標

1	1 多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。
2	2 自分の意見や感想が表現でき、初中級から中上級レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。
3	3 ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。
4	4 学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
5	5 自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能		定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力		グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力		課題	10%
キャリアデザイン力		授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。
- 授業開始後10分間の多読を行うので、図書館から日本語の本を借りておく。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー にほんご読みトレ 1～3回	対面授業	予習：テキストに目を通す（2時間）復習：今日の授業の確認（2時間）
2	2回目	にほんご読みトレ 4～6回 ミニテスト①	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間）復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	にほんご読みトレ 7～9回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間）復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	にほんご読みトレ ミニテスト②	10～12回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	にほんご読みトレ	13～15回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	にほんご読みトレ ミニテスト③	16～18回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	にほんご読みトレ	19～21回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	にほんご読みトレ ミニテスト④	22～24回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	にほんご読みトレ	25～28回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	にほんご読みトレ ミニテスト⑤	29～30回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	にほんご読みトレ	31～32回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	にほんご読みトレ ミニテスト⑥	33～34回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	にほんご読みトレ	35～36回	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	にほんご読みトレ ミニテスト⑦	復習 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	にほんご読みトレ	復習 2	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験			授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	1文字から始める集中にほんご読みトレ 初中級 JLPT N3レベル	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後、Google classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	<p>○授業中は母国語を話さない。</p> <p>○携帯電話は出席・ミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Google classroom）。</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）</p>	

基礎日本語Ⅱ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:58

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC603
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N4の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができるようになる。
- ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて基本的な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をする際、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。
5	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	違う文字を探す	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2回目	間違いを見つける	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3回目	仲間外れを選ぶ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4回目	絵を読み取る	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5回目	5W1Hをつかむ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6回目	文の意味に合うものを選ぶ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
7	7回目	返事を選ぶ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
8	8回目	文の穴埋めをする	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

9	9回目	文を正しく直す	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10回目	あとに続く文を選ぶ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11回目	文を並べ替える	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12回目	文章を読み取る	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13回目	情報を読み取る	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14回目	これまでの学習の振り返り	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15回目	確認テスト	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16回目	定期試験	対面	授業外学修時間60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	1文字から始める集中日本語読みトレ初級	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	必要に応じて適宜紹介する。	
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

基礎日本語Ⅱ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:59

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC603
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

この授業では、文字（ひらがな・カタカナ・漢字）を理解・習得することから始め、単語、文、図表、文章の順にステップアップしながらそれぞれを確実に読んで理解することができるようになることを目標とする。対象はN4上レベルの学生である。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	文字を丁寧な字で書くことができる。また、単語、文、図表、文章を読んで理解することができる。
3	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 課題・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験50%、課題・ミニテスト20%、授業態度30%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 第1回～第2回	対面授業	予習：教科書を準備する。教科書pp. 4-7を読んでくる。シラバスを読んでくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2	2回目	第3回～第6回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
3	3回目	第7回～第10回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

4	4回目	第9回～第10回 ミニテスト①	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5	5回目	第11回～第13回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6	6回目	第14回～第16回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7	7回目	第17回～第19回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8	8回目	中間まとめ ミニテスト②	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9	9回目	第20回～第22回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10	10回目	第23回～第25回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11	11回目	第26回～第28回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12	12回目	第29回～第31回 ミニテスト③	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13	13回目	第32回～第34回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
14	14回目	第35回～第36回	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15	15回目	総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『集中！にほんご読みトレ 初級』西隈俊哉 (著)、2025、ジャパンタイムズ出版	978-4-7890-1900-2
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	--

日本語会話 I N1N2

更新日：2026/05/26 21:01:14

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC111
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・句型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようにすることを目標とする。

授業における到達目標

1	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。（日本語能力試験 N2 レベルの実力）
2	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：トピック 4① part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	トピック 4① part1 ○漢字たまご中級9課①	対面授業	予習：トピック 4②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 4②part2 ○漢字たまご中級9課②	対面授業	予習：トピック 4③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 4③part3 ○漢字たまご中級9課③	対面授業	予習：トピック 4④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	トピック 4④part4.5 ○漢字たまご中級9課④	対面授業	予習：トピック 5①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

6	6回目	トピック5①part1 ○漢字たまご中級9課復習	対面授業	予習：トピック5②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	トピック5②part2 ○漢字たまご中級10課①	対面授業	予習：トピック5④part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	トピック5③part3 ○漢字たまご中級10課②	対面授業	予習：トピック5④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	トピック5④part4.5 ○漢字たまご中級10課③	対面授業	予習：トピック6①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	トピック6①part1 ○漢字たまご中級10課④	対面授業	予習：トピック6②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	トピック6②part2 ○漢字たまご中級10課復習	対面授業	予習：トピック6③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	トピック6③part3 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習：トピック6④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	トピック6④part4.5 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習：トピック4～6 総まとめ 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	トピック4～6 総まとめ① ○漢字たまご中級9.10課復習 会話・ロールプレイ	対面授業	予習：トピック4～6総まとめ 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	15回目 トピック4～6総まとめ② ○漢字たまご中級9.10課復習 会話・ロールプレイ	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級1	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業前後で対応	
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Googleclassroom） ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）	

日本語会話 I N3上

更新日：2026/05/26 21:01:15

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC111
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

N3レベルを対象に、日常生活の身近な場面で「話す・聞く」力を養い、実践的な語彙や漢字を使いこなせるコミュニケーション能力の習得を目指す。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。
3	授業内容やディスカッションを通じて日本や多文化への理解を深める。
4	実際の場面を想定した実践練習を通じ、日常の課題に主体的に取り組む力を身に付ける。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループディスカッション	10%
確かな専門的知識や技能	2	①定期試験 ②ミニテスト	①60% ②10%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogleClassroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし、遅刻3回を欠席1回とする。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 初級1 A2かつどう復習 トピック1・2	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	初級1 A2かつどう復習 トピック3・4・5 漢字たまご1課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
3	3回目	初級1 A2かつどう復習 トピック6・7・8・9 ミニテスト①	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
4	4回目	初中級 A2/B1 トピック 1part 1 part2 漢字たまご2課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

5	5回目	トピック 1 part3 part4 ミニテスト②	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	トピック 1 part5 part6 漢字たまご3課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	初中級 A2/B1 トピック 2part 1 ミニテスト③	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	トピック 2part2 part3 漢字たまご4課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	トピック 2 part4 part5 ミニテスト④	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	初中級 A2/B1 トピック 3part 1 漢字たまご5課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	トピック 3part2 part3 ミニテスト⑤	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	トピック 3part4 part5	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	初中級 A2/B1 トピック 4part 1 漢字たまご6課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	トピック 4part2 part3 まとめ① 漢字たまご7・8課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	トピック 4 part4 part5 まとめ②	対面授業	予習：今までのトピックをチェックする（2時間） 復習：ふりかえりの時間（2時間）
16	16回目	定期試験（テスト）	対面授業	授業外学習60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 「まるごと日本のことばと文化初級1 A 2 かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	積極的に参加すること
履修上の注意	欠席する場合は事前にメールで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

日本語会話 I N3下

更新日：2026/05/26 21:01:16

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC111
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。

日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く・書く」に重点を置く。

N3レベルの学生を対象に実施する。

授業を通してN3の日本語力の定着及びレベルアップを図ることで、日常生活場面がより豊かになることを目的にする。

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる。	・グループディスカッション	10%
確かな専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・日常会話で使用することばなどを正しい発音で分かりやすく話すことができる。	・定期試験 ・漢字テスト ・ミニテスト	40% 10% 10%
異文化知識・対応能力	・日本文化や多様な文化を理解することができる。 ・日本のマナーを理解することができる。	・課題及びレポート提出	10%
課題解決能力	・分からないことや聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。 ・課題を見つけ、課題に向き合い、課題解決力を養うことができる。	・授業への参加・態度	15%
キャリアデザイン力	将来の計画を説明することができる。	・スピーチ	5%
合計			100%

補足事項

- ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはClassroomを利用する。
- ・本授業では、定期試験40%、漢字テスト10%、ミニテスト10%、課題・レポート提出10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度15%、スピーチ5%の割合で評価する。
- ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし、遅刻3回を欠席1回とする。
- ・授業を5回欠席した場合、「受講資格なし」とする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンテーション」 ・授業の進め方と注意点について説明をする ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第1課 「いい なまえですね」 ・TOPIC1から会話を広げる ・漢字たまご 第1課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
2	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第2課 「めがねを かけている人です」 ・TOPIC1から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
3	3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第3課 「おすすめは何ですか」 ・TOPIC2から会話を広げる ・漢字たまご 第2課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
4	4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第4課 「どうやって 食べますか」 ・TOPIC2から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
5	5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第5課 「ぼうしを持っていったほうがいいですよ」 ・TOPIC3から会話を広げる ・漢字たまご 第3課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
6	6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・TOPIC3 まとめ ・会話練習 ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
7	7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第6課 「イルカの ショーが見られます」 ・TOPIC4から会話を広げる ・漢字たまご 第4課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
8	8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第7課 「雨が ふったら、どう しますか」 ・TOPIC4から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
9	9回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第8課 「コンサートは もう はじまりましたか」 ・TOPIC5から会話を広げる ・漢字たまご 第5課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
10	10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・会話練習 ・TOPIC5 まとめ ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
11	11回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第9課 「お正月は どう していましたか」 ・TOPIC6から会話を広げる ・漢字たまご 第6課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
12	12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第10課 「いい ことがありますように」 ・TOPIC6から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
13	13回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第11課 「そうじきが こわれて しまったんです」 ・TOPIC7から会話を広げる ・漢字たまご 第7課 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
14	14回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・TOPICから7 まとめ ・会話練習 ・ミニテスト 	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）
15	15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・1~14回までの授業の振り返り まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・漢字たまご第8課 ・ミニテスト 	対面授業	予習：今まで気になったTOPICをチェックする（2時間） 復習：振り返りの復習（2時間）
16	16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと 日本のことばと文化 初級2 A2 かつどう』 執筆：来嶋洋美 柴原智代 八田直美 木谷直之 根津誠 発行年：2022年7月30日発行 発行所：株式会社三修社 『まるごと 日本のことばと 初中級 A2/B1』 執筆：来嶋洋美 柴原智代 八田直美 発行年：2020年7月10日 第7刷発行 発行所：株式会社三修社 『漢字たまご 初中級』 執筆：有山優樹 落合知春 立原雅子 林英子 山口知才子 発行年：2019年5月10日 初版第6刷発行 発行所：株式会社 凡人社	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。	

日本語会話Ⅰ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:17

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC111
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第1課1.2 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第2課3.4 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第2課5 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第3課6.7 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第4課8.9 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第5課10.11 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第6課12.13.14 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第7課15.16 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第7課17 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第8課18 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第8課19 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第9課20.21 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第9課22.23 漢字たまご7課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	まとめ 漢字たまご8課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初級 1A2かつどう」 「漢字たまご初級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話 I N4下

更新日：2026/05/26 21:01:18

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC111
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。

日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く

N4レベルの学生を対象とする。授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に付けることができる。○○○
3	日本文化について理解できる。授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる○○○
4	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	3	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。

本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、授業への参加態度10%、多読への取り組み10%の割合で評価する。

授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし遅刻3回を欠席1回とする。

授業を5回欠席した場合、受験資格はなしとする。

多読本は、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1わたしとかぞく だい1か東京に住んでい ますP22～P27 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第1課	面接授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2しゅみはクラシックを聞くこと です P28～P32 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

3	3回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 きせつとてんき だい3か日本はいま、はるです P33~P39 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第2課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
4	4回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 だい4か いいてんきですなP40~P46 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
5	5回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第3課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 わたしのまち だい5か このこうえんはひろくてきれいです P47~P53 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 だい6か まっすぐ行ってください P54~P60 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第4課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 でかける だい7か 10時でもいいですか P61~P67 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第5課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 だい8か もうやけいを見に行きましたか P68~P72 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第6課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 がいこくごとががいこくぶんかだい9か 日本語ははつおんがかんたんです P73~P79 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 だい10か いつか日本に行きたいです P80~P85 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第7課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	1~14回までの授業のまとめ 漢字のまとめ・ふりかえり ・漢字たまご第8課 ミニテスト	対面授業	予習：いままでで気になったTOPICをチェックする（2時間） 復習：ふりかえりの復習（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。 多読用の本を忘れないこと。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。	

日本語会話 II N2

更新日：2026/05/26 21:01:19

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC202
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・句型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようにすることを目標とする。

授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる
2	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。（日本語能力試験 N2 レベルの実力）
3	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。
4	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
5	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子 グループ・ペアワーク	10%
キャリアデザイン力	5	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、多読本への取り組み 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：トピック 7① part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	トピック 7① part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 7②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 7③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	トピック7④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	トピック8①part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	トピック8②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	トピック8③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	トピック8④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	トピック9①part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	トピック9②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	トピック9③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	トピック9④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：7～9 総まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	トピック7～9 総まとめ① ○漢字たまご中級2復習 ロールプレイ	対面授業	予習：7～9 総まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	トピック7～9 総まとめ② 会話・ロールプレイ ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級2
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	欠席の場合はGoogleclassroomで連絡すること
オフィスアワー	授業の前後、classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	携帯電話は調べる以外に使わないこと。 授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する） 多読の本は必ず図書館で借りておくこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。

日本語会話Ⅱ N3上

更新日：2026/05/26 21:01:20

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC202
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	☑

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

特に、日常生活で出合う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。対象はN3レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して親和的に接することを意識して行動できる。
2	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、主要点を理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようとする考え方を持つことができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って積極的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退学や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1時間)
2	2回目	・漢字たまご初中級9課 ・まるごと初中級 A2/B1 トピック 5part 1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
3	3回目	・漢字たまご初中級10課① ・トピック 5part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)

4	4回目	・漢字たまご初中級10課② ・トピック 5part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	・漢字たまご初中級11課① ・初中級 A2/B1 トピック 6part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	・漢字たまご初中級11課② ・トピック 6part2 part3 part4	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	・漢字たまご初中級12課① ・トピック 6 part5 part6	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	・漢字たまご初中級12課② ・初中級 A2/B1 トピック 7part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	・漢字たまご初中級13課① ・トピック 7part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	・漢字たまご初中級13課② ・トピック 7part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	・漢字たまご初中級14課① ・初中級 A2/B1 トピック 8part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	・漢字たまご初中級14課 ・②トピック 8part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	・漢字たまご初中級15課① ・トピック 8 part4 part5 part6	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	・漢字たまご初中級15課② ・初中級 A2/B1 トピック 9 part1 part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	・漢字たまご初中級復習 ・トピック 9 part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて、これまでの学びを確認する。(2時間) 【復習】これまでの授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
17				授業外学修 62時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社 『漢字たまご初中級』凡人社	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN

履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・ 毎回、教科書を持っていくこと。・ Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持っていくことが望ましい。・ 予習・復習ができていくことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

日本語会話Ⅱ N3下

更新日：2026/05/26 21:01:21

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC202
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N3 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と 分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
4	自身がモチベーション高く、目の前のこと に向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	初中級 A2/B1 トピック 5part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 5part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 5part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	初中級 A2/B1 トピック 6part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	トピック 6part2 part3 part4	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	トピック 6 part5 part6	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	トピック 7part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	トピック 7part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	初中級 A2/B1 トピック 8part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	トピック 8part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	トピック 8 part4 part5 part6	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	初中級 A2/B1 トピック 9part 1 part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	トピック 9part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 「漢字たまご初中級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話Ⅱ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:22

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC202
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。
 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く
 N4レベルの学生を対象とする。
 授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に付けることができる。
3	3	日本文化について理解できる。授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる
4	4	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる
5	5	

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	3	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

授業の出欠、連絡、課題、ミニテスト、質問などはGoogle Classroomを利用する。
 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、多読本への取り組み10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
 多読本は、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・オリエンテーション 授業の進め方と注意点についての説明をする。 ・まるごと初級1A2 だい11か「なにをもっていきますか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	・トピック① だい12か「おいしそうですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
3	3回目	・トピック② だい13か「たなかさんに会ったことがあります」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第10課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

4	4回目	・トピック② だい14か「これ、つかってもいいですか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
5	5回目	・トピック③ だい15か「たいそうするといいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第11課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	・トピック③ だい16か「はったり、およいだりしています」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	・トピック④ だい17か「たんじょう日にもらったんです」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第12課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	・トピック④ だい18か「パーティーがいいとおもいます」 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	まるごと初級2A2かつどう ・トピック① だい1か「いいなまえですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第13課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	・トピック① だい2か「めがねをかけている人です」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	・トピック② だい3か「おすすめは何ですか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第14課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	・トピック② だい4か「どうやって食べますか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	・トピック③ だい5か「ぼうしを持っていったほうがいいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第15課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	・トピック③ だい6か「イルカのショーが見られます」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	漢字・授業のまとめ	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 まるごと初級2A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。 多読用の本を忘れないこと。	

オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。

日本語会話Ⅱ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:23

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC202
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と 分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第10課24.25 漢字たまご9課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第10課26 漢字たまご9課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第11課27.28 漢字たまご10課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第11課29 漢字たまご10課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第12課30.31 漢字たまご11課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第12課32 漢字たまご11課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第13課33.34 漢字たまご12課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第13課35.36 漢字たまご12課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第14課37.38.39.40 漢字たまご13課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第15課41.42.43 漢字たまご13課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第16課44.45.46 漢字たまご14課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第17課47.48.49 漢字たまご14課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第18課50.51.52.53 漢字たまご15課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	まとめ 漢字たまご15課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 「まるごと日本のことばと文化 初級 1A2かつどう」 「漢字たまご初級」
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

日本語会話Ⅲ N1

更新日：2026/05/26 21:01:25

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC307
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。
特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象はN1レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持ち関わるができる。
2	様々な話題について、相手や目的・場面に 適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解 することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との 交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退学や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ユニット1 許可を求める セクション1 許可を求める	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●ユニット1 許可を求める セクション2 許可の求めに答える ミニテスト	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

4	4回目	●ユニット1 許可を求める セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	●ユニット2 依頼する セクション1 依頼する ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	●ユニット2 依頼する セクション2 依頼に答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●ユニット2 助言する セクション3 総合練習 ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●ユニット1,2のまとめ	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ユニット3 謝罪する セクション1 謝罪する ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●ユニット3 謝罪する セクション2 謝罪に答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●ユニット3 不満を伝える セクション3 総合練習 ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●ユニット4 誘う セクション1 誘う	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●ユニット4 誘う セクション2 誘いに答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●ユニット4 誘う セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●ユニット3,4のまとめ	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間) 【復習】これまでの振り返りを行う (2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『みかけ!コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』 スリーエーネットワーク	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	

備考・メッセージ

授業に積極的に参加をしてください。

日本語会話III N2

更新日：2026/05/26 21:01:26

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC307
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	1 他人を思いやる心や感動する心を高めることができる
2	2 コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N2 レベルの 実力）
3	3 培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
4	4 問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
5	5 モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 漢字テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	4	課題	10%
キャリアデザイン力	5	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、漢字テスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 漢字テストの範囲は、次回の分を指示する。（漢字たまご中級1 第5課～6課）
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。
- 授業開始後10分間の多読を行うので、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	トピック7part1 私は柔道をやっています	対面授業	予習：3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょうか？	対面授業	予習：4回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
5	5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業	予習：6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業	予習：7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業	予習：8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察 する。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業	予習：10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業	予習：11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業	予習：12回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考 察する。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは・・・	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	トピック7～9part1～3総まとめ①	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	トピック7～9part1～3総まとめ②	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など まるごと 中級1 B1、漢字たまご中級1 B1
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後、Google classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○多読の本は必ず準備すること。

日本語会話III N3

更新日：2026/05/26 21:01:28

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC307
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象はN3レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して親和的な態度で関わるができる。
2	様々な話題について、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	予習(2時間)：2回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
2	2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは ミニテスト：漢字たまご中級①1課①	対面授業	予習(2時間)：3回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。

3	3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①1課②	対面授業	予習(2時間)：4回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
4	4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します ミニテスト：漢字たまご中級①1課③	対面授業	予習(2時間)：5回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
5	5回目	トピック1part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①1課④	対面授業	予習(2時間)：6回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
6	6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい ミニテスト：漢字たまご中級①1課復習	対面授業	予習(2時間)：7回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
7	7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①2課①	対面授業	予習(2時間)：8回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
8	8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください ミニテスト：漢字たまご中級①2課②	対面授業	予習(2時間)：9回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
9	9回目	トピック2part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①2課③	対面授業	予習(2時間)：10回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。。
10	10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう ミニテスト：漢字たまご中級①2課④	対面授業	予習(2時間)：11回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
11	11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです ミニテスト：漢字たまご中級①2課復習	対面授業	予習(2時間)：12回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
12	12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：13回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
13	13回目	トピック3part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：14回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。

14	14回目	トピック1～3総まとめ① ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：15回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
15	15回目	トピック1～3 総まとめ② ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：期末試験に向けて、準備を行う。詳細は授業内で指示する。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
16	16回目	定期試験		授業外学修時間60時間

その他

科目(教職課程用)					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等					
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項					
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</th> <th>【教科書】ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『まるごと 中級1 B1』三修社 『漢字たまご中級①』凡人社</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	『まるごと 中級1 B1』三修社 『漢字たまご中級①』凡人社	
【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN				
『まるごと 中級1 B1』三修社 『漢字たまご中級①』凡人社					
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</th> <th>【参考書】ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN		
【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN				
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 				
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。				
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。				

日本語会話Ⅲ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:28

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC307
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

この授業では、日本語の知識（単語、文法・句型、表現）を増やすとともに、それらの知識を用いた日本語でのコミュニケーションにおける聞く、話す、読む、書くという4つの技能を総合的に学修します。具体的には、単語や文法・句型、表現などを実際の日本語使用場面とおして学び、そのような場面で行えることを増やしていきます。また、積極的にコミュニケーションを行おうとする態度も養います。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験N4レベルの実力）
3	教科書の題材やクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。
5	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 課題・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	5%
キャリアデザイン力	5	予習・復習	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験50%、課題・ミニテスト20%、予習・復習10%、授業態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 トピック1 第1課（Can-do 1～2）	対面授業	予習：教科書を準備する。教科書pp. 4-5を読んでくる。シラバスを読んでくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2	2回目	トピック1 第2課（Can-do 3～4） 漢字たまご（第1課）	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
3	3回目	トピック2 第3課（Can-do 5～6） ミニテスト①	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

4	4回目	トピック2 第3課 (Can-do 7～8) 漢字たまご (第2課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5	5回目	トピック2 第3課 (Can-do 9)～第4課 (Can-do 10) ミニテスト②	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6	6回目	トピック2 第4課 (Can-do 11～12) 漢字たまご (第3課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7	7回目	中間まとめ ミニテスト③ 漢字たまご (第4課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8	8回目	トピック3 第5課 (Can-do 13～14) 漢字たまご (第5課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9	9回目	トピック3 第5課 (Can-do 15)～第6課 (16) ミニテスト④	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10	10回目	トピック3 第6課 (Can-do 17～18) 漢字たまご (第6課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11	11回目	トピック4 第7課 (Can-do 19～20) ミニテスト⑤	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12	12回目	トピック4 第7課 (Can-do 21)～第8課 (Can-do 22) 漢字たまご (第7課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13	13回目	トピック4 第8課 (Can-do 23～24) ミニテスト⑥	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
14	14回目	トピック5 第9課 (Can-do 25～26) 漢字たまご (第8課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15	15回目	トピック5 第9課 (Can-do 27～28) ミニテスト⑦ 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと 日本のことばと文化 初級2 (A2) かつどう』国際交流基金 (編著)、2017、三修社 『漢字たまご 初中級』嶋田和子 (監)・有山優樹・落合知春・立原雅子・林英子・山口知才子 (著)、2024、凡人社	978-4-384-05756-0 C0081 9784867460238
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	

オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）

日本語会話Ⅲ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:29

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC307
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第1課1.2 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第2課3.4 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第3課5.6 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第3課7.8.9 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第4課10.11.12 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第5課13.14 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第5課15 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第6課16.17 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第6課18 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第7課19.20 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第7課21 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第8課22.23 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第8課24 漢字たまご7課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	第9課 漢字たまご8課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初級 2A2かつどう」 「漢字たまご初中級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話Ⅳ N1

更新日：2026/05/26 21:01:30

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC410
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N1 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
3	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
4	実社会でのコミュニケーションや自己実現につなげる態度を養うことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：語彙を調べ覚える。 (4時間)
2	2回目	ユニット5申し出をする セクション1	対面授業	予習：ユニット5セクション2をよく読み理解しておく(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
3	3回目	ユニット5申し出をする セクション2	対面授業	予習：ユニット5セクション3をよく読み理解しておく(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
4	4回目	ユニット5申し出をする セクション3	対面授業	予習：ユニット6セクション1をよく読み理解しておく(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)

5	5回目	ユニット6助言する セクション1	対面授業	予習：ユニット6セクション2をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	ユニット6助言する セクション2	対面授業	予習：ユニット6セクション3をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	ユニット6助言する セクション3	対面授業	予習：ユニット7セクション1をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	ユニット7不満を伝える セクション1	対面授業	予習：ユニット7セクション2をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	ユニット7不満を伝える セクション2	対面授業	予習：ユニット7セクション3をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	ユニット7不満を伝える セクション3	対面授業	予習：ユニット8セクション1をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	ユニット8ほめる セクション1	対面授業	予習：ユニット8セクション2をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	ユニット8ほめる セクション2	対面授業	予習：ユニット8セクション3をよく読み理解しておく (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	ユニット8ほめる セクション3	対面授業	予習：ユニット5～8をよく読み理解しておく(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	ユニット5～8復習①	対面授業	予習：ユニット5～8をよく読み理解しておく(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	15回目 ユニット5～8復習②	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話 漢字たまご中級2	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話Ⅳ N2

更新日：2026/05/26 21:01:31

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC410
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

この授業では、日本語の知識（単語、文法・文型、表現）を増やすとともに、それらの知識を用いた日本語でのコミュニケーションにおける聞く、話す、読む、書くという4つの技能を総合的に学修します。具体的には、単語や文法・文型、表現などを実際の日本語使用場面をとおして学び、そのような場面で行えることを増やしていきます。また、積極的にコミュニケーションを行おうとする態度も養います。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験N2レベルの実力）
3	教科書の題材やクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。
5	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 課題・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	5%
キャリアデザイン力	5	予習・復習	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験50%、課題・ミニテスト20%、予習・復習10%、授業態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TOPIC 1 PART 1	対面授業	予習：教科書を準備する。教科書pp. 4-5を読んでくる。シラバスを読んでくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2	2回目	TOPIC 1 PART 2	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
3	3回目	TOPIC 1 PART 3 漢字たまご (7-1) ミニテスト①	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

4	4回目	TOPIC 1 PART 4	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5	5回目	TOPIC 1 PART 5 漢字たまご (7-2) ミニテスト②	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6	6回目	TOPIC 2 PART 1 漢字たまご (7-3)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7	7回目	TOPIC 2 PART 2 ミニテスト③	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8	8回目	TOPIC 2 PART 3 漢字たまご (7-4)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9	9回目	TOPIC 2 PART 4 ミニテスト④	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10	10回目	TOPIC 2 PART 5 漢字たまご (8-1)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11	11回目	TOPIC 3 PART 1 漢字たまご (8-2) ミニテスト⑤	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12	12回目	TOPIC 3 PART 2	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13	13回目	TOPIC 3 PART 3 漢字たまご (8-3) ミニテスト⑥	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
14	14回目	TOPIC 3 PART 4 漢字たまご (8-4)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15	15回目	TOPIC 3 PART 5 ミニテスト⑦ 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	『まるごと 日本のことばと文化 中級2』国際交流基金 (編著)、2017、三修社 『漢字たまご 中級1』嶋田和子 (監)・有山優樹・落合知春・伊瀬知史子・井上友紀子・森節子 (著)、2024、凡人社
参考書	【教科書】ISBN
	978-4-384-05760-7 C0081 9784867460177
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
参考書	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	--

日本語会話Ⅳ N3

更新日：2026/05/26 21:01:32

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC410
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。
特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象は N3 レベルの学生である。

授業における到達目標

1	1 他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	2 様々な話題について、各場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解し、適切な反応ができる。
3	3 与えられたトピックやクラスメイト等との 交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。
4	4 使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる
5	5 多読本への取り組み

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力		授業態度	5%
確かな専門的知識や技能		ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力		授業態度	10%
課題解決能力		授業態度・グループワーク	10%
キャリアデザイン力		多読への取り組み	5%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退席や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認 ○漢字たまご中級3課①②	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	トピック 4 Part 1 今、私は温泉にきています。 ○漢字たまご中級3課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

3	3回目	トピック4 Part 2 日本の旅館ははじめてです。 ミニテスト①	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
4	4回目	トピック4 Part 3 いちばん行きたいのは... ○漢字たまご中級4課①②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	トピック4 Part 4 とても満足しました。 ミニテスト②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	トピック4 Part 5 食事についての問い合わせ ○漢字たまご中級4課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	トピック5 Part 1/2 ねえ、聞いて聞いて 最近、仕事が忙しくて... ミニテスト③	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	トピック5 Part 3 最近、ヨガにはまってるんです ○漢字たまご中級5課①②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	トピック5 Part 4 我が家の近況ですが... ミニテスト④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	トピック5 Part 5 お元気ですか ○漢字たまご中級5課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	トピック6 Part 1/2 すごく有名なマンガですよ これはチョッパーの帽子です ミニテスト⑤	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	トピック6 Part 3 酒飲みの大男の話です ○漢字たまご中級6課①②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	トピック6 Part 4 マンガばかり読んでいて... ミニテスト⑥	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	トピック6 Part 5 「悩める母」さんへ。 ○漢字たまご中級6課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	トピックのまとめ ミニテスト⑥	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと 中級1 にほんのことばと文化』 漢字たまご 中級1	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 ・遅刻や欠席がある場合には必ずGoogle Classroomメール連絡すること。 	
オフィスアワー	授業の前後、Google Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は母国語を話さない。 ・携帯電話は、出席・ミニテスト以外は使わない。 ・多読の本は必ず持ってくること。 ・諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 	

日本語会話Ⅳ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:33

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC410
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。
特に、日常生活で出合う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。
対象は N4 上レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持って関わるができる。
2	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて詳しく伝えることができる。また、相手の話を具体的に理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	課題	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	トピック10	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2 時間)
3	3回目	トピック11 漢字たまご9課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2 時間)

4	4回目	トピック11 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
5	5回目	トピック12 漢字たまご10課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
6	6回目	トピック12 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
7	7回目	トピック13 漢字たまご11課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
8	8回目	トピック13 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
9	9回目	トピック14 漢字たまご12課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
10	10回目	トピック14 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
11	11回目	トピック15 漢字たまご13課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
12	12回目	トピック15 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
13	13回目	トピック16 漢字たまご14課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
14	14回目	トピック17	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
15	15回目	トピック18 漢字たまご15課	対面授業	【予習】定期試験の準備(2時間) 【復習】これまでの振り返りを行う(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと日本のことばと文化 初級2 A2 かつどう』 三修社 『漢字たまご 初中級』 凡人社	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目標に向かって授業に参加できること	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	授業に積極的に参加してください。	

日本語会話Ⅳ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:34

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC410
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	☑

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。
特に、日常生活で出合う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。
対象は N4 レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して親和的な態度で関わることができる。
2	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて詳しく伝えることができる。また、相手の話を具体的に理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト・課題 ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- ・本授業では、授業参加態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退席や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●漢字たまご 第9課①（課題・ミニテスト） ●トピック5－第9課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2 時間)
3	3回目	●漢字たまご 第9課②（課題・ミニテスト） ●トピック5－第10課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2 時間)

4	4回目	●漢字たまご 第10課① (課題・ミニテスト) ●トピック6ー第11課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
5	5回目	●漢字たまご 第10課② (課題・ミニテスト) ●トピック6ー第12課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
6	6回目	●漢字たまご 第11課① (課題・ミニテスト) ●トピック7ー第13課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
7	7回目	●漢字たまご 第11課② (課題・ミニテスト) ●トピック7ー第14課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
8	8回目	●漢字たまご 第12課① (課題・ミニテスト) ●トピック5～7復習	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●漢字たまご 第12課② (課題・ミニテスト) ●トピック8ー第15課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
10	10回目	●漢字たまご 第13課① (課題・ミニテスト) ●トピック8ー第16課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
11	11回目	●漢字たまご 第13課② (課題・ミニテスト) ●トピック9ー第17課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
12	12回目	●漢字たまご 第14課① (課題・ミニテスト) ●トピック9ー第18課	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。「生活と文化」のページに取り組む。(2時間)
13	13回目	●漢字たまご 第14課② (課題・ミニテスト) ●トピック8～9復習	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●漢字たまご 第15課① (課題・ミニテスト) ●総復習①	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●漢字たまご 第15課② (課題・ミニテスト) ●総復習②	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間)

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『漢字たまご 初中級』 凡人社 『まるごと 日本のことばと文化 初級2 A2』 三修社	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN

履修条件	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・毎回、教科書を持ってくること。・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

日本語会話 V N1N2

更新日：2026/05/26 21:01:35

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC510
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・句型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようにすることを目標とする。

授業における到達目標

1	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。（日本語能力試験 N2 レベルの実力）
2	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：トピック 4① part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	トピック 4① part1 ○漢字たまご中級 9課①	対面授業	予習：トピック 4②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 4②part2 ○漢字たまご中級 9課②	対面授業	予習：トピック 4③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 4③part3 ○漢字たまご中級 9課③	対面授業	予習：トピック 4④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	トピック 4④part4.5 ○漢字たまご中級 9課④	対面授業	予習：トピック 5①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

6	6回目	トピック5①part1 ○漢字たまご中級9課復習	対面授業	予習：トピック5②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	トピック5②part2 ○漢字たまご中級10課①	対面授業	予習：トピック5④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	トピック5③part3 ○漢字たまご中級10課②	対面授業	予習：トピック5④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	トピック5④part4.5 ○漢字たまご中級10課③	対面授業	予習：トピック6①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	トピック6①part1 ○漢字たまご中級10課④	対面授業	予習：トピック6②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	トピック6②part2 ○漢字たまご中級10課復習	対面授業	予習：トピック6③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	トピック6③part3 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習：トピック6④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	トピック6④part4.5 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習：トピック4～6 総まとめ 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	トピック4～6 総まとめ① ○漢字たまご中級9.10課復習 会話・ロールプレイ	対面授業	予習：トピック4～6総まとめ 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	15回目 トピック4～6総まとめ② ○漢字たまご中級9.10課復習 会話・ロールプレイ	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級1	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業前後で対応	
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Googleclassroom） ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）	

日本語会話 V N3上

更新日：2026/05/26 21:01:36

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC510
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

N3レベルを対象に、日常生活の身近な場面で「話す・聞く」力を養い、実践的な語彙や漢字を使いこなせるコミュニケーション能力の習得を目指す。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。
3	授業内容やディスカッションを通じて日本や多文化への理解を深める。
4	実際の場面を想定した実践練習を通じ、日常の課題に主体的に取り組む力を身に付ける。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループディスカッション	10%
確かな専門的知識や技能	2	①定期試験 ②ミニテスト	①60% ②10%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogleClassroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし、遅刻3回を欠席1回とする。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 初級1 A2かつどう復習 トピック1・2	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	初級1 A2かつどう復習 トピック3・4・5 漢字たまご1課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
3	3回目	初級1 A2かつどう復習 トピック6・7・8・9 ミニテスト①	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
4	4回目	初中級 A2/B1 トピック 1part 1 part2 漢字たまご2課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

5	5回目	トピック 1 part3 part4 ミニテスト②	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	トピック 1 part5 part6 漢字たまご3課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	初中級 A2/B1 トピック 2part 1 ミニテスト③	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	トピック 2part2 part3 漢字たまご4課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	トピック 2 part4 part5 ミニテスト④	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	初中級 A2/B1 トピック 3part 1 漢字たまご5課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	トピック 3part2 part3 ミニテスト⑤	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	トピック 3part4 part5	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	初中級 A2/B1 トピック 4part 1 漢字たまご6課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	トピック 4part2 part3 まとめ① 漢字たまご7・8課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	トピック 4 part4 part5 まとめ②	対面授業	予習：今までのトピックをチェックする（2時間） 復習：ふりかえりの時間（2時間）
16	16回目	定期試験（テスト）	対面授業	授業外学習60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 「まるごと日本のことばと文化初級1 A 2 かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	積極的に参加すること
履修上の注意	欠席する場合は事前にメールで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

日本語会話 V N3下

更新日：2026/05/26 21:01:37

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC510
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。

日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く・書く」に重点を置く。

N3レベルの学生を対象に実施する。

授業を通してN3の日本語力の定着及びレベルアップを図ることで、日常生活場面がより豊かになることを目的にする。

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる。	・グループディスカッション	10%
確かな専門的知識や技能	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に付けることができる。	・定期試験 ・漢字テスト ・ミニテスト	40% 10% 10%
異文化知識・対応能力	日本文化について理解することができる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる。	・課題・レポート提出	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題を見つけ、課題に向き合い、課題解決できる力を養うことができる。	・授業への参加・態度	15%
キャリアデザイン力	自分の将来について、説明することができる。	・スピーチ	5%
合計			100%

補足事項

- ・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはClassroomを利用する。
- ・本授業では、定期試験40%、漢字テスト10%、ミニテスト10%、課題・レポート提出10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度15%、個に応じた調査学習5%の割合で評価する。
- ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし、遅刻3回は欠席1回とする。
- ・授業を5回欠席した場合、「受講資格なし」とする。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンテーション」 ・授業の進め方と注意点について説明をする ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第1課 「いい なまえですね」 ・TOPIC1から会話を広げる ・漢字たまご 第1課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
2	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第2課 「めがねを かけている人です」 ・TOPIC1から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
3	3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第3課 「おすすめは 何ですか」 ・TOPIC2から会話を広げる ・漢字たまご 第2課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
4	4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第4課 「どうやって 食べますか」 ・TOPIC2から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
5	5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第5課 「ぼうしを 持っていったほうがいいですよ」 ・TOPIC3から会話を広げる ・漢字たまご 第3課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
6	6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・TOPIC3 まとめ ・会話練習 ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
7	7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第6課 「イルカの ショーが見られます」 ・TOPIC4から会話を広げる ・漢字たまご 第4課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
8	8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第7課 「雨が ふったら、どう しますか」 ・TOPIC4から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
9	9回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第8課 「コンサートは もう はじまりましたか」 ・TOPIC5から会話を広げる ・漢字たまご 第5課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
10	10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・会話練習 ・TOPIC5 まとめ ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
11	11回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第9課 「お正月は どう していましたか」 ・TOPIC6から会話を広げる ・漢字たまご 第6課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
12	12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第10課 「いい ことがありますように」 ・TOPIC6から会話を広げる ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
13	13回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化第11課 「そうじきが こわれて しまったんです」 ・TOPIC7から会話を広げる ・漢字たまご 第7課 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
14	14回目	<ul style="list-style-type: none"> ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・TOPICから7 まとめ ・会話練習 ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間）</p> <p>復習：今日の進出単語を確認する 間違えた箇所をやり直す（2時間）</p>
15	15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・1~14回までの授業の振り返り ・まるごと初級2A2 日本のことばと文化 ・漢字たまご第8課 ・ミニテスト 	対面授業	<p>予習：今まで気になったTOPICをチェックする（2時間）</p> <p>復習：振り返りの復習（2時間）</p>
16	16回目	・定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと 日本のことばと文化 初級2 A2 かつどう』 執筆：来嶋洋美 柴原智代 八田直美 木谷直之 根津誠 発行年：2022年7月30日発行 発行所：株式会社三修社	
	『まるごと 日本のことばと 初中級 A2/B1』 執筆：来嶋洋美 柴原智代 八田直美 発行年：2020年7月10日 第7刷発行 発行所：株式会社三修社	
『漢字たまご 初中級』 執筆：有山優樹 落合知春 立原雅子 林英子 山口知才子 発行年：2019年5月10日 初版第6刷発行 発行所：株式会社 凡人社		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。 指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。	

日本語会話 V N4上

更新日：2026/05/26 21:01:38

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC510
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と 分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第1課1.2 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第2課3.4 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第2課5 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第3課6.7 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第4課8.9 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第5課10.11 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第6課12.13.14 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第7課15.16 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第7課17 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第8課18 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第8課19 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第9課20.21 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第9課22.23 漢字たまご7課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	まとめ 漢字たまご8課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初級 1A2かつどう」 「漢字たまご初級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話 V N4下

更新日：2026/05/26 21:01:39

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC510
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。
 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く
 N4レベルの学生を対象とする。授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に付けることができる。
3	日本文化について理解できる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる
4	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	3	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。
 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、授業への参加態度10%、多読への取り組み10%の割合で評価する。
 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし遅刻3回を欠席1回とする。
 授業を5回欠席した場合、受験資格はなしとする。
 多読本は、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1わたしとかぞく だい1か東京に住んでい ますP22～P27 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第1課	面接授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2しゅみはクラシックを聞くこと です P28～P32 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

3	3回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 きせつとてんき だい3か日本はいま、はるです P33~P39 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第2課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
4	4回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 だい4か いいてんきですなP40~P46 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
5	5回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第3課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 わたしのまち だい5か このこうえんはひろくてきれいです P47~P53 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 だい6か まっすぐ行ってください P54~P60 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第4課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 でかける だい7か 10時でもいいですか P61~P67 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第5課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 だい8か もうやけいを見に行きましたか P68~P72 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第6課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 がいこくごとがいこくぶんかだい9か 日本語ははつおんがかんたんです P73~P79 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 だい10か いつか日本に行きたいです P80~P85 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第7課	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習：教科書の内容を読んで理解する（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	1~14回までの授業のまとめ 漢字のまとめ・ふりかえり ・漢字たまご第8課 ミニテスト	対面授業	予習：いままでで気になったTOPICをチェックする（2時間） 復習：ふりかえりの復習（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。 多読用の本を忘れないこと。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。	

日本語会話VI N2

更新日：2026/05/26 21:01:40

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC603
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・句型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようにすることを目標とする。

授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる
2	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。（日本語能力試験 N2 レベルの実力）
3	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。
4	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
5	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子 グループ・ペアワーク	10%
キャリアデザイン力	5	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、多読本への取り組み 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：トピック 7① part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	トピック 7① part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 7②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 7③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック 7④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	トピック7④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	トピック8①part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	トピック8②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	トピック8③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック8④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	トピック8④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9①part1 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	トピック9①part1 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9②part2 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	トピック9②part2 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9③part3 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	トピック9③part3 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：トピック9④part4.5 語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	トピック9④part4.5 ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：7～9 総まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	トピック7～9 総まとめ① ○漢字たまご中級2復習 ロールプレイ	対面授業	予習：7～9 総まとめ語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	トピック7～9 総まとめ② 会話・ロールプレイ ○漢字たまご中級2復習	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級2
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	欠席の場合はGoogleclassroomで連絡すること
オフィスアワー	授業の前後、classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	携帯電話は調べる以外に使わないこと。 授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する） 多読の本は必ず図書館で借りておくこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。

日本語会話VI N3上

更新日：2026/05/26 21:01:41

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC603
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

特に、日常生活で出合う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。対象はN3レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的に接することができる。
2	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、主要点を理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方から新たな視点を得て、自らの考えを深め、発展させることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って周りと助け合いながら積極的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退学や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1時間)
2	2回目	・漢字たまご初中級9課 ・まるごと初中級 A2/B1 トピック 5part 1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
3	3回目	・漢字たまご初中級10課① ・トピック 5part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)

4	4回目	・漢字たまご初中級10課② ・トピック 5part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	・漢字たまご初中級11課① ・初中級 A2/B1 トピック 6part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	・漢字たまご初中級11課② ・トピック 6part2 part3 part4	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	・漢字たまご初中級12課① ・トピック 6 part5 part6	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	・漢字たまご初中級12課② ・初中級 A2/B1 トピック 7part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	・漢字たまご初中級13課① ・トピック 7part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	・漢字たまご初中級13課② ・トピック 7part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	・漢字たまご初中級14課① ・初中級 A2/B1 トピック 8part1	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	・漢字たまご初中級14課 ・②トピック 8part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	・漢字たまご初中級15課① ・トピック 8 part4 part5 part6	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	・漢字たまご初中級15課② ・初中級 A2/B1 トピック 9 part1 part2 part3	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	・漢字たまご初中級復習 ・トピック 9 part4 part5	対面授業	【予習】ミニテストの準備をする。授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて、これまでの学びを確認する。(2時間) 【復習】これまでの授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
17				授業外学修 62時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社 『漢字たまご初中級』凡人社	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN

履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・ 毎回、教科書を持ってくること。・ Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。・ 予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

日本語会話VI N3下

更新日：2026/05/26 21:01:42

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC603
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N3 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と 分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
4	自身がモチベーション高く、目の前のこと に向き合い能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	初中級 A2/B1 トピック 5part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック 5part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	トピック 5part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	初中級 A2/B1 トピック 6part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	トピック 6part2 part3 part4	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	トピック 6 part5 part6	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	トピック 7part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	トピック 7part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	初中級 A2/B1 トピック 8part 1	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	トピック 8part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	トピック 8 part4 part5 part6	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	初中級 A2/B1 トピック 9part 1 part2 part3	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	トピック 9part4 part5	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 「漢字たまご初中級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語会話VI N4上

更新日：2026/05/26 21:01:43

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC603
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。
 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く
 N4レベルの学生を対象とする。
 授業開始10分間は多読を行い、積極的な日本語の習得を促したい。

授業における到達目標

1	1	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる
2	2	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に付けることができる。
3	3	日本文化について理解できる。授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる
4	4	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる
5	5	

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	3	多読本への取り組み	10%
合計			100%

補足事項

授業の出欠、連絡、課題、ミニテスト、質問などはGoogle Classroomを利用する。
 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、多読本への取り組み10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
 多読本は、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	・オリエンテーション 授業の進め方と注意点についての説明をする。 ・まるごと初級1A2 だい11か「なにをもっていきますか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
2	2回目	・トピック① だい12か「おいしそうですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
3	3回目	・トピック② だい13か「たなかさんに会ったことがあります」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第10課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）

4	4回目	・トピック② だい14か「これ、つかってもいいですか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
5	5回目	・トピック③ だい15か「たいそうするといいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第11課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
6	6回目	・トピック③ だい16か「はったり、およいだりしています」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
7	7回目	・トピック④ だい17か「たんじょう日にもらったんです」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第12課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
8	8回目	・トピック④ だい18か「パーティーがいいとおもいます」 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
9	9回目	まるごと初級2A2かつどう ・トピック① だい1か「いいなまえですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第13課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
10	10回目	・トピック① だい2か「めがねをかけている人です」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
11	11回目	・トピック② だい3か「おすすめは何ですか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第14課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
12	12回目	・トピック② だい4か「どうやって食べますか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
13	13回目	・トピック③ だい5か「ぼうしを持っていったほうがいいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第15課	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
14	14回目	・トピック③ だい6か「イルカのショーが見られます」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
15	15回目	漢字・授業のまとめ	対面授業	予習：内容を読み自分の意見を持つ（2時間） 復習：今日の新出単語を確認する（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 まるごと初級2A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。 多読用の本を忘れないこと。	

オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業になるときは、別途連絡します。

日本語会話VI N4下

更新日：2026/05/26 21:01:44

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC603
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。</p> <p>○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p> <p>○課題発表やプレゼンテーションもある。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第10課24.25 漢字たまご9課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第10課26 漢字たまご9課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第11課27.28 漢字たまご10課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第11課29 漢字たまご10課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第12課30.31 漢字たまご11課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第12課32 漢字たまご11課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第13課33.34 漢字たまご12課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第13課35.36 漢字たまご12課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第14課37.38.39.40 漢字たまご13課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第15課41.42.43 漢字たまご13課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第16課44.45.46 漢字たまご14課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第17課47.48.49 漢字たまご14課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第18課50.51.52.53 漢字たまご15課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	まとめ 漢字たまご15課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初級 1A2かつどう」 「漢字たまご初級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語検定 I N1N2

更新日：2026/05/26 21:00:28

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC112
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日本語能力試験N2レベルの各能力を高めるため、問題に取り組む。具体的には、教科書（TRY! N2）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

授業における到達目標

1	N2相当の文法力、読解力、語彙力が身に付いている。
2	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	モチベーションが高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	2	定期試験	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、単語テスト10%、予習・復習10%、授業への参加・態度20%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TRY 1章	対面授業	予習：シラバスおよびTRY (pp. 4-9) を読んでくる。(2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
2	2回目	TRY 1章 (続き) TRY 2章 (1)	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
3	3回目	TRY 2章 (2) 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
4	4回目	TRY 3章	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)

5	5回目	TRY 4章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	中間まとめ	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY 5章（1） 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY 5章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY 6章（1） 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY 6章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY 7章（1） 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY 7章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY 8章 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY 9章（1）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY 9章（2） 単語テスト⑦	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語、ABK（公益財団法人 アジア学生文化協会）、2021、アスク出版 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400、話題別コーパス研究会、2022、ジャパンタイムズ出版	978-4-87217-903-3 978-4-7890-1796-1
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応。Google Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する。）	

日本語検定 I N3上

更新日：2026/05/26 21:00:29

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC112
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N3の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・ 日常的話題について書かれた具体的な内容を表あらす文章を、読んで理解かいることができるようになる。
- ・ 新聞の見出などから情報の概要をつかむことができるようになる。
- ・ 日常の場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができるようになる。
- ・ 日常の場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話しの具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて基本的な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。
5	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100

補足事項

- ・ 講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・ 遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	トピック1 初めての富士山	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2	トピック2 ぼくの犬、クロ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3	トピック3 市民農園の募集	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4	トピック1からトピック3までの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5	トピック4 水泳大会	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6	トピック5 手作りハムのレシピ	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

7	7	トピック6 里山について	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
8	8	トピック4からトピック6までの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
9	9	トピック7 不動産屋で	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10	トピック8 就職の面接	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11	トピック9 お花見	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12	トピック7からトピック9までの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13	トピック10 ゆきの選択	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14	トピック11 友だちのお見舞い	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15	トピック10からトピック11までの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16	定期試験	対面	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など TRY! 日本語能力試験 N3 改訂版 ミニストーリーで覚える JLPT日本語能力試験ベスト単語N3 合格2100 ジャパンタイムズ出版	【教科書】ISBN 978-4866396668 978-4789017978
	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 必要に応じて適宜紹介する。	【参考書】ISBN
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

日本語検定 I N3下

更新日：2026/05/26 21:00:30

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC112
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

日本語能力試験 N3 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的に接することを意識して行動できる
2	実際の日本語使用場面の中で、適切な文法 項目や語彙を選んだり、正しい形に直して運用したりできる。食事・旅行・学校等、身近なトピックでよく使われる語彙(意味、使い方、漢字等)が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って積極的に学習に取り組める。
4	自分の現在の日本語能力と進路実現のための課題を把握し、計画的に学習に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	4	授業参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ミニテスト Topic1 食事 ●文法 1.初めての富士登山(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
3	3回目	●ミニテスト Topic2 家事 ●文法 1.初めての富士登山(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)

4	4回目	●ミニテスト Topic3 買い物 ●文法 2.ぼくの犬、クロ(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
5	5回目	●ミニテスト Topic4 ファッション ●文法 2.ぼくの犬、クロ(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
6	6回目	●ミニテスト Topic5 テクノロジー ●文法 3.市民農園の募集(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
7	7回目	●ミニテスト Topic6 流行 ●文法 3.市民農園の募集(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
8	8回目	●ミニテスト 復習問題 ●第7回までのまとめ	対面授業	【予習】今回の授業範囲の確認(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ミニテスト Topic7 人づきあい ●文法 4.水泳大会(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
10	10回目	●ミニテスト Topic8 スポーツ ●文法 4.水泳大会(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
11	11回目	●ミニテスト Topic9 動物 ●文法 5.手作りハムのレシピ(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
12	12回目	●ミニテスト Topic10 町 ●文法 5.手作りハムのレシピ(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
13	13回目	●ミニテスト Topic11 天気 ●文法 6.里山について(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
14	14回目	●ミニテスト Topic12 旅行 ●文法 6.里山について(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
15	15回目	●ミニテスト 復習問題 ●第14回までのまとめ	対面授業	【予習】今回の授業範囲の確認(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間)
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』ジャパンタイムズ出版 『TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語[改訂版]』アスク	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・毎回、教科書を持ってくること。・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます

日本語検定 I N4上

更新日：2026/05/26 21:00:31

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC112
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

JLPTN4級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力を身に付けることを目標とする。

授業における到達目標

1	1 目標に向かって、着実に進歩することができる
2	2 N4レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている
3	3 日本語の感覚を身に付けている
4	4 工夫した学習法を身に付けている
5	5 資格を、進学や就職に活かそうとする

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 漢字テスト・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	5	レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠・連絡・ミニテスト・レポート提出、質問などは、Google Classroomを活用する。 ・授業開始後10分間は多読を行う。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N4 TRY! あいさつのことば P4~P17 ・解説と解答	対面授業	予習：P4~17を読む（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
2	2回目	N4 TRY! おかし作り（1） P18~P25 ・解説と解答	対面授業	予習：P18~P25を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
3	3回目	N4 TRY! おかし作り（2） P26~P35 ・解説と解答	対面授業	予習：P26~35を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
4	4回目	N4 TRY! けっこん式（1）（2） P36~P49 ・解説と解答	対面授業	予習：P36~49を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）

5	5回目	N4 TRY! 私の町ハノイ (1) (2) P50~P67 ・解説と解答	対面授業	予習：P50~67を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
6	6回目	N4 TRY! ハイキングの計画 (1) (2) P68~P85 ・解説と解答	対面授業	予習：P68~85を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
7	7回目	N4 TRY! 木の上の子ねこ (1) (2) P86~P102 ・解説と解答	対面授業	予習：P86~102を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
8	8回目	N4 TRY! 大好きなピアノ (1) (2) P103~P119 ・解説と解答	対面授業	予習：P103~119を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
9	9回目	N4 TRY! 旅館のよやく (1) (2) P120~P133 ・解説と解答	対面授業	予習：P120~133を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
10	10回目	N4 TRY! ゆうしょうインタビュー (1) (2) P134~P149 ・解説と解答	対面授業	予習：P134~149を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
11	11回目	N4 TRY! アルバイトのめんせつ (1) (2) P150~P161 ・解説と解答	対面授業	予習：P150~161を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
12	12回目	N4 TRY! 便利な言葉 助詞 P162~P165 ・解説と解答	対面授業	予習：P162~165を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
13	13回目	N4 TRY! 便利な言葉 副詞 P165~P167 ・解説と解答	対面授業	予習：P165~167を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
14	14回目	N4 TRY! 便利な言葉 指示語 P167~P169 ・解説と解答	対面授業	予習：P167~169を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
15	15回目	N4 TRY! 模擬試験 P192~P199 ・解説と解答	対面授業	予習：P192~199を解く (2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする (2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など N4 TRY! JLPTN4ベスト単語2400	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は、前もってClassroomで連絡すること。	
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母語で話さないこと。 スマートフォンは調べること以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 多読の本は必ず図書館で借りておくこと。 N4,N3合格に向けて頑張りましょう。	

日本語検定 I N4下

更新日：2026/05/26 21:00:32

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC112
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N4TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N4合格を目指す。

授業における到達目標

1	N4の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N4相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力が向上する。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー TRY 1章	面接授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY2章（1） 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY2章（2） 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY3章 (1) 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
5	5回目	TRY3章 (2) 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
6	6回目	TRY4章 (1) 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
7	7回目	TRY4章 (2) 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
8	8回目	TRY5章 (1) 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
9	9回目	TRY5章 (2) 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
10	10回目	TRY6章 (1) 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
11	11回目	TRY6章 (2) 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
12	12回目	TRY7章 (1) 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
13	13回目	TRY7章 (2) 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
14	14回目	TRY8章 (1) 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
15	15回目	TRY8章 (2) 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備 (4時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY! 日本語能力試験N4 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

日本語検定 II N1

更新日：2026/05/26 21:00:33

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC308
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

日本語能力試験 N1 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して思いやりを持って積極的に関わることができる。
2	自分の力で正しい答えを導き出すことができる。重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	15%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業態度	15%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等とみなす。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●TRY 1	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●TRY2-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4	4月回目	●TRY2-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5	5回目	●TRY3-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

6	6回目	●TRY3-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●TRY4 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●TRY4 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●TRY5 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●TRY5 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●TRY6-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●TRY6-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●TRY7 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●TRY7 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●第15回までの復習	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備する (2時間) 【復習】これまでの振り返りを行う (2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	<p>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>『TRY!日本語能力試験N1』アスク出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N1合格2600』ジャパンタイムズ出版</p> <p>【教科書】ISBN</p>
参考書	<p>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【参考書】ISBN</p>
履修条件	目標に向かって授業に参加できること
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	授業に積極的に参加してください。

日本語検定 II N2

更新日：2026/05/26 21:00:34

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC308
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	☑
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N2TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

授業における到達目標

1	N2の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力を向上させることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー TRYN2既習内容復習	面接授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY1.2章 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY3.4章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY5.6章 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	TRY7.8章 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	TRY9章（1） 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY9章（2） 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY10章（1） 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY10章（2） 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY11章 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY12章（1） 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY12章（2） 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY13章（1） 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY13章（2） 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY14章 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2 ベスト単語合格2400	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

日本語検定 II N3

更新日：2026/05/26 21:00:35

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC308
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日本語能力試験 N3 レベルの言語知識、読解、聴解を中心に扱う。様々な形式の問題に少しずつ触れ、試験問題のパターンに慣れることを第一の目標とする。また、語彙力の向上を目指し、授業内でミニテストを行う。問題を解くだけでなく、関連する表現や漢字、語彙等も一緒に学び、問題から離れても運用できる応用力を身につけることを目指す。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	自分の力で正答を導き出すことができる。重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。
4	自分の現在の日本語能力と進路実現のための課題を把握し、計画的に学習に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	4	授業参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業参加態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退席や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 1日目 読解:内容理解(短文) 1日目 聴解:課題理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 1日目 読解:内容理解(中文) 1日目 聴解:ポイント理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

4	4回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 1日目 読解:内容理解(長文) 1日目 聴解:概要理解・発話表現 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 1日目 読解:情報検索 1日目 聴解:即時応答 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 2日目 読解:内容理解(短文) 2日目 聴解:課題理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 2日目 読解:内容理解(中文) 2日目 聴解:ポイント理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●ミニテスト ●第7回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 2日目 読解:内容理解(長文) 2日目 聴解:概要理解・発話表現 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 2日目 読解:情報検索 2日目 聴解:即時応答 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 3日目 読解:内容理解(短文) 3日目 聴解:課題理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 3日目 読解:内容理解(中文) 3日目 聴解:ポイント理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 3日目 読解:内容理解(長文) 3日目 聴解:概要理解・発話表現 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 3日目 読解:情報検索 3日目 聴解:即時応答 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●ミニテスト ●第15回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備する。(2時間)
17				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『全科目攻略!JLPT 日本語能力試験ベスト総合問題集 N3』 ジャパンタイムズ出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』 ジャパンタイムズ出版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、教科書を持ってくること。 ・ Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・ 予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。	

日本語検定Ⅱ N4上

更新日：2026/06/08 12:10:18

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC308
担当教員	児玉 佳奈子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業では『TRY! 日本語能力試験 N3』を主教材とし、中級前半の重要文法を体系的に整理しながら、日常の様々な場面で「実際に使える日本語」の習得を目指す。

①身近な生活や教養に関する読解テキストを通し、新しい文法がどのような文脈やニュアンスで使われているかを深く理解する。

②基本的な文型練習だけでなく、学んだ文法を駆使して自分の意見や状況を説明する「問題解決型」のタスク（PBL）を行い、実践的な運用力を養う。日本語能力試験（JLPT）N3合格に必要な文法力の基礎を固めると同時に、円滑なコミュニケーション能力を高める。

授業における到達目標

1	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	2		
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- ・定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%で評価する。
- ・授業の連絡はGoogle Classroomを使用する。
- ・課題提出はGoogle Classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 今後の授業の説明 評価方法の説明 予習・復習の説明	対面授業	予習：P4-5を読み、内容を理解する。(2時間) 復習：授業内容の確認。(2時間)
2	2回目	N4・N5レベルの基本語彙・漢字・文法の確認	対面授業	予習：P6-9を読み、内容を理解する。(2時間) 復習：授業内容の確認。(2時間)
3	3回目	TRY 1初めての富士登山（1） 単語テスト①	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
4	4回目	TRY 1初めての富士登山（2）	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)

5	5回目	TRY 2ぼくの犬、クロ(1) 単語テスト②	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
6	6回目	TRY 2ぼくの犬、クロ(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
7	7回目	TRY 3市民農園の募集(1) 単語テスト③	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
8	8回目	TRY 3市民農園の募集(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
9	9回目	TRY 4水泳大会(1) 単語テスト④	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
10	10回目	TRY 4水泳大会(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
11	11回目	TRY 5手作りハムのレシピ(1) 単語テスト⑤	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
12	12回目	TRY 5手作りハムのレシピ(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
13	13回目	TRY 6里山について(1) 単語テスト⑥	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
14	14回目	TRY 6里山について(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
15	15回目	TRY 7不動産屋で(1) 単語テスト⑦	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	<p>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>『TRY!日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語』、ABK、2022、アスク 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』、中俣尚己ほか、2021、ジャパンタイムズ出版</p> <p>【教科書】ISBN</p>
参考書	<p>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【参考書】ISBN</p>
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンは使用禁止。(課題の提出時の使用可) 欠席の場合は必ずGoogle Classroomで連絡すること。 授業内容については、受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。

日本語検定Ⅱ N4下

更新日：2026/05/26 21:00:36

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC308
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N3TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N3合格を目指す。

授業における到達目標

1	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力を向上させることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー N4既習内容復習	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY1章 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY2章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY3章 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	TRY4章 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	TRY5章 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY6章 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY7章 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY8章 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY9章 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY10章 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY11章 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY1～11章 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY1～11章 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY1～11章 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

日本語検定Ⅲ N1N2

更新日：2026/05/26 21:00:37

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC511
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日本語能力試験N2レベルの各能力を高めるため、問題に取り組む。具体的には、教科書（TRY! N2）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

授業における到達目標

1	N2相当の文法力、読解力、語彙力が身に付いている。
2	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	モチベーションが高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	2	定期試験	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、単語テスト10%、予習・復習10%、授業への参加・態度20%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TRY 1章	対面授業	予習：シラバスおよびTRY (pp. 4-9) を読んでくる。(2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
2	2回目	TRY 1章 (続き) TRY 2章 (1)	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
3	3回目	TRY 2章 (2) 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
4	4回目	TRY 3章	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)

5	5回目	TRY 4章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	中間まとめ	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY 5章（1） 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY 5章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY 6章（1） 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY 6章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY 7章（1） 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY 7章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY 8章 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY 9章（1）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学修（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY 9章（2） 単語テスト⑦	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語、ABK（公益財団法人 アジア学生文化協会）、2021、アスク出版 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400、話題別コーパス研究会、2022、ジャパンタイムズ出版	978-4-87217-903-3 978-4-7890-1796-1
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応。Google Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する。）	

日本語検定Ⅲ N3上

更新日：2026/05/26 21:00:38

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC511
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N3の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・ 日常的话题について書かれた具体的な内容を表あらす文章を、読んで理解かいることができるようになる。
- ・ 新聞の見出などから情報の概要をつかむことができるようになる。
- ・ 日常的话题で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができるようになる。
- ・ 日常的话题で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話しの具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わる事ができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をすると、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。
5	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100

補足事項

- ・ 講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・ 遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	トピック1 初めての富士山	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2	トピック2 ぼくの犬、クロ	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3	トピック3 市民農園の募集	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4	トピック1からトピック3までの復習	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5	トピック4 水泳大会	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6	トピック5 手作りハムのレシピ	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

7	7	トピック6 里山について	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
8	8	トピック4からトピック6までの復習	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
9	9	トピック7 不動産屋で	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10	トピック8 就職の面接	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11	トピック9 お花見	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12	トピック7からトピック9までの復習	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13	トピック10 ゆきの選択	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14	トピック11 友だちのお見舞い	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15	トピック10からトピック11までの復習	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16	定期試験	対面	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など TRY! 日本語能力試験 N3 改訂版 ミニストーリーで覚える JLPT日本語能力試験ベスト単語N3 合格2100 ジャパンタイムズ出版	【教科書】ISBN 978-4866396668 978-4789017978
	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 必要に応じて適宜紹介する。	【参考書】ISBN
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

日本語検定III N3下

更新日：2026/05/26 21:00:39

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC511
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

日本語能力試験 N3 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	他者に対して親和的な態度で関わるができる。
2	実際の日本語使用場面の中で、適切な文法 項目や語彙を選んだり、正しい形に直して運用したりできる。 食事・旅行・学校等、身近なトピックでよく使われる語彙(意味、使い方、漢字等)が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。
4	自分の現在の日本語能力と進路実現のための課題を把握し、計画的に学習に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 (番号のみ記載)	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	4	授業参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ミニテスト Topic1 食事 ●文法 1.初めての富士登山(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
3	3回目	●ミニテスト Topic2 家事 ●文法 1.初めての富士登山(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)

4	4回目	●ミニテスト Topic3 買い物 ●文法 2.ぼくの犬、クロ(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
5	5回目	●ミニテスト Topic4 ファッション ●文法 2.ぼくの犬、クロ(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
6	6回目	●ミニテスト Topic5 テクノロジー ●文法 3.市民農園の募集(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
7	7回目	●ミニテスト Topic6 流行 ●文法 3.市民農園の募集(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
8	8回目	●ミニテスト 復習問題 ●第7回までのまとめ	対面授業	【予習】今回の授業範囲の確認(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ミニテスト Topic7 人づきあい ●文法 4.水泳大会(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
10	10回目	●ミニテスト Topic8 スポーツ ●文法 4.水泳大会(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
11	11回目	●ミニテスト Topic9 動物 ●文法 5.手作りハムのレシピ(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
12	12回目	●ミニテスト Topic10 町 ●文法 5.手作りハムのレシピ(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
13	13回目	●ミニテスト Topic11 天気 ●文法 6.里山について(1)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
14	14回目	●ミニテスト Topic12 旅行 ●文法 6.里山について(2)	対面授業	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2時間)
15	15回目	●ミニテスト 復習問題 ●第14回までのまとめ	対面授業	【予習】今回の授業範囲の確認(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間)
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』ジャパンタイムズ出版 『TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語[改訂版]』アスク	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・毎回、教科書を持ってくること。・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます

日本語検定Ⅲ N4上

更新日：2026/05/26 21:00:41

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC511
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

JLPTN4級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力を身に付けることを目標とする。

授業における到達目標

1	1 目標に向かって、着実に進歩することができる
2	2 N4レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている
3	3 日本語の感覚を身に付けている
4	4 工夫した学習法を身に付けている
5	5 資格を、進学や就職に活かそうとする

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 漢字テスト・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業中の言動	5%
課題解決能力	4	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	5	レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の出欠・連絡・ミニテスト・レポート提出、質問などは、Google Classroomを活用する。 ・授業開始後10分間は多読を行う。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N4 TRY! あいさつのことば P4～P17 ・解説と解答	対面授業	予習：P4～17を読む（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
2	2回目	N4 TRY! おかし作り（1） P18～P25 ・解説と解答	対面授業	予習：P18～P25を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
3	3回目	N4 TRY! おかし作り（2） P26～P35 ・解説と解答	対面授業	予習：P26～35を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）
4	4回目	N4 TRY! けっこん式（1）（2） P36～P49 ・解説と解答	対面授業	予習：P36～49を解く（2時間） 復習：間違ったところのやり直しをする（2時間）

5	5回目	N4 TRY! 私の町ハノイ (1) (2) P50~P67 ・解説と解答	対面授業	予習：P50~67を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
6	6回目	N4 TRY! ハイキングの計画 (1) (2) P68~P85 ・解説と解答	対面授業	予習：P68~85を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
7	7回目	N4 TRY! 木の上の子ねこ (1) (2) P86~P102 ・解説と解答	対面授業	予習：P86~102を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
8	8回目	N4 TRY! 大好きなピアノ (1) (2) P103~P119 ・解説と解答	対面授業	予習：P103~119を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
9	9回目	N4 TRY! 旅館のよやく (1) (2) P120~P133 ・解説と解答	対面授業	予習：P120~133を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
10	10回目	N4 TRY! ゆうしょうインタビュー (1) (2) P134~P149 ・解説と解答	対面授業	予習：P134~149を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
11	11回目	N4 TRY! アルバイトのめんせつ (1) (2) P150~P161 ・解説と解答	対面授業	予習：P150~161を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
12	12回目	N4 TRY! 便利な言葉 助詞 P162~P165 ・解説と解答	対面授業	予習：P162~165を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
13	13回目	N4 TRY! 便利な言葉 副詞 P165~P167 ・解説と解答	対面授業	予習：P165~167を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
14	14回目	N4 TRY! 便利な言葉 指示語 P167~P169 ・解説と解答	対面授業	予習：P167~169を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
15	15回目	N4 TRY! 模擬試験 P192~P199 ・解説と解答	対面授業	予習：P192~199を解く(2時間) 復習：間違ったところのやり直しをする(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など N4 TRY! JLPTN4ベスト単語2400	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は、前もってClassroomで連絡すること。	
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母語で話さないこと。 スマートフォンは調べること以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 多読の本は必ず図書館で借りておくこと。 N4,N3合格に向けて頑張りましょう。	

日本語検定Ⅲ N4下

更新日：2026/05/26 21:00:42

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	CC511
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N4TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N4合格を目指す。

授業における到達目標

1	N4の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N4相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力が向上する。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー TRY 1章	面接授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY2章（1） 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY2章（2） 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY3章 (1) 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
5	5回目	TRY3章 (2) 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
6	6回目	TRY4章 (1) 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
7	7回目	TRY4章 (2) 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
8	8回目	TRY5章 (1) 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
9	9回目	TRY5章 (2) 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
10	10回目	TRY6章 (1) 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
11	11回目	TRY6章 (2) 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
12	12回目	TRY7章 (1) 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
13	13回目	TRY7章 (2) 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
14	14回目	TRY8章 (1) 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認 (2時間)
15	15回目	TRY8章 (2) 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備 (4時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY! 日本語能力試験N4 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

日本語ライティング&グラマー I N1N2

更新日：2026/05/26 20:59:57

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC403
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義は、日本語能力試験及び、J.Testの結果を基に編成されたN1N2レベルの学生を対象とした科目である。日本の企業や、日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成から、ビジネス上で使用される文章作成能力、メール上のコミュニケーション能力を身に付けることを目的としている。

授業における到達目標

1	他を思いやる心、常に向上心を持つことができる
2	これまで学んだ日本語に加えて、敬語、謙譲語を確かな日本語を用いて、文章にまとめることができる
3	日本社会に必要な、敬語、謙譲語、丁寧語を相手によって使い分けられるようになる
4	自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる
5	学んだ文法、語彙に関して責任をもち、活用する。また、正しい知識を持つ事ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1.2	課題	20%
異文化知識・対応能力	3	授業への参加態度	10%
課題解決能力	4	授業への参加態度	10%
キャリアデザイン力	5	試験	60%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	シラバス確認、教科書確認、課題確認 P105-108 ホウレンソウとは学校だけでなく、就職や進学先での必須スキル、報連相に関して、文章でアウトプットできるようになる	対面授業	予習：シラバス読む 教科書の確認・準備をしておく（2時間） 復習：報連相に関して実践できるようになる（2時間）
2	2回目	V 敬語 P111～P118 仕事をする上で必要な敬語を確認する。 ・敬語の種類と形 ・ビジネスでよく使われる丁寧な表現 ・敬語の種類と対象を理解する・書く	対面授業	予習：新出語彙を覚えておく。敬語の練習（2時間） 復習：敬語の種類と、使われ方に関して理解できるようになる P112暗記（2時間）
3	3回目	P112 ・丁寧語(名詞) 「お/ご+名詞」 ・尊敬語(動詞) 「お+（動詞-ます形）+になる」 「お+（動詞-ます形）+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業	予習：新出語彙を覚えておく。敬語の練習（2時間） 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。（2時間）

4	4回目	前回の復習と実践練習 P113 「お+ (動詞-ます形) +になる」が使えない動詞	対面授業	予習：配布プリントの新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
5	5回目	P112 ・尊敬語(形容詞) 「お+ (い形容詞) +です」 「お+ (な形容詞) +です」 を使った文章が作ることができる	対面授業	予習：新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
6	6回目	前回の復習と実践練習	対面授業	予習：配布プリントの新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
7	7回目	P112 ・立場が上のひとに対しての指示・依頼 「お+(動詞ます形) +ください」 「お+(動詞ます形) +いただけますか」 P114~118 練習問題を解く	対面授業	予習：新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
8	8回目	P116~P118 ビジネス上使われる丁寧な表現 言い換え練習	対面授業	予習：P119 新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
9	9回目	敬語総復習(中間テスト)	対面授業	予習：中間テスト対策 (2時間)
10	10回目	P119~p124 ビジネス上の挨拶 雑談など高度なコミュニケーションのための日本語がアウトプットできるようになる	対面授業	予習：P119~P124 新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：p122~p124を記入し、理解を深めておく。(2時間)
11	11回目	P125~P134 電話を受ける ビジネス上、電話を受けることは必須である。この課では、ビジネスに即した電話の出方を学び、実践できるようになる P134 ロールプレイで実践力を高める	対面授業	予習：p125 新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：p130~132を記入し、理解を深めておく。(2時間)
12	12回目	p135~144 電話をかける 電話をかけ、取次や伝言を頼めるようになる	対面授業	予習：P135 新出語彙を覚えておく。敬語の練習 (2時間) 復習：これまでの学びを記入し、理解を深めておく。(2時間)
13	13回目	P143~P150 電話 アポイントをとる 今後、就職活動、進学の場合で約束をとる付けることは必須である。、様々な状況に応じて、約束ができるようにメモを取りながら、電話応対ができるようになる	対面授業	予習：P145 新出語彙を覚えておく。内容の確認 (2時間) 復習：P149~150を記入し、理解を深めておく。(2時間)
14	14回目	P151~P162 訪問 訪問の場面で、相手に失礼のない立ち居振る舞いを身に付ける	対面授業	予習：P151 新出語彙を覚えておく。内容の確認 (2時間) 復習：P160~P161の記入をし、理解を深めておく。(2時間)
15	15回目	これまでの復習と疑問点に答える。	対面授業	予習： これまでの学びの確認 (2時間) 復習：全体的に質問がないか確認する (4時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 学校法人長沼スクール東京日本語学校編 2025改訂版2刷 国書刊行会	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	学ぶ意欲のある学生	

履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れることなく、課題をしてきてください。 欠席の場合は、Google Classroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	積極的な参加を求めます 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。

日本語ライティング&グラマー I N3

更新日：2026/05/26 20:59:58

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC403
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

ビジネスシーンで必要とされる高度なコミュニケーション能力と社会人としての基礎スキルの習得を目的とする。教材に基づきコミュニケーションの基本、待遇表現の適切な運用、電話対応など多角的に学習する。

授業における到達目標

1	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。
2	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。
3	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。
5	学習項目や行動を自ら設定し、計画的に取り組む姿勢を身に付けることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	4	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	5	課題	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、グループ・ペアワーク10%、ミニテスト10%、課題10%、の割合で評価する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題/レポートは提出期限を守ること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間）
2	2回目	IV社会人基礎力5①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	IV社会人基礎力5②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	V仕事の日本語力1①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	V仕事の日本語力1②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	V仕事の日本語力2①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

7	7回目	V仕事の日本語力2②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	V仕事の日本語力3①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	V仕事の日本語力3②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	V仕事の日本語力4①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	V仕事の日本語力4②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	V仕事の日本語力5①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	V仕事の日本語力5②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	V仕事の日本語力6①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	V仕事の日本語力6②	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可（Googleclassroom） ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

日本語ライティング&グラマー I N4上

更新日：2026/05/26 21:00:00

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC403
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

ビジネスシーンで必要とされる高度なコミュニケーション能力と社会人としての基礎スキルの習得を目的とする。教材に基づきコミュニケーションの基本、待遇表現の適切な運用、電話対応など多角的に学習する。

授業における到達目標

1	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。
2	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。
3	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。
5	学習項目や行動を自ら設定し、計画的に取り組む姿勢を身に付けることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	4	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	5	課題	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、グループ・ペアワーク10%、ミニテスト10%、課題10%、の割合で評価する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題/レポートは提出期限を守ること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間）
2	2回目	IV社会人基礎力5①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	IV社会人基礎力5②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	V仕事の日本語力1①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	V仕事の日本語力1②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	V仕事の日本語力2①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

7	7回目	V仕事の日本語力2②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	V仕事の日本語力3①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	V仕事の日本語力3②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	V仕事の日本語力4①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	V仕事の日本語力4②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	V仕事の日本語力5①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	V仕事の日本語力5②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	V仕事の日本語力6①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	V仕事の日本語力6②	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可（Googleclassroom） ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

日本語ライティング&グラマー I N4下

更新日：2026/06/08 10:35:32

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CC403
担当教員	児玉 佳奈子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本講義では、日本企業や日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成を目指す。特に、敬語表現の基礎を学び、電話対応や訪問といったビジネス上のコミュニケーション能力や文書作成能力を身に付けることを目的としている。

授業における到達目標

1	ビジネス場面において、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いてやりとりすることができる。
2	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる。
3	日本で働く上で必要な基礎知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	日本の企業や日本人と協働する上で必要なコミュニケーション能力を理解した上で、主体的に学ぶことができる。
5	「報告・連絡・相談」の習慣を身に付け、状況に応じて適切な行動がとれる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	2	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	1	ミニテスト・定期試験	70%
異文化知識・対応能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	5		
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験60%、授業への参加・態度30%、ミニテスト10%を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、またはClassroomで行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 IV 社会人基礎力 5. 報告・連絡・相談	対面授業	予習：教科書を読み、学修内容の見直しを持つ。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
2	2回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ①敬語の種類と形p110-113 これまでの学習内容の確認（敬語） この課で覚える言葉p109	対面授業	予習：教科書を読み、学修内容の見直しを持つ。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
3	3回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ①敬語の種類と形p110-113 尊敬語 ミニテスト①	対面授業	予習：これまでに学んだ敬語を復習する。ミニテストの準備。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)

4	4回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ①敬語の種類と形p110-113 謙譲語 ミニテスト②	対面授業	予習：これまでに学んだ敬語を復習する。ミニテストの準備。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ①敬語の種類と形p110-113 丁寧語 ミニテスト③	対面授業	予習：これまでに学んだ敬語を復習する。ミニテストの準備。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ①敬語の種類と形p111-113 特殊形、「お～になる」が使えない動詞 ミニテスト④	対面授業	予習：これまでに学んだ敬語を復習する。ミニテストの準備。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ②ビジネスでよく使われる丁寧な表現p114	対面授業	予習：教科書を読み、学修内容の見直しを持つ。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ③言い換え練習p115-116 これまでの授業のまとめ ミニテスト⑤	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 この課で覚える言葉 ①会話例p117-119 ミニテスト⑥	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 ②③ロールプレイp120-122 ミニテスト⑦	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	V 仕事の日本語力 3. 電話 受けるp123-132	対面授業	予習：教科書を読み、電話対応に必要な語彙などを覚えてくる。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	V 仕事の日本語力 4. 電話 かけるp133-142 ミニテスト⑧	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	V 仕事の日本語力 5. 電話 アポイントを取るp143-148 ミニテスト⑨	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	V 仕事の日本語力 6. 訪問 p149-155 ミニテスト⑩	対面授業	予習：教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 復習：本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	V 仕事の日本語力 これまでの授業のまとめ	対面授業	予習：これまで学んだ範囲をもう一度確認する。(2時間) 復習：これまで学んだ範囲をもう一度確認する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』国書刊行会	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none">・毎回、教科書を持ってくること。・Google Classroomを使用できるデバイス（PCやスマートフォン等）を持ってこることが望ましい。・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。・遅刻や欠席をする際には必ずメールで連絡すること。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上、あらためて時間を設ける場合もある。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

日本語ライティング&グラマー II N1N2

更新日：2026/05/26 21:00:02

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC710
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

一般的・社会的な内容から専門的な内容までのトピックについて理解を深めながら、アカデミック・ライティングの力（書く力）をつける。さらに論理構成を整え、内容を深く掘り下げた説得力のある文章を書くことを目指す。

授業における到達目標

1	アカデミック・ライティングにふさわしい日本語のスタイル、適切な言語表現、説得力のある内容・構成で書くことができる。
2	培った知識で多様な日本文化に対応でき、また自己表現ができる。
3	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、一般的・社会的な内容から専門的な内容の課題に向き合うことができる。
4	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	課題・レポート	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、課題／レポート10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題／レポート提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題／レポートは提出期限を守り必ず提出すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習：次回（第1課）の言葉調べと内容確認（4時間）
2	2回目	第1課 「アカデミック・ライティングへの準備」	対面授業	予習：次回（第2課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
3	3回目	第2課「日本・日本人」 Step 1 文化・習慣の違い Step 2 日本らしさの発見	対面授業	予習：次回（第2課step3）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
4	4回目	第2課 Step 3 日本論・日本人論	対面授業	予習：次回（第3課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認 課題作成（2時間）

5	5回目	第3課「テクノロジー」 Step 1 アナログVSデジタル Step 2 インターネットの功罪	対面授業	予習：次回（第3課step3）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
6	6回目	第3課 Step 3 AIの光と影	対面授業	予習：次回（第4課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
7	7回目	まとめ 第1課～第3課	対面授業	予習：次回（第4課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
8	8回目	第4課「教育」 Step 1 自国の教育の特徴と課題 Step 2 宿題の必要性	対面授業	予習：次回（第4課step3）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
9	9回目	第4課 Step 3 教育格差の是正	対面授業	予習：次回（第5課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
10	10回目	第5課「ニュース」 Step 1 ニュースの紹介 Step 2 新聞記事の紹介	対面授業	予習：次回（第5課step3）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
11	11回目	第5課 Step 3 複数の記事の検討	対面授業	予習：次回（第6課step1.2）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
12	12回目	第6課「働き方」 Step 1 将来の職業選択 Step 2 女性と労働	対面授業	予習：次回（第6課step3）の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
13	13回目	第6課 Step 3 労働に関する社会的課題	対面授業	予習：回りの言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
14	14回目	第7課① 「持続可能な世界：SDGsを考える」	対面授業	予習：回りの言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認。 課題作成（2時間）
15	15回目	第7課② 学んだことを生かしてレポートを完成させる	対面授業	予習：定期試験の準備確認（2時間） 復習：既習内容の確認。（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト（必要時）・課題提出のみ使用可（Googleclassroom）</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）</p>
----------	--

日本語ライティング&グラマー II N3N4

更新日：2026/05/26 21:00:03

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC710
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

この授業では、手紙やメール、ニュースや案内文等の様々な文章を読んで理解し、語彙や表現を用いて正しい文章が書けるようになることを目標とする。また、日本語で文章を書く上で必要な知識についても実践的に学び、授業外でも活用できるようになることを目指す。対象はN3N4レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して常に思いやりを持って接することができる
2	文章を読み、主要点を理解することができる。状況に適した語彙や表現を用いて文章を書くことができる。また、メール、原稿用紙等、指定された形式にあった形で文章を書くことができる。
3	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方から新たな視点を獲得し、自らの考えを深め、発展させることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って周り助け合いながら積極的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	課題	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、課題、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認 ●第1節 みんなに友だちを紹介する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
2	2回目	●第2節 依頼する/許可を求める	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)

3	3回目	●第3節 感謝を表す	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
4	4回目	●ミニテスト ●第4節 誘い、依頼を断る	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
5	5回目	●第5節 物事を描写する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
6	6回目	●ミニテスト ●第6節 ニュースを伝える	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
7	7回目	●第7節 商品を宣伝する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
8	8回目	●ミニテスト ●第8節 自己PR する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
9	9回目	●第9節 イベント情報を伝える	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
10	10回目	●ミニテスト ●第10節 意見を述べる	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
11	11回目	●第11節 感情を表現する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
12	12回目	●ミニテスト ●第12節 アドバイスする	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
13	13回目	●第13節 将来を予測する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
14	14回目	●ミニテスト ●第14節 過去と現在を比較する	対面授業	【予習】練習1の「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。練習2を行い、課題を提出する。(2時間)
15	15回目	●第15節 考えを主張する	対面授業	【予習】これまでの内容をもう一度読み、再度理解する(2時間) 【復習】これまでのふりかえり(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	学外学修60時間

その他

科目（教職課程用）	
-----------	--

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『学ぼう!にほんご作文練習帳』 専門教育出版	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目標に向かってきちんと授業に参加できること。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持っていくこと。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持っていくことが望ましい。 ・予習・復習ができていくことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	授業に積極的に参加をしてください。	

日本語演習Ⅰ N1N2

更新日：2026/05/26 21:01:45

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC513
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は日本語検定試験N3またはJ.Test実用日本語検定Dレベル相当の能力を持つ学習者を対象とし、主にJ.TEST実用日本語検定のA～Cレベル取得を目的とした試験対策を行う。授業を通じて得た知識や技能を他の検定試験や実生活での日本語使用場面でも応用できるようになることを目指す。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的に接することができる。
2	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。重要な漢字や語彙、表現が理解できる。
3	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方から新たな視点を心得、自らの考えを深め、発展させることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って周り助け合いながら積極的に授業に取り組める。
5	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を理解し、実践につなげることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①課題 ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	5	授業外でもできるようになることを最終目標とし、本授業では数値で評価しない。	
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業参加態度と課題、定期試験を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】これまでの学習を振り返る。教科書を準備する。(1時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1時間)
2	2回目	力試し	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
3	3回目	●言葉の時間 ●第1回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)

4	4回目	・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	●言葉の時間 ●第1回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●言葉の時間 ●第2回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●言葉の時間 ●第2回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●言葉の時間 ●第3回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●言葉の時間 ●第3回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	これまでのまとめ	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】期末試験に向けて準備を行う(2時間)
17				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数値・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	J.Test実用日本語検定問題集 [A～Cレベル] 2024	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	日本語検定試験N3またはJ.Test実用日本語検定Dレベル相当の能力を持つ学習者	
履修上の注意	指定された課題を必ず授業前にはしておくこと。 教科書、ノート、単語帳(詳細は初回授業で説明)を毎回持参すること。	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。	

日本語演習Ⅰ N3N4

更新日：2026/05/26 21:01:46

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CC513
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

就職や進学あるいは日本語を使って実務的な仕事をこなすために必要な日本語能力を、J.TEST D E レベル試験問題に取り組みながら向上させる。日本でできることの幅を広げることもつながら。

幅広い場面に対応したJTESTの対策を通して実際に日本での生活に役立つ知識を増やすことができる。

授業における到達目標

1	J.TESTに前向きな姿勢でチャレンジすることができる。
2	総合力と実用能力を身に付けながら、N 3程度で自己表現できる。
3	目標に向かって自ら取り組むことができる。
4	キャリア意識・キャリアデザインビジョンを掲げてその実現を目指すことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡はGoogle classroomを使用する。授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：指定箇所を解く。 （読解問題1～5）試験問題に慣れるための学習（2時間）
2	2回目	J.TEST 第1回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 （読解問題6～9）試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	J.TEST 第1回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 （読解問題1～5）試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	J.TEST 第2回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 （読解問題6～9）試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	J.TEST 第2回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題1～5) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
6	6回目	J.TEST 第3回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題6～9) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
7	7回目	J.TEST 第3回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題1～5) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
8	8回目	J.TEST 第4回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。(読解問題6～9) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
9	9回目	J.TEST 第4回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題1～5) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
10	10回目	J.TEST 第5回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題6～9) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
11	11回目	J.TEST 第5回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題1～5) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
12	12回目	J.TEST 第6回試験問題 読解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題6～9) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
13	13回目	J.TEST 第6回試験問題 聴解	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題まとめ) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
14	14回目	復習 総まとめ①	対面授業	予習：指定箇所を解く。 (読解問題まとめ) 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
15	15回目	復習 総まとめ②	対面授業	予習：定期試験の準備 (4時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など J. TEST 実用日本語検定問題集 (D-E レベル) 2024 年	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト (必要時)・課題提出のみ使用可 (Google classroom)</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

日本語演習Ⅱ N1

更新日：2026/05/26 21:01:47

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC711
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。
特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象はN1レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して思いやりを持ち関わるができる。
2	様々な話題について、相手や目的・場面に 適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解 することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との 交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退学や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ユニット1 許可を求める セクション1 許可を求める	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●ユニット1 許可を求める セクション2 許可の求めに答える ミニテスト	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

4	4回目	●ユニット1 許可を求める セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	●ユニット2 依頼する セクション1 依頼する ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	●ユニット2 依頼する セクション2 依頼に答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●ユニット2 助言する セクション3 総合練習 ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●ユニット1,2のまとめ	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ユニット3 謝罪する セクション1 謝罪する ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●ユニット3 謝罪する セクション2 謝罪に答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●ユニット3 不満を伝える セクション3 総合練習 ミニテスト	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●ユニット4 誘う セクション1 誘う	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●ユニット4 誘う セクション2 誘いに答える	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●ユニット4 誘う セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CDを聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●ユニット3,4のまとめ	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間) 【復習】これまでの振り返りを行う (2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『みかけ!コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』 スリーエーネットワーク	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	

備考・メッセージ

授業に積極的に参加をしてください。

日本語演習Ⅱ N2

更新日：2026/05/26 21:01:48

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC711
担当教員	山本 みづほ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	1 他人を思いやる心や感動する心を高めることができる
2	2 コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N2 レベルの 実力）
3	3 培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。
4	4 問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。
5	5 モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1		
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 漢字テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	4	課題	10%
キャリアデザイン力	5	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、漢字テスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 漢字テストの範囲は、次回の分を指示する。（漢字たまご中級1 第5課～6課）
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。
- 授業開始後10分間の多読を行うので、日本語の本を図書館から借りて準備すること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	トピック7part1 私は柔道をやっています	対面授業	予習：3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょうか？	対面授業	予習：4回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
5	5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業	予習：6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業	予習：7回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業	予習：8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察 する。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業	予習：10回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業	予習：11回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業	予習：12回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考 察する。(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは・・・	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	トピック7～9part1～3総まとめ①	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	トピック7～9part1～3総まとめ②	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等	
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など まるごと 中級1 B1、漢字たまご中級1 B1
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後、Google classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○多読の本は必ず準備すること。

日本語演習Ⅱ N3

更新日：2026/05/26 21:01:50

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC711
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。

特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象はN3レベルの学生である。

授業における到達目標

1	他者に対して親和的な態度で積極的に関わることができる。
2	様々な話題について、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解することができる。
3	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考えから学びを深め、他者との関わりを発展させることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力	3	授業参加態度	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	予習(2時間)：2回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
2	2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは ミニテスト：漢字たまご中級①1課①	対面授業	予習(2時間)：3回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。

3	3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①1課②	対面授業	予習(2時間)：4回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
4	4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します ミニテスト：漢字たまご中級①1課③	対面授業	予習(2時間)：5回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
5	5回目	トピック1part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①1課④	対面授業	予習(2時間)：6回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
6	6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい ミニテスト：漢字たまご中級①1課復習	対面授業	予習(2時間)：7回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
7	7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①2課①	対面授業	予習(2時間)：8回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
8	8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください ミニテスト：漢字たまご中級①2課②	対面授業	予習(2時間)：9回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
9	9回目	トピック2part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①2課③	対面授業	予習(2時間)：10回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。。
10	10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう ミニテスト：漢字たまご中級①2課④	対面授業	予習(2時間)：11回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
11	11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです ミニテスト：漢字たまご中級①2課復習	対面授業	予習(2時間)：12回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を練習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
12	12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・ ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：13回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
13	13回目	トピック3part4.5 ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：14回目の内容について、 「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。

14	14回目	トピック1～3総まとめ① ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：15回目の内容について、「まるごと中級1」を読み、未習語彙と表現を調べ覚える。 ミニテストの範囲の漢字(読み方・書き方・意味・語彙)を復習しておく。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
15	15回目	トピック1～3 総まとめ② ミニテスト：漢字たまご中級①1.2課	対面授業	予習(2時間)：期末試験に向けて、準備を行う。詳細は授業内で指示する。 復習(2時間)：本時の内容について、理解を深める。
16	16回目	定期試験		授業外学修時間60時間

その他

科目(教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	『まるごと 中級1 B1』三修社 『漢字たまご中級①』凡人社		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 		
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。		
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。		

日本語演習Ⅱ N4上

更新日：2026/05/26 21:01:50

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC711
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

この授業では、日本語の知識（単語、文法・文型、表現）を増やすとともに、それらの知識を用いた日本語でのコミュニケーションにおける聞く、話す、読む、書くという4つの技能を総合的に学修します。具体的には、単語や文法・文型、表現などを実際の日本語使用場面とおして学び、そのような場面で行えることを増やしていきます。また、積極的にコミュニケーションを行おうとする態度も養います。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。
2	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験N4レベルの実力）
3	教科書の題材やクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。
4	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。
5	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 課題・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	3	授業態度	10%
課題解決能力	4	授業態度	5%
キャリアデザイン力	5	予習・復習	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験50%、課題・ミニテスト20%、予習・復習10%、授業態度20%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 トピック1 第1課（Can-do 1～2）	対面授業	予習：教科書を準備する。教科書pp. 4-5を読んでくる。シラバスを読んでくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2	2回目	トピック1 第2課（Can-do 3～4） 漢字たまご（第1課）	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
3	3回目	トピック2 第3課（Can-do 5～6） ミニテスト①	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

4	4回目	トピック2 第3課 (Can-do 7～8) 漢字たまご (第2課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5	5回目	トピック2 第3課 (Can-do 9)～第4課 (Can-do 10) ミニテスト②	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6	6回目	トピック2 第4課 (Can-do 11～12) 漢字たまご (第3課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7	7回目	中間まとめ ミニテスト③ 漢字たまご (第4課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8	8回目	トピック3 第5課 (Can-do 13～14) 漢字たまご (第5課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9	9回目	トピック3 第5課 (Can-do 15)～第6課 (16) ミニテスト④	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10	10回目	トピック3 第6課 (Can-do 17～18) 漢字たまご (第6課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11	11回目	トピック4 第7課 (Can-do 19～20) ミニテスト⑤	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12	12回目	トピック4 第7課 (Can-do 21)～第8課 (Can-do 22) 漢字たまご (第7課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13	13回目	トピック4 第8課 (Can-do 23～24) ミニテスト⑥	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
14	14回目	トピック5 第9課 (Can-do 25～26) 漢字たまご (第8課)	対面授業	予習：配布されたプリントにある単語や表現の意味を調べ、覚えてくる。(2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15	15回目	トピック5 第9課 (Can-do 27～28) ミニテスト⑦ 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備 (2時間) 復習：授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『まるごと 日本のことばと文化 初級2 (A2) かつどう』国際交流基金 (編著)、2017、三修社 『漢字たまご 初中級』嶋田和子 (監)・有山優樹・落合知春・立原雅子・林英子・山口知才子 (著)、2024、凡人社	978-4-384-05756-0 C0081 9784867460238
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	

オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）

日本語演習Ⅱ N4下

更新日：2026/05/26 21:01:51

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC711
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

授業における到達目標

1	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。（日本語能力試験 N4 レベルの 実力）
2	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。
3	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。
4	仕事や生活の具体的な場面で目的を達成する力が養われる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：2回目の語彙を調べ覚える。
2	2回目	第1課1.2 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	第2課3.4 漢字たまご1課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	第3課5.6 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	第3課7.8.9 漢字たまご2課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第4課10.11.12 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第5課13.14 漢字たまご3課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第5課15 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第6課16.17 漢字たまご4課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第6課18 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第7課19.20 漢字たまご5課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第7課21 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第8課22.23 漢字たまご6課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	第8課24 漢字たまご7課	対面授業	予習：語彙・文型の確認(2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	第9課 漢字たまご8課	対面授業	予習：語彙・文型の確認 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと日本のことばと文化 初級 2A2かつどう」 「漢字たまご初中級」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

応用日本語 N1N2

更新日：2026/05/26 21:02:00

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC606
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPTN2合格に必要な「言語知識」「読解」「聴解」の全分野において実践形式の問題演習を通じて応用力を養う。またアカデミックな文章やビジネスシーンの日本語にも対応できる力を養う。

授業における到達目標

1	計画的かつ継続的に努力する姿勢を身に付けることができる。
2	知識を正しく運用して正解を導き出す技能を体系的に習得できる。
3	論理的に分析し合格のための方法を適切に選択・実行できる。
4	コミュニケーション力の基礎を築き、自身の目標に活かすことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	予習・復習	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	課題	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 予習・復習10%、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間)
2	2回目	第1週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
3	3回目	第2週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)

4	4回目	第3週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
5	5回目	第4週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
6	6回目	第5週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
7	7回目	第6週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
8	8回目	第7週	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
9	9回目	第8週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
10	10回目	第9週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
11	11回目	第10週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
12	12回目	第11週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
13	13回目	第12週	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
14	14回目	まとめ① 言葉を覚えよう1.2	対面授業	予習：指定箇所を解く。 試験問題に慣れるための学習 (2時間) 復習：既習内容の確認(2時間)
15	15回目	まとめ② 言葉を覚えよう3.4	対面授業	予習：定期試験の準備(4時間) 復習：既習内容の 確認(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等		
数理・データサイエ ンス・AI教育プロ グラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	JLPTN2日本語能力試験ベスト総合問題集 JLPTN2日本語能力試験ベスト単語2400	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただしミニテスト・課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

応用日本語 N3上

更新日：2026/05/26 21:02:01

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC606
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの種類	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N3TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N3合格を目指す。

授業における到達目標

1	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力を向上させることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー TRYN3既習内容復習	面接授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY1章 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY2章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY3章 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	TRY4章 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	TRY5章 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY6章 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY7章 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY8章 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY9章 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY10章 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY11章 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY1～11章 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY1～11章 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY1～11章 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

応用日本語 N3下

更新日：2026/05/26 21:02:02

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC606
担当教員	塩田 裕明				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日本語能力試験N3レベルの各能力を高めるため、問題に取り組む。具体的には、教科書（TRY! N3）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N3合格を目指す。

授業における到達目標

1	N3相当の文法力、読解力、語彙力が身に付いている。
2	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	50% 10%
異文化知識・対応能力	2	定期試験	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			
<p>○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。</p> <p>○定期試験60%、単語テスト10%、予習・復習10%、授業への参加・態度20%の割合で評価する。</p> <p>○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。</p> <p>○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。</p>			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・出欠確認と欠席連絡の仕方 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TRY 7章（1）	対面授業	予習：TRY 1～6章の復習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	TRY 7章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY 7章（まとめの問題） 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	TRY 8章	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	TRY 8章（まとめの問題） 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	TRY 9章（1）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY 9章（2） 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY 9章（まとめの問題）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	中間まとめ 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY 10章（1）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY 10章（2） 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY 10章（まとめの問題）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY 11章（1） 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY 11章（2）	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY 11章（まとめの問題） 総まとめ	対面授業	予習：定期試験の準備（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『TRY!日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』町田恵子（監）、服部まさ江・新穂由美子・成川しのぶ・藤田百子（著）、2014、アスク 『JLPT N3 日本語能力試験ベスト単語合格2100』中俣尚己・加藤恵梨・小口悠紀子・小西円・建石始、2021、ジャパントイズ出版	978-4-87217-902-6 978-4-7890-1797-8
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること。	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。	
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	○スマートフォンは、単語の意味を調べるとき、および出席・課題提出（Google classroom）のときのみ使用を認め、それ以外の用途での使用は禁止とする。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）	

応用日本語 N4上

更新日：2026/05/26 21:02:04

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC606
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N4の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができるようになる。
- ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて基本的な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をするとき、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。
5	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分にみえない場合も同様に欠席とみなす。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第1週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2回目	第2週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3回目	第3週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4回目	第1週トピックから第3週トピックの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5回目	第4週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6回目	第5週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
7	7回目	第6週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
8	8回目	第4週トピックから第6週トピックの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

9	9回目	第7週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10回目	第8週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11回目	第7週トピックから第8週トピックの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12回目	第9週トピック、問題解説	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13回目	第9週トピックの復習	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14回目	これまでの学びの振り返り	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15回目	確認テスト	対面授業	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16回目	定期試験	対面	授業外学修時間60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	N4総合問題集 ジャパンタイムズ出版 ミニストーリーで覚える JLPT日本語能力試験ベスト単語N3 合格2100 ジャパンタイムズ出版	9784789018166 9784789017978
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	必要に応じて適宜紹介する。	
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

応用日本語 N4下

更新日：2026/05/26 21:02:05

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	CC606
担当教員	釜元 晶子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

地域で活躍できる人材になるために、多様な人や文化を理解し、誰とでもコミュニケーションする能力が求められる。本授業の目標は、基本的な日本語を理解することができるようになることと、そのために必要なコミュニケーション能力の向上及び理解力や応用力を身に付けることを目指している。授業では、①基礎となる文字・語彙・文法、読解、聴解学習を学び、日本語に多く触れる機会を持つことで正しい知識の理解を深める。②課題を見つけ自ら課題解決できる力を養う。③話題性をフォーカスする。また、その話題に付随する単語習得を図る。学習した単語がどんな場面でどんな語と共に使われているのかを探求し、生活に生かせるようにする。また、キャリアデザイン力を養い、将来、実現させるための未来予想図を描くことができるようになる。

授業における到達目標

1	基本的な日本語を理解して、多様な人や文化を理解し、誰とでもコミュニケーションができるようになる。
2	基礎となる文字・語彙・文法、読解や聴解学習を通して知識理解力の向上に努めることができるようになる。
3	学習を通して、問題点（課題）を発見し、それを解決する方法を知り、課題解決ができるようになる。
4	話題性にフォーカスして、多くの単語習得を図り、生活に生かせるようになる。
5	将来のキャリアを考えて、目標設定や実現に向けた計画や行動指針を考えることができるようになる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1・2	・グループワーク	10%
確かな専門的知識や技能	2・4	・定期試験 ・ミニテスト	30% 10%
異文化知識・対応能力	1・4	・グループディスカッション	15%
課題解決能力	3	・レポート提出	15%
キャリアデザイン力	5	・授業への参加および態度 ・キャリアデザイン力を養う	15% 5%
合計			100%

補足事項

・授業に関する質問は直接のほかClassroomでも受け付け、web上或いは以降の授業回数で答える。
・本授業では、グループワーク10%、定期試験30%、ミニテスト10%、グループディスカッション15%、レポート提出15%、授業への参加・態度15%、キャリアデザイン5%の割合で評価する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点について説明をする。 ・言葉を覚えよう1（ミニテスト） ・例題と解き方説明P14・P15 ・JLPTN4「語彙・文字・文法」 第1週1日目 漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義	面接授業	予習：言葉を覚えよう1（文型・表現、名詞）（2時間） 復習：授業の振り返り 繰り返し書いて覚える（2時間）
2	2回目	・JLPTN4「語彙・文字・文法」 第1週2日目 漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義 ・JLPTN4「聴解」 第7週1日目 課題理解	対面授業	予習：言葉を覚えよう2動詞・副詞TOPIC1食事（1～30） 新出漢字・ことばの確認（2時間） 復習：授業の振り返り 繰り返し書いて覚える（2時間）

3	3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉覚えよう2 (ミニテスト) ・JLPTN4 「語彙・文字・文法」 第1週3日目 漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (31~49) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
4	4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第1週4日目 漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義 <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「聴解」 第7週2日目 課題理解	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (50~71) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
5	5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・TOPIC 1 食事 (1~30ミニテスト) ・JLPTN4 「語彙・文字・文法」 第1週5日目 漢字読み、表記、文脈規定、言い換え類義	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (72~96) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
6	6回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニテスト「漢字・語彙・文法」 漢字・読み、表記、文脈規定、言い換え類義 (第1週 1日目~5日目) <ul style="list-style-type: none"> ・解答 ・TOPIC 1 食事 (自習後 31~96ミニテスト)	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (97~120) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
7	7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第2週1日目 用法、文の組み立て <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「語彙・文字・文法」 第2週2日目 用法、文の組み立て <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「聴解」 第7週3日目 課題理解	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (121~142) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
8	8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第2週3日目 用法、文の組み立て <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第2週4日目 用法、文の組み立て JLPTN4 「聴解」 第7週4日目 課題理解	対面授業	予習：TOPIC 1 食事 (143~160) 「おぼえよう食べ物・野菜と果物」 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
9	9回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第2週5日目 用法、文の組み立て <ul style="list-style-type: none"> ・ミニテスト (第2週 1日目~5日目) ・解答 ・TOPIC 1 食事 (自習後 97~160時間ミニテスト)	対面授業	予習：TOPIC2家事 (161~189) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
10	10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第3週1日目 文法形式の判断、文章の文法 <ul style="list-style-type: none"> ・「語彙・文字・文法」 第3週2日目 文法形式の判断、文章の文法 <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「聴解」 第7週5日目 課題理解	対面授業	予習：TOPIC2家事 (190~214) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
11	11回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第3週3日目 文法形式の判断、文章の文法 <ul style="list-style-type: none"> ・「語彙・文字・文法」 第3週4日目 文法形式の判断、文章の文法 <ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「聴解」 第8週1日目 ポイント理解	対面授業	予習：TOPIC2家事 (215~225) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
12	12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPTN4 「漢字・語彙・文法」 第3週5日目 文法形式の判断、文章の文法 <ul style="list-style-type: none"> ・「語彙・文字・文法」 ・TOPIC 2 家事 (自習後 161~214ミニテスト)	対面授業	予習：TOPIC2家事 (226~252) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)

13	13回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLPTN4 「読解」 第4週1日目 内容理解 (短文) 第4週2日目 内容理解 (短文) ・ TOPIC 2 家事 (自習後 215-52ミ2ニテスト) 	対面授業	予習：TOPIC2家事 (253～267) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：宿題・・第4週3日目～5日目 内容理解 (短文) 授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
14	14回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLPTN4 「読解」 第5週1日目 内容理解 (中文) 第5週2日目 内容理解 (中文) ・ JLPTN4 「聴解」 第8週2日目 ポイント理解 	対面授業	予習：TOPIC2家事 (268～279) 言葉を覚えよう3 (い・な形容詞) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：宿題・・第5週3日目～5日目 内容理解 (中文) 授業の振り返り 内容を正確に覚える (2時間)
15	15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ JLPTN4 「読解」 第6週1日目 情報検索 第6週2日目 情報検索 ・ ミニテスト 言葉を覚えよう3 (い形容・な形容) ・ TOPIC 2 家事 (自習後253-291ミニテスト) 	対面授業	予習：試験に向けて取り組む TOPIC2家事 (280～291) 新出漢字・ことばの確認 (2時間) 復習：授業の振り返り 言葉を覚えよう3 (い形容・な形容) 宿題・・第6週3日目～5日目 情報検索 (2時間)
16	16回目	・ 定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムのに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など ミニストーリーで覚える JLPT日本語能力試験ベスト単語 N3 合格2100 』 著者：中俣尚己 加藤恵梨 小口悠紀子 小西 円 建石始 発行年：2021年11月5日 初版発行 発行所：(株)ジャパンタイムズ出版	【教科書】ISBN
	『全科目攻略！JLPT 日本語能力試験ベスト総合問題集 N4』 著者：五十嵐香子 金澤美香子 杉山舞 発行年：2022年9月5日 初版発行 発行所：(株)ジャパンタイムズ出版nihonngo	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。	

総合日本語 N1

更新日：2026/05/26 21:02:06

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC713
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

日本語能力試験 N1 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して思いやりを持って積極的に関わることができる。
2	自分の力で正しい答えを導き出すことができる。重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	15%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業態度	15%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等とみなす。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●TRY 1	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●TRY2-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4	4月回目	●TRY2-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5	5回目	●TRY3-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

6	6回目	●TRY3-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●TRY4 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●TRY4 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●TRY5 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●TRY5 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●TRY6-1回目 ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●TRY6-2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●TRY7 (1) ミニテスト	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●TRY7 (2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●第15回までの復習	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備する (2時間) 【復習】これまでの振り返りを行う (2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	授業外学修60時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	<p>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>『TRY!日本語能力試験N1』アスク出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N1合格2600』ジャパンタイムズ出版</p> <p>【教科書】ISBN</p>
参考書	<p>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【参考書】ISBN</p>
履修条件	目標に向かって授業に参加できること
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	授業に積極的に参加してください。

総合日本語 N2

更新日：2026/05/26 21:02:07

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC713
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書（N2TRY）に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

授業における到達目標

1	N2の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	自分の意見や希望を論理的に伝える基礎ができ、自己表現力を向上させることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	2	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト10%、グループ・ペアワーク10%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	1回目 「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー TRYN2既習内容復習	面接授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える（2時間）
2	2回目	TRY1.2章 単語テスト①	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト②を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	TRY3.4章 単語テスト②	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト③を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）

4	4回目	TRY5.6章 単語テスト③	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト④を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
5	5回目	TRY7.8章 単語テスト④	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑤を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	TRY9章（1） 単語テスト⑤	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑥を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	TRY9章（2） 単語テスト⑥	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑦を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	TRY10章（1） 単語テスト⑦	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑧を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	TRY10章（2） 単語テスト⑧	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑨を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	TRY11章 単語テスト⑨	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑩を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	TRY12章（1） 単語テスト⑩	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑪を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	TRY12章（2） 単語テスト⑪	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑫を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	TRY13章（1） 単語テスト⑫	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑬を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	TRY13章（2） 単語テスト⑬	対面授業	予習：指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習（2時間） 単語テスト⑭を覚える。 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	TRY14章 単語テスト⑭	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目			授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	TRY！日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2 ベスト単語合格2400	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	

備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none">○携帯電話は使用禁止とする。ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）
----------	---

総合日本語 N3

更新日：2026/05/26 21:02:08

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC713
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	☑
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

日本語能力試験 N3 レベルの言語知識、読解、聴解を中心に扱う。様々な形式の問題に少しずつ触れ、試験問題のパターンに慣れることを第一の目標とする。また、語彙力の向上を目指し、授業内でミニテストを行う。問題を解くだけでなく、関連する表現や漢字、語彙等も一緒に学び、問題から離れても運用できる応用力を身につけることを目指す。

授業における到達目標

1	クラスメイトに対して親和的な態度で積極的に関わることができる。
2	自分の力で正答を導き出すことができる。重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。
3	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。
4	自分の現在の日本語能力と進路実現のための課題を把握し、計画的に学習に取り組める。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	①ミニテスト ②定期試験	①10% ②60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	4	授業参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業参加態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退席や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2	2回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 1日目 読解:内容理解(短文) 1日目 聴解:課題理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3	3回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 1日目 読解:内容理解(中文) 1日目 聴解:ポイント理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

4	4回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 1日目 読解:内容理解(長文) 1日目 聴解:概要理解・発話表現 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5	5回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 1日目 読解:情報検索 1日目 聴解:即時応答 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6	6回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 2日目 読解:内容理解(短文) 2日目 聴解:課題理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7	7回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 2日目 読解:内容理解(中文) 2日目 聴解:ポイント理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8	8回目	●ミニテスト ●第7回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9	9回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 2日目 読解:内容理解(長文) 2日目 聴解:概要理解・発話表現 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10	10回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 2日目 読解:情報検索 2日目 聴解:即時応答 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11	11回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 3日目 読解:内容理解(短文) 3日目 聴解:課題理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12	12回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義 3日目 読解:内容理解(中文) 3日目 聴解:ポイント理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13	13回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 3日目 読解:内容理解(長文) 3日目 聴解:概要理解・発話表現 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14	14回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 3日目 読解:情報検索 3日目 聴解:即時応答 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15	15回目	●ミニテスト ●第15回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16	16回目	定期試験	対面授業	【予習】定期試験に向けて準備する。(2時間)
17				授業外学修 60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『全科目攻略!JLPT 日本語能力試験ベスト総合問題集 N3』 ジャパンタイムズ出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』 ジャパンタイムズ出版	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、教科書を持ってくること。 ・ Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・ 予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。	

総合日本語 N4

更新日：2026/06/08 12:23:13

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC713
担当教員	児玉 佳奈子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2		講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業では『TRY! 日本語能力試験 N3』を主教材とし、中級前半の重要文法を体系的に整理しながら、日常の様々な場面で「実際に使える日本語」の習得を目指す。

- ①身近な生活や教養に関する読解テキストを通し、新しい文法がどのような文脈やニュアンスで使われているかを深く理解する。
- ②基本的な文型練習だけでなく、学んだ文法を駆使して自分の意見や状況を説明する「問題解決型」のタスク（PBL）を行い、実践的な運用力を養う。日本語能力試験（JLPT）N3合格に必要な文法力の基礎を固めると同時に、円滑なコミュニケーション能力を高める。

授業における到達目標

1	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。
2	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。
3	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。
4	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	2		
課題解決能力	3	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	4	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- ・定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%で評価する。
- ・授業の連絡はGoogle Classroomを使用する。
- ・課題提出はGoogle Classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション 今後の授業の説明 評価方法の説明 予習・復習の説明	対面授業	予習：P4-5を読み、内容を理解する。(2時間) 復習：授業内容の確認。(2時間)
2	2回目	N4・N5レベルの基本語彙・漢字・文法の確認	対面授業	予習：P6-9を読み、内容を理解する。(2時間) 復習：授業内容の確認。(2時間)
3	3回目	TRY 1初めての富士登山（1） 単語テスト①	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
4	4回目	TRY 1初めての富士登山（2）	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)

5	5回目	TRY 2ぼくの犬、クロ(1) 単語テスト②	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
6	6回目	TRY 2ぼくの犬、クロ(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
7	7回目	TRY 3市民農園の募集(1) 単語テスト③	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
8	8回目	TRY 3市民農園の募集(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
9	9回目	TRY 4水泳大会(1) 単語テスト④	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
10	10回目	TRY 4水泳大会(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
11	11回目	TRY 5手作りハムのレシピ(1) 単語テスト⑤	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
12	12回目	TRY 5手作りハムのレシピ(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
13	13回目	TRY 6里山について(1) 単語テスト⑥	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
14	14回目	TRY 6里山について(2)	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習。(2時間)
15	15回目	TRY 7不動産屋で(1) 単語テスト⑦	対面授業	予習：テキストを音読し、新出語彙の意味を調べておく。単語テストの準備。(2時間) 復習：授業で扱った文法の復習、単語テストの解き直しを行う。(2時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修60時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	<p>【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>『TRY!日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語』、ABK、2022、アスク 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』、中俣尚己ほか、2021、ジャパンタイムズ出版</p> <p>【教科書】ISBN</p>
参考書	<p>【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など</p> <p>【参考書】ISBN</p>
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	授業の前後で対応。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンは使用禁止。(課題の提出時の使用可) 欠席の場合は必ずGoogle Classroomで連絡すること。 授業内容については、受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。

比較文化研究

更新日：2026/05/26 21:00:06

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	MU701
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関する理解を深める。1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ学生と協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、到達目標達成を目指す。

授業における到達目標

1	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる
2	異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面に関わり、その関わりを発展させることができる
3	自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応する方法がわかる。
4	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループワーク	40
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	2,3	課題	30
課題解決能力	4	課題	30
キャリアデザイン力			
合計			

補足事項

- ・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
2	2回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
3	3回目	韓国へようこそ！1 この授業全体のガイダンスをした後、韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）

4	4回目	韓国へようこそ！2 韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
5	5回目	中国の三大節1 中国の代表的な節日は「春節、端午節、中秋節」の3つであり、これらは三大節と言われる。一緒に中国のことや文化、風習などを学んでいきましょう！	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
6	6回目	中国の三大節2 中国の代表的な節日は「春節、端午節、中秋節」の3つであり、これらは三大節と言われる。一緒に中国のことや文化、風習などを学んでいきましょう！	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
7	7回目	「日本の着物①」 日本の伝統衣装である着物について学ぶ。外国の伝統衣装とも比較することで、着物の特徴や歴史、種類について理解を深める。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
8	8回目	2コマ目「日本の着物②」 着物の着方とコーディネートについて実践的に学ぶ。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
9	9回目	香港文化の紹介1 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
10	10回目	香港文化の紹介2 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
11	11回目	カナダの言語/文化/社会事情紹介 カナダの言語事情 日本と比べたカナダの教育事情 日本と比べたカナダの文化/社会事情 食文化の違い	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
12	12回目	世界/日本の英語とグローバル人材 世界の英語、日本の英語 これから求められるグローバル人材とは 英語圏に暮らす人とzoomでインタビュー（予定）	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
13	13回目	英文学入門1 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
14	14回目	英文学入門2 英文学とは何か？様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習：GOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。（2時間）
15	15回目	総まとめ 学習内容まとめ アンケート調査	面接授業	予習：今までの授業内容を改めて整理する（4時間） 復習：とくになし
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する
	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する
	【参考書】ISBN
履修条件	なし
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。
オフィスアワー	水曜日3コマ目（研究室） ＊その他、授業の前後及び空きコマも可

総合日本語 N4

更新日:

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CC713
担当教員	児玉 佳奈子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2		講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

授業における到達目標

評価方法

資質・能力	授業における到達目標 （番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			
補足事項			

授業計画

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

異文化理解演習

更新日：2026/05/26 20:59:18

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	MU101
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	1年	2	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

国境を越えた人々の移動の活発化やインターネットの普及により、社会のグローバル化は急速に進展しています。その結果、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションは特別なものではなく、大学では多様な国・地域からの留学生と共に学び、地域社会や職場においても外国籍の人々と協働する機会が増えています。

また、国籍が同じであっても文化的背景は一樣ではなく、日本人同士の間にも多様な価値観や考え方が存在します。

本授業では、日本人学生と留学生が共に参加するタスクやエクササイズを通して、異文化理解を深めることを目指します。自文化および他文化を多角的に捉え直し、文化的に異なる他者に対して開かれた心と態度を養います。これらの学びを通じて、グローバル化が進む社会において求められる異文化コミュニケーション能力を身につけることを本授業の目的とします。

授業における到達目標

1	文化的背景の異なる人々に対して、開かれた心と尊重ある態度をもって関わるができる。
2	目的や相手に応じて、自文化や他文化を紹介するタスクを適切に遂行することができる。
3	異文化理解に関する基本的な概念や専門用語を理解し、説明することができる。
4	多様な文化的背景を踏まえた異文化コミュニケーション能力を身につけ、実践することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度、ディスカッションへの貢献、リフレクションシート	25%
確かな専門的知識や技能	3	小テスト、用語理解を問う課題、ミニレポート	25%
異文化知識・対応能力	2	文化紹介タスク、グループ発表、プレゼンテーション	30%
課題解決能力	4	異文化事例分析レポート、最終課題（振り返り含む）	10%
キャリアデザイン力	4	異文化事例分析レポート、最終課題（振り返り含む）	10%
合計			100%

補足事項

第1回から第7回までは、日本人学生と留学生がさまざまなタスクやエクササイズに取り組みながら交流し、相互理解を深めるとともに、友人関係の形成を目指します。この期間では、異文化とは何かを、実体験を通して学びます。

第8回から第14回までは、異文化理解の意義や考え方を学びながら、「異文化交流パーティー」に向けたプレゼンテーション準備を進めます。具体的には、各国紹介ポスターの作成、各国を代表するお菓子の選定・購入およびその説明用プレゼンテーションの作成、さらに各グループによる異文化パフォーマンス（ダンス、ゲーム等）の準備を行います。ポスターには、「国の基本情報」「言語」「その国ならではの文化だと思う点」などを盛り込み、加えて「文化的背景の異なる人々とのように共生していくべきか」についてグループで話し合った内容を、まとめとして記載します。

最終回の「異文化交流パーティー」では、各グループが発表を行い、参加者全員でプレゼンテーション内容を共有・評価します。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1		オリエンテーション 授業概要・到達目標の説明 全体自己紹介 多国籍グループ編成およびグループ内自己紹介 異文化理解タスク1 「グループ内メンバー紹介動画作成」計画・作成（1）	対面授業	予習： 「異文化」とは何かを考え、自身の身の回りにある異文化だと思う事例を書き出す。（2時間） 復習： 他言語による自己紹介を反復練習し暗記する。ネイティブスピーカーの指導を受け、母語との違いについて考察する。（2時間）

2	異文化理解タスク1 「グループ内メンバー紹介動画作成」(2) ・自己紹介内容の確定 ・発音練習、構成調整	対面授業	予習： 他言語による自己紹介文を完成させ、暗記・練習を行う。(2時間) 復習： 発音や表現について振り返り、必要に応じて修正を行う。(2時間)
3	異文化理解タスク1 「グループ内メンバー紹介動画作成」(3) ・動画撮影・編集	対面授業	予習： 撮影に向けて自己紹介を暗記し、スムーズに発話できるよう練習する。(2時間) 復習： 編集作業の振り返りを行い、改善点を整理する。(2時間)
4	異文化理解タスク1 「グループ内メンバー紹介動画」プレゼンテーション 相互評価・フィードバック	対面授業	予習： プレゼンテーションでの自分の発表練習を行う。(2時間) 復習： 発表を振り返り、評価された点・改善点を整理する。(2時間)
5	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・計画立案・準備 ・各グループによる計画概要発表	対面授業	予習： HTB研修についてインターネット等で情報収集を行う。(4時間) 復習： 自身の役割分担を確認し、動画作成の流れを整理する。(4時間)
6	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・研修内容をもとにした動画・プレゼンテーション作成	対面授業	予習： 研修時の写真・動画を整理し、編集準備を行う。(4時間) 復習： プレゼンテーションにおける自分の担当部分を練習する。(4時間)
7	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・グループプレゼンテーション ・相互評価	対面授業	予習： メモを見ずに発表できるよう練習する。(2時間) 復習： 他グループの発表も参考に、自グループの良点・改善点を整理する。(2時間)
8	異文化理解タスク2 発表(続き) 個人課題 ① コラージュ(写真)作成・提出 ② Google Formによるアンケート(感想含む)	対面授業	予習： タスク1・2を通して感じた異文化コミュニケーションの難しさや課題について考える。(2時間) 復習： 講義内容を再確認し、次のタスクに向けた比較項目を考える。(2時間)
9	異文化理解タスク3「異文化交流パーティー準備」 ・国別グループ編成 ・国別パフォーマンス企画	対面授業	予習： 異文化を表現するためのパフォーマンス案を考える。(2時間) 復習： グループで話し合った内容を再検討する。(2時間)
10	異文化理解タスク3 ・国別パフォーマンス準備	対面授業	予習： パフォーマンス案の具体化を行う。(2時間) 復習： 準備状況を振り返り、修正点を整理する。(2時間)
11	異文化理解タスク3 ・国別パフォーマンス準備(内容確定)	対面授業	予習： 決定したパフォーマンスの準備・練習を行う。(2時間) 復習： 練習を振り返り、改善点を確認する。(2時間)
12	異文化理解タスク3 ・リハーサル・最終調整	対面授業	予習： 本番を想定した準備・練習を行う。(2時間) 復習： リハーサルの振り返りを行う。(2時間)
13	「Speak Up チャレンジ」発表会	対面授業	予習： 発表内容の最終確認を行う。(2時間) 復習： 個人課題(コラージュ作成・アンケート回答)を行う。(2時間)
14	異文化交流パーティー振り返り グループ・全体ディスカッション	対面授業	予習： パーティーを通して学んだことを整理する。(2時間) 復習： 異文化理解・自己の変化についてまとめる。(2時間)

15	総まとめ 授業全体の振り返り 異文化理解と今後の学びへの接続	対面授業	予習： 授業全体を振り返り、最終コメントを準備する。(2時間) 復習： 本授業で得た学びを今後どのように活かすかを文章にまとめる。(2時間)
16			授業外学修 60時間

その他

科目 (教職課程用)			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	教科書：特になし		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	参考書：それぞれのタスクに沿って適宜指示する。		
履修条件			
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。		
オフィスアワー	牟田:火曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 李:水曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 松浦:水曜日1限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 金戸:月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 口ニー:水曜日2限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 依藤:火曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 山本:火曜日4限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能)		
備考・メッセージ	国籍の異なる多様なクラスメイトとの交流を通じて、自文化を再認識するとともに、異文化理解力の向上を目指します。		

国際・時事研究

更新日：2026/05/26 21:00:07

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	MU601
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、最近の国内外の時事問題に関して幅広い知識を獲得し、自分の意見を持ち、他者に発信できる力を育成することを目的としています。就職活動や海外留学の際に、基本的な時事問題を理解し、それについて自分の考えを述べるができることは非常に重要です。本講義では、これらの能力を実践的に高めていきます。

学習目標

- ・国内外の最新の時事問題についての知識を深める
- ・各自が自分の意見を形成し、効果的に発信できるようになる
- ・他者との意見交換やディスカッションを通じて理解を深める能力を身につける

学習環境

- ・Google Classroomを活用し、参考文献・データ・リンク先などの学習資料を提供します。

授業内容・進め方

授業では主に以下の活動を行います：

1. 記事の収集と整理
受講者は新聞やウェブ記事から関心のある時事トピックを選び、その内容をマインドマップを含めたワークシートに整理します。これを基にして記事内容の要点をクラスで説明します。
2. 意見表明と意見交換
選んだ記事について自分の意見を述べ、他の学生と意見交換を行うことで、時事問題に対する理解を深めます。
3. 教員による解説と全体討論
学生のプレゼンテーション内容について教員が解説を加えた後、全員で議論を行います。

授業における到達目標

1	・国内外の時事問題を自分事として捉え、主体的に情報収集・発信ができる。・授業内の議論に積極的に参加し、多様な意見を尊重できる。
2	・ニュースを正しく理解し、記事内容を簡潔に要約（マインドマップ／ワークシート化）できる。・国内外の時事用語を正しく理解し、適切に使用できる。・情報を整理し、分かりやすいマインドマップ／ワークシートを作成できる。
3	・国際的なニュースや異文化的背景を踏まえて時事問題を理解できる。・自分とは異なる文化・価値観に基づく意見を理解し、尊重できる。
4	・要約した記事内容を、第三者に分かりやすく口頭で説明できる。・記事内容を踏まえ、自分の意見を論理的かつ簡潔に述べるができる。
5	・就職活動や留学等を想定し、時事問題を用いて自分の考えを表現できる。・社会や国際動向と自分の将来とのつながりを説明できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・授業への参加状況・発言の積極性 ・意見交換・ディスカッションへの貢献度 ・授業内リアクションシート／簡易振り返り	10%
確かな専門的知識や技能	2	・毎回のマインドマップ／ワークシート ・授業内タスク（記事要約・用語理解） ・最終課題（総合的な記事分析・まとめ）	40%
異文化知識・対応能力	3	・国際ニュースを扱った発表内容 ・留学生・他者との意見交換への姿勢 ・異文化視点を取り入れたコメント・発言	10%
課題解決能力	4	・記事プレゼンテーション ・意見表明の論理性・分かりやすさ ・質疑応答への対応	30%
キャリアデザイン力	5	・最終振り返りレポート（時事と将来の関連付け） ・キャリア視点を含んだ意見発表	10%

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。 ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。 ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。 	

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス/時事問題とは何か ・授業の目的・進め方の説明 ・「時事問題」の定義と重要性（就職活動・留学との関連） ・新聞・ニュースサイトの種類紹介 ・マインドマップ・ワークシートの書き方説明	対面授業	予習（2時間） ・国内外のニュースサイト（新聞社・NHK・BBCなど）を複数閲覧 ・気になる記事を2本選び、簡単に内容を整理する 復習（2時間） ・授業内容の振り返り ・次回発表候補の記事を1本決定し、概要をメモにまとめる
2	2回目	ニュースの読み方①（事実と意見の区別） ・ニュース記事の構成（見出し・リード文・本文） ・事実と記者の見解の違い ・学生による記事紹介（短時間）	対面授業	予習（2時間） ・選んだ記事を精読し、事実と意見を色分けして整理 ・キーワードを抜き出す 復習（2時間） ・マインドマップを完成させる ・「自分の意見」を200字程度でまとめる
3	3回目	ニュースの読み方②（背景・原因・影響） ・出来事の原因・背景・社会への影響を考える視点 ・学生プレゼン①+意見交換 ・教員による補足解説	対面授業	予習（2時間） ・発表記事の関連ニュースを1～2本調べる ・背景情報を追加する 復習（2時間） ・クラスで出た意見を踏まえ、マインドマップを修正 ・新たに気になったニュースを探す
4	4回目	国内時事①（政治・選挙・政策） ・日本の政治・政策に関する基礎解説 ・学生プレゼン② ・政策が私たちの生活に与える影響を議論	対面授業	予習（2時間） ・国内政治・政策に関する記事を1本選ぶ ・用語（内閣・法案など）を調べる 復習（2時間） ・自分の立場を明確にし、意見を文章化 ・他者の意見との違いを整理
5	5回目	国内時事②（経済・雇用） ・日本経済・雇用問題の基礎 ・学生プレゼン③ ・就職活動との関連を考える	対面授業	予習（2時間） ・経済・雇用に関する記事を読む ・数字・データの意味を確認 復習（2時間） ・マインドマップにデータを反映 ・自分の将来との関係を整理
6	6回目	国内時事③（社会問題・教育・少子高齢化） ・社会問題の多様性について解説 ・学生プレゼン④ ・複数の立場から考えるディスカッション	対面授業	予習（2時間） ・社会問題に関する記事を1本選択 ・賛成・反対の立場を想定 復習（2時間） ・自分の考えを再整理 ・議論で印象に残った意見を記録
7	7回目	海外時事①（国際政治） ・国際情勢の基本構造 ・学生プレゼン⑤ ・日本との関係を考える	対面授業	予習（2時間） ・海外ニュースを日本語または英語で読む ・地図で関係国を確認 復習（2時間） ・用語・国名を整理 ・日本の立場について考察
8	8回目	海外時事②（国際経済・グローバル企業） ・グローバル経済の仕組み ・学生プレゼン⑥ ・世界と日本のつながりを議論	対面授業	予習（2時間） ・国際経済に関する記事を読む ・キーワードを整理 復習（2時間） ・マインドマップ完成 ・就職・留学との関連をまとめる
9	9回目	海外時事③（環境・SDGs） ・環境問題・SDGsの基礎 ・学生プレゼン⑦ ・行動につなげる視点で議論	対面授業	予習（2時間） ・環境問題に関する記事を選ぶ ・SDGs目標を確認 復習（2時間） ・自分にできる行動を考える ・意見を文章化

10	10回目	メディアリテラシー①（情報の信頼性） ・フェイクニュース・偏った報道 ・情報の見極め方 ・学生プレゼン⑧	対面授業	予習（2時間） ・同じテーマの記事を複数媒体で比較 ・違いを整理 復習（2時間） ・情報源の信頼性を評価 ・マインドマップ修正
11	11回目	メディアリテラシー②（SNSと時事問題） ・SNSでの情報拡散の特徴 ・学生プレゼン⑨ ・炎上・誤情報について議論	対面授業	予習（2時間） ・SNS発のニュース事例を調べる ・復習（2時間） ・正確な情報発信の重要性をまとめる
12	12回目	意見の伝え方①（論理構成） ・意見の組み立て方（結論・理由・具体例） ・学生プレゼン⑩	対面授業	予習（2時間） ・自分の意見を論理的に整理 復習（2時間） ・フィードバックを踏まえて修正
13	13回目	意見の伝え方②（プレゼン表現） ・分かりやすい説明・話し方 ・学生プレゼン⑪	対面授業	予習（2時間） ・発表練習 ・想定質問を考える 復習（2時間） ・自己評価シート作成
14	14回目	総合演習①（発展的時事問題） ・難易度の高い時事問題を扱う ・学生プレゼン⑫+総合討論	対面授業	予習（2時間） ・背景資料を多角的に調査 復習（2時間） ・意見の深まりを文章で整理
15	15回目	総合演習②（就職・留学を想定した発言） ・面接・留学先での想定質問 ・学生プレゼン⑬	対面授業	予習（2時間） ・想定質問への回答準備 復習（2時間） ・回答内容をブラッシュアップ
16	16回目	まとめ・振り返り ・授業全体の振り返り ・時事問題への向き合い方の再確認 ・成長の自己評価	対面授業	予習（2時間） ・これまで扱った記事・マインドマップの整理 復習（2時間） ・授業を通して身についた力をレポートにまとめる
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし *NHKニュースを含む各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。	
履修条件		
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限(その他、研究室にいる時間は、対応可能)	
備考・メッセージ	就職活動においては、時事問題に関心を持ち、社会の動きを理解しておくことが重要である。そのため、日頃から新聞やインターネットニュースに目を通し、可能な限り毎日、テレビやラジオのニュースを視聴する習慣を身につけることが望ましい。	

キャリアガイダンス

更新日：2026/05/28 09:37:05

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD101
担当教員	中野 明人				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

・この授業はキャリアデザイン力を身につけることを目的としている。2年間の学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができることを到達目標とする。

・本講義では、

- ①自己理解をし、自分について説明することができる、
- ②社会理解を行い、2年後の進路選択をする上でどのような力が必要かを知る、
- ③その後体験するギャップイヤーに備え、長期学外学修で何を学ぶのかについて整理することができることも目標とする。

授業における到達目標

1	自己理解を通して、自分自身について説明できる。
2	自分の進路選択における課題を明確にし、その課題を解決できる。
3	職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	20
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	2	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	30%
キャリアデザイン力	3	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	50%
合計			100%

補足事項

- ・本授業のレポートは、毎回配布するプリントをファイリングし、中間評価時と最終評価時の2回提出する。
- ・評価については、1Q修了時に中間評価、2Q修了時の課題の提出をもって最終評価とする。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。
- ・授業に関する質問は直接のほかClassroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	ガイダンス この授業がめざすもの ・この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞を見て、考える。	面接授業	予習：シラバスを読み、キャリアについて調べる（2時間）。 復習：今の就職戦線について自分なりの理解の内容をまとめる（2時間）。
2	2回目	「客観的な自分のイメージ」 ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする（ペアワーク）。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる。（2時間） 復習：ありたい自分を再度確認しまとめる（2時間）。

3	3回目	「自分の行動特徴（エゴグラム）」 ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリウィンドウについて学ぶ。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：自我についてまとめる（2時間）。
4	4回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・いろんな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：自分の知らなかった職業についてまとめる（2時間）。
5	5回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：自分の価値観についてまとめる（2時間）。
6	6回目	「キャリア選択のバリアーの正体」 ・自分の考え方のクセに気づく。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：自分の一番のこだわりについて確認する（2時間）。
7	7回目	「キャリア選択のバリアーの克服法」 ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正をしてみる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：思い込みの克服法についてまとめる（2時間）。
8	8回目	「今までのライフスタイル」 ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：一番大切だと思ったエピソードについてまとめる（2時間）。
9	9回目	「ライフスタイルと職業生活」 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる（2時間）。
10	10回目	「キャリアレインボーを作る」 ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする（2時間）。
11	11回目	「仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定」 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する（2時間）。
12	12回目	「就職の意志決定」 ・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：授業で調べられなかった企業についてまとめる（2時間）。
13	13回目	ホテル特化型企業説明会 ・学内で開催される「ホテル特化型企業説明会」に参加する。 ・最低3社以上の説明を聞いて、レポートを完成する。	面接授業	予習：参加企業について調べて質問を考える（2時間）。 復習：説明会に参加したホテルについて、レポートをまとめる（2時間）。
14	14回目	「自己PR」と「志望動機」 ・「自己PR」と「志望動機」の書き方について学ぶ。 ・実際に「自己PR」と「志望動機」を書いて、コースの先生に読んでもらう。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：「自己PR」と「志望動機」を書きあげ、コースの先生に読んでもらう（2時間）。
15	15回目	「5年後と10年後の自分」 ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・みんなの前で発表する。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する。	面接授業	予習：この1週間の就職に関連する記事を調べる（2時間）。 復習：ギャップイヤーでどんな体験をしたいかについてまとめる（2時間）。
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	日頃から、就職活動に限らず、ニュースなど幅広く時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。	
オフィスアワー	放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。	
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。	

ビジネス文書

更新日：2026/05/26 21:00:44

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD401
担当教員	梶谷 良子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。

授業における到達目標

1	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する
2	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる
3	社会常識をもって公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を身につけることができる
4	サービス接遇検定試験2級の合格を目指す
5	サービス接遇検定試験2級を取得し、さらに上級を目指す

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	筆記試験	20
確かな専門的知識や技能	2	筆記試験	30
異文化知識・対応能力	3	筆記試験	20
課題解決能力	4	検定試験合格	20
キャリアデザイン力	5	授業への参加・態度	10
合計			100
補足事項			
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方・サービス接遇検定について説明する	対面授業	
2	2回目	「おもてなしの心とは」 「サービス」と「接遇」について理解する	対面授業	予習：「サービス」と「接遇」について考えておく（2時間） 復習：講義内容の確認（2時間）
3	3回目	「サービススタッフの資質」 必要とされる要件を説明する	対面授業	予習：前回の講義の確認（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
4	4回目	「サービススタッフの資質」 従業要件を理解する	対面授業	予習：サービススタッフについて考えておく（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
5	5回目	「専門知識」 サービス知識の説明	対面授業	予習：前回の講義の確認（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
6	6回目	「専門知識」 商業用語・経済用語を理解する	対面授業	予習：配布プリントの確認（2時間） 復習：講義内容の確認（2時間）
7	7回目	「一般知識」 社会常識を理解する	対面授業	予習：社会常識について考えておく（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
8	8回目	「対人技能」 人間関係・対人心理を説明する	対面授業	予習：配布プリント問題を解く（2時間） 復習：講義内容の確認（2時間）

9	9回目	「対人技能」 接遇知識を説明する	対面授業	予習：配布プリント問題を解く（2時間） 復習：講義内容の確認（2時間）
10	10回目	「対人技能」 接遇用語を理解する	対面授業	予習：接遇用語を確認しておく（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
11	11回目	「実務技能」 問題処理（苦情や問い合わせ）について説明する	対面授業	予習：苦情について考えておく（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
12	12回目	「実務技能」 環境整備について説明する	対面授業	予習：配布プリント問題を解く（2時間） 復習：講義内容の確認（2時間）
13	13回目	「実務技能」 社交儀礼について説明する	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み返す（2時間） 復習：配布プリント問題を解く（2時間）
14	14回目	「総まとめ（講義の振り返り）」総合問題を解く（解答・解説）	対面授業	予習：総合問題プリントを解く（2時間） 復習：総合問題プリントを解く（2時間）
15	15回目	「最終対策問題」 総合問題を解く（解答・解説）	対面授業	予習：総合問題プリントを解く（2時間） 復習：総合問題の再確認（6時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	サービス接遇検定2級に必要な事項・問題のプリントを配布する	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	原則としてビジネスに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）、髪型を整えて出席すること	
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する	
備考・メッセージ	自身のため2級だけではなく準1級、1級と上を目指してほしい	

ビジネス文書 N1N2

更新日：2026/05/26 21:00:44

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD401
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。
自己分析を通じて「自分の強み」を社会に伝えるビジネススキルの習得を目指す。

ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。

- ①履歴書・送付状の書式と表現を知ることができる。
- ②基本的なビジネスメールが書けるようになる。

授業における到達目標

1	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。
2	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。
3	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。
5	履歴書作成において、その組織でどう貢献したいか（キャリアプラン）を明確にできる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	4	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	5	文書作成	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、グループ・ペアワーク10%、ミニテスト10%、文書作成10%、の割合で評価する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題/レポートは提出期限を守ること。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-1) (2時間)
2	2回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-2) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
3	3回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-3) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
4	4回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-4) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
5	5回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-5) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)

6	6回目	II 就活能力7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	就活能力7 1～5まとめ	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-1）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-2）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-3）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-4）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1（署名欄の設定など）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-5）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 5 課題2（志望先企業にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-6）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 6 課題3（自分の上司にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	ビジネスメール1～3まとめ②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	ビジネスメール4～6まとめ③	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可（Googleclassroom）</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

ビジネス文書 N3

更新日：2026/05/26 21:00:45

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD401
担当教員	山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。
ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。

授業における到達目標

1	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。
2	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。
3	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。
5	自身の進路希望を踏まえ、履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	授業への参加・態度	10%
異文化知識・対応能力	3	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	4	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力	5	課題	60%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業への参加・態度40%、課題提出60%を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは、は授業内に直接、またはClassroomで行う。また、授業内容によりプレゼンテーションの実施やプリントを使用する場合もある。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退学や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
2	2回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現 3 ビジネスメールの例	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
3	3回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1（署名欄の設定など）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
4	4回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）

5	5回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイントII	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
6	6回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	II 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	まとめ	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例 復習① 5 課題2（志望先企業にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例 復習① 6 課題3（自分の上司にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	まとめ②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	【参考書】ISBN
履修条件	目標に向かって授業に参加できること
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroomを使用できるデバイス(PCやスマートフォン等)を持ってこることが望ましい。 ・予習・復習ができていないことを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	授業に積極的に参加してください。

ビジネス文書 N4上

更新日：2026/05/26 21:00:46

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD401
担当教員	杉本 あゆみ				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

JLPT N4の認定を目指し、以下の能力を身に付けることのできる授業を実践します。

- ・基本的な語彙や漢字を使って日本語で履歴書が書けるようになる。
- ・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができるようになる。
- ・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できるようになる。

授業における到達目標

1	他者に対して常に親和的な態度で関わるができる。
2	日本語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて基本的な文章を書くことができる。
3	チームで仕事をする際、自分の役割を理解し、活動することができる。
4	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意見を理解することができる。
5	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	課題	20
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	20
異文化知識・対応能力	3	課題	20
課題解決能力	4	課題	20
キャリアデザイン力	5	課題	20
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する質問は直接の他、メール等でも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	自己紹介の仕方を学ぶ	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
2	2	自己分析をする①	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
3	3	自己分析をする②	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
4	4	業界・業種・職種について理解を深める	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
5	5	勤務の条件について理解を深める	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
6	6	自己PR文を考えて書く①	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
7	7	自己PR文を考えて書く②	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）

8	8	自己PR文を考えて書く③	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
9	9	志望動機を考えて書く①	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
10	10	志望動機を考えて書く②	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
11	11	履歴書を書く①	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
12	12	履歴書を書く②	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
13	13	履歴書を書く③	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
14	14	面接の受け方について学ぶ①	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
15	15	面接の受け方について学ぶ②	対面	予習：テキストを読む（2時間） 復習：既習単語と文型を確認する（2時間）
16	16	定期試験	対面	授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	伸ばす！就活能力ビジネス日本語力改訂版 国書刊行会	9.78434E+12
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	必要に応じて適宜紹介する。	
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする。	
履修上の注意	指定された課題を授業前までに終えておくこと。	
オフィスアワー	金曜日10:00~11:00	
備考・メッセージ	失敗を気にしないで、これまで習った文法を積極的に使って話してください。 授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。	

ビジネス文書 N4下

更新日：2026/05/26 21:00:47

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CD401
担当教員	西尾 春奈				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。
自己分析を通じて「自分の強み」を社会に伝えるビジネススキルの習得を目指す。

ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。

- ①履歴書・送付状の書式と表現を知ることができる。
- ②基本的なビジネスメールが書けるようになる。

授業における到達目標

1	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。
2	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。
3	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。
4	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。
5	履歴書作成において、その組織でどう貢献したいか（キャリアプラン）を明確にできる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	3	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	4	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	5	文書作成	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、グループ・ペアワーク10%、ミニテスト10%、文書作成10%、の割合で評価する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題/レポートは提出期限を守る。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-1) (2時間)
2	2回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-2) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
3	3回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-3) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
4	4回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-4) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)
5	5回目	Ⅱ 就活能力7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認 (7-5) (2時間) 復習：既習内容の確認 (2時間)

6	6回目	II 就活能力7 履歴書・送付状 5 課題（履歴書・送付状作成）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
7	7回目	就活能力7 1～5まとめ①	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-1）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
8	8回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-2）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
9	9回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-3）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
10	10回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-4）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
11	11回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1（署名欄の設定など）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-5）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
12	12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 5 課題2（志望先企業にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（8-6）（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
13	13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 6 課題3（自分の上司にメールを書く）	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
14	14回目	ビジネスメール1～3まとめ②	対面授業	予習：次回の言葉調べと内容確認（2時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
15	15回目	ビジネスメール4～6まとめ③	対面授業	予習：定期試験の準備（4時間） 復習：既習内容の確認（2時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	意欲的に授業に参加できること	
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること	
オフィスアワー	授業の前後で対応	
備考・メッセージ	<p>○携帯電話は使用禁止とする。</p> <p>ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可 (Googleclassroom)</p> <p>○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。</p> <p>○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。</p> <p>○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)</p>	

実践ビジネスマナー

更新日：2026/05/26 21:00:05

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	CD102
担当教員	梶谷 良子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー・日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。

授業における到達目標

1	良識を持ち、相手に対する思いやりの心（気持ち）を素直に表現することができる
2	社交儀礼の業務について理解し活用できる
3	接遇用語を理解し活用できる
4	さまざまな価値観の人たちと共に生きていく（仕事をする）上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる
5	人間関係の対処
6	顧客心理を理解し、能力を発揮できる
7	ビジネスマナーを身につけることで、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	筆記試験	20
確かな専門的知識や技能	2,3	筆記試験	30
異文化知識・対応能力	4,5	筆記試験	20
課題解決能力	6	実技試験	20
キャリアデザイン力	7	授業への参加	10
合計			100

補足事項

- ・授業に関する質問は直接受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。
- ・本授業では筆記試験 70%、実技試験 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構えについて説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック全体に目を通す（1時間） 復習：次回の学習ページ（P17）を確認する（1時間）
2	2回目	「人間関係は挨拶から」 挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	対面授業	予習：人間関係について考える（1時間） 復習：マナーテキストブック（P17）を読み直す（1時間）
3	3回目	「美しい立ち居振る舞い」 笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明し、実演する	対面授業	予習：笑顔の必要性について考える（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
4	4回目	「身だしなみについて」 身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	対面授業	予習：自分自身の身だしなみについて考えてみる（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
5	5回目	「来客応対」 来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P24.25.27）に目を通す（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）

6	6回目	「和室でのマナー」 訪問とおもてなしのマナー・座布団のマナー・和室の席次について説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P1～P4）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
7	7回目	「招待状の返事の手書き方」 招待状の出席・欠席の返事の手書き方のマナーを説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P3.P4）を読む（1時間） 復習：返信ハガキの手書き方を練習する（1時間）
8	8回目	「冠婚葬祭のマナー」 慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の手書き方を説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P5.6.9.10.11）を読む（1時間） 復習：祝儀・不祝儀袋の手書き方を練習する（1時間）
9	9回目	「社交マナー」 贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P12.13.16）を読む（1時間） 復習：講義内容を確認する（1時間）
10	10回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方を説明する	対面授業	予習：配布プリントを読む（1時間） 復習：練習問題を解く。配布プリントを読み返す（1時間）
11	11回目	「言葉遣い」 ビジネスでの言葉遣い・接遇用語の説明をする	対面授業	予習：マナーテキストブック（P28）を読む（1時間） 復習：配布プリントを読み返す（1時間）
12	12回目	「電話対応」 ビジネスでの電話対応の重要性について説明する	対面授業	予習：マナーテキストブック（P30～P33）を読む（1時間） 復習：講義内容の確認（1時間）
13	13回目	「電話対応」 （Ⅰ）基礎編 ロールプレイング	対面授業	予習：マナーテキストブック（P34）を読む（1時間） 復習：基礎編を練習する（1時間）
14	14回目	「電話対応」 （Ⅱ）応用編 ロールプレイング	対面授業	予習：マナーテキストブック（P35）を読む（1時間） 復習：応用編を練習する（1時間）
15	15回目	講義の振り返り（総まとめ）これまでの講義内容を振り返る 丁寧な挨拶の実技テスト	対面授業	予習：マナーテキストブック全体を読み返す（1時間） 復習：いつでも笑顔で丁寧な挨拶が出来るように練習する（1時間）
16	16回目	定期試験		授業外学修 30時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 『センスアップマナーテキスト』 ソシアル淳心	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ（制服又はスーツ）・髪型をきちんと整えて講義に出席すること（スニーカー・スリッパ不可）	
オフィスアワー	授業の前後又はClassroom に対応する	
備考・メッセージ	日々の生活の中で相手を思いやる心を大切にほしい	

ホテル業論

更新日：2026/05/26 21:00:04

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CD301
担当教員	今井 奈美子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

実際にホテルで働く講師からホテル業界のリアルを学び、就職活動を行うにあたっての企業研究・業界研究の場とし、資格取得やインターンシップに繋がる時間とすることを目的とした授業です。ホテル業界で働く上で必要な専門知識、社会人としてのマナーや役立つ知識などホテルに関わる「接客分野」、レストラン・宴会・婚礼・調理の「料飲分野」、フロント・客室の「宿泊分野」、その他関連法規などの「ホテル関連分野」、ホテルのバック部門(業務・施設・企画)について学修します。また、ビジネス能力認定サーティファイ「ホテル実務技能認定試験 初級」過去問題を活用し理解を深めていきます。

授業における到達目標

1	ホテルの全ての分野について問題集(教科書)の内容を理解することができる。
2	ホテルの概要を知ることで、利用しやすくなると共に今後のインターンシップにも役立てることができる。
3	毎回、問題集(教科書)を用いて予習・復習内容を確認して理解度を高めることができる。
4	実際にホテル見学を通して、よりホテルの構造を理解できる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	定期試験	60
異文化知識・対応能力	2	授業への参加・態度	10
課題解決能力	3	口述試験	10
キャリアデザイン力	4	感想レポートの提出	20
合計			100
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> 履修の際は、サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」を購入しておくこと。 毎回、教科書から項目を指定しますので、予習にて解答して下さい。当日授業にて答え合わせをします。また、間違えた問題については、復習にて理解して次回授業にて解説していきます。 遅刻3回および早退は開始から45分前で、いずれも欠席1回と見做します。 			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心構え、授業中の注意点について説明する。「2028年度新卒就職活動について」 一般的な就職活動及びホテル業界の就職活動スケジュールを確認する。	対面授業	予習：シラバスを読む。(2時間) 復習：今後の就職活動の方向性を考える。(2時間)
2	2回目	「接客分野」①ホテルの定義・分類②ホテルの歴史と特徴③ホテルスタッフに求められる資質・能力 「ホテル実務技能認定試験について」試験内容及びスケジュールの確認	対面授業	予習：指定した問題集を読む。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
3	3回目	「料飲分野」①料飲部門の職種と組織について②料飲部門の基礎知識(ホテル料飲施設の種類、料理の種類)	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
4	4回目	「料飲分野」①料飲部門の基礎知識(什器・食品・備品の種類、西洋料理のテーブルマナー)「ホテル実務技能認定試験解説」	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)

5	5回目	「料飲分野」①料飲部門の基礎知識(飲料の種類)②宴会部門の基礎知識(婚礼宴会、一般宴会)	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
6	6回目	「料飲分野」①レストラン商品企画造成「ホテル実務技能認定試験解説」	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
7	7回目	「ホテル見学」 レストランおよび料飲関連施設を見学	対面授業	予習：ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習：感想レポートを提出する。(2時間)
8	8回目	「ホテル見学」 客室などの宿泊施設および関連施設を見学	対面授業	予習：ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習：感想レポートを提出する。(2時間)
9	9回目	「宿泊分野」①宿泊部門の職種と組織②宿泊部門の基礎知識(客室タイプの分類、料金設定、フロントオフィス、フロントサービス業務)	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
10	10回目	「宿泊分野」①宿泊部門の基礎知識(客室係)②コンシェルジュについて「ホテル実務技能認定試験解説」	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
11	11回目	「管理部門」①管理部門の職種と組織「マーケティング」「その他ホテル関連分野」①ホテルの社会的責任(法律、防災、食中毒、その他)	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
12	12回目	「その他ホテル関連分野」①プロトコルに関する知識について「ホテル実務技能認定試験解説」	対面授業	予習：指定した問題集を解答する。(2時間) 復習：指定した問題集を復習する。(2時間)
13	13回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて発表資料を作成する	対面授業	予習：調査するホテルを決めて指定の項目について調べる(3時間) 復習：なし
14	14回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて各自発表する	対面授業	予習：同上 復習：各自が調べたホテルについて改めて資料を見直す(3時間)
15	15回目	授業のふり返り	対面授業	復習：定期試験に向けた学修(8時間)
16	16回目	定期試験(四択問題テスト)		授業外学修時間 60時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」(編著：サーティファイホテル実務能力認定委員会・発行(株)サーティファイ)	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	「ウイネット発行「料飲Ⅰ レストラン・宴会編」 「料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」 「宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」 「宿泊Ⅱ フロント・サービス編」 「ホテル業務関連知識」 「基礎から学ぶホテルの概論」 「ホテル業界のしくみとビジネスがしっかりわかる教科書」	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー		
備考・メッセージ		

ホスピタリティビジネス

更新日：2026/05/26 21:00:48

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CD701
担当教員	梶谷 良子				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。

授業における到達目標

1	就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる
2	就職面接時に向けて好感もてる立ち居振る舞いを身につけることができる
3	感じの良い電話応対を身につけることができる
4	各自希望の就職先への内定をいただくことができる
5	社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる
6	ロールプレイングを繰り返すことで、自信をもって就職面接に臨むことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	筆記試験・実技試験	30
確かな専門的知識や技能	2,3	筆記試験・実技試験	30
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	4	筆記試験・実技試験	30
キャリアデザイン力	5,6	授業への参加態度	10
合計			100
補足事項			
授業に関する質問は直接受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。 本授業では筆記70%、実技試験20%、授業への参加・態度10%の割合で評価する。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方、心構えについて説明する	対面授業	復習：1年時に使用したマナーテキストブックを読み返す(2時間)
2	2回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方（復習編）	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習：正しい敬語の遣い方を確認する(2時間)
3	3回目	「面接指導」 ・就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	対面授業	予習：マナーテキストブック（P18.P19.P20.P21）を読んでおく(2時間) 復習：立ち居振る舞いの練習をする(2時間)
4	4回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅰ）	対面授業	予習：言葉遣い・立ち居振る舞いの練習をする(2時間) 復習：指摘された点を再確認する(2時間)
5	5回目	「面接指導」 ・ロールプレイング（Ⅱ）	対面授業	予習：質疑応答の練習をする（1時間） 復習：指摘された点を再確認する(2時間)
6	6回目	「電話応対」 ・復習編	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習：講義内容を確認する(2時間)
7	7回目	「電話応対」 ・応用編（Ⅰ）	対面授業	予習：実習内容を確認しておく(2時間) 復習：応用編（Ⅰ）の練習（2時間）

8	8回目	「電話対応」 ・応用編（II）	対面授業	予習：実習内容を確認しておく(2時間) 復習：応用編（II）の練習(2時間)
9	9回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・復習編	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習：講義内容を確認する(2時間)
10	10回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・お参りの仕方（仏教・神道・キリスト教）	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく(2時間) 復習：講義内容を確認とお参りの練習(2時間)
11	11回目	「来客対応」 ・復習編	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習：配布されたプリントを確認する(2時間)
12	12回目	「来客対応」 ・ロールプレイング（来客の先導）	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習：配布されたプリントを確認する(2時間)
13	13回目	「名刺交換」 ・ロールプレイング	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習：名刺交換の練習をする(2時間)
14	14回目	「お茶の淹れ方・出し方・いただき方」 ロールプレイング（お茶の淹れ方・出し方・いただき方）	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す（30分） 復習：自分でお茶を淹れ、いただいている（2時間30分）
15	15回目	テーブルマナー ・洋食フルコースのマナー（ホテルにて実食）	対面授業	予習：マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習：テーブルマナーの確認と試験対策(6時間)
16	16回目	定期試験		授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『センスアップマナーテキスト』ソシアル淳心	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	・原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしい身だしなみを整える（髪型・くつ）	
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する	
備考・メッセージ	長崎短期大学の卒業生として、自信をもって社会人として出発できるようになってほしい。	

実践グローバル・リーダーシップⅠ

更新日：2026/05/26 21:00:49

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CD402
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、生活する地域や文化背景の異なる学生や地域市民との交流を通じて、多様な価値観に触れ、自らの視野を広げるとともに、豊かな人間関係を築く力を養うことを目的とします。学生が主体的に交流活動に参加し、対話や協働を重ねることで、グローバルな感覚を備えたリーダーとしての基礎的な資質を身につけることを目指します。

授業では、国内外での交流活動やイベントへの参加を想定し、MC（司会進行）、写真・動画の撮影および編集、SNSを活用した情報発信、プレゼンテーションなど、実践的なコミュニケーションスキルを学びます。これらの活動を通じて、相手に分かりやすく伝える力や、場に応じて柔軟に対応する力を育成します。

これまでの主な活動例として、韓国の大学を訪問し、現地大学生とのプレゼンテーションや意見交換を行うとともに、日系企業を訪問して異文化環境におけるビジネスや生活について学びました。また、国内研修では、北海道と長崎という異なる地域で生活する学生同士が、観光資源や食文化、大学紹介、将来のキャリアプランについて発表・討議を行い、相互理解を深めました。さらに、ミャンマー訪問では、日本語の模擬授業や現地学生との交流活動、グループワークを通して、実践的な異文化理解を体験しました。

本授業を通じて、学生は多様な文化や価値観に触れながら、グローバルな視野を広げ、将来の学修や社会活動に活かすことのできる実践的なスキルを身につけます。

授業における到達目標

1	イベントにおいて、基本的なMC（司会進行）を行うことができる。 SNS発信を想定した基本的な写真撮影を行うことができる。 SNS発信を想定した基本的な動画撮影を行うことができる。 目的や対象に応じた基本的なSNS発信方法を理解し、実践することができる。
2	地域住民や異なる文化的背景をもつ人々と、積極的にコミュニケーションを取り、交流活動に参加することができる。
3	イベントや交流活動の内容を振り返り、課題や成果を整理することができる。 学んだ点や改善点を簡潔かつ分かりやすく発表することができる。
4	授業での実践的な活動を通じて、自身の強みや課題を認識し、今後の学修やキャリア形成につなげて考えることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	・レポート（活動内容の記録、使用した技術や工夫点の説明） ・提出物（写真・動画・SNS発信案など）の内容確認	30%
異文化知識・対応能力	2	・レポート（交流活動の振り返り、相手理解や自身の気づきの記述） ・授業内での参加態度・発言内容の評価	30%
課題解決能力	3	・プレゼンテーション（構成、内容の論理性、伝え方） ・発表資料（スライド等）の内容評価	30%
キャリアデザイン力	4	・総合レポート（自己分析、学修成果の整理、将来への展望）	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	1回目	オリエンテーション ・授業・活動の概要(趣旨・目的・内容)の説明 ・成果報告方法および評価方法の説明 ・過去の研修・活動事例の紹介	対面授業	予習・復習(各2時間) 予習:グローバルリーダーシップとは何かを調べる。
2	2回目	「イベントMC」基礎 ・イベントMCの役割と基本構成 ・話し方・進行の基礎	対面授業	予習:イベントMCに関する基礎知識を調べる。(2時間) 復習:授業内容を整理し、重要ポイントを確認する。(2時間)
3	3回目	「イベントMC」演習 ・実践的なMC演習 ・フィードバックと改善	対面授業	予習・復習 予習:MC原稿の例を調べ、構成を確認する。(2時間) 復習:演習の振り返りと改善点の整理。(2時間)
4	4回目	SNS向け「写真撮影」基礎 ・SNS発信を意識した写真撮影の基本 ・構図・光・被写体の考え方	対面授業	予習・復習 予習:SNSで使われている写真の特徴を調べる。(2時間) 復習:撮影時のポイントを整理する。(2時間)
5	5回目	SNS向け「写真撮影」演習 ・写真撮影の実践 ・作品共有と講評	対面授業	予習:撮影テーマを想定し、構図を考える。(2時間) 復習:撮影結果を振り返り、改善点をまとめる。(2時間)
6	6回目	SNS向け「動画撮影」基礎 ・動画撮影の基本構成 ・カメラワーク・音声の基礎	対面授業	予習:SNS動画の特徴を調べる。(2時間) 復習:撮影時の注意点を整理する。(2時間)
7	7回目	SNS向け「動画撮影」演習① ・短い動画の撮影演習 ・フィードバック	対面授業	予習:撮影内容の構成を考える。(2時間) 復習:演習結果の振り返り。(2時間)
8	8回目	SNS向け「動画撮影」演習② ・撮影技法の応用 ・表現方法の工夫	対面授業	予習:他者の動画事例を分析する。(2時間) 復習:自分の動画の改善点を整理する。(2時間)
9	9回目	SNS向け「動画撮影」演習③ ・ストーリー性を意識した動画制作	対面授業	予習:動画の構成案を作成する。(2時間) 復習:完成度向上のための振り返り。(2時間)
10	10回目	SNS向け「動画撮影」演習④ ・実践的な動画制作 ・グループでの共有と意見交換	対面授業	予習:撮影計画を立てる。(2時間) 復習:他者の意見を踏まえた修正点整理。(2時間)
11	11回目	SNS向け「動画撮影」演習⑤ ・動画制作の総まとめ ・成果物の確認	対面授業	予習:最終動画案の確認。(2時間) 復習:これまでの学びの整理。(2時間)
12	12回目	「SNS発信方法」基礎 ・授業の内容 ・SNS発信の目的設定 ・投稿文・タイミング・注意点	対面授業	予習:SNS発信の成功事例を調べる。(2時間) 復習:発信時のポイント整理。(2時間)
13	13回目	「SNS発信」演習① ・写真・動画を用いた投稿演習	対面授業	予習:投稿案を作成する。(2時間) 復習:発信内容の振り返り。(2時間)
14	14回目	「SNS発信」演習② ・発信内容の改善 ・伝わり方の検討	対面授業	予習:改善案を考える。(2時間) 復習:成果と課題の整理。(2時間)
15	15回目	最終プレゼンテーション ・活動成果の発表 ・全体講評	対面授業	予習:活動の振り返りと発表準備。(2時間) 復習:自身および他者の発表を振り返る。(2時間)
16	16回目	まとめ・振り返り ・授業全体の総括 ・学修成果の確認と今後への展望	対面授業	予習:これまでの活動記録を整理する。(2時間) 復習:学びを今後の学修・キャリアにどう活かすかまとめる。(2時間)
17				授業外学修 62時間

その他

科目(教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	

参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人々と交流を行うにあたり、自身の考えや意見を明確に伝えられるよう、事前にテーマや話題について調べ、整理したうえで臨むこと。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 福原：授業終了後（その他、メール等で対応可能）	
備考・メッセージ	事前には十分な準備を行い、事後には活動内容を振り返った報告書を作成するなど、一連の学修活動に主体的かつ丁寧に取り組むこと。	

実践グローバル・リーダーシップⅡ

更新日：2026/05/26 21:00:50

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CD403
担当教員	牟田 美信, 李 載宇, 福原 功太郎				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、生活する地域や背景の異なる学生および地域市民との相互交流を通じて、多様な価値観に触れ、視野を広げるとともに、豊かな人間関係を築くことの意義と楽しさを体感することを目的とします。学生が主体的に交流活動へ参加することで、コミュニケーション力や協働力を高め、グローバルな視点を備えたリーダーとしての基礎的素養を養います。

また、「実践グローバルリーダーシップⅠ」で修得した知識やスキルを活用し、実際のイベントに参加します。具体的には、MCパフォーマンス、イベント運営支援、写真・動画の撮影および編集、SNSを用いた情報発信を行い、実践的な表現力と発信力を身につけます。さらに、音響機器の基本的な扱いについても学び、現場で求められる実務的スキルの習得を目指します。

授業における到達目標

1	イベントにおける基本的なMCスキルを身につけることができる。 SNS向けの基本的な写真撮影スキルを身につけることができる。 SNS向けの基本的な動画撮影スキルを身につけることができる。 基本的なSNS発信方法を理解し、実践することができる。
2	地域の人々と積極的にコミュニケーションを取り、多様な価値観を理解したうえで円滑な交流を行うことができる。
3	イベント等への参加後、実施内容を振り返り、学んだ点や改善点を整理したうえで、簡潔に発表することができる。
4	授業での実践的な活動を通して、自身の強みや関心を把握し、将来の進路やキャリア形成にどのように活かせるかを具体的に説明することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1, 2, 3	レポート評価	30%
確かな専門的知識や技能	1	レポート評価	10%
異文化知識・対応能力	2	レポート評価	10%
課題解決能力	3	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力	4	レポート評価	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業・活動の概要（目的・内容・意義）の説明 ・成果物・報告方法、評価方法の説明 ・過去の活動事例の紹介	対面授業	予習（2時間）：授業テーマや関連するイベントについて基本的な情報を調べる。 復習（2時間）：授業の目的と評価方法を整理し、今後の活動目標を明確にする。
2	2回目	学園祭に向けた活動準備① ・学園祭の概要理解 ・役割分担（MC、運営補助、撮影、SNS等）の検討	対面授業	予習（2時間）：学園祭やイベント運営に関する基礎知識を調べる。 復習（2時間）：自分の担当役割と必要なスキルを整理する。
3	3回目	学園祭に向けた活動準備② ・MC進行案の検討 ・撮影・発信内容の企画立案	対面授業	予習（2時間）：イベントMCやSNS発信の事例を調べる。 復習（2時間）：企画内容を振り返り、改善点を整理する。

4	4回目	学園祭に向けた活動準備③ ・リハーサル ・音響・機材の基本操作確認	対面授業	予習 (2時間) : 音響機器や撮影機材の基本的な使い方を調べる。 復習 (2時間) : リハーサルでの課題点を整理する。
5	5回目	学園祭での実践活動 ・学園祭における実践 (MC、運営補助、撮影、SNS発信等)	対面授業	予習 (2時間) : 担当業務の最終確認と準備。 復習 (2時間) : 活動内容を振り返り、成果と課題をまとめる。
6	6回目	佐世保おくんちに向けた活動準備① ・佐世保おくんちの背景・目的理解 ・地域イベントにおける役割の確認	対面授業	予習 (2時間) : 地域行事や佐世保おくんちについて調べる。 復習 (2時間) : 地域イベントにおける留意点を整理する。
7	7回目	佐世保おくんちに向けた活動準備② ・撮影・発信内容の具体化 ・当日の動線・役割確認	対面授業	予習 (2時間) : 地域イベントでの発信事例を調べる。 復習 (2時間) : 自分の役割と改善点を整理する。
8	8回目	佐世保おくんちでの実践活動 ・地域イベントでの実践活動	対面授業	予習 (2時間) : 担当内容の最終確認。 復習 (2時間) : 学園祭との違いや学びを整理する。
9	9回目	SNSコンテンツ制作① ・学園祭・佐世保おくんちの写真・動画整理 ・投稿内容の構成検討	対面授業	予習 (2時間) : SNS投稿の基本構成を調べる。 復習 (2時間) : 素材の選定理由を整理する。
10	10回目	SNSコンテンツ制作② ・写真・動画編集 ・キャプション作成	対面授業	予習 (2時間) : 編集アプリや表現方法を調べる。 復習 (2時間) : 編集内容を振り返り改善点を考える。
11	11回目	SNSコンテンツ制作③ ・SNS発信実践 ・効果測定の視点共有	対面授業	予習 (2時間) : 効果的な発信方法を調べる。 復習 (2時間) : 反応や気づきを整理する。
12	12回目	SNS発信の振り返り ・発信内容の分析 ・改善案の検討	対面授業	予習 (2時間) : 他団体のSNS事例を調べる。 復習 (2時間) : 自分たちの発信の強みと課題をまとめる。
13	13回目	最終プレゼンテーション準備① ・発表構成の検討 ・資料作成	対面授業	予習 (2時間) : 活動全体を振り返る。 復習 (2時間) : 発表内容を整理する。
14	14回目	最終プレゼンテーション準備② ・リハーサル ・発表内容のブラッシュアップ	対面授業	予習 (2時間) : 発表練習。 復習 (2時間) : 指摘事項を整理する。
15	15回目	最終プレゼンテーション ・授業内容 ・活動成果の発表	対面授業	予習 (2時間) : 最終確認と発表準備。 復習 (2時間) : 自己評価と他者からの学びを整理する。
16	16回目	総括・キャリアへの接続 ・授業全体の振り返り ・学びのキャリアへの活用	対面授業	予習 (2時間) : 自分の成長と今後の課題を整理する。 復習 (2時間) : 将来の学修・進路への活かし方をまとめる。
17				授業外学修 64時間

その他

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。
履修条件	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。遅刻3回を欠席1回と扱います。レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人々と交流を行うにあたり、自身の考えや意見を明確に伝えられるよう、事前にテーマや話題について調べ、整理したうえで臨むこと。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 李:水曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 金戸:月曜日3限 (その他、研究室にいる時間は、対応可能) 福原:授業終了後 (その他、メール等で対応可能)
備考・メッセージ	事前には十分な準備を行い、事後には活動内容を振り返った報告書を作成するなど、一連の学修活動に主体的かつ丁寧に取り組むこと。

実践グローバル・リーダーシップⅢ

更新日：2026/05/26 21:00:52

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	CD404
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、地域や背景の異なる学生および地域市民との相互交流を通して、多様な価値観に触れ、視野を広げるとともに、豊かな人間関係を築くことの意義と楽しさを体感することを目的とします。学生が主体的に交流活動に取り組むことで、コミュニケーション力や協働力を高め、グローバルな視点を備えたリーダーとしての基礎的素養を養います。

また、「実践グローバルリーダーシップⅠ・Ⅱ」で修得した知識・技能および実践経験を活かし、国際コミュニケーションコースのオープンキャンパスに関連する動画の撮影・編集やSNSを用いた情報発信を行います。さらに、音響機器の基本的な扱いについても学び、イベント現場で求められる実践的なスキルの習得を目指します。

授業における到達目標

1	地域や背景の異なる学生・地域市民と主体的に交流し、多様な価値観を理解しながら円滑なコミュニケーションを行うことができる。
2	MC、動画撮影・編集、SNS発信、音響機器操作など、イベント運営に必要な基本的技能を理解し、実践することができる。
3	実践活動を振り返り、成果や課題を整理したうえで、分かりやすく発表することができる。
4	授業での経験を通して、自身の強みや関心を把握し、将来の進路やキャリアにどのように活かせるかを説明することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	2	・提出された動画・SNSコンテンツ ・活動報告書（技術面の工夫・改善点）	20%
異文化知識・対応能力	1	・活動報告書（交流内容の記述、気づき・学びの考察） ・授業内での取り組み状況	20%
課題解決能力	3	・最終プレゼンテーション ・発表内容・構成・振り返りの深さ	40%
キャリアデザイン力	4	・活動報告書（自己分析・キャリアへの接続） ・授業全体を通じた取り組み姿勢（総合評価）	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業および活動の概要（趣旨・目的・到達目標）の説明 ・成果物（PR動画・SNS投稿）および報告・方法の説明 ・評価方法の説明 ・過去の活動事例の紹介	対面授業	予習（2時間）：授業テーマや国際コミュニケーションコースについて基本的な情報を収集する。 復習（2時間）：授業の目的・評価方法を整理し、今後の学修計画を立てる。

2	2回目	PR動画・SNS制作基礎① ・国際コミュニケーションコースPRの目的理解 ・動画構成・SNS発信の基礎説明	対面授業	予習 (2時間) : 大学PR動画やInstagramの事例を調べる。 復習 (2時間) : 効果的だと感じた表現方法を整理する。
3	3回目	PR動画・SNS制作基礎② ・撮影機材の基本操作 ・撮影練習	対面授業	予習 (2時間) : 動画撮影の基本(構図・音声)を調べる。 復習 (2時間) : 撮影時の課題と改善点を整理する。
4	4回目	第4回 PR動画撮影① ・PR動画の撮影 ・Instagram用素材の撮影	対面授業	予習 (2時間) : 撮影内容・役割分担を確認する。 復習 (2時間) : 撮影した映像を振り返り、改善点を整理する。
5	5回目	PR動画撮影② ・追加撮影 ・表現方法の工夫	対面授業	予習 (2時間) : 撮り直しが必要な点を整理する。 復習 (2時間) : 表現の工夫点を言語化する。
6	6回目	PR動画編集① ・動画編集の基礎 ・編集ソフトの操作	対面授業	予習 (2時間) : 動画編集の基本的な流れを調べる。 復習 (2時間) : 編集で工夫した点を整理する。
7	7回目	PR動画編集② ・動画編集の仕上げ ・音響・BGM調整	対面授業	予習 (2時間) : 音やテンポの重要性について調べる。 復習 (2時間) : 完成度を自己評価する。
8	8回目	Instagram投稿制作① ・写真選定 ・キャプション作成	対面授業	予習 (2時間) : 効果的なSNS投稿文を調べる。 復習 (2時間) : 伝えたい内容が伝わっているか確認する。
9	9回目	Instagram投稿制作② ・投稿デザイン調整 ・ハッシュタグ検討	対面授業	予習 (2時間) : SNSでの拡散方法を調べる。 復習 (2時間) : 投稿内容を改善する。
10	10回目	SNS発信実践 ・授業内容 ・Instagramへの投稿 ・反応の確認	対面授業	予習 (2時間) : 投稿内容の最終確認。 復習 (2時間) : 反応や気づきを整理する。
11	11回目	SNS発信の振り返り① ・投稿内容の分析 ・改善案の検討	対面授業	予習 (2時間) : 他大学のSNS事例を調べる。 復習 (2時間) : 自分たちの強みと課題を整理する。
12	12回目	SNS発信の振り返り② ・改善後の再発信 ・効果の比較	対面授業	予習 (2時間) : 改善案を整理する。 復習 (2時間) : 発信の成果をまとめる。
13	13回目	最終プレゼンテーション準備① ・活動全体の整理 ・発表構成の検討	対面授業	予習 (2時間) : 活動内容を振り返る。 復習 (2時間) : 発表資料を整理する。
14	14回目	最終プレゼンテーション準備② ・発表資料完成 ・リハーサル	対面授業	予習 (2時間) : 発表練習。 復習 (2時間) : 指摘事項を修正する。
15	15回目	最終プレゼンテーション ・授業内容 ・活動成果の発表	対面授業	予習 (2時間) : 最終確認と準備。 復習 (2時間) : 自己評価と他者からの学びを整理する。
16	16回目	総括・キャリアへの接続 ・授業全体の総括 ・学びを今後の学修・キャリアにどう活かすかを整理	対面授業	予習 (2時間) : 自分の成長を振り返る。 復習 (2時間) : キャリアへの活用方法をまとめる。
17				授業外学修 64時間

その他

科目 (教職課程用)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。	
履修条件	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	

履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人々と交流を行うにあたり、自身の考えや意見を明確に伝えられるよう、事前にテーマや話題について調べ、整理したうえで臨むこと。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 福原：授業終了後（その他、メール等で対応可能）
備考・メッセージ	事前には十分な準備を行い、事後には活動内容を振り返った報告書を作成するなど、一連の学修活動に主体的かつ丁寧に取り組むこと。

Awesome Sasebo ! |

更新日：2026/05/26 21:01:08

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	PS501
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、国際コミュニケーションコースで培ってきた学びや特色を、外部の高校生および保護者に対して分かりやすく、かつ説得力をもって伝えることを目的とし、「オープンキャンパスの企画・運営」プロジェクトをグループ別を実施する。

学生は、企画立案から準備、当日の運営、振り返りまでの一連のプロセスに主体的に取り組み、実践的な学修を行う。本プロジェクトを通して、以下の能力・資質の向上を目指す。

- ・社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）の醸成
- ・世代・性別・国籍を超えた多様な人々とのコミュニケーション能力の向上
- ・調査・情報収集・分析・整理能力の向上
- ・プレゼンテーション資料作成力および発信力・表現力の向上
- ・言語運用能力（翻訳・多言語表現等）の向上
- ・地域や高校生のニーズを把握し、課題解決へとつなげる力の育成

本授業は、学内外の関係者と協働しながら実践的に学ぶことを通じて、国際コミュニケーション分野における学修成果を社会に発信する力を養うことを目的とする。

授業における到達目標

1	グループ活動やオープンキャンパス運営を通して、他者を尊重し、責任をもって行動することができる。学内外の関係者と誠実に関わり、円滑な人間関係を築くことができる。
2	調査・情報収集・分析・整理を行い、分かりやすくまとめることができる。プレゼンテーション資料を作成し、効果的に情報発信することができる。翻訳等を含む言語運用能力を活用し、多言語での発信に取り組むことができる。
3	世代・性別・国籍の異なる相手と積極的に関わり、適切なコミュニケーションを取ることができる。自発的に行動し、円滑な対話を通して信頼関係を築くことができる。
4	社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を実践的に身につけることができる。地域や高校生のニーズを把握し、課題解決に向けた企画を立案・実行することができる。
5	プロジェクトを通して自身の強みや課題を振り返り、今後の学修やキャリア形成に活かす視点を持つことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業への取り組み姿勢・活動への参加状況	10%
確かな専門的知識や技能	2	・コースSNSの内容・更新状況 ・インタビュー取材、映像・資料作成の完成度	40%
異文化知識・対応能力	3	・自発的なコミュニケーションの姿勢 ・他者との関わり具合	20%
課題解決能力	4	・積極性 ・独創性 ・チームとしてのまとまり・協働の様子	20%
キャリアデザイン力	5	振り返り・自己評価	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・プロジェクトの概要説明 ・オープンキャンパス（OC）の目的・内容の確認 ・過去のオープンキャンパスにおけるプレゼンテーション事例の視聴	対面授業	予習：特になし 復習：昨年度のオープンキャンパスの内容を確認する。（2時間）
2	2回目	役割分担・体制づくり ・OC当日のリーダー、担当者、個人プレゼン担当者の決定 ・全体スケジュールの確認 ・Tシャツ制作グループ	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：得られた情報や決定事項を整理する。（2時間）
3	3回目	グループワーク：プロジェクト活動① ・Tシャツ制作 ・イベント企画 ・個人発表 ・オープンキャンパスSNS告知作成	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：得られた情報や意見を整理する。（2時間）
4	4回目	グループワーク：プロジェクト活動② （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：活動内容を整理し、次回への課題を確認する。（2時間）
5	5回目	グループワーク：プロジェクト活動③ （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：進捗状況を整理する。（2時間）
6	6回目	グループワーク：プロジェクト活動④ ・Tシャツデザイン最終調整 ※Tシャツデザイン提出 （イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：活動内容の振り返りと修正点の整理。（2時間）
7	7回目	グループワーク：プロジェクト活動⑤ （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：進捗状況の整理。（0.5時間）
8	8回目	グループワーク：プロジェクト活動⑥ （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：活動内容の整理。（2時間）
9	9回目	グループワーク：プロジェクト活動⑦ （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：課題点の整理。（2時間）
10	10回目	グループワーク：プロジェクト活動⑧ （Tシャツ・イベント・個人発表・オープンキャンパスSNS告知作成）	対面授業	予習：参考となるアイデアを調べておく。（2時間） 復習：最終調整に向けた整理。（2時間）
11	11回目	オープンキャンパス・リハーサル①	対面授業	予習：担当内容の最終確認を行う。（2時間） 復習：リハーサルを踏まえた改善点の整理。（2時間）
12	12回目	オープンキャンパス・リハーサル②	対面授業	予習：修正点を反映した準備を行う。（2時間） 復習：本番に向けた確認。（2時間）
13	13回目	オープンキャンパス・リハーサル②	対面授業	予習：修正点を反映した準備を行う。（2時間） 復習：本番に向けた最終確認。（2時間）
14	14回目	振り返り・進捗共有 ・OCチームによる話し合い ・プロジェクトの進捗プレゼンテーション作成	対面授業	予習：参考となる構成や表現方法を調べておく。（2時間） 復習：プレゼン内容の整理。（2時間）
15	15回目	まとめの発表 ・OCチーム：オープンキャンパス準備・運営の振り返り ・ビデオチーム：PR動画発表	対面授業	予習：まとめの発表準備を行う。（2時間）
16	16回目	総括 ・試験は実施せず、授業内で作成した成果物および取り組み状況をもとに評価を行う。		授業外学修 56時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う

教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:それぞれのプロジェクトに沿って適宜指示する。	
履修条件	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
履修上の注意	グループメンバー全員が主体的に参加できるよう、役割分担や作業内容を明確にし、特定の学生に負担が偏らない計画を立てること。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 口ニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ	普段から、学科・コースの枠を超えて、教職員や他の学生と積極的にコミュニケーションを図るよう心がけてください。	

Awesome Sasebo ! |

更新日：2026/05/26 21:01:09

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	PS501
担当教員	依藤 実里, 山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした継続的な演習授業である。留学生対象の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。

Awesome Sasebo! では、2年生のチームが、来日間もない留学生1年生とそれぞれチームを組み、学内や佐世保地域でのアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながらチームビルディングの方法を学ぶ。

授業における到達目標

1	身近な他者に対して親和的な態度で関わるができる。
2	相手や目的・場面に応じて自らの意志を表現・伝達することができる。また、相手の意志を理解することができる。
3	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。
4	相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また、柔軟に物事に取り組み、チームで協力して活動することができる。
5	チームビルディングの方法を実践することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	①授業参加態度 ②課題	①5% ②10%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	50%
キャリアデザイン力	5	授業参加態度	20%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能等を使って返却される。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 「チーム作り①」 1年生歓迎会（学内ゲーム）準備 チーム分け、役割分担 ・1年生サポーター ・司会 ・点数カウント(集計表) ・記録係 ・説明係 ・フリップ係	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』II課 1p15-24を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。 Googleclassroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをととして提出する(1時間)

2	2回目	「チーム作り②」 イベント計画（チームごと） 1年生のメンバー確認 準備物の確認・準備・購入	対面授業	予習：チームでのゲーム計画のために情報を収集しておく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをととして提出する(1時間)
3	3回目	「チーム作り③」 ゲーム準備 当日の役割決定、練習、およびレポート提出 (レポート：ゲーム説明、流れ、問題点、改善方法)	対面授業	予習：ゲームの準備がスムーズにできるよう、情報や必要書類、物品を準備しておく(1時間) 復習：チームで、本日の学びをレポートにまとめる(1時間)
4	4回目	「チーム作り④」 ゲーム準備 当日の役割決定、練習、およびレポート提出 (レポート：ゲーム説明、流れ、問題点、改善方法)	対面授業	予習：ゲームの準備がスムーズにできるよう、情報や必要書類、物品を準備しておく(1時間) 復習：チームで、本日の学びをレポートにまとめる(1時間)(1時間)
5	5回目	「チーム作り⑤」 パルシー研修計画 当日の役割決定、およびレポート・招待状提出 (レポート：タイムスケジュール、招待状)	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習：チームで、本日の学びをレポートにまとめる(1時間)(1時間)
6	6回目	「チーム作り⑥」 最終確認 リハーサル①	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
7	7回目	「チーム作り⑦」 最終確認 改善 リハーサル②	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに振り返り、改善開始できるようにしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
8	8回目	「チーム作り⑧」 最終調整、通しリハーサル	対面授業	予習：研修当日の担当箇所について、確認し準備しておく。(1時間) 復習：研修当日の担当箇所について、確認し、リハーサルを繰り返す。(1時間)
9	9回目	「学内外研修①～パルシー～」 1年生歓迎会（学内ゲーム）	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
10	10回目	「学内外研修②」 1年生歓迎会（学内ゲーム）	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
11	11回目	「学内外研修③」 1年生と合同で、各グループでパルシーにて学外研修を行う（5月内） ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく	対面授業	予習：1年生が安心して参加できるようチームでの役割と流れを確認しておく。(1時間) 復習：活動の写真や動画を整理し、プレゼンテーションに備える。(1時間)
12	12回目	「学内外研修④」 1年生と合同で、各グループでパルシーにて学外研修を行う（5月内） ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく	対面授業	予習：1年生が安心して参加できるようチームでの役割と流れを確認しておく。(1時間) 復習：活動の写真や動画を整理し、プレゼンテーションに備える。(1時間)
13	13回目	「情報機器のスキル①：発表準備」 動画・スライドなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する。	対面授業	予習：『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79-85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)
14	14回目	「情報機器のスキル②：発表準備」 動画・スライドなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する。	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習：提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)
15	15回目	「情報機器のスキル③：発表準備」 動画・スライドなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する。	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習：提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)
16	16回目	「情報機器のスキル④：発表」	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習：提出したのを見直し、発表会準備をする(1時間)
17				授業外学修 34時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』国書刊行会	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	積極的に活動に参加できる日本語力を身に付けていること	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べておくこと。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと。	
オフィスアワー	授業時間前後に対応。その他、状況に応じて事前アポイントメントにより受け付ける。	
備考・メッセージ	欠席・遅刻する際は、必ず授業開始15分前までには担当教員とグループメンバーにメールで連絡すること。 みなさんの積極的な受講を期待します。	

Awesome Sasebo ! II

更新日：2026/05/26 21:01:10

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	PS601
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業では、「学園祭（白蝶祭）」におけるプロジェクトの企画・運営を、留学生と日本人学生が共同し、グループ別を実施します。学生は実践的なプロジェクト活動を通して、国際コミュニケーションコースで培ってきた学びを社会や地域に向けて発信するとともに、協働する力を養います。本プロジェクトでは、以下の6項目を学修目標とし、主体的・協働的な学びを深めることを目的とします。

- 1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）
- 2) 世代・性別・国籍を超えたコミュニケーション力の醸成
- 3) 調査・情報収集・整理・分析力の向上
- 4) プレゼンテーション資料作成力および発信力・プレゼンテーション力の向上
- 5) 言語運用能力（翻訳等を含む多言語対応力）の向上
- 6) 地域のニーズを把握し、課題解決へとつなげる力の向上

授業における到達目標

1	心豊かな人間力 留学生・日本人学生を含む多様な他者を尊重し、主体的かつ誠実にプロジェクト活動へ参加することができる
2	・調査・情報収集・整理・分析を行い、企画内容としてまとめることができる・プレゼンテーション資料を作成し、分かりやすく発信することができる・言語運用能力（翻訳等を含む多言語対応）を実践的に活用することができる
3	世代・性別・国籍の異なる相手と円滑にコミュニケーションを取り、相互理解を深めながら協働することができる
4	・社会人基礎力（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）を発揮できる・地域や学園祭のニーズを把握し、課題解決につながる企画・運営を行うことができる
5	本授業で得た経験を振り返り、今後の学修や将来のキャリア形成に結びつけて考えることができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業・プロジェクトへの参加態度、協働姿勢、責任ある行動	10%
確かな専門的知識や技能	2	成果物（企画書・発信資料・多言語対応内容等）、プレゼンテーション内容	30%
異文化知識・対応能力	3	自発的なコミュニケーション、異文化理解に基づく関わりの様子	20%
課題解決能力	4	積極性、独創性、チームとしてのまとまり、企画・運営への貢献度	30%
キャリアデザイン力	5	振り返りレポート、自己評価	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・プロジェクトの趣旨・目的の説明 ・昨年度の活動動画・記事の視聴 ・後期のグループ分け	対面授業	予習：昨年度の学外学習・白蝶祭関連動画を視聴する（2時間） 復習：チーム希望アンケートへの記入・提出（2時間）
2	2回目	・白蝶祭のテーマ発表 ・各グループおよび個人の役割・担当業務の説明	対面授業	予習：昨年度の学外学習・白蝶祭関連動画を視聴する（2時間） 復習：学びノートの整理・まとめ（2時間）

3	3回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・企画内容の検討、役割分担、情報収集	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：授業で得た情報・意見の整理（2時間）
4	4回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・企画内容の具体化、必要資料の作成	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・企画内容の見直し（2時間）
5	5回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・実施計画の検討、役割の再確認	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・課題の洗い出し（2時間）
6	6回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・企画内容の調整	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・改善点の整理（2時間）
7	7回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・運営方法・発信内容の検討	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・役割の再確認（2時間）
8	8回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・実施に向けた最終調整	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・企画のブラッシュアップ（2時間）
9	9回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・リハーサルやシミュレーション	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：課題点の整理・改善案の検討（2時間）
10	10回目	グループワーク：白蝶祭準備 ・最終確認、役割分担の調整	対面授業	予習：参考となる事例やアイデアを調査する（2時間） 復習：情報整理・最終準備（2時間）
11	11～14回目	白蝶祭（本番）	対面授業	予習：本番準備（2時間）（2時間） 復習：振り返り（2時間）
12	15回目	15回目 まとめの発表（成果発表） ・活動グループ別	対面授業	予習：成果発表の準備（2時間）
13	16回目	・試験は実施せず、授業を通して作成した成果物および取り組み状況を総合的に評価する		授業外学修 66時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:それぞれのプロジェクトに沿って適宜指示する。	
履修条件	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。	
履修上の注意	グループメンバー全員が主体的に参加できるよう、役割分担や作業内容を明確にし、特定の学生に負担が偏らない計画を立てること。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸：月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 依藤：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 山本：火曜日4限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ	普段から、学科・コースの枠を超えて、教職員や他の学生と積極的にコミュニケーションを図るよう心がけてください。	

Awesome Sasebo ! II

更新日：2026/05/26 21:01:11

開講年度	2026	開講期	2Q/6Q	ナンバリング	PS601
担当教員	依藤 実里, 山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必修区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。

Awesome Sasebo! II では、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、目的に応じてそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。

授業における到達目標

1	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。
2	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる。
3	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。
4	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。
5	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	課題	30%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業態度	50%
キャリアデザイン力	5	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・本講義における出席は合計16回とし、開始15分までは「遅刻」、16分以降は「欠席」となる。また、授業参加時間が合計で75分に満たない場合も同様に「欠席」となる。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2	2回目	レシピについて 地域での各国料理への関心の高まり、レストランや給食等での活用例を知り、地域のために母国料理のレシピ提供に取り組むことについて見通しを持つ。	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

3	3回目	レシピ作成① 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4	4回目	レシピ作成② 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5	5回目	レシピ作成③ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6	6回目	レシピ作成④ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7	7回目	レシピ作成⑤ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する ※この日までに写真・動画以外を仕上げること 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習：これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習：出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
8	8回目	レシピ作成⑥ / 写真・動画作成準備 レシピに使用する写真や動画のための食材を買いに行く計画を立てる。 動画を作成する計画を立てる。	対面授業	予習：これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習：出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
9	9回目	写真・動画作成① レシピに使用する写真や動画を作成する。 (自宅での実習)	対面授業	予習：必要な写真や映像資料を確認し、効率的に撮影できるよう準備しておく。(2時間) 復習：作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
10	10回目	写真・動画作成② レシピに使用する写真や動画を作成する。 (自宅での実習) ※作成した写真・動画の素材はGoogle Classroomに保存しておくこと。	対面授業	予習：必要な写真や映像資料を確認し、効率的に撮影できるよう準備しておく。(2時間) 復習：作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
11	11回目	スライド(写真動画入りレシピ)作成① 写真・動画を編集する。 レシピに挿入し、スライドを完成させる。全体の構成を確認する。	対面授業	予習：必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習：作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
12	12回目	スライド(写真動画入りレシピ)作成② 写真・動画を編集する。 レシピに挿入し、スライドを完成させる。全体の構成を確認する。 ※最終版のスライドをGoogle classroomに提出	対面授業	予習：必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習：作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
13	13回目	プレゼンテーション準備① わかりやすく説明できるように発表の練習をする	対面授業	予習：スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習：チームでの発表練習を踏まえ、より良い発表になるように改善する。(2時間)
14	14回目	プレゼンテーション準備② わかりやすく説明できるように発表の練習をする	対面授業	予習：スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習：チームでの発表練習を踏まえ、より良い発表になるように改善する。(2時間)
15	15回目	プレゼンテーション準備③ チーム毎に最終リハーサルを行う。 ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語p.79~p.88	対面授業	予習：スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習：他の人のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
16	16回目	プレゼンテーション チーム毎にプレゼンテーションを行う。 ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語p.79~p.88	対面授業	予習：スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習：他の人のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
17				授業外学修 64時間

その他

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	「まるごと」中級B1 「伸ばす就活能力・ビジネス日本語力」	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	Awesome Sasebo! I を成功的に履修が修了した者	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べておくこと。 また、担当教員との連携が求められるため、ホウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。	
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。	
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはGoogle classroomへ連絡すること	

Awesome Sasebo ! III

更新日：2026/05/26 21:01:12

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	PS701
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	<input type="checkbox"/>
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

本授業は、学生自身の短大生活の集大成として位置づけられる体験型・学外学修科目であり、卒業研究と連動したプロジェクト型学習を通して、地域理解と実践的な調査・発信力の育成を目的とする。

「短大生が見た、佐世保とその周辺地区の魅力調査！」を共通テーマとし、佐世保市および長崎県内外の市町村を対象に、地域の魅力について多角的に調査を行う。

授業では、ペアまたはチームで、行政担当者や地域で活動する人々へのインタビュー、地域行事・イベント・体験活動への参加などを通して、一次情報の収集を行う。調査・取材にあたっては、アポイントメントの取り方や訪問時のマナー、インタビューの進め方などを全体で共有・確認し、実社会におけるコミュニケーション能力を養う。

収集したデータや体験内容をもとに、各チームで冊子を制作し、最終的にプレゼンテーションを行う。冊子は、今後の就職活動や進学等のキャリア形成に活用できる成果物として完成度を高めるとともに、取材先の許可を得たものについては、画像やQRコードを活用してSNS等での発信も行う。制作にはMacのPagesなどを使用し、写真・動画については原則として学生自身が作成したもののみを用いる。

本授業を通して、地域に暮らす人々の人生や生き方に触れながら、学生自身が「知りたい」「面白い」「わくわくする」と感じる視点を大切に、深く掘り下げた調査と表現を行うことで、主体性・協働性・課題解決力を身につけることを目指す。

授業における到達目標

1	佐世保市および周辺市町村の移住支援制度や地域の魅力について、文献調査・現地調査・インタビューを通して多角的に理解し、整理することができる。
2	行政担当者や地域で活動する人々への聞き取り調査を適切なマナーと手順で実施し、必要な情報を主体的に収集することができる。
3	体験活動や取材を通して得た情報を分析し、独自の視点や切り口をもって地域の魅力や課題を言語化することができる。
4	チームで協働しながら調査計画・取材・制作・会計管理を行い、プロジェクトを責任をもって遂行することができる。
5	調査成果を冊子やプレゼンテーションとして分かりやすくまとめ、今後の就職・進学などのキャリア形成に活用できる形で発信することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	① 地域理解・調査力 ・調査計画書（調査項目・視点の妥当性） ・調査ノート・フィールドワーク記録 ・冊子内の制度説明・地域分析の内容	20%
確かな専門的知識や技能	2	② コミュニケーション力・インタビュー実践力 ・インタビュー準備資料（質問項目・アポ文案） ・インタビュー実施記録（日時・相手・内容要約） ・冊子・発表での聞き取り内容の反映度	20%
異文化知識・対応能力	3	③ 思考力・表現力（卒業研究要素） ・冊子の構成・文章・写真・動画内容 ・「学生ならではの視点」が示された記述 ・最終プレゼンテーションでの説明内容	25%
課題解決能力	4	④ 協働性・プロジェクト遂行力 ・活動記録（役割分担・進捗管理） ・会計管理記録（収支報告） ・ピア評価（メンバー相互評価）	20%
キャリアデザイン力	5	⑤ キャリア接続・振り返り力 ・完成冊子の完成度（就活・進学利用を想定） ・最終プレゼンテーション ・振り返りレポート（キャリアとの関連づけ）	15%
合計			100%
補足事項			

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成物、およびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第1回 ガイダンス・プロジェクト概要理解 科目の目的・進め方・評価方法の説明。 テーマ「短大生が見た、佐世保とその周辺地区の魅力調査（移住支援等も含む）！」の理解。	対面授業	予習（2時間） 配布資料を読み、地域調査への関心点を整理する。 復習（2時間） 授業内容を振り返り、自分が興味を持った市町村を書き出す。
2	2回目	第2回 地域研究の基礎・情報収集方法 移住支援制度の調べ方、公式サイト・資料の読み解き方。	対面授業	予習（2時間） 参考サイトを閲覧し、各市町村の特徴を簡単に調べる。 復習（2時間） 気になる市町村の情報を整理し、チーム分けに備える。
3	3回目	第3回 チーム編成・調査テーマ決定 ペア／チーム編成、市町村決定、役割分担（代表・会計係など）。	対面授業	予習（2時間） 希望地域について追加で情報を調べる。 復習（2時間） チーム内で役割と責任を文章で整理する。
4	4回目	第4回 調査計画立案 調査項目・インタビュー内容・訪問計画の作成。	対面授業	予習（2時間） 調べたい内容を箇条書きでまとめる。 復習（2時間） 調査計画書を完成させ、教員の確認を受ける準備。
5	5回目	第5回 アポイントメント・マナー指導 アポの取り方、メール・電話の書き方、訪問時のマナー確認。	対面授業	予習（2時間） アポ依頼文案を作成する。 復習（2時間） 教員添削をもとに文面を修正する。
6	6回目	第6回 インタビュー準備 質問設計、聞き取り技法、録音・メモの取り方。	対面授業	予習（2時間） インタビュー質問案の作成。 復習（2時間） 想定問答を行い質問内容を調整する。
7	7回目	第7回 フィールドワーク①（行政・関係者訪問） 市町村担当者等への聞き取り調査（学外活動）。	対面授業	予習（2時間） 訪問先・質問内容の最終確認。 復習（2時間） 得られた情報を記録・整理する。
8	8回目	第8回 フィールドワーク②（体験・取材） 行事・イベント・体験活動への参加・取材。	対面授業	予習（2時間） 取材対象の背景を調べる。 復習（2時間） 写真・動画・メモ整理。
9	9回目	第9回 中間共有・振り返り 各チーム進捗共有、課題の確認。	対面授業	予習（2時間） 中間報告資料作成。 復習（2時間） 指摘をもとに調査内容を修正。
10	10回目	第10回 分析・構成検討 情報整理、冊子全体構成を考える。	対面授業	予習（2時間） 使用するデータの整理。 復習（2時間） 構成案のブラッシュアップ。
11	11回目	第11回 冊子制作①（Pages） Pages操作、デザインの基礎。	対面授業	予習（2時間） 構成に必要な素材準備。 復習（2時間） 下書き作成。
12	12回目	第12回 冊子制作② 本文執筆・レイアウト調整。	対面授業	予習（2時間） 原稿案作成。 復習（2時間） 推敲と修正。
13	13回目	第13回 冊子制作③・SNS発信準備 QRコード作成、掲載可否確認。	対面授業	予習（2時間） 掲載予定内容の確認。 復習（2時間） 完成原稿仕上げ。
14	14回目	第14回 プレゼンテーション準備 発表構成、スライド作成。	対面授業	予習（2時間） 発表原稿作成。 復習（2時間） リハーサル。

15	15回目	第15回 最終確認・リハーサル 全体リハーサル、最終調整。	対面授業	予習（2時間） 内容の最終確認。 復習（2時間） 振り返り整理。
16	16回目	第16回 まとめの発表（最終プレゼンテーション） 成果発表・講評・総括。	対面授業	予習・復習 なし（発表実施）
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	教科書:特になし		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	参考書:学生が選択するテーマに従って授業中に適宜指示する。		
履修条件			
履修上の注意	遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。		
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李:水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦:水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー:水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 福原:授業終了後（その他、メール等で対応可能）		
備考・メッセージ	事前には十分な準備を行い、事後には活動内容を振り返った報告書を作成するなど、一連の学修活動に主体的かつ丁寧に取り組むこと。		

Awesome Sasebo ! III

更新日：2026/05/26 21:01:13

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	PS701
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	1	選択	演習	
アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）				
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）				
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）				
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）				<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）				
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）				
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））				<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「学園祭（白蝶祭）」でのプロジェクトの企画運営」を留学生と日本人が共同で、グループ別を実施する。このプロジェクトでは、以下の6項目を学びの目的とする。

- 1) 社会人基礎力の醸成（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）
- 2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成
- 3) 調査・情報収集・まとめの力の向上
- 4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上
- 5) 言語運用能力（翻訳等）の向上
- 6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上

授業における到達目標

1	調査・情報収集・まとめの力を向上することができる。プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上することができる。言語運用能力（翻訳等）を向上することができる
2	世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力を醸成することができる
3	社会人基礎力（①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力）を醸成することができる。地域のニーズを把握して解決する力を向上することができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	各チーム成果物の内容	40%
異文化知識・対応能力	2	自発的なコミュニケーションと関わり度	30%
課題解決能力	3	積極性 独創性 チームとしてのまとめ	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
遅刻3回を欠席1回でカウントする。			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション：Q7-8のプロジェクトを説明する。去年の動画・記事を見る。後期のグループ分けをする（ゲームチーム・発表チーム・料理チーム）	対面授業	予習：去年の学外学習の動画を見る（0.5時間） 復習：チーム希望アンケートに記入する（0.5時間）
2	2回目	白蝶祭のテーマを発表する。役割・仕事を説明する。	対面授業	予習：去年の学外学習の動画を見る（0.5時間） 復習：学びノートのまとめ（0.5時間）
3	3回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく（0.5時間） 復習：知れ得た情報のまとめ（0.5時間）
4	4回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく（0.5時間） 復習：知れ得た情報のまとめ（0.5時間）
5	5回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく（0.5時間） 復習：知れ得た情報のまとめ（0.5時間）

6	6回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
7	7回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
8	8回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
9	9回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
10	10回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
11	11回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
12	12回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
13	13回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
14	14回目	グループワーク：白蝶祭の準備	対面授業	予習：参考にアイデアを調べておく (0.5時間) 復習：知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
15	15回目	まとめの発表	対面授業	予習：まとめの発表の準備をする (1時間)
16	16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件		
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること	
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 *空きコマ（研究室ドアに提示）も可	
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。	

学外学修事前指導

更新日：2026/05/26 21:00:53

開講年度	2026	開講期	前期	ナンバリング	GY101
担当教員	松浦 百恵, 牟田 美信, 李 載宇, 金戸 光里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実的な活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

Quarter 1

本授業では、長期学外学修（ギャップターム）の意義と目的を理解し、「留学」「インターンシップ」「サービラーニング」の各選択肢について、教員や先輩学生からの情報を適切に収集・整理することを目指す。得られた情報をもとに、自身の関心や将来像に照らし合わせながら具体的な計画を立案する。計画作成の過程を通して、大学生として必要な正確な情報収集力・分析力を身につけ、主体的かつ適切な意思決定ができる判断力を養うことを目的とする。

Quarter 3

Quarter 1で作成した計画に基づき、各選択カテゴリーに応じた具体的かつ実践的な直前準備を行う。準備の過程では、自身の考えに固執せず、多様な視点を取り入れながら他者の意見に耳を傾け、計画内容を十分に検討・改善する姿勢を重視する。

各カテゴリーにおける主な内容は以下のとおりである。

① 中期（3か月）留学：

渡航手続き、留学・ホームステイに関する各種アプリケーション作成、異文化理解、ホームシックへの対応等
※希望者はオンライン留学を選択することも可能とする。

② インターンシップ：

インターンシップ先に関する情報収集、履歴書作成、面接対策、ビジネスマナーの習得等

③ サービラーニング：

活動内容の確認、実施方法の検討、地域や関係者との対応マナーの理解等

授業における到達目標

1	ギャップタームの意義・目的を正しく理解し、活動内容や評価の仕組みを把握できる。
2	ギャップタームの活動に必要な情報を、適切かつ十分に収集・整理・分析できる。
3	ICTツールを活用して、学修および情報共有を円滑に行うことができる。
4	ギャップタームの具体的な活動計画を立案し、その内容を他者に分かりやすく説明・発表することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	2, 3	・活動計画書の内容（情報の妥当性・具体性・構成） ・Google Classroom、Google Meet、Google ドキュメント、Google フォト、Zoom 等の活用状況	40%
異文化知識・対応能力	1, 2	・授業内課題・ワークへの取り組み状況 ・ギャップタームの目的理解およびリスク分析の内容 ・授業・グループ活動への参加状況および学修態度	10%
課題解決能力	1, 3, 4	・授業内課題・ワークへの取り組み状況 ・ギャップタームの目的理解およびリスク分析の内容 ・授業・グループ活動への参加状況および学修態度	10%
キャリアデザイン力	2, 3, 4	・活動計画プレゼンテーション（構成・論理性・表現力） ・質疑応答への対応	40%
合計			100%
補足事項			

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業全体の目的・進め方 ・ギャップターム概要説明 ・ディプロマ・サブリの説明 ・Google Classroom/Meetの使い方 ・Google関連アプリの導入（スマートフォン） ・短期・中期・サンドイッチ留学の概要 ・質疑応答	対面授業	予習：特になし 復習（4時間）：授業内容を整理し、不明点や質問事項をまとめる
2	2回目	ギャップタームの種類と選択 ・有給インターンシップ ・サービ斯拉ーニング ・3か月留学 ・第1回ギャップターム希望調査（Google Form） ・履修科目確認	対面授業	予習（2時間）：ギャップタームに関する自身の希望を整理する 復習（2時間）：説明内容の整理と質問事項の作成
3	3回目	英語圏留学&ワーキングホリデー留学 ・外部講師講話（日本ワーキングホリデー協会） ・感想文・質問提出 ・履歴書作成（Google Document/教員と共有）	対面授業	予習（2時間）：ワーキングホリデー留学について調査 復習（2時間）：内容整理・質問作成
4	4回目	韓国留学説明 ・外部講師講話（海外姉妹大学・Zoom） ・感想文・質問提出 ・履歴書作成（継続）	対面授業	予習（2時間）：韓国留学について調査 復習（2時間）：内容整理・質問作成
5	5回目	中国留学説明 ・外部講師講話（海外姉妹大学・Zoom） ・感想文・質問提出 ・履歴書作成（継続）	対面授業	予習（2時間）：中国留学について調査 復習（2時間）：内容整理・質問作成
6	6回目	先輩による体験発表① ・2年生によるギャップターム体験プレゼン ・医療事務講座説明 ・Q&A・コメント提出	対面授業	予習（2時間）：履歴書作成のための情報収集 復習（2時間）：履歴書の最終確認
7	7回目	先輩による体験発表② ・2年生によるギャップターム体験プレゼン ・Q&A・コメント提出	対面授業	予習（2時間）：自分が体験したい内容を整理 復習（2時間）：学び・気づきの整理
8	8回目	先輩による体験発表③ ・国内有給インターン説明 ・2年生による体験プレゼン ・国内有給インターンシップ説明（外部講師：ダイブ） ・感想文・質問提出 ※Quarter1終了	対面授業	予習（2時間）：ギャップタームでの目標を考える 復習（2時間）：学びの整理
9	9回目	ギャップターム準備① ・全体説明 ・インターンシップ/サービ斯拉ーニングの選択確認	対面授業	予習（2時間）：保護者と相談し選択を決定 復習（2時間）：必要準備の洗い出し
10	10回目	ギャップターム準備② ・キャリアステップテスト ・オンラインジャーナル説明・記入開始 ・参加条件確認（身だしなみ・体力等） ・「チームで働く力」整理	対面授業	予習（2時間）：ジャーナル記入準備 復習（2時間）：ジャーナル内容の充実
11	11回目	計画具体化① ・活動計画の具体化 ・リスク分析・対応策検討	対面授業	予習（2時間）：活動内容の事前調査 復習（2時間）：計画修正
12	12回目	計画具体化② ・目標設定（5つの目標） ・キャリアとの関連整理	対面授業	予習（2時間）：将来像の整理 復習（2時間）：計画書完成
13	13回目	プレゼン準備① ・プレゼン構成指導 ・原稿作成	対面授業	予習（2時間）：発表内容整理 復習（2時間）：原稿修正
14	14回目	プレゼン準備② ・発表練習 ・相互フィードバック	対面授業	予習（2時間）：発表練習 復習（2時間）：改善点反映
15	15回目	最終発表リハーサル ・通し発表 ・最終確認	対面授業	予習（2時間）：最終準備 復習（2時間）：修正対応

16	16回目	<ul style="list-style-type: none"> ギャップターム計画最終発表 <ul style="list-style-type: none"> 5つの目標 活動先・期間 初日の自己紹介と挨拶 その他、注意事項 外部講師・先輩からのメッセージ共有 	対面授業	予習：発表準備 復習：振り返り記録
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	教科書:特になし		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。		
履修条件	インターンシップ参加者は、原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」を受講すること。		
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、今後の職業選択や進路決定において重要な時期となるため、体験を丁寧に振り返り、言語化することを通して、自身のキャリア形成につなげてほしい。 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。		
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）		
備考・メッセージ	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択に重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。		

学外学修事前指導

更新日：2026/05/26 21:00:54

開講年度	2026	開講期	1Q/5Q	ナンバリング	GY101
担当教員	依藤 実里, 松浦 百恵, 山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「学外学修事前指導」は「学外学修事後指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Qから4Qまで続く科目のひとつである。

留学生対象の本授業では、3Qでの地域学習（高校での授業、小学校との交流授業等）の実施準備期間として、必要なプレゼンテーション能力や語学力、異文化対応能力等の育成を図る。また、チームでの活動を多く取り入れ、実践的にチーム力育成のための方法なども同時に学ぶ。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら自ら考え行動する。
2	画像などを用い、デザインを工夫したプレゼンテーションが作成できる。また、必要で関心のある事柄に対し、適切な日本語で伝えることができる。
3	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。
4	確認や見直しを行い、事前に計画をたて自分の考察を交えてチームで解決することができる。
5	佐世保市の一員として教育現場等の活動に関わる事で、自己認識をし、生活者としての自分に気が付くことができる。さらに自ら関わる意識を持つことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	10%
確かな専門的知識や技能	2	課題・試験	40%
異文化知識・対応能力	3	課題・試験	10%
課題解決能力	4	授業参加態度	30%
キャリアデザイン力	5	授業参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題・試験50%、授業参加態度50%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能等を使って返却される。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション①」 自己紹介 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする。	対面授業	予習：クラスメイトへの自己紹介を考える。自分の思いを日本語で伝えられるよう未習語彙・表現は調べておくこと。Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
2	2回目	「オリエンテーション②」 レゴで自己表現方法を学ぶ	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
3	3回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習：自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習：自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)

4	4回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習：自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習：自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)
5	5回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習：自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習：自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)
6	6回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
7	7回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
8	8回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習：資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
9	9回目	「日本を知る、佐世保を知る」 災害に備える学習 語彙を勉強する ビデオを見る	対面授業	予習：災害に関する重要語彙などを調べて、理解しておく。(2時間) 復習：自分の住む地域にある避難場所を訪れる、防災バッグを準備する(2時間)
10	10回目	「学内研修～2年生との交流①～」 09：10 開会式（流れの説明） 09：40 教室移動 09：50 各教室でゲーム開始 11：00 休憩（10分） 11：10 表彰式・集合写真撮影	対面授業	予習：初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習：活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
11	11回目	「学内研修～2年生との交流①～」 09：10 開会式（流れの説明） 09：40 教室移動 09：50 各教室のゲーム開始 11：00 休憩（10分） 11：10 表彰式・集合写真撮影	対面授業	予習：初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習：活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
12	12回目	「学外研修～2年生との交流②～」 公共交通機関の利用方法 パルシーでのグループ活動 ※食事 乗り場集合乗船 乗船 写真撮影・水族館移動 イルカショー観覧 解散	対面授業	予習：初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する。日本の公共交通機関の利用方法について、事前に理解しておく。(2時間) 復習：活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
13	13回目	「学外研修～2年生との交流②～」 公共交通機関の利用方法 パルシーでのグループ活動 ※食事 乗り場集合乗船 乗船 写真撮影・水族館移動 イルカショー観覧 解散	対面授業	予習：初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する。日本の公共交通機関の利用方法について、事前に理解しておく。(2時間) 復習：活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
14	14回目	「情報機器のスキル：発表準備」 動画・スライド作成などプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 活動の振り返り。また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる（役割決め）	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習：プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
15	15回目	「情報機器のスキル：発表準備」 動画・スライド作成などプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 活動の振り返り。また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる（役割決め）	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習：プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
16	16回目	期末試験 「情報機器のスキル：発表準備」 チームごとに内容をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習：プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
17				授業外学修 61時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』国書刊行会	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	2Qの実践Awesome Sasebo I、3Qの実践Awesome Sasebo II、IIIを併せて履修すること	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるために、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。	
オフィスアワー	授業時間前後に対応。その他、状況に応じて事前アポイントメントにより受け付ける。	
備考・メッセージ	欠席・遅刻する際は、必ず授業開始15分前までには担当教員とグループメンバーにメールで連絡すること。 みなさんの積極的な受講を期待します。	

海外文化事情（留学）Ⅰ

更新日：2026/05/26 21:00:57

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY301
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、授業で学修している外国語を海外の実践的な環境で活用し、知識として身につけた異文化理解を現地での体験を通して深めることを目的とした、短期（1～2週間程度）海外研修プログラムである（オンライン留学を含む）。

渡航前には、訪問国の文化・社会・言語・観光地・生活習慣・マナー等について事前学習を行い、研修に必要な基礎的知識と心構えを養う。

研修内容には、姉妹大学で実施される研修プログラムのほか、国・県・市などの公的機関が実施する海外研修プログラムへの参加も含まれる。

滞在中は、現地大学の学生との学術交流をはじめ、地元のスーパーマーケットでの買い物や観光など、現地の人々と同様の生活体験を行う。可能な限り現地の言語を使用し、各種手続きや行動も学生主体で行うことで、実践的な語学運用能力、主体性、異文化適応力の向上を図る。

授業における到達目標

1	海外研修という未知の環境において、異文化を尊重しながら柔軟に行動することができる。 現地での生活体験や交流活動を通して、多様な価値観を理解し、自身の考えを深めることができる。
2	海外渡航に必要な情報収集方法を理解し、必要な知識を獲得することができる。 渡航先の国・都市・大学に関する情報を主体的に調査・整理することができる。 渡航先で活用できる基礎的な現地語表現を習得し、実際の場面で使用することができる。
3	姉妹校の学生との交流活動やホームステイ等を通して、現地の文化や考え方を理解することができる。 現地の言語や非言語的表現を用いながら、積極的に意思疎通を図ることができる。
4	渡航先で得た経験をもとに、母国との文化や社会の違いを整理・分析することができる。 学びの成果を論理的にまとめ、分かりやすく発表することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート評価（研修中・研修後の振り返り）	10%
確かな専門的知識や技能	2	レポート評価（事前学習・研修内容のまとめ）	40%
異文化知識・対応能力	3	レポート評価（交流活動の振り返り）	30%
課題解決能力	4	プレゼンテーション評価（帰国後発表）	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

研修にかかる費用（交通費、滞在費、現地プログラム費、食費等）については、事前オリエンテーションにおいて詳細を説明する。

授業に関する連絡事項、補足説明、課題の提出・回収およびフィードバック等については、Google Classroomを活用して行う。また、必要に応じて遠隔（オンライン）による授業を実施する場合がある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的およびプログラム概要の説明 ・既参加者（先輩）による体験談の共有 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習：渡航先の国・地域に関する基礎情報を収集する。（2時間） 復習：研修内容を整理し、不明点や疑問点を確認する。（2時間）

2	2	渡航準備① ・現地情報の収集 ・移動手段・宿泊先の確認と準備 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
3	3	渡航準備② ・現地情報の整理・共有 ・移動・滞在計画の確認 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
4	4	渡航準備③ ・現地情報の最終確認 ・移動・宿泊計画の調整 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
5	5	渡航準備④ ・現地での行動計画の確認 ・必要書類・持参物の最終確認 ・現地活動内容の確認	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
6	6	渡航準備⑤（最終確認） ・渡航前最終確認 ・現地での注意事項の確認 ・質疑応答	対面授業	予習：渡航先の情報を整理する。(2時間) 復習：渡航準備の最終確認を行う。(2時間)
7	7～11回目	7～11回 渡航先での活動 ・現地大学での研修・交流活動 ・生活体験・文化体験	対面授業（現地）	予習：渡航先プログラムに従い事前準備を行う。(時間はプログラム内容により異なる) 復習：各活動終了後に内容を振り返る。(時間はプログラム内容により異なる)
8	12	研修内容の振り返り① ・研修内容の整理 ・レポート作成 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：現地研修の内容を振り返る。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
9	13	研修内容の振り返り② ・レポート作成の継続 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：研修内容の整理を行う。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
10	14	研修内容の振り返り③ ・レポート完成 ・プレゼンテーション最終調整	対面授業	予習：研修内容をまとめる。(2時間) 復習：発表準備の最終確認を行う。(2時間)
11	15	最終プレゼンテーション	対面授業	予習：プレゼンテーションの最終準備を行う。(2時間) 復習：発表内容を振り返り、研修での学びを整理する。(2時間)
12	16	総括・まとめ ・全体の振り返り ・学修成果の整理	対面授業	予習：研修全体の振り返りを行う。(2時間) 復習：今後の学修やキャリアへの活用について考察する。(2時間)
13				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書:特になし	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書:それぞれの渡航プログラムに沿って適宜指示する。	【参考書】ISBN
履修条件	授業への出席状況（遅刻・欠席等）および大学生生活全般において問題がなく、かつ、自ら留学を希望する明確で強い意思を有していること。	
履修上の注意	世界情勢や社会状況等の変化により、毎年度、渡航先および研修内容が変更となる場合がある。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	

備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が著しく不良である、または短期大学での生活態度が留学にふさわしくないと判断された場合には、申込後であっても留学参加を認めないことがある。</p> <p>2) 申込みにあたっては、自身の健康状態および留学に対する保護者の同意を必ず確認すること。また、留学先では自己管理・自己責任が求められる場面が多いことを十分理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、先輩学生や本学に在籍する留学生などから積極的に情報収集を行い、研修がより有意義なものとなるよう努めること。</p>
----------	---

海外文化事情（留学）Ⅱ

更新日：2026/05/26 21:00:58

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY302
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、授業で学修している外国語を海外の実践的な環境で活用し、知識として身につけた異文化理解を現地での体験を通して深めることを目的とした、短期（1～2週間程度）海外研修プログラムである（オンライン留学を含む）。

渡航前には、訪問国の文化・社会・言語・観光地・生活習慣・マナー等について事前学習を行い、研修に必要な基礎的知識と心構えを養う。

研修内容には、姉妹大学で実施される研修プログラムのほか、国・県・市などの公的機関が実施する海外研修プログラムへの参加も含まれる。

滞在中は、現地大学の学生との学術交流をはじめ、地元のスーパーマーケットでの買い物や観光など、現地の人々と同様の生活体験を行う。可能な限り現地の言語を使用し、各種手続きや行動も学生主体で行うことで、実践的な語学運用能力、主体性、異文化適応力の向上を図る。

授業における到達目標

1	海外研修という未知の環境において、異文化を尊重しながら柔軟に行動することができる。 現地での生活体験や交流活動を通して、多様な価値観を理解し、自身の考えを深めることができる。
2	海外渡航に必要な情報収集方法を理解し、必要な知識を獲得することができる。 渡航先の国・都市・大学に関する情報を主体的に調査・整理することができる。 渡航先で活用できる基礎的な現地語表現を習得し、実際の場面で使用することができる。
3	姉妹校の学生との交流活動やホームステイ等を通して、現地の文化や考え方を理解することができる。 現地の言語や非言語的表現を用いながら、積極的に意思疎通を図ることができる。
4	渡航先で得た経験をもとに、母国との文化や社会の違いを整理・分析することができる。 学びの成果を論理的にまとめ、分かりやすく発表することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート評価（研修中・研修後の振り返り）	10%
確かな専門的知識や技能	2	レポート評価（事前学習・研修内容のまとめ）	40%
異文化知識・対応能力	3	レポート評価（交流活動の振り返り）	30%
課題解決能力	4	プレゼンテーション評価（帰国後発表）	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

研修にかかる費用（交通費、滞在費、現地プログラム費、食費等）については、事前オリエンテーションにおいて詳細を説明する。

授業に関する連絡事項、補足説明、課題の提出・回収およびフィードバック等については、Google Classroomを活用して行う。また、必要に応じて遠隔（オンライン）による授業を実施する場合がある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的およびプログラム概要の説明 ・既参加者（先輩）による体験談の共有 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習：渡航先の国・地域に関する基礎情報を収集する。（2時間） 復習：研修内容を整理し、不明点や疑問点を確認する。（2時間）

2	2	渡航準備① ・現地情報の収集 ・移動手段・宿泊先の確認と準備 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
3	3	渡航準備② ・現地情報の整理・共有 ・移動・滞在計画の確認 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
4	4	渡航準備③ ・現地情報の最終確認 ・移動・宿泊計画の調整 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
5	5	渡航準備④ ・現地での行動計画の確認 ・必要書類・持参物の最終確認 ・現地活動内容の確認	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
6	6	渡航準備⑤（最終確認） ・渡航前最終確認 ・現地での注意事項の確認 ・質疑応答	対面授業	予習：渡航先の情報を整理する。(2時間) 復習：渡航準備の最終確認を行う。(2時間)
7	7～11回目	7～11回 渡航先での活動 ・現地大学での研修・交流活動 ・生活体験・文化体験	対面授業（現地）	予習：渡航先プログラムに従い事前準備を行う。(時間はプログラム内容により異なる) 復習：各活動終了後に内容を振り返る。(時間はプログラム内容により異なる)
8	12	研修内容の振り返り① ・研修内容の整理 ・レポート作成 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：現地研修の内容を振り返る。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
9	13	研修内容の振り返り② ・レポート作成の継続 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：研修内容の整理を行う。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
10	14	研修内容の振り返り③ ・レポート完成 ・プレゼンテーション最終調整	対面授業	予習：研修内容をまとめる。(2時間) 復習：発表準備の最終確認を行う。(2時間)
11	15	最終プレゼンテーション	対面授業	予習：プレゼンテーションの最終準備を行う。(2時間) 復習：発表内容を振り返り、研修での学びを整理する。(2時間)
12	16	総括・まとめ ・全体の振り返り ・学修成果の整理	対面授業	予習：研修全体の振り返りを行う。(2時間) 復習：今後の学修やキャリアへの活用について考察する。(2時間)
13				授業外学修 64時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書:それぞれの渡航プログラムに沿って適宜指示する。
履修条件	授業への出席状況（遅刻・欠席等）および大学生生活全般において問題がなく、かつ、自ら留学を希望する明確で強い意思を有していること。
履修上の注意	世界情勢や社会状況等の変化により、毎年度、渡航先および研修内容が変更となる場合がある。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李:水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦:水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー:水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）

備考・メッセージ	<p>1) 授業への出席状況が著しく不良である、または短期大学での生活態度が留学にふさわしくないと判断された場合には、申込後であっても留学参加を認めないことがある。</p> <p>2) 申込みにあたっては、自身の健康状態および留学に対する保護者の同意を必ず確認すること。また、留学先では自己管理・自己責任が求められる場面が多いことを十分理解しておくこと。</p> <p>3) 渡航前には、先輩学生や本学に在籍する留学生などから積極的に情報収集を行い、研修がより有意義なものとなるよう努めること。</p>
----------	---

海外文化事情（留学）Ⅲ

更新日：2026/05/26 21:00:59

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY303
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	6	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本授業は、海外の大学または語学教育機関において、約3か月間の留学を行う中長期留学プログラムである（オンライン留学を含む）。留学先は、英語圏およびアジア圏の提携校を中心とするが、応募状況や現地事情等により、希望者が少数の場合には渡航を実施しない国が生じる場合がある。

主な留学先は以下のとおりである。

英語圏：カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド
アジア圏：韓国、中国、台湾

現地では、語学学校または大学が提供するカリキュラムに基づき、実践的な語学運用能力の向上と異文化理解の深化を目的とした学修を行う。授業内容は留学先の国、教育機関等によって異なるが、主に以下の活動が含まれる。

- ・新入生向けオリエンテーション
- ・語学レベル判定のためのプレースメントテスト
- ・語学授業（週5日、週30時間程度）
- ・スーパーバイザーの指導のもとで行うセルフスタディ
- ・コンピュータやランゲージラボを活用した学習
- ・フィールドトリップや地域ボランティア活動などの課外活動
- ・学期末テスト（成績評価あり）
- ・成績表および修了証書の授与

本プログラムを通して、学生は語学力の向上に加え、主体性、国際感覚、異文化適応力を養うことを目指す。

授業における到達目標

1	海外留学という異文化環境において、主体的に行動し、自身の生活や学習を自己管理することができる。多様な価値観や文化的背景を理解し、柔軟に対応する姿勢を身につけることができる。
2	海外渡航に必要な情報収集方法および基礎的知識を身につけることができる。渡航先の国・都市・大学に関する情報を収集・整理し、必要な知識を獲得することができる。渡航先で活用できる基礎的な現地語運用能力を身につけることができる。
3	姉妹校の学生との交流活動やホームステイ等を通して、現地の文化や生活習慣、価値観を理解することができる。異文化環境において、適切な態度でコミュニケーションを図ることができる。
4	留学で得た経験をもとに、渡航先の国と母国を比較・分析し、その違いや学びを整理することができる。学修成果を論理的にまとめ、分かりやすく発表することができる。
5	留学経験を通して自身の強みや課題を認識し、将来の進路やキャリアについて考察することができる。留学で得た学びを、今後の学修やキャリア形成にどのように活かすかを言語化することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	レポート評価（留学中・留学後の振り返り）	10%
確かな専門的知識や技能	2	レポート評価（事前準備・学修内容のまとめ）	30%
異文化知識・対応能力	3	レポート評価（交流活動の振り返り）	30%
課題解決能力	4	プレゼンテーション評価（帰国後発表）	20%
キャリアデザイン力	5	レポート評価（キャリア視点での振り返り）	10%
合計			100%

補足事項

研修にかかる費用（交通費、滞在費、現地プログラム費、食費等）については、事前オリエンテーションにおいて詳細を説明する。授業に関する連絡事項、補足説明、課題の提出・回収およびフィードバック等については、Google Classroomを活用して行う。また、必要に応じて遠隔（オンライン）による授業を実施する場合がある。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的およびプログラム概要の説明 ・既参加者（先輩）による体験談の共有 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習：渡航先の国・地域に関する基礎情報を収集する。(2時間) 復習：研修内容を整理し、不明点や疑問点を確認する。(2時間)
2	2	渡航準備① ・現地情報の収集 ・移動手段・宿泊先の確認と準備 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
3	3	渡航準備② ・現地情報の整理・共有 ・移動・滞在計画の確認 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
4	4	渡航準備③ ・現地情報の最終確認 ・移動・宿泊計画の調整 ・現地活動内容の確認および発表準備	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
5	5	渡航準備④ ・現地での行動計画の確認 ・必要書類・持参物の最終確認 ・現地活動内容の確認	対面授業	予習：渡航先の情報収集を行う。(2時間) 復習：研修内容の再確認と、プレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
6	6	渡航準備⑤（最終確認） ・渡航前最終確認 ・現地での注意事項の確認 ・質疑応答	対面授業	予習：渡航先の情報を整理する。(2時間) 復習：渡航準備の最終確認を行う。(2時間)
7	7～11回目	7～11回 渡航先での活動 ・現地大学での研修・交流活動 ・生活体験・文化体験	対面授業（現地）	予習：渡航先プログラムに従い事前準備を行う。(時間はプログラム内容により異なる) 復習：各活動終了後に内容を振り返る。(時間はプログラム内容により異なる)
8	12	研修内容の振り返り① ・研修内容の整理 ・レポート作成 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：現地研修の内容を振り返る。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
9	13	研修内容の振り返り② ・レポート作成の継続 ・プレゼンテーション資料作成	対面授業	予習：研修内容の整理を行う。(2時間) 復習：レポートおよびプレゼン資料の見直し・修正を行う。(2時間)
10	14	研修内容の振り返り③ ・レポート完成 ・プレゼンテーション最終調整	対面授業	予習：研修内容をまとめる。(2時間) 復習：発表準備の最終確認を行う。(2時間)
11	15	最終プレゼンテーション	対面授業	予習：プレゼンテーションの最終準備を行う。(2時間) 復習：発表内容を振り返り、研修での学びを整理する。(2時間)
12	16	総括・まとめ ・全体の振り返り ・学修成果の整理	対面授業	予習：研修全体の振り返りを行う。(2時間) 復習：今後の学修やキャリアへの活用について考察する。(2時間)
13				授業外学修 64時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:それぞれの渡航プログラムに沿って適宜指示する。	
履修条件	授業への出席状況（遅刻・欠席等）および大学生生活全般において問題がなく、かつ、自ら留学を希望する明確で強い意思を有していること。	

履修上の注意	世界情勢や社会状況等の変化により、毎年度、渡航先および研修内容が変更となる場合がある。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 口ニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）
備考・メッセージ	1) 授業への出席状況が著しく不良である、または短期大学での生活態度が留学にふさわしくないと判断された場合には、申込後であっても留学参加を認めないことがある。 2) 申込みにあたっては、自身の健康状態および留学に対する保護者の同意を必ず確認すること。また、留学先では自己管理・自己責任が求められる場面が多いことを十分理解しておくこと。 3) 渡航前には、先輩学生や本学に在籍する留学生などから積極的に情報収集を行い、研修がより有意義なものとなるよう努めること。

インターンシップ I

更新日：2026/05/26 20:59:19

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY304
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、将来ホスピタリティビジネス（サービス業）への就業を志す学生を対象に、実際の現場での実践を通してサービスの在り方や「働くこと」の本質を体験的に学ぶことを目的とする。

履修者は、まず「学外学修事前指導」において、インターンシップ参加に必要な心構え、基礎知識、実務上の注意点等を学んだ上で、インターンシップに参加する。

インターンシップ期間中は、毎日、オンライン（Google ドキュメント）上の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や気づき、感想を記録する。記録内容に対しては担当教員が随時コメントを行い、学びの深化を図る。

インターンシップ終了後は、「学外学修事後指導」において職業体験の振り返りを行い、経験を今後の学修やキャリア形成へとつなげる。

授業における到達目標

1	【自己変革】就業体験を通して、自身の長所・短所、思考の癖、行動特性を客観的に捉え、自己理解を深めることができる。
2	ホスピタリティビジネスの現場における基本的な業務内容、接客姿勢、サービス提供の流れを理解し、実践することができる。
3	多様な価値観や文化的背景を持つ顧客・従業員と関わる中で、相手を尊重した適切な対応をとることができる。
4	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。【規律性・忍耐力】職場の規律やルールを理解し、自己目標を意識して行動を継続できる。【ストレスコントロール力】業務上の負担やストレスを認識し、振り返ることができる。
5	インターンシップでの経験をもとに、自身の将来像や職業観を言語化し、今後の学修・進路に結びつけて考えることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	インターンシップ期間中の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）の記入状況および内容（受入先による評価を含む）	20%
確かな専門的知識や技能	2	インターンシップジャーナルの内容 受入先評価	20%
異文化知識・対応能力	3	インターンシップジャーナルの記述内容（気づき・振り返りの質） 受入先評価	20%
課題解決能力	4	インターンシップジャーナルの記入状況と内容（受入先評価を含む）	20%
キャリアデザイン力	5	学外学修事後指導における振り返り内容 最終レポート	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業の成績評価は、インターンシップ期間中におけるインターンシップジャーナル（ギャップタームジャーナル）の記入状況および記載内容をもとに、総合的に行う。
- ・単位認定は、インターンシップの就業日数を基準として算出する。詳細については、授業内にて説明する。
- ・インターンシップ期間中は、毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、気づきや感想を記録すること。
- ・記録にあたっては、守秘義務や個人情報に十分配慮した上で、問題のない範囲で写真や動画を記録し、ギャップターム終了後のプレゼンテーション作成等に活用できるよう整理しておくこと。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	オリエンテーション・事前最終確認 ・インターンシップ全体の流れ、注意事項の最終確認 ・就業先での心構え、業務記録（日誌）の記入方法確認 ・実施形式：対面（※日誌はオンラインで確認）	実習	予習：インターンシップ先の概要、就業規則、担当業務を確認する。（2時間） 復習：初日の業務内容を想定し、行動計画を立てる。（2時間）
2	第2回～第15回 インターンシップ就業体験 ・インターンシップ先の勤務体制および就業 ・規則に従い、実際の業務に従事する 接遇、業務補助、現場運営などを通して実践的に学ぶ ・毎日、オンライン上の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）を作成 実施形式：対面（就業体験）／オンライン（日誌確認・教員コメント）	実習	予習：当日の業務内容、役割、注意点を事前に確認する。（2時間） 復習：実施した業務内容を振り返り、気づきや課題を整理する。 翌日の業務に向けた準備・改善点を考える。（2時間）

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。
履修条件	本授業の履修にあたっては、**原則として「ビジネスマナー」および「ホテル業論」**の授業を履修していること。
履修上の注意	・インターンシップに参加するという自覚と責任を持ち、日頃の学習態度や言動、身だしなみ（服装等）に十分注意を払うこと。 ・上記の事項が守られない場合、または学習態度・生活態度等がインターンシップ参加者として不適切であると教員が判断した場合には、インターンシップへの参加を辞退してもらうことがある。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）
備考・メッセージ	インターンシップへの参加を通して、自身の適性を知り、「働くこと」への理解と自信を深めることができます。現場での経験は、今後の学修やキャリア形成に大きくつながる貴重な機会です。ぜひ主体的・積極的に参加してください。

インターンシップ II

更新日：2026/05/26 20:59:20

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY305
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、将来ホスピタリティビジネス（サービス業）への就業を志す学生を対象に、実際の現場での実践を通してサービスの在り方や「働くこと」の本質を体験的に学ぶことを目的とする。

履修者は、まず「学外学修事前指導」において、インターンシップ参加に必要な心構え、基礎知識、実務上の注意点等を学んだ上で、インターンシップに参加する。

インターンシップ期間中は、毎日、オンライン（Google ドキュメント）上の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や気づき、感想を記録する。記録内容に対しては担当教員が随時コメントを行い、学びの深化を図る。

インターンシップ終了後は、「学外学修事後指導」において職業体験の振り返りを行い、経験を今後の学修やキャリア形成へとつなげる。

授業における到達目標

1	【自己変革】就業体験を通して、自身の長所・短所、思考の癖、行動特性を客観的に捉え、自己理解を深めることができる。
2	ホスピタリティビジネスの現場における基本的な業務内容、接客姿勢、サービス提供の流れを理解し、実践することができる。
3	多様な価値観や文化的背景を持つ顧客・従業員と関わる中で、相手を尊重した適切な対応をとることができる。
4	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。【規律性・忍耐力】職場の規律やルールを理解し、自己目標を意識して行動を継続できる。【ストレスコントロール力】業務上の負担やストレスを認識し、振り返ることができる。
5	インターンシップでの経験をもとに、自身の将来像や職業観を言語化し、今後の学修・進路に結びつけて考えることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	インターンシップ期間中の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）の記入状況および内容（受入先による評価を含む）	20%
確かな専門的知識や技能	2	インターンシップジャーナルの内容 受入先評価	20%
異文化知識・対応能力	3	インターンシップジャーナルの記述内容（気づき・振り返りの質） 受入先評価	20%
課題解決能力	4	インターンシップジャーナルの記入状況と内容（受入先評価を含む）	20%
キャリアデザイン力	5	学外学修事後指導における振り返り内容 最終レポート	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業の成績評価は、インターンシップ期間中におけるインターンシップジャーナル（ギャップタームジャーナル）の記入状況および記載内容をもとに、総合的に行う。
- ・単位認定は、インターンシップの就業日数を基準として算出する。詳細については、授業内にて説明する。
- ・インターンシップ期間中は、毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、気づきや感想を記録すること。
- ・記録にあたっては、守秘義務や個人情報に十分配慮した上で、問題のない範囲で写真や動画を記録し、ギャップターム終了後のプレゼンテーション作成等に活用できるよう整理しておくこと。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	オリエンテーション・事前最終確認 ・インターンシップ全体の流れ、注意事項の最終確認 ・就業先での心構え、業務記録（日誌）の記入方法確認 ・実施形式：対面（※日誌はオンラインで確認）	実習	予習：インターンシップ先の概要、就業規則、担当業務を確認する。（2時間） 復習：初日の業務内容を想定し、行動計画を立てる。（2時間）
2	第2回～第15回 インターンシップ就業体験 ・インターンシップ先の勤務体制および就業 ・規則に従い、実際の業務に従事する 接遇、業務補助、現場運営などを通して実践的に学ぶ ・毎日、オンライン上の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）を作成 実施形式：対面（就業体験）／オンライン（日誌確認・教員コメント）	実習	予習：当日の業務内容、役割、注意点を事前に確認する。（2時間） 復習：実施した業務内容を振り返り、気づきや課題を整理する。 翌日の業務に向けた準備・改善点を考える。（2時間）

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。
履修条件	本授業の履修にあたっては、**原則として「ビジネスマナー」および「ホテル業論」**の授業を履修していること。
履修上の注意	・インターンシップに参加するという自覚と責任を持ち、日頃の学習態度や言動、身だしなみ（服装等）に十分注意を払うこと。 ・上記の事項が守られない場合、または学習態度・生活態度等がインターンシップ参加者として不適切であると教員が判断した場合には、インターンシップへの参加を辞退してもらうことがある。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）
備考・メッセージ	インターンシップへの参加を通して、自身の適性を知り、「働くこと」への理解と自信を深めることができます。現場での経験は、今後の学修やキャリア形成に大きくつながる貴重な機会です。ぜひ主体的・積極的に参加してください。

インターンシップIII

更新日：2026/05/26 20:59:21

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY306
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、将来ホスピタリティビジネス（サービス業）への就業を志す学生を対象に、実際の現場での実践を通してサービスの在り方や「働くこと」の本質を体験的に学ぶことを目的とする。

履修者は、まず「学外学修事前指導」において、インターンシップ参加に必要な心構え、基礎知識、実務上の注意点等を学んだ上で、インターンシップに参加する。

インターンシップ期間中は、毎日、オンライン（Google ドキュメント）上の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や気づき、感想を記録する。記録内容に対しては担当教員が随時コメントを行い、学びの深化を図る。

インターンシップ終了後は、「学外学修事後指導」において職業体験の振り返りを行い、経験を今後の学修やキャリア形成へとつなげる。

授業における到達目標

1	【自己変革】就業体験を通して、自身の長所・短所、思考の癖、行動特性を客観的に捉え、自己理解を深めることができる。
2	ホスピタリティビジネスの現場における基本的な業務内容、接客姿勢、サービス提供の流れを理解し、実践することができる。
3	多様な価値観や文化的背景を持つ顧客・従業員と関わる中で、相手を尊重した適切な対応をとることができる。
4	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。【規律性・忍耐力】職場の規律やルールを理解し、自己目標を意識して行動を継続できる。【ストレスコントロール力】業務上の負担やストレスを認識し、振り返ることができる。
5	インターンシップでの経験をもとに、自身の将来像や職業観を言語化し、今後の学修・進路に結びつけて考えることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	インターンシップ期間中の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）の記入状況および内容（受入先による評価を含む）	20%
確かな専門的知識や技能	2	インターンシップジャーナルの内容 受入先評価	20%
異文化知識・対応能力	3	インターンシップジャーナルの記述内容（気づき・振り返りの質） 受入先評価	20%
課題解決能力	4	インターンシップジャーナルの記入状況と内容（受入先評価を含む）	20%
キャリアデザイン力	5	学外学修事後指導における振り返り内容 最終レポート	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業の成績評価は、インターンシップ期間中におけるインターンシップジャーナル（ギャップタームジャーナル）の記入状況および記載内容をもとに、総合的に行う。
- ・単位認定は、インターンシップの就業日数を基準として算出する。詳細については、授業内にて説明する。
- ・インターンシップ期間中は、毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、気づきや感想を記録すること。
- ・記録にあたっては、守秘義務や個人情報に十分配慮した上で、問題のない範囲で写真や動画を記録し、ギャップターム終了後のプレゼンテーション作成等に活用できるよう整理しておくこと。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	オリエンテーション・事前最終確認 ・インターンシップ全体の流れ、注意事項の最終確認 ・就業先での心構え、業務記録（日誌）の記入方法確認 ・実施形式：対面（※日誌はオンラインで確認）	実習	予習：インターンシップ先の概要、就業規則、担当業務を確認する。（2時間） 復習：初日の業務内容を想定し、行動計画を立てる。（2時間）
2	第2回～第15回 インターンシップ就業体験 ・インターンシップ先の勤務体制および就業 ・規則に従い、実際の業務に従事する 接遇、業務補助、現場運営などを通して実践的に学ぶ ・毎日、オンライン上の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）を作成 実施形式：対面（就業体験）／オンライン（日誌確認・教員コメント）	実習	予習：当日の業務内容、役割、注意点を事前に確認する。（2時間） 復習：実施した業務内容を振り返り、気づきや課題を整理する。 翌日の業務に向けた準備・改善点を考える。（2時間）

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	教科書:特になし	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。	
履修条件	本授業の履修にあたっては、**原則として「ビジネスマナー」および「ホテル業論」**の授業を履修していること。	
履修上の注意	・インターンシップに参加するという自覚と責任を持ち、日頃の学習態度や言動、身だしなみ（服装等）に十分注意を払うこと。 ・上記の事項が守られない場合、または学習態度・生活態度等がインターンシップ参加者として不適切であると教員が判断した場合には、インターンシップへの参加を辞退してもらうことがある。	
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）	
備考・メッセージ	インターンシップへの参加を通して、自身の適性を知り、「働くこと」への理解と自信を深めることができます。現場での経験は、今後の学修やキャリア形成に大きくつながる貴重な機会です。ぜひ主体的・積極的に参加してください。	

インターンシップⅣ

更新日：2026/05/26 20:59:21

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	GY401
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、将来ホスピタリティビジネス（サービス業）への就業を志す学生を対象に、実際の現場での実践を通してサービスの在り方や「働くこと」の本質を体験的に学ぶことを目的とする。

履修者は、まず「学外学修事前指導」において、インターンシップ参加に必要な心構え、基礎知識、実務上の注意点等を学んだ上で、インターンシップに参加する。

インターンシップ期間中は、毎日、オンライン（Google ドキュメント）上の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や気づき、感想を記録する。記録内容に対しては担当教員が随時コメントを行い、学びの深化を図る。

インターンシップ終了後は、「学外学修事後指導」において職業体験の振り返りを行い、経験を今後の学修やキャリア形成へとつなげる。

授業における到達目標

1	【自己変革】就業体験を通して、自身の長所・短所、思考の癖、行動特性を客観的に捉え、自己理解を深めることができる。
2	ホスピタリティビジネスの現場における基本的な業務内容、接客姿勢、サービス提供の流れを理解し、実践することができる。
3	多様な価値観や文化的背景を持つ顧客・従業員と関わる中で、相手を尊重した適切な対応をとることができる。
4	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。【規律性・忍耐力】職場の規律やルールを理解し、自己目標を意識して行動を継続できる。【ストレスコントロール力】業務上の負担やストレスを認識し、振り返ることができる。
5	インターンシップでの経験をもとに、自身の将来像や職業観を言語化し、今後の学修・進路に結びつけて考えることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	インターンシップ期間中の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）の記入状況および内容（受入先による評価を含む）	20%
確かな専門的知識や技能	2	インターンシップジャーナルの内容 受入先評価	20%
異文化知識・対応能力	3	インターンシップジャーナルの記述内容（気づき・振り返りの質） 受入先評価	20%
課題解決能力	4	インターンシップジャーナルの記入状況と内容（受入先評価を含む）	20%
キャリアデザイン力	5	学外学修事後指導における振り返り内容 最終レポート	20%
合計			100%

補足事項

- ・本授業の成績評価は、インターンシップ期間中におけるインターンシップジャーナル（ギャップタームジャーナル）の記入状況および記載内容をもとに、総合的に行う。
- ・単位認定は、インターンシップの就業日数を基準として算出する。詳細については、授業内にて説明する。
- ・インターンシップ期間中は、毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、気づきや感想を記録すること。
- ・記録にあたっては、守秘義務や個人情報に十分配慮した上で、問題のない範囲で写真や動画を記録し、ギャップターム終了後のプレゼンテーション作成等に活用できるよう整理しておくこと。

授業計画

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1	オリエンテーション・事前最終確認 ・インターンシップ全体の流れ、注意事項の最終確認 ・就業先での心構え、業務記録（日誌）の記入方法確認 ・実施形式：対面（※日誌はオンラインで確認）	実習	予習：インターンシップ先の概要、就業規則、担当業務を確認する。（2時間） 復習：初日の業務内容を想定し、行動計画を立てる。（2時間）
2	第2回～第15回 インターンシップ就業体験 ・インターンシップ先の勤務体制および就業 ・規則に従い、実際の業務に従事する 接遇、業務補助、現場運営などを通して実践的に学ぶ ・毎日、オンライン上の業務記録日誌（ギャップタームジャーナル）を作成 実施形式：対面（就業体験）／オンライン（日誌確認・教員コメント）	実習	予習：当日の業務内容、役割、注意点を事前に確認する。（2時間） 復習：実施した業務内容を振り返り、気づきや課題を整理する。 翌日の業務に向けた準備・改善点を考える。（2時間）

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など
	参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。
履修条件	本授業の履修にあたっては、**原則として「ビジネスマナー」および「ホテル業論」**の授業を履修していること。
履修上の注意	・インターンシップに参加するという自覚と責任を持ち、日頃の学習態度や言動、身だしなみ（服装等）に十分注意を払うこと。 ・上記の事項が守られない場合、または学習態度・生活態度等がインターンシップ参加者として不適切であると教員が判断した場合には、インターンシップへの参加を辞退してもらうことがある。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー：水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）
備考・メッセージ	インターンシップへの参加を通して、自身の適性を知り、「働くこと」への理解と自信を深めることができます。現場での経験は、今後の学修やキャリア形成に大きくつながる貴重な機会です。ぜひ主体的・積極的に参加してください。

実践Awesome Sasebo！（サービ斯拉ーニング）Ⅰ

更新日：2026/05/27 10:42:51

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CD402
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。

- 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。
- 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。
- 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。

学びの実践例：地域祭り進行、JA連携特産品PR・体験、入学前TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

「イベントにつきましては、諸事情により内容や日程が変更となる場合があります。その際には、授業内容の一部が変更される可能性があります。」

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる
3	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながあ取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループワーク	60
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	2	課題	20
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

- ・本授業では、課題（活動報告）40%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	「オリエンテーション」	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と活動報告（ジャーナル）書き方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
2	地域祭り支援①	相浦公民館祭りについて調べる 活動支援が必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
3	地域祭り支援②	相浦公民館祭りについて調べる 活動支援が必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）

4	地域祭り支援③	相浦公民館祭りに参加する 地域住民と積極的に交流する 交流当日の様子を写真・動画で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
5	地域祭り支援④	相浦公民館祭りに参加する 地域住民と積極的に交流する 交流当日の様子を写真・動画で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
6	地域祭り支援⑤	相浦公民館祭りに参加参加内容をまとめる GOOGLESLLIDEなどで整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
7	地域祭り支援⑥	相浦公民館祭りに参加参加内容をまとめる GOOGLESLLIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
8	JA連携活動①	JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
9	JA連携活動②	JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
10	JA連携活動③	JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
11	JA連携活動④	JAながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品PR方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
12	JA連携活動⑤	JAながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品PR方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
13	JA連携活動⑥	JAながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品PR方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
14	JA連携活動⑦	JA連携活動の参加内容をまとめる 宿泊研修の参加内容をまとめる GOOGLESLLIDEなどで整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
15	JA連携活動⑧・総まとめ	JA連携活動の参加内容をまとめる 宿泊研修の参加内容をまとめる GOOGLESLLIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する 授業アンケート回答	対面授業	予習：今までの活動内容を改めて整理する（4時間） 復習：とくになし
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する。	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する。	【参考書】ISBN
履修条件		

履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。
オフィスアワー	水曜日3コマ目（研究室） ＊その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	

実践Awesome Sasebo！（サービ斯拉ーニング）Ⅱ

更新日：2026/05/27 10:43:19

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CD403
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。

- 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。
- 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。
- 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。

学びの実践例：地域祭り進行、JA連携特産品PR・体験、入学前TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

「イベントにつきましては、諸事情により内容や日程が変更となる場合があります。その際には、授業内容の一部が変更される可能性があります。」

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる
3	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながあ取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループワーク	60
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	2	課題	20
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

- ・本授業では、課題（活動報告）40%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	「オリエンテーション」	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と活動報告（ジャーナル）書き方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
2	入学前TA活動①	入学前教育について調べる 入学前教育に参加している留学生の出身国について調べる 入学前教育活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
3	入学前TA活動②	入学前教育について調べる 入学前教育に参加している留学生の出身国について調べる 入学前教育活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）

4	入学前TA活動③	入学前教育教育にTAとして参加する留学生と積極的にコミュニケーションする日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
5	入学前TA活動④	入学前教育教育にTAとして参加する留学生と積極的にコミュニケーションする日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
6	入学前TA活動⑤	入学前教育教育にTAとして参加する留学生と積極的にコミュニケーションする日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
7	入学前TA活動⑥	入学前教育教育参加内容をまとめるGOOGLESLIDEなどで整理する感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
8	入学前TA活動⑦	入学前教育教育参加内容をまとめるGOOGLESLIDEなどで整理する感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
9	図書館蔵書点検①	図書館蔵書点検オリエンテーションに参加する活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
10	図書館蔵書点検②	図書館蔵書点検に参加する自ら必要な作業を探して実施する日々の活動内容を文字で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
11	図書館蔵書点検③	図書館蔵書点検に参加する自ら必要な作業を探して実施する日々の活動内容を文字で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
12	図書館蔵書点検	図書館蔵書点検に参加する自ら必要な作業を探して実施する日々の活動内容を文字で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
13	図書館蔵書点検⑤	図書館蔵書点検の参加内容をまとめるGOOGLESLIDEなどで整理する感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
14	オープンキャンパス参加①	春のオープンキャンパス日程・内容の確認 当日の活動内容確認・準備 春のオープンキャンパス活動参加	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
15	オープンキャンパス参加②・総まとめ	参加内容を文字で整理するGOOGLESLIDEなどで整理する感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する 授業アンケート回答	対面授業	予習：今までの活動内容を改めて整理する（4時間） 復習：とくになし
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する。	【教科書】ISBN
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 授業中に指示する。	【参考書】ISBN
履修条件	なし	
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。	

オフィスアワー	水曜日 3 コマ目 (研究室) *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	

実践Awesome Sasebo！（サービスマーケティング）II

更新日：2026/05/26 21:01:03

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CD403
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。

実践Awesome Sasebo!IIでは、1年生が主体となって、人、文化、地域社会を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開するための企画運営方法についても学ぶ。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくること
3	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく
4	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる
5	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	課題	30%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業態度	50%
キャリアデザイン力	5	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする Google Classroomへの発表資料アップロードが完了しているか確認し、チームに分かれて調整を行う スクリプトの提出を行う	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2	2回目	小学校との交流授業準備① 各チームでの最終リハーサル、通し稽古を行う。あらかじめ予測されるトラブルに対して、解決策を検討する。	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

3	3回目	小学校との交流授業準備② 来校時のプレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4	4回目	小学校交流会のまとめ①記録 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
5	5回目	小学校交流会のまとめ②発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なもの、箇所に関して認識する	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6	6回目	小学校活動の修正・感想 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、修正が必要なもの、箇所に関して修正を行う。感想レポートの作成	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7	7回目	東翔高校交流会の準備 国ごとにチームを編成する。 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8	8回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9	9回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10	10回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11	11回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12	12回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13	13回目	東翔高校交流会の準備 各チームでの最終リハーサル、通し稽古を行う。あらかじめ予測されるトラブルに対して、解決策を検討する。	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14	14回目	高校交流会のまとめ①記録 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
15	15回目	高校交流会活動のまとめ②発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なもの、箇所に関して認識する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	なし 随時配布プリントあり	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	1・2Q学外学修事前指導（実践AS1）を履修すること	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

実践Awesome Sasebo！（サービ斯拉ーニング）Ⅲ

更新日：2026/06/17 08:43:30

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CD404
担当教員	李 載宇				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。

- 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。
- 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。
- 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。

学びの実践例：地域祭り進行、JA連携特産品PR・体験、入学前TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

「イベントにつきましては、諸事情により内容や日程が変更となる場合があります。その際には、授業内容の一部が変更される可能性があります。」

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる
3	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループワーク	60
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	2	課題	20
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

- ・本授業では、課題（活動報告）40%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	「オリエンテーション」	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と活動報告（ジャーナル）書き方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
2	クリスマスパーティー企画①	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）

3	クリスマスパーティー企画②	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
4	クリスマスパーティー企画③	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
5	クリスマスパーティー企画④	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
6	クリスマスパーティー企画⑤	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
7	クリスマスパーティー企画⑥	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
8	クリスマスパーティー企画⑦	例年の国コミクリスマスパーティーについて調べる 日本人・留学生が合同で楽しむことができる内容を考える 実施に必要な物を準備する 司会シナリオを作成し、実際のパーティーを想定して練習する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
9	クリスマスパーティー運営①	当日の司会進行を担当する 当日のゲーム運営に参加する 当日の食事配膳・後片付けなどに参加する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
10	クリスマスパーティー運営②	当日の司会進行を担当する 当日のゲーム運営に参加する 当日の食事配膳・後片付けなどに参加する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
11	クリスマスパーティー振り返り・学内イベント企画①	クリスマスパーティーの振り返りを行う 次年度に活かす内容を検討する 国際コミュニケーションコース日本人・留学生全体で参加できる新しいイベントを提案する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
12	クリスマスパーティー振り返り・学内イベント企画②	クリスマスパーティーの振り返りを行う 次年度に活かす内容を検討する 国際コミュニケーションコース日本人・留学生全体で参加できる新しいイベントを提案する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
13	クリスマスパーティー振り返り・学内イベント企画③	クリスマスパーティーの振り返りを行う 次年度に活かす内容を検討する 国際コミュニケーションコース日本人・留学生全体で参加できる新しいイベントを提案する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
14	クリスマスパーティー振り返り・学内イベント企画④	クリスマスパーティーの振り返りを行う 次年度に活かす内容を検討する 国際コミュニケーションコース日本人・留学生全体で参加できる新しいイベントを提案する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15	総まとめ	GOOGLESIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する 授業アンケート回答	対面授業	予習：今までの活動内容を改めて整理する（4時間） 復習：とくになし

16			授業外学修 60時間
----	--	--	------------

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	授業中に指示する。	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	授業中に指示する。	
履修条件	なし	
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。	
オフィスアワー	水曜日3コマ目（研究室） ＊その他、授業の前後及び空きコマも可	
備考・メッセージ		

実践Awesome Sasebo！（サービスマーケティング）III

更新日：2026/05/26 21:01:04

開講年度	2026	開講期	3Q/7Q	ナンバリング	CD404
担当教員	依藤 実里				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由的な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。

実践Awesome Sasebo!IIIでは、1年生が主体となって、人、文化、地域社会を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを実践的に行うことで学びを深める。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる。
2	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる。
3	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく。
4	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。
5	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	課題	30%
異文化知識・対応能力	3	課題	10%
課題解決能力	4	授業態度	50%
キャリアデザイン力	5	授業態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される
- ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2	2回目	九文小学校交流会① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー ゲームコーナー	対面授業	予習：配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

3	3回目	九文小学校交流会② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー ゲームコーナー	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4	4回目	九文小学校交流会のまとめと修正 交流会の成果と課題を明らかにし、相浦小学校交流会の実施に向けて各チームで改善を行う。	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5	5回目	相浦小学校交流会A-① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの活動を見直して、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6	6回目	相浦小学校交流会A-② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの活動を見直して、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7	7回目	相浦小学校交流会B-① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの活動を見直して、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8	8回目	相浦小学校交流会B-② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：これまでの活動を見直して、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習：構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9	9回目	「相浦小学校交流会C-① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10	10回目	「相浦小学校交流会C-② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11	11回目	九文高校交流会① 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習：これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12	12回目	九文高校交流会② 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習：全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習：提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13	13回目	九文高校交流会のまとめと修正 交流会の成果と課題を明らかにし、相浦小学校交流会の実施に向けて各チームで改善を行う。	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)

14	14回目	東翔高校交流会① 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15	15回目	東翔高校交流会② 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う,社会で活用されているデータ,データ・AIの活用領域	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	なし 随時配布プリントあり	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	2Q実践AS1、地域と人々を履修すること	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。	
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。	
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

実践Awesome Sasebo！（サービ斯拉ーニング）Ⅳ

更新日：2026/06/17 08:44:28

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	CD405
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	実習	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。

この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。

- 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。
- 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。
- 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。

学びの実践例：地域祭り進行、JA連携特産品PR・体験、入学前TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

「イベントにつきましては、諸事情により内容や日程が変更となる場合があります。その際には、授業内容の一部が変更される可能性があります。」

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる
3	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながあ取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	グループワーク	60
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	2	課題	20
課題解決能力	3	課題	20
キャリアデザイン力			
合計			100

補足事項

- ・本授業では、課題（活動報告）40%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	「オリエンテーション」	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と活動報告（ジャーナル）書き方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
2	BRIDGECLASS交流回企画①	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
3	BRIDGECLASS交流回企画②	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）

4	BRIDGECLASS交流回企画③	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
5	BRIDGECLASS交流回企画④	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
6	BRIDGECLASS交流回企画⑤	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
7	BRIDGECLASS交流回企画⑥	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
8	BRIDGECLASS交流回企画⑦	BRIDGECLASSについて調べる BRIDGECLASS学生との茶道交流を準備する 実際の茶道お点前を練習する 学内案内ができるように準備する 当日に必要な諸備品を購入する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
9	BRIDGECLASS交流回実施①	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
10	BRIDGECLASS交流回実施②	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
11	BRIDGECLASS交流回実施③	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
12	BRIDGECLASS交流回実施④	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
13	BRIDGECLASS交流回実施⑤	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
14	BRIDGECLASS交流回実施⑥	BRIDGECLASS交流会の当日の準備・実施・後片付けなどを行う (学内案内・茶道交流・お茶会・歓談など)	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15	総まとめ	参加内容を文字で整理する GOOGLESLLIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：今までの活動内容を改めて整理する（4時間） 復習：とくになし
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等		
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	授業中に指示する。	

参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
	授業中に指示する。	
履修条件	なし	
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。	
オフィスアワー	水曜日3コマ目（研究室） ＊その他、授業の前後及び空きコマも可	
備考・メッセージ		

学外学修事後指導

更新日：2026/05/26 21:00:55

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY402
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど）	

授業概要

本授業は、ギャップタームでの体験を体系的に振り返り、今後の学修計画およびキャリア形成に結び付けることを目的とする。学生は、ギャップターム中の経験を客観的に整理・分析し、文章およびプレゼンテーションを通して他者に分かりやすく伝える力を養う。

具体的には、ギャップタームで設定した目標に対する自己評価を行い、体験内容や学びを文章として適切に表現する。また、Googleスライド等のICTツールを活用し、構成力・視覚的表現を意識したプレゼンテーション資料を作成する。作成した資料を用いて後輩学生へ口頭発表を行い、ルーブリックに基づく評価を通して表現力や発信力の向上を図る。

さらに、ポジティブ・ネガティブ双方の経験、5W1Hによる生活・活動の整理、得られた学びを多角的に振り返り、残りの短大生活における目標設定や次年度ギャップタームに参加する後輩への助言へと発展させる。本授業を通して、ギャップタームの経験を単なる体験に終わらせず、主体的な学びと将来のキャリアに活かす力を身につける。

授業における到達目標

1	ギャップタームの振り返り内容を第三者にも分かりやすく整理し、Google スライドを用いて適切な構成・表現でプレゼンテーションを行うことができる。
2	ギャップタームでの経験を多面的に分析し、体験や学びを正しく言語化して文章として表現することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	1	プレゼンテーション（スライド資料および口頭発表）	50%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	1, 2	文書作成（振り返りレポート・日誌等）、授業・活動への参加態度	40%
キャリアデザイン力	2	文書作成（振り返りレポート・日誌等）、授業・活動への参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は、原則として対面授業で実施するが、必要に応じてオンラインまたはオンデマンド形式で行う場合がある。
- ・定期試験は実施せず、授業内で作成するレポートおよびその作成過程、ならびに授業への参加状況・態度を総合的に評価する。
- ・授業中の質問はその場で受け付け、授業時間外の質問については Google Classroom を通じて受け付ける。

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的・進め方の説明 ・Googleスライドの割り当て・教員との共有 ・Googleスライド作成方法の動画視聴（タイトル・学籍番号入力） ・ディプロマ・サブリの説明（第13回履歴書更新との関連） ・Googleドキュメントの基本操作確認 	対面授業	予習：ギャップターム中に記録した日誌を読み返し、体験の言語化の準備（2時間） 復習：授業内で行った振り返り内容の再確認（2時間）
2	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャップタームジャーナルの確認・未記入部分の補完 ・インターンシップ等の開始・終了時期をGoogleフォームで登録 ・前年度のスライドおよびプレゼン動画の視聴（参考） 	対面授業	予習：第1回キャリアステップ結果の振り返り（2時間） 復習：授業内での振り返り内容の整理（2時間）

3	3回目	・体験の書き出しとグループ内共有 ・グループおよび全体発表（経験の言語化） ・Q&A・雑談を通じた経験の深掘り	対面授業	予習：日誌を読み返し、体験の整理（2時間） 復習：授業で整理した内容の再確認（2時間）
4	4回目	・プレゼンテーション構成（設計図）の作成 ・5分程度・5～10枚のスライド構成を想定 ・新1年生に伝わるプレゼンを目標とする	対面授業	予習：日誌内容の再確認（2時間） 復習：構成内容の見直し（2時間）
5	5回目	・Googleスライド（＋動画）による振り返り作成 （ポジティブ／ネガティブ経験、5W1H、学び、今後の目標、後輩への助言）	対面授業	予習：スライド作成準備（2時間） 復習：作成内容の確認（2時間）
6	6回目	・振り返りスライドのブラッシュアップ	対面授業	予習：スライド作成（2時間） 復習：修正・確認（2時間）
7	7回目	・最終発表に向けたスライド完成	対面授業	予習：スライド作成（2時間） 復習：修正・確認（2時間）
8	8回目	・ピアプレゼン実施（相互評価と修正）①	対面授業	予習：発表練習（2時間） 復習：修正・再練習（2時間）
9	9回目	・ピアプレゼン実施（相互評価と修正）②	対面授業	予習：発表練習（2時間） 復習：修正・再練習（2時間）
10	10回目	・ピアプレゼン実施（相互評価と修正）③	対面授業	予習：発表練習（2時間） 復習：修正・再練習（2時間）
11	11回目	・発表準備リハーサル①	対面授業	予習：発表準備リハーサル準備（4時間） 復習：なし
12	12回目	・発表準備リハーサル②	対面授業	予習：発表準備リハーサル準備（4時間） 復習：なし
13	13回目	・後輩（新1年生）への発表①	対面授業	予習：発表準備リハーサル準備（4時間） 復習：なし
14	14回目	・後輩（新1年生）への発表②	対面授業	予習：発表準備リハーサル準備（4時間） 復習：なし
15	15回目	・後輩（新1年生）への発表③	対面授業	予習：発表準備リハーサル準備（4時間） 復習：なし
16	16回目	・まとめ ・履歴書修正（Googleドキュメント）	対面授業	授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 教科書:特になし
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など 参考書:それぞれのタスクに沿って適宜指示する。
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、今後の職業選択や進路決定において重要な時期となるため、体験を丁寧に振り返り、言語化することを通して、自身のキャリア形成につなげてほしい。 遅刻・早退を含めて15分以上授業に参加できない場合は欠席とみなす。 遅刻3回を欠席1回と扱います。 レポートを作成する際に使用するPC等を準備してください。 課題のフィードバックは授業内またはGoogleClassroomでおこないます。
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李：水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦：水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）
備考・メッセージ	体験したことをできるだけ具体的に言語化できるよう、日頃から気づいたことや感じたことを継続的に記録しておくこと。

学外学修事後指導

更新日：2026/05/26 21:00:56

開講年度	2026	開講期	4Q/8Q	ナンバリング	GY402
担当教員	牟田 美信, Triminio Ronnie				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	1年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	<input checked="" type="checkbox"/>
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	<input checked="" type="checkbox"/>

授業概要

「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の2Q以降に設定されている、短大での学びを地域をフィールドとして実践する科目である。

留学生を対象とした本授業では、3Qで実施した小学校や高校での交流授業やその他の地域での学びを総まとめするものである。来年度の学びに繋がるようなプレゼンテーションの知識をしっかりと学び、チーム全体を率いるようなリーダーシップ力を身に付けることを目指す。

授業における到達目標

1	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる
2	日本語で直接関連のある事柄の内容について主要な点を聞いたり読んだりして理解できる。また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる。
3	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながらチーム全体で目標に粘り強く取り組むことができる
4	活動を通して自己のパーソナリティと活動内容の得手不得手がわかる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	授業参加態度	5%
確かな専門的知識や技能	2	課題・成果物	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	3	①授業参加態度 ②課題・成果物	①30% ②20%
キャリアデザイン力	4	授業参加態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。
- ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する
- ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能等を使って返却される

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 高校との交流授業 振り返り① チーム内で担当決め ①まとめ動画作成、②お礼状作成、③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習：Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習：本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2	2回目	高校との交流授業 振り返り② ①まとめ動画作成、②お礼状作成、③インスタ投稿 チーム役割分担に従い、振り返りを行う。	対面授業	チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをClassroomに提出する(2時間)
3	3回目	高校との交流授業 振り返り③ ①まとめ動画作成、②お礼状作成、③インスタ投稿 チーム役割分担に従い、振り返りを行う。	対面授業	チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをClassroomに提出する(2時間)

4	4回目	高校との交流授業 振り返り④ ①まとめ動画作成、②お礼状作成、③インスタ投稿 チーム役割分担に従い、振り返りを行う。	対面授業	チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかを Classroomに提出する(2時間)
5	5回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ①現在の課題を把握する	対面授業	予習：これまでの準備を振り返り、必要な事柄を、G oogle classroomに提出する(2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
6	6回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ②テーマを決める	対面授業	予習：これまでの準備を振り返り、必要な事柄を、G oogle classroomに提出する(2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
7	7回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ③情報収集をする	対面授業	予習：情報収集のヒントとなる資料を探す。(2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
8	8回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ③情報収集をする	対面授業	予習：情報収集のヒントとなる資料を探す。(2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
9	9回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ④情報を整理する	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
10	10回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ④情報を整理する	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめ ておく(2時間)
11	11回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ⑤情報をまとめる	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要な 部分に関して修正をする(2時間)
12	12回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ⑤情報をまとめる	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要な 部分に関して修正をする(2時間)
13	13回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ⑤情報をまとめる	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：構成を見直し、次までに各部分に必要な 部分に関して修正をする(2時間)
14	14回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ⑤情報をまとめる	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：他者に分かりやすく伝えられるよう、スライド やスクリプトを見直し、プレゼンテーションの準備を する。(2時間)
15	15回目	プレゼンテーションスキルの総まとめ ⑥他者に伝える	対面授業	予習：これまでの学びから情報のまとめ方を検討する (2時間) 復習：プレゼンテーションを振り返り、成果と課題を 明らかにする。(2時間)
16				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）		
教育職員免許法施行 規則に定める科目区 分または事項等		
数理・データサイエ ンス・AI教育プログ ラムに関する事項		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN
	なし 随時配布プリントあり	
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN
履修条件	3Q実践Awesome Sasebo! II・IIIを履修すること	
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。	
オフィスアワー	授業時間前後に対応。その他、状況に応じて事前アポイントメントにより受け付ける。	

備考・メッセージ

欠席・遅刻する際は、必ず授業開始15分前までには担当教員とグループメンバーにメールで連絡すること。
みなさんの積極的な受講を期待します。

卒業研究 日本人

更新日：2026/05/26 21:01:06

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS404
担当教員	牟田 美信				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本科目は、国際コミュニケーションコースにおけるキャップストーン科目（最終学修科目）として位置づけられ、2年間の学修の集大成として実施するものである。学生は、これまでに修得した知識・技能・態度を総合的に振り返り、それらを体系的に整理し、自らの学修成果として表現・発信することを目的とする。

本卒業研究では、以下の学修内容を相互に関連づけながら探究を行い、研究レポートの作成および口頭発表を通して成果をまとめる。

① 研究レポートの作成

研究レポートでは、次の観点を軸に、2年間の学びを振り返り、考察する。

・語学の学び

英語をはじめとする語学学修を通して身につけたコミュニケーション能力、異文化理解力、表現力について具体的な事例を挙げながら整理する。

・学外学修体験からの学び

インターンシップ、ボランティア活動、地域連携活動、留学や国際交流などの学外学修を通して得た経験を振り返り、国際的・社会的視点の成長について考察する。

・「Awesome Sasebo!」授業からの学び

地域（佐世保）を題材とした学修を通して得た、地域理解、発信力、協働性、課題発見・解決力について整理し、国際コミュニケーションとの関連性を明らかにする。

これらを統合し、自身の成長や今後の課題、将来への展望について論理的にまとめる。

② 口頭発表

作成した研究レポートを基に、口頭発表（プレゼンテーション）を行う。

発表では、研究内容を分かりやすく構成し、適切な言語表現や資料を用いて他者に伝える力を養うとともに、質疑応答を通して、自身の考えを的確に説明する力を身につける。

授業における到達目標

1	「心豊かな人間力」の観点から、2年間の学びおよび自己の取組を振り返り、多様な価値観や社会との関わりについて深く分析し、具体的かつ的確に記述することができる。
2	語学力および国際コミュニケーションに関する専門的知識・技能について、2年間の学修成果と実践例を関連付けながら、論理的かつ正確に記述することができる。
3	異文化理解や多文化共生に関する知識・態度について、学内外の学修経験を基に分析し、自身の成長や課題を明確に述べるることができる。
4	学修や実践の過程で直面した課題を適切に設定し、その解決に向けた思考過程および行動について、根拠を示しながら論理的に説明することができる。
5	2年間の学修成果を踏まえ、自身の将来像や進路について具体的に構想し、今後の課題や目標を明確に言語化することができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	学科ディプロマ・ポリシーに基づくルーブリックを用い、研究レポートおよび口頭発表内容を総合的に評価する。	20%
確かな専門的知識や技能	2	学科ディプロマ・ポリシーのルーブリック評価基準に準じ、研究レポートの内容および表現力を評価する。	20%
異文化知識・対応能力	3	学科ディプロマ・ポリシーのルーブリック評価基準に準じ、研究レポートおよび口頭発表を通して評価する。	20%
課題解決能力	4	学科ディプロマ・ポリシーのルーブリック評価基準に基づき、研究レポートの考察内容および発表における説明力を評価する。	20%
キャリアデザイン力	5	学科ディプロマ・ポリシーに基づくルーブリックを用い、研究レポートおよび口頭発表内容を評価する。	20%
合計			100%

1. テーマ

「2年間の学びを振り返り、学修成果の可視化（言語化）を行う」
国際コミュニケーションコースでの2年間の学修・経験を振り返り、自身の成長や到達点を整理し、文章および口頭発表を通して表現する。

2. 作成物

・研究レポート（Google Document）

分量：10枚程度

・プレゼンテーション資料（Google Slide）

研究レポートの内容を基に作成

写真・動画（URL可）を適宜使用

3. 研究レポート／スライド構成

【表紙】

タイトル

「長崎短期大学2年間：私の学修成果（学びと成長）」

学籍番号・氏名

【目次】

①はじめに

国際コミュニケーションコースで学びたいと思った当初の動機、入学時の目標や期待

②言語の学び

自身の語学学修の方法、到達した成果、今後の課題と目標

③学外学修体験からの学び

インターンシップ、サービ斯拉ーニング、3か月留学、それぞれから得た学びと成長

④「Awesome Sasebo!」授業からの学び

オープンキャンパス企画、学園祭企画、動画作成、地域課題解決プロジェクト、地域との関わりを通して得た力

⑤その他の学び・体験

海外研修・留学、ボランティア活動、スピーチ大会、各種行事への参加、アルバイト・趣味など

⑥まとめ

国際コミュニケーションコースで成長した点、学んでよかったと感じること、卒業後の進路（予定）※できるだけ具体的に、将来の目標

※「まとめ」の一部または全部を学修した外国語で記述（翻訳）した場合は加点とする。

⑦謝辞

保護者を含め、お世話になった方々への感謝の言葉

4. 書式指定（研究レポート）

フォント：日本語：MS 明朝、英数字：Times New Roman

文字サイズ：本文：10.5pt または 11pt、章タイトル：18pt、節：14pt、項：12pt

5. 提出および発表について

- ・プレゼンテーション実施日までに研究レポートを提出すること。
- ・研究レポートを基に、教員の前で口頭発表を行う。
- ・発表の様子は録画する。
- ・プレゼンテーションで話す発表原稿（シナリオ）は、スライド下のスピーカーノートに記載する。

6. プレゼンテーション作成方法

- ・Google Document（教員が割り当てたもの）を使用
- ・分量：研究レポートと同様に10枚程度
- ・写真・動画（URL）の挿入可
- ・スライド内の文字コメントは日本語で記載

7. プレゼンテーション発表

- ・発表時間：1人5分
- ・指定された日時に、短期大学にて発表を行う。
- ・発表者以外の学生も聴講可。
- ・発表動画は後日、Google Classroom にて限定公開する。
- ・全員の発表を教員が録画する。

8. 主な評価項目

- ・国際コミュニケーションコース ディプロマ・ポリシーに基づくルーブリック評価（達成度）
- ・口頭プレゼンテーションの内容・表現

9. 評価観点

- ・短期大学で学んだことを適切に表現できているか
- ・研究レポートの構成・内容の充実度
- ・口頭プレゼンテーションにおける表現力・伝達力

10. 注意事項

・AI使用の場合は、成績判定不可とする。

「(学生便覧より抜粋) ②生成系 AI (ChatGPT 等) によって作成された内容をレポート・課題・論文作成等にそのまま利用し提出した場合は、不正行為とみなし成績評価を行いません。また利用の内容や方法が悪質なものについては、懲戒の対象となることもありますので、十分に注意して下さい。」

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	第1回 ガイダンス・科目趣旨理解 科目テーマ・到達目標・評価方法の説明 「学修成果の可視化(言語化)」とは何か 研究レポート・プレゼン全体構成の確認	対面授業	予習(2時間) 国際コミュニケーションコースでの2年間を時系列で振り返る 印象に残っている出来事を箇条書きで整理 復習(2時間) 自分の強み・成長だと感じる点を文章でまとめる
2	2回目	第2回 【①はじめに】全体指導① 「動機・入学時の目標」の書き方指導 良い導入文の例・構成解説 全員が同じ設問で下書きを作成	対面授業	予習(2時間) 入学時の志望理由・期待を書き出す 復習(2時間) ①はじめに(下書き)をGoogle Documentに入力
3	3回目	第3回 【①はじめに】個別肉付け 教員コメントをもとに内容を深める 「当初の自分」と「今の自分」の対比	対面授業	予習(2時間) 添削コメントを読み、修正点を考える 復習(2時間) ①完成版を作成
4	4回目	第4回 【②言語の学び】全体指導① 語学学修の振り返り視点(方法・成果・課題) 数値・具体例の出し方 全員で同一設問に取り組む	対面授業	予習(2時間) TOEIC・英検・授業内容などを整理 復習(2時間) ②言語の学び(下書き)作成
5	5回目	第5回 【②言語の学び】個別肉付け 成果と課題のバランス指導 将来目標との接続	対面授業	予習(2時間) フィードバック確認 復習(2時間) ②完成版を作成
6	6回目	第6回 【③学外学修体験】全体指導① インターン・留学・サービラーニングの書き分け 「体験→学び→成長」の整理	対面授業	予習(2時間) 学外学修でのエピソード整理 復習(2時間) ③下書き作成
7	7回目	第7回 【③学外学修体験】個別肉付け エピソードの深掘り 写真・動画活用の検討	対面授業	予習(2時間) 使用可能な写真・動画選定 復習(2時間) ③完成版作成
8	8回目	第8回 【④Awesome Sasebo!】全体指導① 地域連携・プロジェクト型学習の振り返り 複数活動のまとめ方	対面授業	予習(2時間) 参加した活動の整理 復習(2時間) ④下書き作成
9	9回目	第9回 【④Awesome Sasebo!】個別肉付け 「身についた力」の言語化 DPとの関連意識	対面授業	予習(2時間) フィードバック確認 復習(2時間) ④完成版作成
10	10回目	第10回 【⑤その他の学び】全体指導① 正課外活動の扱い方 学修との関連づけ	対面授業	予習(2時間) 活動リスト整理 復習(2時間) ⑤下書き作成
11	11回目	第11回 【⑤その他の学び】個別肉付け 学びの一貫性整理 ①～⑤全体バランス確認	対面授業	予習(2時間) 全章読み返し 復習(2時間) ⑤完成・全体修正
12	12回目	第12回 【⑥まとめ】指導 成長・進路・将来目標の書き方 外国語記述(加点)の説明	対面授業	予習(2時間) 卒業後の進路整理 復習(2時間) ⑥まとめ作成
13	13回目	第13回 【⑦謝辞】+レポート完成 謝辞の書き方・表現指導 レポート体裁最終確認	対面授業	予習(2時間) 感謝を伝えたい人の整理 復習(2時間) レポート最終版提出
14	14回目	第14回 プレゼン資料作成① Google Slide構成 5分発表の組み立て	対面授業	予習(2時間) スライド構成案作成 復習(2時間) スライド作成

15	15回目	第15回 プレゼン練習・調整 発表練習 表現・時間調整	対面授業	予習（2時間） 発表原稿準備 復習（2時間） 修正・最終確認
16	16回目	第16回 まとめの発表（最終プレゼンテーション） 口頭発表（5分/人） 講評・振り返り		予習・復習 なし（発表）
17				授業外学修 60時間

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項			
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	教科書:特になし		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	参考書:必要に応じて適宜指示する。		
履修条件			
履修上の注意	<p>本授業は、国際コミュニケーションコースにおける2年間の学修の総まとめとなるキャップストーン科目である。これまでに取り組んできた授業、学外学修、課外活動等を振り返り、自身の学びや成長を客観的かつ多面的に分析し、学修成果として可視化・言語化することが求められる。</p> <p>単なる体験の列挙にとどまらず、その経験から何を学び、どのような力が身についたのかを明確にし、卒業後の進路や将来の目標につなげる視点をもって取り組むこと。</p> <p>本授業はこれまでの努力の集大成であると同時に、次のステップへ進むための重要な機会であることを自覚し、計画的かつ主体的に、全力で取り組むこと。</p>		
オフィスアワー	<p>牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 李:水曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 松浦:水曜日1限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 金戸:月曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） ロニー:水曜日2限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）</p>		
備考・メッセージ	<p>本授業では、学生一人ひとりの学修成果をより深めるため、積極的に教員にコンタクトを取り、助言や指導を求める姿勢が求められる。疑問点や不安な点があれば早めに相談し、主体的に学修を進めること。</p> <p>なお、フィードバックは、授業内または Google Classroom を通じて行う。教員からのコメントや助言を十分に確認し、研究レポートおよびプレゼンテーションの改善に活かすこと。</p>		

卒業研究 留学生

更新日：2026/05/26 21:01:07

開講年度	2026	開講期	後期	ナンバリング	BS404
担当教員	牟田 美信, 山本 美咲				

配当	学部/学科	短期大学 長崎短期大学 地域共生学科 国際コミュニケーションコース			
	配当年	単位	科目必選区分	授業形態	
	2年	2	選択	講義	

アクティブラーニングの類型	①発見学習（事実を発見する過程から学習者に体験させる手法）	
	②問題解決学習（PBL：自ら問題を発見し解決する能力を養うことを目的とした教育法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	③体験学習（実際の活動体験を通して学ぶことを狙った学習形態）	
	④調査学習（課題について調査し結論をまとめる学習法）	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤グループ・ディスカッション（議論まで）	
	⑥ディベート（特定の論題について、あえて異なる立場に分かれて議論をする手法）	
	⑦グループ・ワーク（議論+成果物（プレゼンなど））	

授業概要

本科目は、国際コミュニケーションコースのキャップストーン科目（最終学修科目）として、2年間の学びの集大成を位置づける授業である。学生は、これまでに修得した語学力、情報収集力、異文化理解力、表現力を総合的に活用し、自身の出身地（地元）について日本語で紹介する「研究ノート」を作成する。

研究ノートでは、地図、衣食住、言葉、文化、慣習などの情報を調査・整理し、日本人が旅行や居住の際に実際に活用できる内容としてまとめる。作成はGoogleドキュメントを用い、自分のペースで進める。

さらに、完成した研究ノートを日本人（クラスメートや知人）に共有し、良い点や改善点についての感想を聞き取ることで、他者の視点を踏まえた振り返りと改善を行う。最終的には、制作過程を通じた自己の学びを言語化し、読者に向けたメッセージとしてまとめる。

本授業を通して、学生が自らのルーツを客観的に捉え、日本語で分かりやすく発信する力を身につけることを目標とする。

課題内容：研究ノート構成

*タブで以下の項目を作成し、作業をすすめる。

- ・もくじ：全体の項目整理
- ・はじめに：研究ノートの特徴・目的
- ・私の国の基本情報：地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント等
- ・私の地元情報：地域ならではの特徴や魅力
- ・私の国の衣食住：生活文化の紹介（※できるだけオリジナル写真を使用）
- ・代表のお祭り・イベント
- ・日本人読者の感想：良い点・改善点などの感想
- ・まとめ：研究ノート作成を通じた自己の感想と日本人読者へのメッセージ

授業における到達目標

1	自身の出身地や文化を振り返り、その価値や魅力を再認識するとともに、日本人読者の視点を意識しながら、相手に配慮した表現ができる。
2	これまでに学んできた日本語能力を生かし、適切な情報を収集・整理し、分かりやすい日本語で研究ノートとしてまとめることができる。
3	身につけた異文化理解力を基に、本国および地元の文化・風習を客観的に整理し、日本人に伝わる日本語で適切に表現できる。
4	研究ノート作成過程において、日本人からの感想や指摘を踏まえ、内容の改善点を見つけ、修正・改善することができる。
5	自身のルーツや文化を日本語で発信する経験を通して、今後の学びや進路、社会での活かし方について考えを深めることができる。

評価方法

資質・能力	授業における到達目標（番号のみ記載）	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	1	・研究ノート全体の内容の丁寧さ ・日本人読者の感想を踏まえた振り返り記述 ・「まとめ」「最後のあいさつ」における自己省察	10%
確かな専門的知識や技能	2	・情報の正確性・適切性 ・構成の分かりやすさ ・日本語表現（語彙・文法・文書構成）	35%
異文化知識・対応能力	3	・本国・地元文化の論理的整理 ・日本人読者を意識した説明の工夫 ・文化的背景の説明の的確さ	35%
課題解決能力	4	・日本人コメントの活用状況 ・改善点の反映度	10%
キャリアデザイン力	5	・最終まとめにおける将来への言及 ・学びの言語化	10%

合計	100%
補足事項	
<p>学修方法・作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究ノート（Googleドキュメント）は、教員があらかじめ作成・配布する。 ・作成した研究ノートは、教員と共有し、授業期間中は常に教員が進捗状況を確認できる状態とする。 ・内容を分かりやすく伝えるため、写真・図表・イラスト等を適宜、自由に追加してよい（可能な限りオリジナル資料の使用が望ましい）。 <p>評価方法・評価観点</p> <p>本授業では、以下の観点に基づき総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力・文書作成能力・自国文化の論理的整理 ・自国文化の正しい日本語化（表現の適切さ・分かりやすさ） ・短期大学でこれまでに学んできた知識・技能を十分に生かし、研究ノートとして適切な構成・内容・日本語表現で作成できているかを評価の基準とする。 <p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI使用の場合は、成績判定不可とする。 <p>「(学生便覧より抜粋) ②生成系 AI (ChatGPT 等) によって作成された内容をレポート・課題・論文作成等にそのまま利用し提出した場合は、不正行為とみなし成績評価を行いません。また利用の内容や方法が悪質なものである場合は、懲戒の対象となることもありますので、十分に注意して下さい。」</p>	

授業計画

	授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1	1回目	オリエンテーション ・授業全体の目的と流れの説明 ・研究ノート作成の趣旨、評価方法、作成手順の説明 ・研究ノート構成の確認 ① 目次の確認	対面授業	予習：Google Classroomに提示された授業概要を読み、研究ノートの全体構成を考える（2時間） 復習：評価基準・作成方法を再確認し、疑問点を整理する（2時間）
2	2回目	研究ノート作成① ・②「はじめに」：研究ノートの目的・目標・特徴について記述する	対面授業	予習：記載内容に関する情報収集を行う（2時間） 復習：作成内容を見直し、次回作業の準備を行う（2時間）
3	3回目	研究ノート作成② ・③ 自分の国の基本情報 (地図、人口、言語、基本的な会話、気候、祭り・イベント等)	対面授業	予習：必要な情報を調査・整理する（2時間） 復習：記載内容を再考し、追加・修正を行う（2時間）
4	4回目	研究ノート作成②（継続） ・③ 自分の国の基本情報の充実	対面授業	予習：情報の追加調査を行う（2時間） 復習：構成や表現を見直し、内容を整える（2時間）
5	5回目	研究ノート作成③ ・④ 自分の地元情報（出身地の特徴、文化、魅力等）	対面授業	予習：地元に関する情報を収集する（2時間） 復習：内容を整理し、次回作業の準備を行う（2時間）
6	6回目	研究ノート作成③（継続） ・④ 自分の地元情報の充実	対面授業	予習：情報の追加調査を行う（2時間） 復習：構成や表現を見直し、内容を深める（2時間）
7	7回目	研究ノート作成④ ・⑤ 自分の国の衣・食・住 ※可能な限り、地元から写真や資料を収集する	対面授業	予習：衣・食・住に関する情報収集を行う（2時間） 復習：記載内容を整理し、表現を工夫する（2時間）
8	8回目	研究ノート作成④（継続） ・⑤ 自分の国の衣・食・住の充実	対面授業	予習：資料や写真の整理・追加を行う（2時間） 復習：構成や説明の分かりやすさを見直す（2時間）
9	9回目	研究ノート作成⑤ ・⑥ 自分の国の代表的なお祭り・イベント	対面授業	予習：祭りやイベントに関する情報収集を行う（2時間） 復習：内容を整理し、文化的背景を補足する（2時間）
10	10回目	研究ノート作成⑤（継続） ・⑥ 自分の国の代表的なお祭り・イベントの充実成を見直し、完成度を高める（2時間）	対面授業	予習：追加情報の調査を行う（2時間） 復習：説明や構
11	11回目	研究ノート作成⑥ ・⑦ 日本人読者からのフィードバック ノートを読んでもらい、感想（良い点・改善点）を聞き取り（メールを含む）、内容に反映する	対面授業	予習：質問内容や聞き取り方法を準備する（2時間） 復習：フィードバックを整理し、修正点をまとめる（2時間）
12	12回目	研究ノート作成⑥（継続） ・⑦ 日本人読者からのフィードバックを反映	対面授業	予習：修正案を検討する（2時間） 復習：ノート全体の内容を再構成する（2時間）
13	13回目	研究ノート作成⑦ ・⑧ まとめ 研究ノート作成を通じた自己の学びの振り返り 日本人読者に向けたメッセージの作成	対面授業	予習：振り返り内容を整理する（2時間） 復習：表現や構成を見直す（2時間）
14	14回目	研究ノート作成⑦（継続） ・⑧ まとめ完成	対面授業	予習：文章の推敲を行う（2時間） 復習：全体の整合性・完成度を確認する（2時間）
15	15回目	最終確認・提出 ・研究ノートの最終確認 ・研究ノート提出	対面授業	予習：提出前の校正および最終確認（4時間）

16	16回目	・試験は実施せず、研究ノートおよび授業への取り組み状況をもとに総合評価を行う	対面授業	授業外学修 60時間
----	------	--	------	------------

その他

科目（教職課程用）			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等			
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	データを読む・説明する・扱う		
教科書	【教科書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【教科書】ISBN	
	教科書:特になし		
参考書	【参考書】書籍タイトル、著者、発行年、出版社など	【参考書】ISBN	
	参考書:それぞれの作業に沿って適宜指示する。		
履修条件			
履修上の注意	本授業は、2年間の学びの総まとめとなる重要な科目です。 これまでに身につけた知識・技能・経験を丁寧に振り返り、自らの学びを分析し、卒業後の進路や将来の活動につなげることを意識して、主体的かつ全力で取り組んでください。		
オフィスアワー	牟田:火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 依藤：火曜日3限（その他、研究室にいる時間は、対応可能） 山本：火曜日4限（その他、研究室にいる時間は、対応可能）		
備考・メッセージ	本授業は、2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 主体的かつ積極的に取り組み、疑問点や不安な点があれば、自ら教員にコンタクトを取り、助言を求めながら学修を進めてください。		